漢字検定５～２級対応

# 新 常用漢字必携 パーフェクトクリア

▶常用漢字完全収録◀

三訂版

尚文出版編集部 編

ダウンロード
DL用
練習シート
付き




尚文出版

# 第1回 5級①

4級 / 3級 / 準2級 / 2級 / 応用編

なぞろう　書こう

| No. | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 供 | イ にんべん 8 | キョウ、ク、そな(える)、とも | 源人(イ)が両手で物をささげる(共)。 | 供給（キョウキュウ）、供養（クヨウ） |
| 2 | 傷 | イ にんべん 13 | ショウ、きず、いた(む)、いた(める) | 源人(イ)がきずつく(昜)。㊟痛む・悼む | 感傷（カンショウ）、傷害（ショウガイ） |
| 3 | 仁 | イ にんべん 4 | ジン、ニ | 源人(イ)が二人集まったときに生じる思いやり。 | 仁愛（ジンアイ）、仁王（ニオウ） |
| 4 | 値 | イ にんべん 10 | チ、ね、あたい | 源人(イ)が正しく見て(直)決める⇩あたい | 値札（ねふだ）、値段（ねダン） |
| 5 | 俳 | イ にんべん 10 | ハイ | 源非は鳥が羽を広げるさま⇩おどける | 俳人（ハイジン）、俳優（ハイユウ） |
| 6 | 俵 | イ にんべん 10 | ヒョウ、たわら | 義わらで編んだ包み。それを数える単位。 | 土俵（ドヒョウ）、米俵（こめだわら） |
| 7 | 優 | イ にんべん 17 | ユウ、やさ(しい)、すぐ(れる) | 義役者。おだやか。まさる。ぐずぐずする。 | 優美（ユウビ）、女優（ジョユウ） |
| 8 | 吸 | 口 くちへん 6 | キュウ、す(う) | 源口がある物に届いて(及)すいつく。 | 吸引（キュウイン）、吸収（キュウシュウ） |
| 9 | 呼 | 口 くちへん 8 | コ、よ(ぶ) | 源口から息が出る(乎)⇩よぶ | 点呼（テンコ）、呼吸（コキュウ） |
| 10 | 域 | 土 つちへん 11 | イキ | 源限られたはん囲(或)の土地⇩くぎり | 地域（チイキ）、域外（イキガイ） |
| 11 | 降 | 阝 こざとへん 10 | コウ、お(りる)、お(ろす)、ふ(る) | 源おか(阝)から下に向かって歩く(夅)。 | 降雨（コウウ）、投降（トウコウ） |

| No. | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 除 | 阝 こざとへん 10 | ジョ、ジ、のぞ(く) | 源じゃまな土(阝)をおしのける(余)。 | 解除（カイジョ）、除外（ジョガイ） |
| 13 | 障 | 阝 こざとへん 14 | ショウ、さわ(る) | 源盛り土(阝)にあたる(章→当)⇩遮る | 保障（ホショウ）、障子（ショウジ） |
| 14 | 陛 | 阝 こざとへん 10 | ヘイ | 源天子のきゅうでんの階段⇩天子の称 | 陛下（ヘイカ）、陛見（ヘイケン） |
| 15 | 沿 | 氵 さんずい 8 | エン、そ(う) | 源川(氵)のふち(㕣)にそって下る⇩そう | 沿岸（エンガン）、沿線（エンセン） |
| 16 | 激 | 氵 さんずい 16 | ゲキ、はげ(しい) | 源水(氵)が岩に当たり白いしぶきが散る(放)。 | 感激（カンゲキ）、激流（ゲキリュウ） |
| 17 | 源 | 氵 さんずい 13 | ゲン、みなもと | 源泉のわき出るところ⇩みなもと | 起源（キゲン）、源流（ゲンリュウ） |
| 18 | 済 | 氵 さんずい 11 | サイ、す(む)、す(ます) | 義たすける。すくう。すます。 | 救済（キュウサイ）、経済（ケイザイ） |
| 19 | 洗 | 氵 さんずい 9 | セン、あら(う) | 源はだし(先)を水(氵)であらう。 | 洗練（センレン）、洗顔（センガン） |
| 20 | 潮 | 氵 さんずい 15 | チョウ、しお | 義うしお。海水の干満。時勢の流れ。 | 風潮（フウチョウ）、満潮（マンチョウ） |
| 21 | 派 | 氵 さんずい 9 | ハ | 源川(氵)の支流が分かれ出る(𠂢)。 | 派生（ハセイ）、流派（リュウハ） |

## 練習

1回目　2回目　3回目

① キョウキュウ量を調節する。（必要とされるものをあたえたり市場に出すこと）［　］
② カンショウにひたる。（心をいため、悲しむこと）［　］
③ かれはジンアイの心に満ちている。（ひとを思いやり、いつくしむこと）［　］
④ ネフダを見ておどろいた。（売りねを記したふだ）［　］
⑤ これは有名なハイジンの句です。（はい句の作成を職業・深いしゅ味とするひと）［　］
⑥ 東西の力士がドヒョウに上がる。（たわらで囲まれた、すもうの競技場）［　］
⑦ ユウビなおどりに見とれる。（品がよく、うつくしいこと）［　］
⑧ 真空ポンプでキュウインする。（すいこんで、ひき寄せること）［　］
⑨ 集合させてテンコせよ。（名をよんで、そこにいることを確にんすること）［　］
⑩ チイキ活性化を図る。（あるきまりによって区切られたはん囲のとち）［　］
⑪ 年間のコウウ量を記録する。（空からふるあめ、あめがふること）［　］
⑫ 通行止めがカイジョされた。（制限をといて、もとの状態にすること）［　］
⑬ 安全ホショウ理事会の協議が始まった。（害のないように、ささえ防ぐこと）［　］
⑭ 天のうヘイカが内かく総理大臣を任命する。（君主を、とうとんでいう語）［　］
⑮ エンガン漁業と遠洋漁業とのちがいを確かめる。（陸に近いところの海・川・湖）［　］
⑯ あまりのカンゲキになみだを流す。（強い喜びの気持ちが心にわきあがること）［　］
⑰ ダーウィンの書『種のキゲン』。（物事の最初、始まり）［　］
⑱ 戦争によるなん民のキュウサイをする。（たすけ、すくうこと）［　］
⑲ センレンされた着こなしをする。（品がよく、あかぬけていること）［　］
⑳ 社会のフウチョウをなげく。（世の中のけい向）［　］
㉑ 新たな問題がハセイした。（もとになるものから分かれてできたもの）［　］

## 訓読み

❶ お供する［　］　❷ 傷［　］　❷ 傷む 中［　］　❼ 優れる 中［　］　⓫ 降る［　］　⓭ 障る 高［　］
⓯ 沿う［　］　⓴ 潮［　］　❽ すう［　］　❾ よぶ［　］　⓰ はげしい［　］　⓱ みなもと［　］

## 漢字検定　練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線の漢字の**読み**を**ひらがな**で書きなさい。

1 あのドラマの結末は圧巻だ。（　）
2 言い訳をする前に謝ろう。（　）
3 古い校舎の補修が行われた。（　）
4 都庁を訪問する。（　）
5 おいしい茶わん蒸しを作ろう。（　）
6 卵焼きの火加減は意外に難しい。（　）
7 障害物競走に出場する。（　）
8 同窓会に出席する。（　）
9 存分に力を発揮してください。（　）
10 バーゲンで大きく値下げされた。（　）

### ◉「常用漢字表」とは

「常用漢字表」は「法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安として使用されるもの」として昭和56年に内閣告示されたものである。この表には一九四五字が含まれていたが、平成22年11月に、五字を削除し、一九六字を追加した二一三六字に改定された。

### 解答

❶(お)とも(する)　❷きず　❷いた(む)　❼すぐ(れる)　⓫ふ(る)　⓭さわ(る)　⓯そ(う)　⓴しお　❽吸う　❾呼ぶ　⓰激しい　⓱源

**1** 1 あっかん　2 わけ　3 ほしゅう　4 とちょう　5 む　6 たまごや　7 しょうがい　8 どうそうかい　9 ぞんぶん　10 ねさ

# 第2回 5級②

| No. | 漢字 | 部首 | 画数 | 読み | 成り立ち・意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 従 | 彳（ぎょうにんべん） | 10 | ジュウ・ショウ・ジュ／したが(う)・したが(える) | 源もとは從。人の後に人がついて(从)ゆく(辵)。 | 従事(ジュウジ)・従容(ショウヨウ) |
| 2 | 律 | 彳（ぎょうにんべん） | 9 | リツ・リチ | 義おきて。きまり。音楽の調子。 | 規律(キリツ)・律動(リツドウ) |
| 3 | 拡 | 扌（てへん） | 8 | カク | 源手(扌)で広くする⇩ひろげる | 拡散(カクサン)・拡張(カクチョウ) |
| 4 | 揮 | 扌（てへん） | 12 | キ | 源手(扌)をふりまわす(軍)⇩発散する | 揮発(キハツ)・指揮(シキ) |
| 5 | 捨 | 扌（てへん） | 11 | シャ／す(てる) | 源手(扌)から放す(舎)↓射)。注拾 ↕取 | 喜捨(キシャ)・取捨(シュシャ) |
| 6 | 推 | 扌（てへん） | 11 | スイ／お(す) | 義前におし出す。おしはかる。 | 推測(スイソク)・推定(スイテイ) |
| 7 | 操 | 扌（てへん） | 16 | ソウ・みさお／あやつ(る) | 源手(扌)でしっかり(喿)持つ⇩もつ・操 | 操作(ソウサ)・体操(タイソウ) |
| 8 | 担 | 扌（てへん） | 8 | タン／かつ(ぐ)・にな(う) | 義かつぐ。引き受ける。受けもつ。 | 担任(タンニン)・分担(ブンタン) |
| 9 | 探 | 扌（てへん） | 11 | タン／さぐ(る)・さが(す) | 義さぐる。さがす。訪れる。注捜す | 探求(タンキュウ)・探訪(タンボウ) |
| 10 | 拝 | 扌（てへん） | 8 | ハイ／おが(む) | 源両手(扌)をならべて(丰)おじぎする。 | 拝見(ハイケン)・参拝(サンパイ) |
| 11 | 批 | 扌（てへん） | 7 | ヒ | 源二つを比べてそのぜ非を判断する。 | 批評(ヒヒョウ)・批判(ヒハン) |

| なぞろう | 従 | 律 | 拡 | 揮 | 捨 | 推 | 操 | 担 | 探 | 拝 | 批 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 書こう | | | | | | | | | | | |

## 練習

① 自然科学の研究に**ジュウジ**する。（あることにたずさわること）
② **キリツ**正しい生活を心がける。（きまり、ちつ序）
③ ミントの香りを**カクサン**させる。（あちこちにちらばって、ひろがること）
④ **キハツ**性の高い薬品を冷暗所に保管する。（液体が気体になること）
⑤ 寺に**キシャ**する。（よろこんで寄進、ほどこしをすること）
⑥ 原因を**スイソク**する。（自分が知ったことをもとにおしはかること）
⑦ 機械を**ソウサ**する。（道具や機械をうごかすこと）
⑧ **タンニン**の先生と面談する。（にん務をたん当する人、クラスのうけもち）
⑨ 人生のいみを**タンキュウ**する。（さがしもとめること）
⑩ お手紙**ハイケン**しました。（「みる」のけんじょう語）
⑪ **ヒヒョウ**家が絶賛した小説を読む。（ものごとの価値について判断し述べること）

## 訓読み

⑤ 捨てる〔す〕　⑨ 探す〔さが〕　⑨ 探る 中〔さぐ〕　⑫ 映る〔うつ〕　⑫ 映える 中〔は〕
⑬ 暖かい〔あたた〕　❶ したがえる〔従える〕　❼ あやつる 中〔操る〕　❽ になう 高〔担う〕　❿ おがむ〔拝む〕

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の漢字の部首と部首名を後の□の中から選び、記号で答えなさい。

| | 部首 | 部首名 |
|---|---|---|
| 1 穀 | く | コ |
| 2 劇 | き | イ |
| 3 蒸 | え | ク |
| 4 陛 | け | エ |
| 5 幼 | か | カ |
| 6 乱 | あ | ウ |
| 7 孝 | こ | キ |
| 8 専 | う | ア |
| 9 背 | い | オ |
| 10 就 | お | ケ |

あ し　い 肉　う 寸　え 艹　お 尢　か 幺　き 刂　く 禾　け 阝　こ 子

ア すん　イ りっとう　ウ おつ　エ こざとへん　オ にく　カ いとがしら　キ こ　ク くさかんむり　ケ だいのまげあし　コ のぎへん





| No. | 漢字 | 部首 | 画数 | 読み | 成り立ち・意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 映 | 日（ひへん） | 9 | エイ／うつ(る)・うつ(す)・は(える) | 源日があざやかに(央)さす⇩てりはえる | 反映(ハンエイ)・映画(エイガ) |
| 13 | 暖 | 日（ひへん） | 13 | ダン／あたた(か・かい・まる・める) | 源日があたってあたたかいが原義。↕寒・冷 | 暖冬(ダントウ)・温暖(オンダン) |
| 14 | 晩 | 日（ひへん） | 12 | バン | 源日がかくれて(免)暗くなる⇩おそい | 晩秋(バンシュウ)・早晩(ソウバン) |
| 15 | 片 | 片（かた） | 4 | ヘン／かた | 源木の字(木)を縦に割った右半分。 | 片意地(かたイジ)・断片(ダンペン) |
| 16 | 株 | 木（きへん） | 10 | かぶ | 源木の切り口が赤い(朱)⇩切りかぶ | 株式(かぶシキ)・株主(かぶぬし) |
| 17 | 机 | 木（きへん） | 6 | キ／つくえ | 源几は物をのせる台。注文机(ふづくえ) | 机(つくえ)・机上(キジョウ) |
| 18 | 権 | 木（きへん） | 15 | ケン・ゴン | 源はかりのおもりが原義⇩ちから | 政権(セイケン)・権化(ゴンゲ) |
| 19 | 樹 | 木（きへん） | 16 | ジュ | 源木をたてる(尌)⇩うえる・立ち木 | 樹立(ジュリツ)・果樹(カジュ) |
| 20 | 棒 | 木（きへん） | 12 | ボウ | 源物をたたく(奉)木⇩ぼう | 相棒(あいボウ)・棒術(ボウジュツ) |
| 21 | 枚 | 木（きへん） | 8 | マイ | 源木のむち⇩平たい物を数える語 | 枚挙(マイキョ)・大枚(タイマイ) |
| 22 | 模 | 木（きへん） | 14 | ボ・モ | 源同じ形に似せて(莫)作った木型。 | 規模(キボ)・模造(モゾウ) |

| なぞろう | 映 | 暖 | 晩 | 片 | 株 | 机 | 権 | 樹 | 棒 | 枚 | 模 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 書こう | | | | | | | | | | | |

⑫ 消費者の声を**ハンエイ**した商品が生まれる。（あるもののえいきょうが現れること）
⑬ **ダントウ**で積雪が少ない。（例年よりあたたかいふゆ）
⑭ **バンシュウ**の野山を歩く。（あきの終わり）
⑮ **カタイジ**を張る。（がんこに自分のいしを通すこと）
⑯ **カブシキ**会社の仕組みを理解する。（有価証券をはっ行することで運営される会社）
⑰ 学習**ヅクエ**で勉強する。（読み書きなどをするために使う台）
⑱ **セイケン**争いが表面化する。（せい治の主導けん）
⑲ 新記録が**ジュリツ**される。（うちたてること）
⑳ かれは得がたい**アイボウ**だ。（いっしょに行動する仲間）
㉑ **マイキョ**にいとまがない。（数えあげること）
㉒ 全国的な**キボ**で取り組んでいる。（物事の大きさ）

●「常用漢字表」の意義 パートI

「漢字使用の目安」を定める意義とは何か? 『大漢和辞典』に掲載(けいさい)されている漢字は約五万にのぼるが、その全ての意味を全ての人が知っているとは限らない。そこで、全員に情報を正確に伝えるため、行政や報道など、公共の情報を発する機関の使用文字を制限する、というのがその意義の一つと言えるだろう。

## 解答

❺ す(てる)　❾ さが(す)　❾ さぐ(る)　⓬ うつ(る)　⓬ は(える)　⓭ あたた(かい)　❶ 従える　❼ 操る　❽ 担う　❿ 拝む

**1** (部首・部首名の順に)
1 く・コ　2 き・イ　3 え・ク　4 け・エ　5 か・カ　6 あ・ウ　7 こ・キ　8 う・ア　9 い・オ　10 お・ケ



4級　3級　準2級　2級　応用編　1回目　2回目　3回目

# 第3回 5級③

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 胸 | 臓 | 腸 | 脳 | 肺 | 腹 | 班 | 砂 | 磁 | 穀 | 私 |
| 部首・画数 | にくづき 月 10 | にくづき 月 19 | にくづき 月 13 | にくづき 月 11 | にくづき 月 9 | にくづき 月 13 | おうへん 王 10 | いしへん 石 9 | いしへん 石 14 | のぎへん 禾 14 | のぎへん 禾 7 |
| 読み | キョウ むね むな | ゾウ | チョウ | ノウ | ハイ | フク はら | ハン | サ シャ すな | ジ | コク | シ わたくし わたし |
| 筆順 | 丿 月 月 肑 肑 肑 胸 胸 胸 | 月 肸 肸 肸 肸 肸 臓 臓 臓 | 月 月 月 肥 胆 胆 腸 腸 腸 | 月 月 月 肸 肸 肸 脳 脳 脳 | 丿 月 月 月 肝 肝 肺 肺 肺 | 月 肝 肝 肝 胪 胪 腹 腹 腹 | 一 丁 干 王 王 王 玟 玟 班 | 一 ア 不 石 石 石 矿 砂 砂 | 石 矿 矿 矿 矿 矿 磁 磁 磁 | 士 声 壴 壴 壴 壴 穀 穀 穀 | 一 二 千 禾 禾 禾 私 |
| 源・義 | 源匈がむねの意。のちにくづき(月)を加えた。 | 源体(月)におさめた(蔵)物⇩はらわた | 源肉(月)が長くのびる(昜↓暢)⇩腹わた | 源月+𡿺音。𡿺はかみの毛と頭がい骨の形。 | 源左右二つに分かれた(巿)臓器(月)。 | 源内臓(月)をおおう(复)ところ。 | 源二つの玉(玨)をわける(刂)。 | 源小さい(少↓沙)石。 | 源ひきつける(兹)石⇩磁石・焼き物 | 源から(殸)をかぶったもみ(禾)⇩穀類 | 源自分の穀物(禾)をかかえる(厶)。↕公 |
| 用例 | 度胸(ドキョウ) 胸元(むなもと) | 臓器(ゾウキ) 内臓(ナイゾウ) | 小腸(ショウチョウ) 断腸(ダンチョウ) | 首脳(シュノウ) 脳裏(ノウリ) | 心肺(シンパイ) 肺臓(ハイゾウ) | 船腹(センプク) 腹心(フクシン) | 首班(シュハン) 班長(ハンチョウ) | 砂防(サボウ) 土砂(ドシャ) | 磁気(ジキ) 磁場(ジば) | 五穀(ゴコク) 穀物(コクモツ) | 私腹(シフク) 公私(コウシ) |

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 秘 | 絹 | 紅 | 縦 | 縮 | 純 | 納 | 鋼 | 針 | 銭 |
| 部首・画数 | のぎへん 禾 10 | いとへん 糸 13 | いとへん 糸 9 | いとへん 糸 16 | いとへん 糸 17 | いとへん 糸 10 | いとへん 糸 10 | かねへん 金 16 | かねへん 金 10 | かねへん 金 14 |
| 読み | ヒ ひ(める) | ケン きぬ | コウ ク べに くれない | ジュウ たて | シュク ちぢ(む・まる・める・れる・らす) | ジュン | ノウ・ナッ・トウ・ナ・ナン おさ(める) おさ(まる) | コウ はがね | シン はり | セン ぜに |
| 筆順 | 二 千 禾 禾 秘 秘 秘 秘 秘 | 𠃋 幺 幺 糸 糸 絹 絹 絹 絹 | 𠃋 幺 幺 糸 糸 糸 紅 紅 紅 | 糸 糸 糸 紒 紒 紒 縦 縦 縦 | 糸 紒 紒 紒 紒 縮 縮 縮 縮 | 𠃋 幺 幺 糸 糸 紅 紅 紅 純 | 𠃋 幺 幺 糸 糸 糸 約 納 納 | 金 釦 釦 鋼 鋼 鋼 鋼 鋼 鋼 | 丿 人 亼 午 牟 金 金 金 針 | 人 亼 午 金 金 金 銭 銭 銭 |
| 源・義 | 源閉ざされ(必)て見えない神所(示)。 | 源体を丸めたカイコ(肙)の出す糸。 | 義あかい。べにばなの染料の色。 | 源たて糸が原義⇩たて・ほしいまま | 源糸がちぢむ⇩小さくする | 源まじりけのない生糸が原義。 | 源糸を入れる(内)。注出納(すいとう) | 源かたい(岡)金。 | 源十がはりの形。のちに金を加えた。 | 義貨幣。一円の百分の一。 |
| 用例 | 秘境(ヒキョウ) 神秘(シンピ) | 絹糸(きぬいと) 絹布(ケンプ) | 紅白(コウハク) 真紅(シンク)* | 操縦(ソウジュウ) 縦糸(たていと) | 縮図(シュクズ) 縮小(シュクショウ) | 純真(ジュンシン) 純益(ジュンエキ) | 納品(ノウヒン) 納得(ナットク) | 鉄鋼(テッコウ) 鋼材(コウザイ) | 指針(シシン) 針路(シンロ) | 銭湯(セントウ) 悪銭(アクセン) |

なぞろう　胸 臓 腸 脳 肺 腹 班 砂 磁 穀 私 秘 絹 紅 縦 縮 純 納 鋼 針 銭

書こう

## 練習

① かれは**ドキョウ**のいい人だ。（物事に動じない強いこころ）
② **ゾウキ**移植の手術が行われる。（体の中にある内ぞう、き官）
③ **ショウチョウ**は消化と栄養の吸収を行う。（食べ物を消化し、栄養分を吸収するき官）
④ 三か国**シュノウ**会談が開かれた。（組織の中しんとなる人物）
⑤ 運動で**シンパイ**機能を高める。（しんぞうとはいぞう）
⑥ 海中の何かが**センプク**にぶつかった。（ふねのどう体）
⑦ 内かくの**シュハン**は総理大臣だ。（第一の席次につく人）
⑧ 山間部に**サボウ**ダムを設置する。（すなの流出や流入をふせぐもの）
⑨ MRIは**ジキ**を利用した検査法だ。（じ石の性質や電流による作用）
⑩ **ゴコク**豊じょうをいのる。（米、麦、あわ、ひえ、豆）
⑪ **シフク**を肥やす悪代官をこらしめる。（自分の財産、たくわえ）
⑫ アフリカの**ヒキョウ**を探検する。（分かっていないことの多い地）
⑬ 手芸用の**キヌイト**を買う。（かいこのまゆから作られた、いと）
⑭ サッカーの**コウハク**試合が行われた。（あかい色としろい色）
⑮ 飛行機の**ソウジュウ**を習う。（機械などをあやつること、運転）
⑯ 学校は社会の**シュクズ**だ。（比率を変えずに実際よりちいさくかいたもの）
⑰ 少年は**ジュンシン**なひとみをかがやかせた。（よこしまなところがなく、素直な様子）
⑱ 取引先に**ノウヒン**する。（しな物をおさめいれること）
⑲ **コウテツ**製の工具を使う。（きたえて炭素のがん有量を減らしたてつ）
⑳ 未来への**シシン**を示す。（進むべき方向を示すもの）
㉑ 家族で近所の**セントウ**に行く。（お金をとって入浴させるふろや）

## 訓読み

❶ 胸肉　㉑ 小銭 中　❻ 腹　❽ すな　⓯ 縦　⓬ ひめる 中　⓲ 納める　⓮ くれない 中　⓴ 針金　⓰ ちぢむ

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の漢字の**太い**画のところは**筆順の何画目**か、また**総画数**は何画か、**算用数字**（1、2、3…）で答えなさい。

何画目　総画数

1 俳　2 密　3 臨　4 衆　5 律

**2** 次の――線の**カタカナ**の部分を**漢字一字と送りがな（ひらがな）**になおしなさい。

1 人を**サバク**仕事につく。
2 父が**ツトメル**役所を訪ねる。
3 目上の人を**ウヤマウ**。
4 母はしつけに**キビシイ**。
5 **オサナイ**ころを思い出す。
6 砂浜に海の家が**ナラブ**。

### 解答

❶むねにく ❻はら ⓯たて ⓲おさ(める) ⓴はりがね ㉑こぜに ❽砂 ⓬秘める ⓮紅 ⓰縮む

**1** 1 4・10　2 6・11　3 1・18　4 8・12　5 9・9

**2** 1 裁く　2 勤める　3 敬う　4 厳しい　5 幼い　6 並ぶ



◉「常用漢字表」の意義　パートⅡ

例えば、「あか」色を表す漢字には、「赤」「紅（べに）」「朱（しゅ）」「茜（せん）」「纁（くん）」「緋（ひ）」などがあるが、その色のイメージは漢字ごとに異なっている。また、人が変わればその受けとめ方も違ってくるだろう。「常用漢字表」で「あか」と読む漢字は「赤」の一字だけ。そこで、この「赤」を用いると、より多くの人が同じ色のイメージを共有できるというわけである。

# 第4回 5級④

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 誤 | 詞 | 誌 | 諸 | 誠 | 誕 | 討 | 認 | 訪 | 訳 | 論 |
| 部首・画数 | ごんべん 言 14 | ごんべん 言 12 | ごんべん 言 14 | ごんべん 言 15 | ごんべん 言 13 | ごんべん 言 15 | ごんべん 言 10 | ごんべん 言 14 | ごんべん 言 11 | ごんべん 言 11 | ごんべん 言 15 |
| 読み | ゴ あやま(る) | シ | シ | ショ | セイ まこと | タン | トウ う(つ) | ニン みと(める) | ホウ おとず(れる) たず(ねる) | ヤク わけ | ロン |
| 意味 | 源 事実とちがう(呉)ことば(言)。↕正 | 源 つなぎ(司→嗣)のことば(言)⇩こと ば | 源 ことば(言)を書きしるす(志)。 | 源 多くの(者)ことば(言)⇩もろもろ | 源 いつわりのない正しい(成)ことば(言)。 | 義 生まれる。 | 義 たずねる。といただす。うつ。 | 源 相手のことば(言)を許す(忍)。 | 源 ことば(言)で広く(方)人にたずねる。 | 源 他国のことば(言)とつなぐ(尺)。㊟釈 | 源 順序だてて(侖)話す(言)。 |
| 熟語 | 誤解 誤用 | 品詞 歌詞 | 日誌 雑誌 | 諸子 諸派 | 誠実 忠誠 | 生誕 誕生 | 追討 討議 | 認識 承認 | 来訪 訪問 | 通訳 直訳 | 論証 持論 |

なぞろう 書こう

## 練習

① かれは**ゴカイ**されやすい人だ。（まちがって理かいすること）[　　]

② 辞書で単語の**ヒンシ**を調べる。（単語を文法上の機能や形式などで分類したもの）[　　]

③ 学級**ニッシ**に記録する。（まいにちのできごとを記した記録ぼ）[　　]

④ **ショシ**百家の説をまとめる。（中国、春秋・戦国じだいの多くの学派や思想家）[　　]

⑤ **セイジツ**な人がらにひかれる。（まごころがあること、まじめなこと）[　　]

⑥ モーツァルト**セイタン**の地をおとずれる。（この世にうまれ出ること）[　　]

⑦ 平家**ツイトウ**の命令が下る。（おいかけて、うちとること）[　　]

⑧ それは**ニンシキ**不足だ。（物事について知り、みとめること）[　　]

⑨ アメリカの大統領が**ライホウ**した。（こちらにたずねてくること）[　　]

⑩ **ツウヤク**の資格を取る。（ことなる言語を使う人のなかだちをすること）[　　]

⑪ かれの無罪を**ロンショウ**する。（ろん理的にしょう明すること）[　　]

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 補 | 糖 | 骨 | 割 | 劇 | 刻 | 創 | 勤 | 我 | 難 |
| 部首・画数 | ころもへん 衤 12 | こめへん 米 16 | ほね 骨 10 | りっとう 刂 12 | りっとう 刂 15 | りっとう 刂 8 | りっとう 刂 12 | ちから 力 12 | ほこづくり 戈 7 | ふるとり 隹 18 |
| 読み | ホ おぎな(う) | トウ | コツ ほね | カツ わ(る・れる) わり さ(く) | ゲキ | コク きざ(む) | ソウ つく(る) | キン ゴン つと(める) つと(まる) | ガ われ わ | ナン かた(い) むずか(しい) |
| 意味 | 源 破れたところに布をつける(甫)。↓付。 | 源 米を発芽させて作ったあめ⇩さとう | 源 ほねの形(冎)＋肉(月)⇩ほね・関節 | 源 刀(刂)でばらばらにする(害→開)。 | 源 とら(虍)といのしし(豕)が戦う⇩激しい・芝居 | 源 かたいもの(亥)を刀(刂)できざむ。 | 源 刀(刂)できずつける⇩はじめ | 源 きん張しひきしめて(堇)つとめる(力)。 | 源 手(扌)とほこ(戈)で自分を守る⇩自分 | 義 むずかしい。困る。欠点。↕易 |
| 熟語 | 補強 補導 | 砂糖 糖分 | 骨子 骨身 | 割合 割愛 | 劇薬 悲劇 | 時刻 刻印 | 独創 創傷 | 勤務 勤行 | 自我 我我 | 難航 無難 |

⑫ 台風に備えて戸を**ホキョウ**する。（弱いところをおぎなうこと）[　　]

⑬ コーヒーに**サトウ**を入れる。（炭水化物のひとつ、かん味料）[　　]

⑭ 提案の**コッシ**を考える。（形を作るために中心となるもの）[　　]

⑮ 賛成者の**ワリアイ**が低い。（全体の中の比率パーセンテージ）[　　]

⑯ **ゲキヤク**の使用には十分注意する。（少量でも深こくな害をおよぼすくすり）[　　]

⑰ 電車の発車**ジコク**を調べる。（流れゆくときのなかの一点）[　　]

⑱ かれは**ドクソウ**的な考え方をする。（他のものにない特徴をもつこと）[　　]

⑲ **キンム**を交代する。（つとめ、働くこと）[　　]

⑳ **ジガ**に目覚める。（「他」から区別された「じぶん」）[　　]

㉑ 協議が**ナンコウ**する。（なかなか進まないこと）[　　]

◉**漢字の起源 パートI**

漢字の起源は、大きく次の四つに分類できる。

①「象形文字」…人の目に映る姿・形をスケッチしたもの。

②「指事文字」…形のない事柄を点や線で表現したもの。

③「会意文字」…できあがっている文字を組み合わせたもの。

④「形声文字」…形(意味)と声(音)を表す文字を組み合わせたもの。

## 訓読み

❶ 誤る [　　]　㉑ 難い 高 [　　]

❾ 訪れる 中 [　　]　❽ みとめる [　　]

⓬ 補う [　　]　⓱ きざむ [　　]

⓯ 割く 中 [　　]　㉑ むずかしい [　　]

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の**熟語の読み**は□の中のどの組み合わせになっていますか。ア〜エの**記号**で答えなさい。

ア 音と音　イ 音と訓
ウ 訓と訓　エ 訓と音

1 石段（　）
2 骨肉（　）
3 貴様（　）
4 幕内（　）
5 筋道（　）
6 生傷（　）

**2** 次の**カタカナ**を**漢字**になおし、**一字だけ**書きなさい。

1 **スイ**進事業（　）
2 **チョウ**カ発電（　）
3 警報**ソウ**置（　）
4 方位**ジ**石（　）
5 親**ゼン**試合（　）
6 警察**ショ**長（　）
7 作品**テン**示（　）
8 危険水**イキ**（　）

**解答**

❶あやま(る) ❾おとず(れる) ⓬おぎな(う) ⓯さ(く) ㉑かた(い) ❽認める ⓱刻む ㉑難しい

**1** 1エ 2ア 3イ 4イ 5ウ 6ウ

**2** 1推 2潮 3装 4磁 5善 6署 7展 8域

4級 3級 準2級 2級 応用編 1回目 2回目 3回目

# 第5回 5級⑤

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 巻 | 己(わりふ) 9 | カン、ま(く)、まき | 源 己はひざを折り曲げる形⇩まく | 巻末(カンマツ)、絵巻(エまき) |
| 2 | 危 | 㔾(わりふ) 6 | キ、あぶ(ない)、あや(うい)、あや(ぶむ) | 源 人(ク)ががけ(厂)でひざまずく(㔾)。 | 危険(キケン)、危害(キガイ) |
| 3 | 卵 | 卩(わりふ) 7 | ラン、たまご | 源 つなげて産みつけたたまごの形。 | 生卵(なまたまご)、卵生(ランセイ) |
| 4 | 郷 | 阝(おおざと) 11 | キョウ、ゴウ | 源 村里の人が向かいあってえん会をするさま。 | 郷土(キョウド)、水郷(スイゴウ) |
| 5 | 郵 | 阝(おおざと) 11 | ユウ | 解 辺境(垂)の村落(阝)。人馬の中けい所。 | 郵便(ユウビン)、郵送(ユウソウ) |
| 6 | 敬 | 攵(ぼくづくり) 12 | ケイ、うやま(う) | 源 強制(攵)してまげる(苟)⇩礼をさせる | 敬遠(ケイエン)、敬具(ケイグ) |
| 7 | 敵 | 攵(ぼくづくり) 15 | テキ、かたき | 義 向かってゆく相手。相当する。 | 敵意(テキイ)、不敵(フテキ) |
| 8 | 欲 | 欠(あくび) 11 | ヨク、ほっ(する)、ほ(しい) | 源 食物(谷↓穀)を前に口をあける(欠)。 | 意欲(イヨク)、欲求(ヨッキュウ) |
| 9 | 段 | 殳(るまた) 9 | ダン | 義 くぎり、部分。てだて、方法。ひときわ。 | 格段(カクダン)、手段(シュダン) |
| 10 | 頂 | 頁(おおがい) 11 | チョウ、いただ(く)、いただき | 源 頭(頁)のてっぺん(丁)⇩いただき | 頂点(チョウテン)、真骨頂(シンコッチョウ) |
| 11 | 預 | 頁(おおがい) 13 | ヨ、あず(ける)、あず(かる) | 義 予と同じ意味(あらかじめ)もある。 | 預金(ヨキン)、預ける(あずける) |

なぞろう　書こう

## 練習

① カンマツに解説をのせる。（書物の最後）［巻末］
② キケン区域につき立入禁止。（あぶないこと）［危険］
③ ナマタマゴを割る。（なにも調理をしていないたまご）［生卵］
④ キョウド色豊かな料理をいただく。（ふるさと）［郷土］
⑤ ユウビンポストはなぜ赤い。（手紙やはがき、それらをあつかう業務・事業）［郵便］
⑥ バッテリーが強打者をケイエンする。（うやまうように見せてとおざけること）［敬遠］
⑦ テキイに満ちた表情をうかべる。（てきと見なしてにくむ気持ち）［敵意］
⑧ イヨクを持って取り組もう。（何かをなしとげようという気持ち）［意欲］
⑨ 料理がカクダンに上達した。（差がはっきりしていること）［格段］
⑩ さわぎがチョウテンに達する。（物事の一番高いところ）［頂点］
⑪ なかなか増えないヨキンの額。（銀行などにあずけたおかね）［預金］

1回目　2回目　3回目

## 訓読み

❶ 巻く ［ま］
❼ 敵討ち 中 ［かたきう］
❽ 欲する 高 ［ほっ］
❿ 頂く ［いただく］
⓬ 亡い 高 ［な］
⓴ 厳か 中 ［おごそ］
❷ あやうい 中 ［危うい］
❻ うやまう ［敬う］
⓫ あずける ［預ける］
⓴ きびしい ［厳しい］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 後の□の中のひらがなを一度だけ使って漢字一字になおし、対義語と類義語を作りなさい。

**対義語**

1 縮小―（拡）大
2 実物―（模）型
3 主犯―（従）犯





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 亡 | 亠(なべぶた) 3 | ボウ、モウ、な(い) | 義 なくなる。死ぬ。にげる。ほろぶ。↕存 | 亡命(ボウメイ)、亡者(モウジャ) |
| 13 | 宇 | 宀(うかんむり) 6 | ウ | 義 四方の広がり。天の意。 | 堂宇(ドウウ)、宇治(ウジ) |
| 14 | 宗 | 宀(うかんむり) 8 | シュウ、ソウ | 源 家(宀)の中に、神(示)をまつる。 | 宗教(シュウキョウ)、宗家(ソウケ) |
| 15 | 宣 | 宀(うかんむり) 9 | セン | 義 広くゆきわたらせる。のべる。注 宜 | 宣告(センコク)、宣伝(センデン) |
| 16 | 宅 | 宀(うかんむり) 6 | タク | 源 家(宀)に落ち着く(乇)⇩すまい | 帰宅(キタク)、宅地(タクチ) |
| 17 | 宙 | 宀(うかんむり) 8 | チュウ | 源 世界をおおう(宀)無限の空間。 | 宇宙(ウチュウ)、宙返り(チュウがえり) |
| 18 | 宝 | 宀(うかんむり) 8 | ホウ、たから | 源 家(宀)に大切に保存するたから(玉)。 | 財宝(ザイホウ)、宝船(たからぶね) |
| 19 | 密 | 宀(うかんむり) 11 | ミツ | 義 すき間がない。くわしい。ひそか。 | 密着(ミッチャク)、内密(ナイミツ) |
| 20 | 厳 | ⺍(つかんむり) 17 | ゲン、ゴン、おごそ(か)、きび(しい) | 義 きびしい。おごそか。いかめしい。 | 厳重(ゲンジュウ)、厳格(ゲンカク) |
| 21 | 署 | 罒(あみがしら) 13 | ショ | 解 あみ(罒)をしかける(者↓処)。人をおく。書く。 | 署名(ショメイ)、部署(ブショ) |

⑫ 日本へボウメイする。（思想的・政じ的な理由で外国へのがれること）［亡命］
⑬ ウジ平等院の鳳凰(ほうおう)堂を見物する。（京都のちめい）［宇治］
⑭ シュウキョウの自由を認める。（人の心の支えとなる思想）［宗教］
⑮ さい判の最終センコクを受ける。（つげて知らせること）［宣告］
⑯ キタク時間はいつもおそい。（自分の家にかえること）［帰宅］
⑰ ウチュウ旅行をする夢をいだく。（この世にそん在するものすべてをふくむ空間）［宇宙］
⑱ 地下にねむっていたザイホウをほりあてる。（おかねやたからもの）［財宝］
⑲ 首相にミッチャク取材をする。（ぴったりと寄りそってはなれないこと）［密着］
⑳ ゲンジュウに守られた美術品。（とてもきびしい様子）［厳重］
㉑ 街頭でショメイを集める。（自分のなまえを書くこと）［署名］

### ●漢字の起源　パートⅡ

「象形文字」の例を一つ。「教」は、頭上にばってんが二つ浮いた子どもを隣(となり)でたしなめる大人の姿をスケッチしたもの（意外に物騒？）。本書では漢字ごとの起源・意味を説明しているので、確認してその理解を深めていこう。なお、漢字の起源は説が分かれることも多いため、その場合はより理解しやすいと思われるものを取り上げている。

**類義語**

4 災難―（危）難
5 広告―（宣）伝
6 加入―加（盟）

かく・き・じゅう・めい・せん・も

**2** 後の□の中から漢字を選んで、次の意味にあてはまる**熟語**を作りなさい。

1 ある意見とはちがう考え。（異存）
2 他人が開いてはいけない手紙。（親展）
3 組織など、人が作ったものの歴史。（沿革）

沿　展　処　親　革
存　反　異

## 解答

❶ま(く)　❼かたきう(ち)　❽ほっ(する)　❿いただ(く)　⓬な(い)　⓴おごそ(か)　❷危うい　❻敬う　⓫預ける　⓴厳しい

**1** 1 拡　2 模　3 従　4 危　5 宣　6 盟
**2** 1 異存　2 親展　3 沿革

4級 3級 準2級 2級 応用編

# 第6回 5級⑥

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 若 | 艹（くさかんむり） 8 | ジャク、ニャク、わか(い)、も(しくは) | 解 弱に通じてわかい意に用いる。 | 若者（わかもの）、老若（ロウニャク） |
| 2 | 蒸 | 艹（くさかんむり） 13 | ジョウ、む(す)、む(れる)、む(らす) | 解 草(艹)+熱(烝)⇩むす。㊟氶の下の一を忘れない。 | 蒸留（ジョウリュウ）、蒸気（ジョウキ） |
| 3 | 蔵 | 艹（くさかんむり） 15 | ゾウ、くら | 源 草(艹)で囲ってしまう(臧)⇩くら | 貯蔵（チョゾウ）、蔵書（ゾウショ） |
| 4 | 著 | 艹（くさかんむり） 11 | チョ、あらわ(す)、いちじる(しい) | 義 書きあらわす。あきらか。めだつ。 | 著名（チョメイ）、著作（チョサク） |
| 5 | 穴 | 穴（あな） 5 | ケツ、あな | 源 ほり分けて(八)作ったあなの家(宀)。 | 穴場（あなば）、墓穴（ボケツ） |
| 6 | 窓 | 穴（あなかんむり） 11 | ソウ、まど | 源 けむりを出す穴⇩まど | 窓口（まどぐち）、車窓（シャソウ） |
| 7 | 簡 | ⺮（たけかんむり） 18 | カン | 源 すきまのある(間)竹ふだ。 | 簡潔（カンケツ）、簡易（カンイ） |
| 8 | 筋 | ⺮（たけかんむり） 12 | キン、すじ | 解 竹+月(肉)+力。竹のすじの連想。 | 背筋（ハイキン）、筋力（キンリョク） |
| 9 | 策 | ⺮（たけかんむり） 12 | サク | 源 もとは馬のむち⇩はかりごと ㊟×束 | 策略（サクリャク）、政策（セイサク） |
| 10 | 党 | 儿（ひとあし） 10 | トウ | 義 故郷のなかま。主に政治的グループ。 | 徒党（トトウ）、党派（トウハ） |
| 11 | 熟 | 灬（れんが） 15 | ジュク、う(れる) | 源 火(灬)でよくにる(孰)。 | 熟練（ジュクレン）、未熟（ミジュク） |
| 12 | 恩 | 心（こころ） 10 | オン | 因 めぐみ。なさけ。いつくしみ。 | 恩師（オンシ）、謝恩（シャオン） |
| 13 | 憲 | 心（こころ） 16 | ケン | 源 自由な目や心をおさえる(害)⇩法 | 憲章（ケンショウ）、憲法（ケンポウ） |
| 14 | 忠 | 心（こころ） 8 | チュウ | 源 心をじゅう実させる(中)⇩心をこめる | 忠言（チュウゲン）、忠実（チュウジツ） |
| 15 | 忘 | 心（こころ） 7 | ボウ、わす(れる) | 源 心の中のものを亡くす⇩わすれる | 備忘（ビボウ）、忘恩（ボウオン） |
| 16 | 盛 | 皿（さら） 11 | セイ、ジョウ、も(る)、さか(る・ん) | 源 皿にうず高くもる(成)⇩さかん ↕衰 | 盛る（もる）、盛大（セイダイ） |
| 17 | 盟 | 皿（さら） 13 | メイ | 源 皿のいけにえの血をすすり神明にちかう。 | 盟友（メイユウ）、連盟（レンメイ） |
| 18 | 尺 | 尸（かばね） 4 | シャク | 義 長さの単位。約三十・三センチメートル。十寸。 | 尺度（シャクド）、縮尺（シュクシャク） |
| 19 | 層 | 尸（かばね） 14 | ソウ | 源 屋(尸)の重なった(曽)建物。 | 地層（チソウ）、層雲（ソウウン） |
| 20 | 展 | 尸（かばね） 10 | テン | 義 ならべる。のびる。広く見る。 | 展望（テンボウ）、発展（ハッテン） |
| 21 | 届 | 尸（かばね） 8 | とど(ける)、とど(く) | 義 いたる。とどく。とどける。 | 届け（とどけ）、不届き（ふとどき） |

なぞろう

若 蒸 蔵 著 穴 窓 簡 筋 策 党 熟 恩 憲 忠 忘 盛 盟 尺 層 展 届

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① **ワカモノ**の意見を積極的に採用する。（年のわかい人）
② **ジョウリュウ**水でコーヒーを入れる。（気体にした液体を、また液体にもどすこと）
③ 食物**チョゾウ**庫に入れる。（たくわえること）
④ **チョメイ**人のサインをもらう。（だれもが知っている状態、ゆうめい）
⑤ つりの**アナバ**を見つけた。（あまり知られていない絶好のところ）
⑥ 病院の**マドグチ**で受付をする。（一番最初に応対してくれるところ）
⑦ 感想を**カンケツ**に表現する。（短くて要領を得ていること）
⑧ **ハイキン**力をきたえる。（せなかのきん肉）
⑨ 敵の**サクリャク**におちいる。（はかりごと、思い通りに動かすための作戦）
⑩ **トトウ**を組む。（何かをたくらんで集まったグループ）
⑪ **ジュクレン**した職人芸に見入る。（経験を積んで、たくみな様子）
⑫ **オンシ**に年賀状を送る。（教えを受けた先生）
⑬ 一九五一年に児童**ケンショウ**が制定された。（理想を示す重要なきまり）
⑭ **チュウゲン**耳に逆らう。（その人のためを思っていうことば）
⑮ 会議の**ビボウ**録をとる。（わすれないように記録するもの）
⑯ ご飯を茶わんに**モ**る。（入れ物に入れて満たすこと）
⑰ かれは私の**メイユウ**です。（ちかいを交わした仲間）
⑱ 人を評価する**シャクド**を検討する。（ものさし）
⑲ 一億年前の**チソウ**が見つかった。（代ごとに積もった土砂・岩石）
⑳ 未来への**テンボウ**を持つ。（遠くをみわたすこと）
㉑ 役所に転居の**トド**けを出す。（提出する書類）

## 訓読み

❶ 若しくは 高
⓫ 熟れる 中
❸ 酒蔵 中
⓯ 忘れる
❹ 著す 中
⓰ 盛ん 中
❹ 著しい 中
❶ わかい
❽ 筋
❷ むらす 中

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 漢字を二字組み合わせた熟語では、二つの漢字の間に意味の上で、次のような関係があります。

ア 反対や対になる意味の字を組み合わせたもの。（例…**強弱**）
イ 同じような意味の字を組み合わせたもの。（例…**進行**）
ウ 上の字が下の字の意味を説明（修飾）しているもの。（例…**直線**）
エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。（例…**開会**）
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。（例…**非常**）

次の**熟語**は、右のア～オのどれにあたるか、**記号**で答えなさい。

1 主従
2 授乳
3 不忠
4 降下
5 晩年
6 紅顔
7 存亡
8 寒暖
9 未済
10 私語





### ●音と訓

漢字の読み方には音と訓の二つがある。音とは中国から伝わった漢字の発音をまねた読み方。訓は漢字の意味と同じ日本語を当てた読み方である。次の漢字を（ ）の読みで読んでみよう。

① 夜（音読み） ② 衣（訓読み）
③ 菊（音読み） ④ 牧場（訓読み）

（解答は下段）

### 解答

❶も(しくは) ❸さかぐら ❹あらわ(す) ❹いちじる(しい) ❽すじ ⓫う(れる) ⓯わす(れる) ⓰さか(ん) ❶若い ❷蒸らす

**1** 1ア 2エ 3オ 4イ 5ウ 6ウ 7ア 8ア 9オ 10ウ

●コラム解答
① や ② ころも ③ きく ④ まきば

# 第7回 5級⑦

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 座 | 广(まだれ) 10 | ザ / すわ(る) | 丶 亠 广 广 庂 应 座 座 座 | 源家(广)にすわる(坐)⇩すわる場所 | 星座(セイザ) 座標(ザヒョウ) |
| 2 | 庁 | 广(まだれ) 5 | チョウ | 丶 亠 广 庁 庁 | 源民の声を聞く(丁音→聴)役所。 | 県庁(ケンチョウ) 庁舎(チョウシャ) |
| 3 | 痛 | 疒(やまいだれ) 12 | ツウ / いた(い) / いた(む) / いた(める) | 亠 广 广 疒 疒 疗 病 痛 痛 | 義病気のいたみ。ひどい。㊟傷む・悼む | 腹痛(フクツウ) 心痛(シンツウ) 痛痛(ツウツウ) |
| 4 | 遺 | 辶(しんにょう) 15 | イ / ユイ | 口 中 虫 冑 冑 貴 貴 遺 遺 | 源道(辶)に物をおとす(貴→棄)。⇩のこす ㊟遺 | 遺産(イサン) 遺言(ユイゴン) |
| 5 | 退 | 辶(しんにょう) 9 | タイ / しりぞ(く) / しりぞ(ける) | フ ヨ ヨ 尸 艮 艮 艮 退 退 | 義さがる。やめる。衰える。追う。↕進 | 退場(タイジョウ) 減退(ゲンタイ) |
| 6 | 延 | 廴(えんにょう) 8 | エン / の(びる) / の(べる) / の(ばす) | 一 丁 千 正 正 延 延 延 | 源道(廴)がまっすぐに(正)のびていく。 | 順延(ジュンエン) 延長(エンチョウ) |
| 7 | 冊 | 冂(どうがまえ) 5 | サツ / サク | 丨 冂 冂 冊 冊 | 源竹札や木札をひもで横につないだ形。 | 冊数(サッスウ) 短冊(タンザク) |
| 8 | 困 | 囗(くにがまえ) 7 | コン / こま(る) | 丨 冂 冂 円 団 困 困 | 源木が囲い(囗)の中でのびられないさま。 | 貧困(ヒンコン) 困難(コンナン) |
| 9 | 閣 | 門(もんがまえ) 14 | カク | 丨 冂 門 門 門 門 門 閃 閣 閣 | 源門を両側で支える止め木⇩建物・役所 | 内閣(ナイカク) 天守閣(テンシュカク) |
| 10 | 閉 | 門(もんがまえ) 11 | ヘイ / と(じる)・ざす / し(める)・まる | 丨 冂 冂 門 門 門 門 閂 閉 閉 | 源門をふさぐ(才)⇩とじる ↕開 | 密閉(ミッペイ) 閉会(ヘイカイ) |
| 11 | 並 | 一(いち) 8 | ヘイ・なみ / なら(べる) / なら(ぶ) / なら(びに) | 丶 丷 丷 兯 并 並 並 | 源人が二人ならんで立つ形。 | 並木(なみき) 並列(ヘイレツ) |
| 12 | 乳 | 乙(おつ) 8 | ニュウ / ちち / ち | 一 ⺈ ⺈ 孚 乳 | [illegible] | 豆乳(トウニュウ) 牛乳(ギュウニュウ) |
| 13 | 乱 | 乚(おつ) 7 | ラン / みだ(れる) / みだ(す) | 二 千 千 舌 舌 乱 | 義みだれる。戦争。むやみに。 | 乱筆(ランピツ) 反乱(ハンラン) |
| 14 | 処 | 几(つくえ) 5 | ショ | ノ ク 夂 処 処 | 義おる、いる。場所。とりはからう。 | 処置(ショチ) 出処(シュッショ) |
| 15 | 券 | 刀(かたな) 8 | ケン | 丶 丷 丷 兰 半 类 券 券 | 義切符。証書の意。㊟下は力でなく刀 | 乗車券(ジョウシャケン) 旅券(リョケン) |
| 16 | 収 | 又(また) 4 | シュウ / おさ(める) / おさ(まる) | 丨 ㄐ 屮 収 | 源旧字は收。しいて(攵)まとめる(丩)。 | 領収(リョウシュウ) 収支(シュウシ) |
| 17 | 后 | 口(くち) 6 | コウ | 一 厂 斤 斤 后 后 | 義きさき。 | 母后(ボコウ) 皇后(コウゴウ) |
| 18 | 善 | 口(くち) 12 | ゼン / よ(い) | 丶 丷 䒑 䒑 羊 羊 羊 羊 善 善 善 | 源神に供える羊とことば(言)⇩よい ↕悪 | 善処(ゼンショ) 善意(ゼンイ) |
| 19 | 否 | 口(くち) 7 | ヒ / いな | 一 ア 不 不 否 否 | 源口でちがう(不)とはっきり言う。 | 賛否(サンピ) 否決(ヒケツ) |
| 20 | 垂 | 土(つち) 8 | スイ / た(れる) / た(らす) | 一 二 三 乒 乒 垂 垂 垂 | 義たれる、たらす。しめす。 | 垂直(スイチョク) 垂訓(スイクン) |
| 21 | 奏 | 大(だい) 9 | ソウ / かな(でる) | 一 二 三 夫 夫 夫 奏 奏 奏 | 義音楽をかなでる。申し上げる。 | 間奏(カンソウ) 奏上(ソウジョウ) |
| 22 | 奮 | 大(だい) 16 | フン / ふる(う) | 大 太 夲 夲 夲 夲 奞 奮 奮 | 源鳥(隹)が田の上で大いに飛びたつ。 | 奮起(フンキ) 発奮(ハップン) |

なぞろう: 座 庁 痛 遺 退 延 冊 困 閣 閉 並 乳 乱 処 券 収 后 善 否 垂 奏 奮

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① ザヒョウじくをえがく。（いちを示すもの）
② ケンチョウ所在地を訪れる。（けんの行政の中心となるところ）
③ フクツウで何も食べられない。（はらのいたみ）
④ 世界イサンに登録される。（先人がのこした大切なもの）
⑤ 式の最後に卒業生がタイジョウする。（そのばしょや会じょうなどから出ていくこと）
⑥ 体育祭は雨でジュンエンになった。（予定の期日をじゅんに先へのばすこと）
⑦ 本のサッスウをかぞえる。（本やノートなどのかず）
⑧ 社会からヒンコンをなくす。（生活にこまるほどまずしいこと）
⑨ ナイカク総理大臣を指名する。（国の行政の最高機関）
⑩ 食品を容器に入れミッペイ状態を保つ。（なにものも入るすきまがない様子）
⑪ 桜ナミキの道を歩く。（道にそって植えられた木）
⑫ トウニュウは健康食品です。（だいずをしぼってとった白い液）
⑬ ランピツのほどお許し下さい。（みだれて読みにくい文字）
⑭ けがのショチをする。（始末すること、手当て）
⑮ 駅でジョウシャケンを買う。（鉄道などの交通機関を利用するための切符）
⑯ リョウシュウ証をもらう。（金銭を受け取ること）
⑰ ボコウにおうかがいを立てる。（天のうのはは親）
⑱ 前向きにゼンショする。（うまくいくようにとりはからうこと）
⑲ 修正案のサンピを問う。（さん成と反対）
⑳ 子供に平行とスイチョクのちがいを説明する。（あるちょく線や面と90度で交わること）
㉑ この歌劇のカンソウ曲は美しい。（曲のとちゅうで演そうされるもの）
㉒ かれのフンキを期待している。（心をふるいたたせること）

● 重箱読みと湯桶読み

上を音、下を訓で読む読み方を「重箱読み」という。逆に上を訓、下を音で読む読み方を「湯桶読み」という。次の熟語は重箱読み、湯桶読みのどちらの読み方か考えてみよう。

①夕刊 ②台所 ③消印 ④縁側 ⑤湯気 ⑥新型 （解答は下段）

## 訓読み

❸ 痛む（　）　㉒ 奮う（　）
❻ 延ばす（　）　❶ すわる 中（　）
❿ 閉める（　）　❺ しりぞく（　）
⑳ 垂れる（　）　❽ こまる（　）
㉑ 奏でる 高（　）　⑬ みだす（　）

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線のカタカナを漢字になおしなさい。

1 シオを加えて味を整える。
2 シオが引いた海辺を歩く。
3 天地ソウゾウの物語を読む。
4 異星人の姿をソウゾウする。
5 シキ折折のふぜい。
6 楽団でシキ者を務める。
7 ジンギの道にはずれた行い。
8 三種のジンギを追い求める。
9 湖面に自分の顔をウツす。
10 保管場所をほかにウツす。
11 話がヘイコウ線をたどる。
12 失礼さにヘイコウする。
13 武道のシナン役を目指す。
14 目標達成はシナンの業だ。

1（　）2（　）3（　）4（　）5（　）6（　）7（　）8（　）9（　）10（　）11（　）12（　）13（　）14（　）

## 解答

❸いた(む) ❻の(ばす) ❿し(める) ⑳た(れる) ㉑かな(でる) ㉒ふる(う) ❶座る ❺退く ❽困る ⑬乱す

**1** 1 塩 2 潮 3 創造 4 想像 5 四季 6 指揮 7 仁義 8 神器 9 映 10 移 11 平行 12 閉口 13 指南 14 至難

● コラム解答
重箱読み…②④⑥ 湯桶読み…①③⑤

# 第8回 5級⑧

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 姿 | 孝 | 存 | 射 | 将 | 寸 | 専 | 尊 | 就 | 己 | 幕 |
| 部首・画数 | おんな 女 9 | こ 子 7 | こ 子 6 | すん 寸 10 | すん 寸 10 | すん 寸 3 | すん 寸 9 | すん 寸 12 | だいのまげあし 尢 12 | おのれ 己 3 | はば 巾 13 |
| 読み | シ / すがた | コウ | ソン / ゾン | シャ / い(る) | ショウ | スン | セン / もっぱ(ら) | ソン / たっと(い・ぶ) / とうと(い・ぶ) | シュウ / ジュ / つ(く) / つ(ける) | コ / キ / おのれ | マク / バク |
| 筆順 | 丶 冫 冫 次 次 次 姿 姿 姿 | 一 十 土 耂 耂 孝 孝 | 一 ナ 才 存 存 存 | 亻 亻 自 自 身 身 射 射 | 丨 丬 丬 丬 丬 将 将 将 | 一 十 寸 | 一 「 戸 亘 亘 亘 車 専 専 | 丷 丷 产 芮 芮 酋 酋 酋 尊 | 亠 亠 亣 京 京 京 就 就 就 | フ コ 己 | 艹 艹 苩 苩 苩 草 莫 莫 幕 |
| 意味・成り立ち | 源女のくつろいだ(次)さま⇩ありさま | 源子が老人(耂)を養う⇩親につくす | 源子どもがいる(才→在)⇩ある | 源矢を手(寸)に持って身から発して放つ。 | 義ひきいる(人)。まさに〜しようとする。 | 義長さの単位。ごくわずかなこと。 | 義もっぱら。ひとりじめ。ほしいまま。 | 源酒だる(酋)を手(寸)で神にささげる。↕卑 | 義つく。なしとげる。おもむく。 | 解糸のはしの形⇩はじめおのれの意も表す。 | 源物をかくす(莫)ための布(巾)。 |
| 用例 | 容姿(ヨウシ) 姿見(すがたみ) 姿(シ) | 孝行(コウコウ) 孝養(コウヨウ) | 温存(オンゾン) 存在(ソンザイ) | 注射(チュウシャ) 反射(ハンシャ) 射(シャ) | 将来(ショウライ) 武将(ブショウ) | 一寸(イッスン) 寸劇(スンゲキ) | 専属(センゾク) 専念(センネン) | 尊重(ソンチョウ) 尊敬(ソンケイ) | 就任(シュウニン) 成就(ジョウジュ) | 自己(ジコ) 知己(チキ) | 幕末(バクマツ) 字幕(ジマク) |

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 干 | 幼 | 承 | 暮 | 朗 | 染 | 泉 | 灰 | 異 | 疑 |
| 部首・画数 | かん・いちじゅう 干 3 | いとがしら 幺 5 | て 手 8 | ひ 日 14 | つき 月 10 | き 木 9 | みず 水 9 | ひ 火 6 | た 田 11 | ひき 疋 14 |
| 読み | カン / ほ(す) / ひ(る) | ヨウ / おさな(い) | ショウ / うけたまわ(る) | ボ / く(れる) / く(らす) | ロウ / ほが(らか) | セン / そ(める・まる) / し(みる・み) | セン / いずみ | カイ / はい | イ / こと | ギ / うたが(う) |
| 筆順 | 一 二 干 | 𠃋 幺 幺 幻 幼 | 了 了 子 手 手 手 承 承 | 艹 艹 芦 芦 苎 莫 莫 暮 | 丶 ㇇ ヨ 自 良 朗 朗 朗 | 丶 氵 氵 氿 氿 沈 染 染 染 | 丿 亻 白 白 白 身 身 泉 | 一 厂 厂 灰 灰 灰 | 口 四 田 田 甲 甲 異 異 異 | 匕 匕 矣 矣 疑 疑 疑 疑 疑 |
| 意味・成り立ち | 源ほこの形⇩おかす・ほす 注×千・×于 乾と区別 | 源力が小さい(幺)⇩おさない | 義うけつぐ。うけ入れる。きく。 | 源草はら(莫)に日がしずむ。 | 源月光が明るい(良)⇩ほがらか | 源木の汁(氵)に九回(何度も)入れてそめる。 | 源岩の間から水がわき出している形。 | 源手(𠂇)で持つ火の燃えさし⇩はい | 源おにの面をかぶるひとの形⇩別じん | 源子ども(マ)が見まわす(矣)⇩迷う |
| 用例 | 干潮(カンチョウ) 十干(ジッカン) 干(カン) | 幼虫(ヨウチュウ) 長幼(チョウヨウ) 幼(ヨウ) | 承知(ショウチ) 伝承(デンショウ) 承(ショウ) | 夕暮れ(ゆうぐれ) 暮春(ボシュン) | 朗報(ロウホウ) 明朗(メイロウ) | 染める(そめる) 染色(センショク) | 冷泉(レイセン) 鉱泉(コウセン) 泉(セン) | 灰皿(はいざら) 石灰(セッカイ) | 異議(イギ) 異状(イジョウ) | 疑問(ギモン) 容疑(ヨウギ) |

なぞろう

書こう

## 練習

① **ヨウシ**とともに内面にもみがきをかける。　すがたかたち、顔やスタイル
② 親**コウコウ**なむすめの話に感動する。　子が親を大切にすること
③ 体力を**オンゾン**する。　大事にとっておくこと
④ 予防**チュウシャ**を打つ。　針を使って体内に薬を入れること
⑤ **ショウライ**の夢を語る。　時間的に先のこと、みらい
⑥ **イッスン**先はやみである。　ほんのすこし
⑦ **センゾク**のスタッフがつく。　一つ・一人とだけけい約すること
⑧ 個人の意志を**ソンチョウ**する。　とうとび、おもんじること
⑨ **シュウニン**のあいさつをする。　にん務につくこと
⑩ **ジコ**主張の強い人物だ。　じぶんじしん
⑪ **バクマツ**の混乱期について学習する。　江戸時代の終わりを指す
⑫ **カンチョウ**で水位が下がる。　しおがひいて、海面が最も低くなった状態
⑬ やごはトンボの**ヨウチュウ**だ。　せいちゅうになる前の状態
⑭ 打ち合わせの件、**ショウチ**しました。　相手の要望を聞き入れること
⑮ **ユウグ**れの海をながめる。　ゆう方のうす暗くなった空の色・景色
⑯ 合格の**ロウホウ**にわく。　よいしらせ
⑰ 白い布を青く**ソ**める。　色のついた液体にひたしてその色をつけること
⑱ 新たな**レイセン**がわき出た。　おんど度の低いわき水
⑲ **ハイザラ**を使う。　タバコのはいを受けるさら
⑳ その意見に**イギ**があります。　反対する意見
㉑ **ギモン**を解決する。　うたがう気持ち

## 訓読み

❶ すがた　❽ 尊い
❼ もっぱら 中　❾ 就く 中
⓬ ほす　⓮ 承る 中
⓭ おさない　⓲ 泉
⓴ ことなる　㉑ 疑う

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線のカタカナを漢字になおしなさい。

1 テニス部の**シュショウ**を決める。（　）
2 晴れた日には虫**ボ**しをしよう。（　）
3 激しい**トウロン**が行われた。（　）
4 布団**アッシュク**ぶくろを買った。（　）
5 チョモランマの**イタダキ**に登る。（　）
6 図書館は知識の**ホウコ**だ。（　）
7 実力の差を**ツウカン**した。（　）
8 勇ましい**スガタ**を写真に残す。（　）
9 **タクハイビン**で届けられる。（　）
10 川岸の桜並木を**ホゾン**したい。（　）
11 **ハクサ**青松の景色を楽しむ。（　）
12 的を**イ**た意見だ。（　）





●**呉音・漢音・唐音**

音には次の三種類がある。

①呉音…百済から伝わった呉の地方の音。仏教語に多い。・(行列)

②漢音…遣唐使により伝えられた唐の都長安付近の発音。今最も多く使われている。・(行動)

③唐音…禅僧や商人によって伝えられた宋・明・清時代の発音。数は少ない。・(行脚)

## 解答

❽ とうと(い)・たっと(い)　❾ つ(く)　⓮ うけたまわ(る)　⓲ いずみ　㉑ うたが(う)　❶ 姿　❼ 専ら　⓬ 干す　⓭ 幼い　⓴ 異なる

**1** 1 主将　2 干　3 討論　4 圧縮　5 頂　6 宝庫　7 痛感　8 姿　9 宅配便　10 保存　11 白砂　12 射



4級　3級　準2級　2級　応用編　1回目　2回目　3回目

# 第9回 5級⑨

| 番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 皇 | 看 | 系 | 翌 | 聖 | 胃 | 背 | 至 | 舌 | 蚕 | 衆 |
| 部首・画数 | しろ 白 9 | め 目 9 | いと 糸 7 | はね 羽 11 | みみ 耳 13 | にく 肉 9 | にく 肉 9 | いたる 至 6 | した 舌 6 | むし 虫 10 | ち 血 12 |
| 読み | コウ オウ | カン | ケイ | ヨク | セイ | イ | ハイ せ・せい そむ(く) そむ(ける) | シ いた(る) | ゼツ した | サン かいこ | シュウ シュ |
| 意味 | 源 はじめの王が原義。㊟天皇(てんのう) | 源 手を目の上にかざして見る。 | 源 糸をつないで長くのばす(ノ)。 | 義 あくる日。次。 | 義 神の声を聞き知徳をみがいたひと。 | 源 田は胃袋の形。月はにくづき。 | 源 北はひとが背中合わせに立つ形⇩身体の裏 | 義 とどく、ゆきつく。この上ない。 | 源 口から出したしたの形。 | 解 かいこ。まゆから絹糸を取る。 | 義 多くの。多くのひと。民。 |
| 用例 | 法皇(ホウオウ) 皇室(コウシツ) | 看過(カンカ) 看護(カンゴ) | 系統(ケイトウ) 系列(ケイレツ) | 翌朝(ヨクあさ) 翌日(ヨクジツ) | 聖人(セイジン) 神聖(シンセイ) | 胃腸(イチョウ) 胃液(イエキ) | 背任(ハイニン) 背景(ハイケイ) | 必至(ヒッシ) 冬至(トウジ) | 弁舌(ベンゼツ) 舌戦(ゼッセン) | 蚕食(サンショク) 養蚕(ヨウサン) | 衆議(シュウギ) 衆生(シュジョウ) |

なぞろう　書こう

## 練習

① 後白河(ごしらかわ)**ホウオウ**は今様(いまよう)を好んだ。（権力をもったまま天のうから退き出家したひと）

② 校則に反する行動は**カンカ**できない。（見すごすこと）

③ **ケイトウ**だてて話をする。（一つの筋道でつながるもの）

④ **ヨクアサ**早く出発する。（次の日のあさ）

⑤ かれは**セイジン**君子のような青年だ。（行いやひとがらが理想的ですぐれているひと）

⑥ **イチョウ**が弱くて困る。（いとちょう）

⑦ 会社に対する**ハイニン**を疑う。（にん務にそむくこと）

⑧ 内閣総辞職は**ヒッシ**の様相だ。（さけることができないこと）

⑨ **ベンゼツ**さわやかに話す。（物の言い方）

⑩ じわじわと**サンショク**する。（他の領土や領域をはしの方からしん略すること）

⑪ **シュウギ**院の解散総選挙が報道される。（大勢で相談しあうこと）

⑫ **サイケツ**を申しわたす。（さばき、さい判所のけっ定）

⑬ 録音**ソウチ**が故障した。（仕かけ、設備）

⑭ 証言の**ウラヅ**けが得られた。（よりどころとなること、確かな証こ）

⑮ 広い**シヤ**を持つことが大切だ。（目に入るはん囲）

⑯ 万国**ハクラン**会が始まった。（広くから集めたものを見ること）

⑰ **リンカイ**工業地帯に工場が並ぶ。（うみのすぐ近く）

⑱ **ケイサツ**官になりたい。（世のちつ序を保つための組織）

⑲ **キチョウ**な体験をする。（めったにないほどすばらしい）

⑳ **ウンチン**は後ばらいです。（乗り物にのせてもらうためのお金）

㉑ ロシア**カクメイ**で社会主義政権が誕生した。（支配者階級をたおして政権をうばうこと）

## 訓読み

❼ 背骨　❾ 舌　❿ 蚕　⓬ 裁つ 中　⓭ 装う 高

⓱ 臨む 中　⓳ 貴い 中　❼ そむく 中　❽ いたる　⓬ さばく

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 後の□の中のひらがなを**一度だけ**使って**漢字一字**になおし、**対義語と類義語**を作りなさい。

**対義語**

1 寒冷―温（　）

2 増進―減（　）

3 過去―（　）来





| 番号 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 裁 | 装 | 裏 | 視 | 覧 | 臨 | 警 | 貴 | 賃 | 革 |
| 部首・画数 | ころも 衣 12 | ころも 衣 12 | ころも 衣 13 | みる 見 11 | みる 見 17 | しん 臣 18 | げん 言 19 | こがい・かい 貝 12 | こがい・かい 貝 13 | かくのかわ 革 9 |
| 読み | サイ た(つ) さば(く) | ソウ ショウ よそお(う) | リ うら | シ | ラン | リン のぞ(む) | ケイ | キ たっと(い・ぶ) とうと(い・ぶ) | チン | カク かわ |
| 意味 | 源 衣を切断する(𢦏)⇩たつ・さばく | 源 布(衣)をつつみ入れる(壮)。 | 源 衣のうらがわ⇩うら ㊟×裏 | 源 一点をさして(ネ→示)見る。 | 義 よく見る。広く見る。ながめ。 | 義 目の前にする。見おろす。 | 源 いましめて(敬)言う⇩いましめる | 源 財貨(貝)が山積み(𠀐)⇩貴い ↕賤 | 源 仕事(任)に対して支はらうお金(貝)。 | 解 手でかわを広げた形。改める意もある。 |
| 用例 | 裁決(サイケツ) 洋裁(ヨウサイ) | 装置(ソウチ) 盛装(セイソウ) | 裏付け(うらづけ) 表裏(ヒョウリ) | 視野(シヤ) 無視(ムシ) | 博覧(ハクラン) 遊覧(ユウラン) | 臨海(リンカイ) 君臨(クンリン) | 警察(ケイサツ) 警告(ケイコク) | 貴重(キチョウ) 高貴(コウキ) | 賃金(チンギン) 運賃(ウンチン) | 革命(カクメイ) 皮革(ヒカク) |

**◉特別な読み方をする漢字（熟字訓(じゅくじくん)）**

「時雨」と書いて「しぐれ」と読む。「時」を「しぐ」、「雨」を「れ」と読むわけではない。「しぐれ」にあたる中国語の単語がなかったため意味を考え、ときどき降る雨ということで「時雨」と当てたわけである。このような読み方を熟字訓という。ほかにも「土産」（みやげ）、「田舎」（いなか）などがある。常用漢字表「付表」（P156）にも掲載されているので確認してみよう。

**類義語**

4 助言―（　）告

5 給料―（　）金

6 快活―明（　）

ちゅう・たい・ろう
しょう・ちん・だん

**2** 後の□の中から漢字を選んで、次の意味にあてはまる**熟語**を作りなさい。

1 予定した日時を先にのばすこと。（　）

2 持っている力を十分に出すこと。（　）

3 引きしまってちぢまること。（　）

揮　認　承　縮　延
収　期　発

**解答**

❼せぼね ❾した ❿かいこ ⓬た(つ) ⓭よそお(う) ⓱のぞ(む) ⓳とうと(い)・たっと(い) ❼背く ❽至る ⓬裁く

**1** 1 暖　2 退　3 将　4 忠　5 賃　6 朗

**2** 1 延期　2 発揮　3 収縮

# 第10回 4級①

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 成り立ち・意味 | 熟語 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 依 | にんべん イ 8 | イ エ | 源 人(イ)にまとわりつく衣⇩たよる | 依存 依然 |
| 2 | 偉 | にんべん イ 12 | イ えら(い) | 解 並からはなれ(韋)た人。すぐれてえらい。 | 偉業 偉大 |
| 3 | 儀 | にんべん イ 15 | ギ | 源 人(イ)の正しく美しい行い(義)。 | 儀式 流儀 |
| 4 | 仰 | にんべん イ 6 | ギョウ コウ あお(ぐ) おお(せ) | 義 見あげる。うやまう。飲む。言われる。 | 仰天 信仰 |
| 5 | 傾 | にんべん イ 13 | ケイ かたむ(く) かたむ(ける) | 源 人(イ)の体がかたむく(頃)。 | 傾向 傾倒 |
| 6 | 伺 | にんべん イ 7 | シ うかが(う) | 源 他人のことを司る人(イ)⇩うかがう。たずねる | 伺う 伺候 |
| 7 | 侵 | にんべん イ 9 | シン おか(す) | 義 しだいに他人の領分に入りこむ意。㊟浸 | 侵害 侵攻 |
| 8 | 僧 | にんべん イ 13 | ソウ | 解 仏道を修める人。曽(曾)は仏教語の音に該当する。 | 僧院 小僧 |
| 9 | 俗 | にんべん イ 9 | ゾク | 源 人(イ)が谷の中で暮らす⇩ならわし | 世俗 俗物 |
| 10 | 倒 | にんべん イ 10 | トウ たお(れる) たお(す) | 源 人(イ)がさかさま(到)になる。 | 倒置 転倒 |
| 11 | 傍 | にんべん イ 12 | ボウ かたわ(ら) | 源 人(イ)のかたわら(旁)⇩そば・かたわら | 傍観 路傍 |
| 12 | 叫 | くちへん 口 6 | キョウ さけ(ぶ) | 源 声をしぼり出し(丩)てさけぶ。 | 絶叫 叫呼 |
| 13 | 咲 | くちへん 口 9 | さ(く) | 解 漢文では「笑」と同じ意。花がさく。 | 咲く 早咲き |
| 14 | 吹 | くちへん 口 7 | スイ ふ(く) | 源 口を大きくあけ(欠)て息を出す。 | 吹く 鼓吹 |
| 15 | 嘆 | くちへん 口 13 | タン なげ(く) なげ(かわしい) | 義 なげき悲しむ。感心してほめる。 | 感嘆 悲嘆 |
| 16 | 吐 | くちへん 口 6 | ト は(く) | 源 草木をはき出す(口)大地(土)。 | 吐息 吐露 |
| 17 | 噴 | くちへん 口 15 | フン ふ(く) | 源 口から勢いよくふき出す。 | 噴水 噴煙 |
| 18 | 壊 | つちへん 土 16 | カイ こわ(す) こわ(れる) | 源 もとは岩石(土)がこわれる意。 | 破壊 倒壊 |
| 19 | 堤 | つちへん 土 12 | テイ つつみ | 源 土を盛り水をとどめる(是)⇩土手 | 堤防 突堤 |
| 20 | 塔 | つちへん 土 12 | トウ | 源 土や石を積みあげて高くしたもの。 | 金字塔 |
| 21 | 坊 | つちへん 土 7 | ボウ ボッ | 義 僧りょの部屋。男の子。 | 坊主 寝坊 |
| 22 | 峠 | やまへん 山 9 | とうげ | 義 山をこえる坂道の頂上。絶頂期。 | 峠 峠道 |
| 23 | 峰 | やまへん 山 10 | ホウ みね | 義 山頂。高くなっているところ。 | 主峰 連峰 |

なぞろう

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① イゼンとしてテーマが定まらない。（元の通り）
② かれの功績はイダイだ。（おおきく立派なこと）
③ ギシキをとり行う。（節目の行事、セレモニー）
④ シンコウ心が厚い人たち。（神仏などをしんじること）
⑤ 入試のケイコウを調査する。（ある方こうへむかうさま）
⑥ 社長の意見をウカガう。（「聞く」「たずねる」のけんじょう語）
⑦ 基本的人権のシンガイは許されない。（他人の権利などをおかす）
⑧ 山奥のソウインを訪ねる。（そうがいる建物、寺いん）
⑨ セゾクのあかにまみれる。（せけん、せけんの風習）
⑩ トウチ法による文章。（さかさまになること）
⑪ ボウカン者の立場をとる。（かかわらずにそばで見ること）
⑫ 急にゼッキョウが聞こえてきた。（おお声でさけぶこと）
⑬ 桜がサいた。（花が開くこと）
⑭ たくさんのやなぎの芽がフいた。（花の芽や粉が現れること）
⑮ 「！」はカンタンを表す記号だ。（かん心してほめること）
⑯ 小さなトイキをつく。（ためいき）
⑰ 公園の中央にフンスイがある。（みずをふき出させる装ち）
⑱ 戦争でハカイされた街。（こわすこと）
⑲ テイボウのランニングコースを走る。（みずをふせぐための構築物、つつみ土手）
⑳ キンジトウを打ち建てる。（後世にながく残るほどのすぐれた業績）
㉑ ボウズ頭の男の子を見かけた。（寺のそう、男子をいやしめたり親しんでいう語）
㉒ トウゲをこえる旅人。（山の坂道を登りつめたところ）
㉓ ヒマラヤのシュホウを目指す。（山脈の中で一番高い山）

## 訓読み

❹ 仰せ 高
❺ 傾ける
❼ 侵す
❿ 倒れる
⓭ 咲く
⓮ 吹く
⓰ 吐く
⓱ 噴く
❷ えらい
❹ あおぐ
⓫ かたわら 高
⓬ さけぶ
⓯ なげく
⓲ こわす

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線の漢字の読みをひらがなで記せ。

1 雨水の流入量を制御する。（　）
2 美しい光沢がある皿に盛る。（　）
3 ボタンを押す。（　）
4 難問に苦悩する。（　）
5 演劇の脚本を担当する。（　）
6 空気が抜けたボール。（　）
7 机の横幅を測る。（　）
8 暇な休日を過ごす。（　）
9 子犬が庭を駆け回っている。（　）
10 美しい柄の着物を着る。（　）

### 解答

❹おお(せ) ❺かたむ(ける) ❼おか(す) ❿たお(れる) ⓭さ(く) ⓮ふ(く) ⓰は(く) ⓱ふ(く) ❷偉い ❹仰ぐ ⓫傍ら ⓬叫ぶ ⓯嘆く ⓲壊す

**1** 1 せいぎょ 2 こうたく 3 お 4 くのう 5 きゃくほん 6 ぬ 7 よこはば 8 ひま 9 か 10 がら

# 第11回 4級②

| No. | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 婚 | 女（おんなへん）11 | コン | 解 昔は夕暮れ（昏）に結婚した。 | 結婚（ケッコン）・婚約（コンヤク） |
| 2 | 姓 | 女（おんなへん）8 | セイ・ショウ | 源 女から生まれた血筋⇩一族・苗字 | 姓名（セイメイ）・同姓（ドウセイ） |
| 3 | 奴 | 女（おんなへん）5 | ド | 義 しもべ。人をいやしめて呼ぶ語。 | 農奴（ノウド）・奴隷（ドレイ） |
| 4 | 妙 | 女（おんなへん）7 | ミョウ | 義 せん細ですぐれたさま。おかしなの意も。 | 妙案（ミョウアン）・奇妙（キミョウ） |
| 5 | 娘 | 女（おんなへん）10 | むすめ | 源 良い女⇩むすめ | 娘（むすめ） |
| 6 | 弾 | 弓（ゆみへん）12 | ダン・ひ（く）・はず（む）・たま | 源 石をはじきうつ弓。また、その石のたま。 | 弾丸（ダンガン）・弾圧（ダンアツ） |
| 7 | 御 | 彳（ぎょうにんべん）12 | ギョ・ゴ・おん | 源 馬をあやつる⇩支配する・防ぐ・敬語 | 防御（ボウギョ）・御礼（おんレイ） |
| 8 | 征 | 彳（ぎょうにんべん）8 | セイ | 源 まっすぐ（正）進げきする（彳）。 | 遠征（エンセイ）・征服（セイフク） |
| 9 | 徴 | 彳（ぎょうにんべん）14 | チョウ | 義 めしあげる。とりたてる。しるし。 注 微 | 追徴（ツイチョウ）・徴兵（チョウヘイ） |
| 10 | 彼 | 彳（ぎょうにんべん）8 | ヒ・かれ・かの | 義 遠いものを指す。（かなた） 注 彼方 | 彼女（かのジョ）・彼岸（ヒガン） |
| 11 | 微 | 彳（ぎょうにんべん）13 | ビ | 義 かすか。少し。おとろえる。 注 徴 | 微妙（ビミョウ）・微力（ビリョク） |
| 12 | 憶 | 忄（りっしんべん）16 | オク | 源 心（忄）に思って（意）忘れない。 | 記憶（キオク）・憶測（オクソク） |
| 13 | 恒 | 忄（りっしんべん）9 | コウ | 源 不変（亘）の心（忄）⇩つね | 恒例（コウレイ）・恒星（コウセイ） |
| 14 | 惨 | 忄（りっしんべん）11 | サン・**ザン**・**みじ（め）** | 源 心（忄）をおかす（参→侵）⇩いたましい・むごい | 悲惨（ヒサン）・惨事（サンジ） |
| 15 | 慎 | 忄（りっしんべん）13 | シン・つつし（む） | 源 真をつくす心（忄）でことにあたる。 | 慎重（シンチョウ）・慎む（つつしむ） |
| 16 | 悩 | 忄（りっしんべん）10 | ノウ・なや（む）・なや（ます） | 源 心（忄）や頭（㐫→脳）につきまとう。 | 苦悩（クノウ）・悩む（なやむ） |
| 17 | 怖 | 忄（りっしんべん）8 | フ・こわ（い） | 解 怖（甫はおそれる意）の別体。おじけづく。 | 恐怖（キョウフ）・怖い（こわい） |
| 18 | 忙 | 忄（りっしんべん）6 | ボウ・いそが（しい） | 源 落ち着いた心（忄）を失う（亡）。 ↕閑 | 繁忙（ハンボウ）・忙殺（ボウサツ） |
| 19 | 慢 | 忄（りっしんべん）14 | マン | 義 なまける心。他をあなどる。長びく。 注 漫 | 自慢（ジマン）・慢性（マンセイ） |
| 20 | 陰 | 阝（こざとへん）11 | イン・かげ・かげ（る） | 解 丘（阝）の雲がおおう（侌→含）側。かげ。 ↕陽 | 陰気（インキ）・陰徳（イントク） |
| 21 | 隠 | 阝（こざとへん）14 | イン・かく（す）・かく（れる） | 源 丘（阝）にかくれ（㥯）て見えない。 | 隠者（インジャ）・隠居（インキョ） |
| 22 | 陣 | 阝（こざとへん）10 | ジン | 義 じんだて。いくさ。にわかに。 | 円陣（エンジン）・出陣（シュツジン） |
| 23 | 隣 | 阝（こざとへん）16 | リン・とな（る）・となり | 源 並び連なる（粦）村（阝）⇩となり | 隣席（リンセキ）・両隣（リョウどなり） |

なぞろう

書こう

※偏は「偏」と書く

## 練習

1回目 1 / 2回目 2 / 3回目 3

① **ケッコン**式に招かれる。（夫婦になること）［ ］
② **セイメイ**を書き入れる。（みょう字と名前）［ ］
③ **ノウド**解放をうったえる。（ほう建社会で領主に支配されたのう民）［ ］
④ **ミョウアン**がうかんだ。（非常によい考え）［ ］
⑤ 兄には**ムスメ**と息子がいる。（おんなの子供、若い未こんのじょ性）［ ］
⑥ **ダンガン**のようにかけ抜ける。（鉄ぽうや大ほうのたま）［ ］
⑦ 外敵からのこうげきを**ボウギョ**する。（ふせぐこと）［ ］
⑧ 海外**エンセイ**に出かける。（せいばつ・試合・探検などでとおくへ行くこと）［ ］
⑨ **ツイチョウ**金を取られた。（不足額をあとから取り立てること）［ ］
⑩ **カノジョ**の誕生日に花束をおくる。（第三しゃのじょ性を呼ぶ語、じょ性のこい人）［ ］
⑪ **ビミョウ**な心の動きを読む。（細かいところにふくまれる美しさやすばらしさ）［ ］
⑫ **キオク**にとどめておく。（忘れずに覚えていること）［ ］
⑬ 毎年**コウレイ**の行事。（いつも決まって行われること）［ ］
⑭ **ヒサン**な事件に胸を痛める。（まともに見ることができないほど痛ましい様子）［ ］
⑮ **シンチョウ**に検討する。（注意深くすること）［ ］
⑯ **クノウ**の中から生まれた格言。（くるしみなやむこと）［ ］
⑰ **キョウフ**感がつのる。（おそろしい感じ）［ ］
⑱ **ハンボウ**をきわめる。（いそがしい様子）［ ］
⑲ **ジマン**話をする。（じ分やじ分と関係の深いものをほめてほこる）［ ］
⑳ **インキ**なムードを吹き飛ばす。（暗いふんいき）［ ］
㉑ 兼好法師（けんこうほうし）は**インジャ**だった。（世間からはなれて生きる人）［ ］
㉒ 試合前に**エンジン**を組む。（えん形にじん取ること）［ ］
㉓ **リンセキ**の人と話す。（となりのせき）［ ］

## 訓読み

❻ 弾く［ ］
❻ 弾［ ］
❼ 御中［ ］
⓮ 惨め 高［ ］
⓯ 慎む［ ］
⓰ 悩ます［ ］
⓱ 怖い［ ］
❻ はずむ［ ］
⓲ いそがしい［ ］
⓴ かげる［ ］
㉑ かくれる［ ］
㉓ となり［ ］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線のカタカナにあてはまる漢字を後の（ ）の中からそれぞれ一つ選んで記せ。

1 離れてボウ観する。
2 朝寝ボウをする。
3 ボウ子をかぶる。
（棒 傍 帽 剖 坊）
1（ ） 2（ ） 3（ ）

4 地震でトウ壊した建物。
5 トウ難にあった指輪。
6 格トウ技が好きな人。
（盗 闘 討 倒 踏）
4（ ） 5（ ） 6（ ）

7 感タンの声があがる。
8 タン水と海水を区別する。
9 タン念に確認する。
（探 淡 端 嘆 丹）
7（ ） 8（ ） 9（ ）

10 カりをする民族を調べる。
11 図書館で本をカりる。
12 草カりをする。
（狩 刈 駆 仮 借）
10（ ） 11（ ） 12（ ）

## 解答

❻ ひ（く） ❻ たま ❼ おんちゅう ⓮ みじ（め） ⓯ つつし（む） ⓰ なや（ます） ⓱ こわ（い） ❻ 弾む ⓲ 忙しい ⓴ 陰る ㉑ 隠れる ㉓ 隣

**1** 1 傍 2 坊 3 帽 4 倒 5 盗 6 闘 7 嘆 8 淡 9 丹 10 狩 11 借 12 刈

| 番号 | 漢字 | 部首 | 画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 汚 | 氵（さんずい） | 6 | オ・けが（す・れる・らわしい）・よご（す・れる）・きたな（い） | 丶 冫 氵 汀 汚 汚 | 義 不潔。名声を失う。 | 汚職（オショク）・汚名（オメイ） |
| 2 | 汗 | 氵（さんずい） | 6 | カン・あせ | 丶 冫 氵 汀 汀 汗 | 源 強いてする（干）ときに出る水（氵）。 | 汗顔（カンガン）・冷や汗（ひやあせ） |
| 3 | 況 | 氵（さんずい） | 8 | キョウ | 丶 冫 氵 氵 沪 沪 泂 況 | 義 ありさま、ようす。たとえる。 | 近況（キンキョウ）・不況（フキョウ） |
| 4 | 沼 | 氵（さんずい） | 8 | ショウ・ぬま | 丶 冫 氵 汀 汈 沼 沼 沼 | 源 水（氵）をまねく（召）が原義。 | 沼（ぬま）地（チ）・沼沢（ショウタク） |
| 5 | 浸 | 氵（さんずい） | 10 | シン・ひた（す）・ひた（る） | 丶 冫 氵 汀 沪 沪 浔 浔 浸 浸 | 義 水がすみずみまでしみこむ。注 侵 | 浸水（シンスイ）・浸透（シントウ） |
| 6 | 沢 | 氵（さんずい） | 7 | タク・さわ | 丶 冫 氵 沪 沪 沢 沢 | 義 さわ。つや。うるおう。 | 光沢（コウタク）・沢山（タクサン） |
| 7 | 濁 | 氵（さんずい） | 16 | ダク・にご（る）・にご（す） | 丶 冫 氵 沪 沪 渭 渭 濁 濁 濁 | 義 汚れてきたない、とう明でない。↕清 | 濁（ダク）音（オン）・濁流（ダクリュウ） |
| 8 | 淡 | 氵（さんずい） | 11 | タン・あわ（い） | 丶 冫 氵 氵 沙 沙 汫 汫 淡 淡 淡 | 源 地からあがる陽炎（かげろう）⇩あわい | 淡雪（あわゆき）・淡泊（タンパク） |
| 9 | 澄 | 氵（さんずい） | 15 | チョウ・す（む）・す（ます） | 丶 冫 氵 沙 沪 沪 浐 浐 澄 澄 澄 | 義 濁りがなく清らか。 | 上澄み（うわずみ）・澄明（チョウメイ） |
| 10 | 沈 | 氵（さんずい） | 7 | チン・しず（む）・しず（める） | 丶 冫 氵 氵 沪 沈 沈 | 義 水の中にしずむ。元気がない。冷静。↕浮 | 沈着（チンチャク）・沈黙（チンモク） |
| 11 | 滴 | 氵（さんずい） | 14 | テキ・しずく・したた（る） | 丶 冫 氵 汁 汁 浐 浐 浐 滴 滴 滴 滴 | 源 したたり落ちる（商）水（氵）⇩しずく | 水滴（スイテキ）・点滴（テンテキ） |
| 12 | 添 | 氵（さんずい） | 11 | テン・そ（える）・そ（う） | 丶 冫 氵 汗 汗 沃 沃 添 添 添 添 | 義 つけ加える。つれそう、つき従う。 | 添加（テンカ）・添付（テンプ） |
| 13 | 渡 | 氵（さんずい） | 12 | ト・わた（る）・わた（す） | 丶 冫 氵 氵 汻 汻 沪 沪 渡 渡 渡 渡 | 源 水（氵）＋度（ものさしをわたしてはかる）が原義。 | 渡来（トライ）・過渡（カト） |
| 14 | 濃 | 氵（さんずい） | 16 | ノウ・こ（い） | 丶 冫 氵 泗 泗 泗 濃 濃 濃 濃 | 源 液体（氵）がねばって（農）こい。↕淡・薄 | 濃淡（ノウタン）・濃縮（ノウシュク） |
| 15 | 泊 | 氵（さんずい） | 8 | ハク・と（まる）・と（める） | 丶 冫 氵 氵 泊 泊 泊 泊 | 源 ふねが近づいて（白）とまる水辺（氵）。 | 宿泊（シュクハク）・外泊（ガイハク） |
| 16 | 浜 | 氵（さんずい） | 10 | ヒン・はま | 丶 冫 氵 氵 沂 沂 浜 浜 浜 浜 | 義 水辺の意。 | 海浜（カイヒン）・浜辺（はまべ） |
| 17 | 浮 | 氵（さんずい） | 10 | フ・う（く・かれる・かぶ・かべる） | 丶 冫 氵 氵 汻 汻 浮 浮 浮 浮 | 義 水にうく。はかない。 | 浮沈（フチン）・浮き世（うきよ） |
| 18 | 漫 | 氵（さんずい） | 14 | マン | 丶 冫 氵 氵 沪 泪 渇 渇 温 漫 漫 漫 | 源 水（氵）が果てしなく続く（曼）。注 慢 | 散漫（サンマン）・漫然（マンゼン） |
| 19 | 溶 | 氵（さんずい） | 13 | ヨウ・と（ける）・と（かす）・と（く） | 丶 冫 氵 氵 沪 沪 浐 浐 浴 溶 溶 溶 溶 | 義 水にとけこむ。固体が液状になる。注 解ける | 溶解（ヨウカイ）・溶接（ヨウセツ） |
| 20 | 涙 | 氵（さんずい） | 10 | ルイ・なみだ | 丶 冫 氵 汀 沪 沪 沪 涙 涙 涙 | 源 目から連なり落ちる（戻）水（氵）。 | 涙声（なみだごえ）・感涙（カンルイ） |
| 21 | 幅 | 巾（はばへん） | 12 | フク・はば | 丨 冂 巾 巾 帄 帄 帄 幅 幅 幅 幅 幅 | 源 織物（巾↓布）のはば⇩物のはば | 道幅（みちはば）・振幅（シンプク） |
| 22 | 帽 | 巾（はばへん） | 12 | ボウ | 丨 冂 巾 巾 帄 帄 帄 帽 帽 帽 帽 帽 | 義 頭をおおう布。かぶりもの、ずきん。 | 制帽（セイボウ）・脱帽（ダツボウ） |

なぞろう：汚 汗 況 沼 浸 沢 濁 淡 澄 沈 滴 添 渡 濃 泊 浜 浮 漫 溶 涙 幅 帽

書こう

## 練習

① 政治家の**オショク**事件が発覚する。（しょっ権をらん用して不当な利益を得ること）［汚職］

② あの失敗は**カンガン**の至りです。（かおにあせをかくほどはずかしいこと）［汗顔］

③ 取り急ぎ**キンキョウ**報告まで。（自分や自分の周囲の最きんの様子）［近況］

④ **ヌマチ**に入りこむ。（ぬまになっているところ）［沼地］

⑤ 大雨で**シンスイ**する場所を調べる。（みずにひたること）［浸水］

⑥ 美しい**コウタク**がある石を見つけた。（表面のつややかさ、つや）［光沢］

⑦ 「ガ」「ザ」は**ダクオン**です。（だく点がつく発おん）［濁音］

⑧ 春の**アワユキ**はすぐとける。（（特に春に降る）やわらかで消えやすいゆき）［淡雪］

⑨ **ウワズ**み液をすくう。（混合物がしずんだ液体じょう部の、すんだ部分）［上澄み］

⑩ **チンチャク**冷静な判断を心がける。（落ちついていて動じない様子）［沈着］

⑪ 窓ガラスの**スイテキ**をふく。（みずのしずく）［水滴］

⑫ 食品**テンカ**物を明記する。（つけくわえること）［添加］

⑬ 古代に**トライ**した文化を受けつぐ。（外国からうみをわたってくること）［渡来］

⑭ 絵に**ノウタン**をつける。（色や液体の「こい」と「うすい」）［濃淡］

⑮ **シュクハク**の予約を入れる。（旅行や出張などでねとまりすること）［宿泊］

⑯ **カイヒン**公園を散策する。（はま辺、うみ辺）［海浜］

⑰ 長い人生には**フチン**がある。（うきしずみ）［浮沈］

⑱ 注意力が**サンマン**になる。（とりとめがない様子、しまりがない様子）［散漫］

⑲ 塩をみずに**ヨウカイ**させる。（物質が液体にとけこむこと）［溶解］

⑳ **ナミダゴエ**で話す。（泣きながら話すこえ）［涙声］

㉑ **ミチハバ**がせまくて通れない。（どう路のはば）［道幅］

㉒ **セイボウ**をかぶる。（学校・警察などの集団で定められたぼう子）［制帽］

● 「上手」と「下手」
「上手」は「じょうず」、「うわて」、「かみて」と読める。ほかにも「上手物」（人手のかかった高価な工芸品）で「じょうてもの」と読む。「上手」の反対は「下手」で、それぞれ次のような読み方となる。
「じょうず」⇕「へた」　「うわて」⇕「したて」
「かみて」⇕「しもて」　「じょうてもの」⇕「げてもの」

## 訓読み

❼ 濁す［　］　⓳ 溶かす［　］
❽ 淡い［　］　❶ けがれる 高［　］
⓮ 濃い［　］　❺ ひたす［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 1〜3の三つの□に**共通する漢字**を入れて熟語を作れ。漢字は後の語群から**一つ**選んで記せ。

1 □説・□物・世□（　）
2 奇□・軽□・□案（　）
3 □抗・□触・大□（　）

低　妙　俗　幅　淡　抵

**2** **熟語の構成**のしかたには次のようなものがある。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの（**岩石**）
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの（**高低**）
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの（**洋画**）
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの（**着席**）
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの（**非常**）

次の熟語は右の**ア〜オ**のどれにあたるか、**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 陰気（　）　5 噴火（　）
2 傾倒（　）　6 不慮（　）
3 送迎（　）　7 耐震（　）
4 無援（　）　8 宮殿（　）

## 解答

❼ にご(す)　❽ あわ(い)　⓮ こ(い)　⓳ と(かす)　❶ 汚れる　❺ 浸す
**1** 1 俗　2 妙　3 抵
**2** 1 ウ　2 ア　3 イ　4 オ　5 エ　6 オ　7 エ　8 ア



5級
4級①〜⑭ 313字
3級
準2級
2級
応用編
1回目 2回目 3回目

# 第13回 4級④

| No. | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 獲 | 犭(けものへん) 16 | カク / え(る) | 源 犬(犭)を使って動物を手に入れる(蒦)。 | 捕獲(ホカク)・獲得(カクトク) |
| 2 | 狂 | 犭(けものへん) 7 | キョウ / くる(う) / くる(おしい) | 源 むやみに(王)走りまわる犬(犭)。 | 熱狂(ネッキョウ)・狂言(キョウゲン) |
| 3 | 狭 | 犭(けものへん) 9 | キョウ / せま(い) / せば(める) / せば(まる) | 源 夾はせまい・はさむ意。↕広 | 手狭(てぜま)・狭義(キョウギ) |
| 4 | 狩 | 犭(けものへん) 9 | シュ / か(る) / か(り) | 源 犬(犭)で動物を取り囲む(守)。㊟狩人(かりゅうど) | 狩(か)り |
| 5 | 猛 | 犭(けものへん) 11 | モウ | 源 抑えきれない(孟)犬(犭)⇩たけだけしい・はげしい | 猛毒(モウドク)・猛烈(モウレツ) |
| 6 | 握 | 扌(てへん) 12 | アク / にぎ(る) | 義 手にしっかりにぎる。理解する。 | 握手(アクシュ)・握力(アクリョク) |
| 7 | 扱 | 扌(てへん) 6 | あつか(う) | 源 手(扌)が届いて(及)、物を処理する。 | 扱(あつか)う・扱(あつか)い |
| 8 | 援 | 扌(てへん) 12 | エン | 源 手(扌)をひいて(爰)たすける。 | 援助(エンジョ)・援軍(エングン) |
| 9 | 押 | 扌(てへん) 8 | オウ / お(す) / お(さえる) | 義 手でおしつける、おさえる。 | 押(お)す・押印(オウイン) |
| 10 | 拠 | 扌(てへん) 8 | キョ / コ | 義 よる。もとづく。すがる。たてこもる。 | 拠点(キョテン)・論拠(ロンキョ) |
| 11 | 掘 | 扌(てへん) 11 | クツ / ほ(る) | 源 腰を屈めて手(扌)で穴をほる。 | 採掘(サイクツ)・発掘(ハックツ) |
| 12 | 抗 | 扌(てへん) 7 | コウ | 源 手(扌)を高くあげてこばむ(亢)。 | 抗議(コウギ)・対抗(タイコウ) |
| 13 | 振 | 扌(てへん) 10 | シン / ふ(る) / ふ(るう) / ふ(れる) | 源 手(扌)でゆらす(辰→震)⇩ふる | 振動(シンドウ)・不振(フシン) |
| 14 | 拓 | 扌(てへん) 8 | タク | 義 きりひらく。かみとすみで形を写し取る。 | 魚拓(ギョタク)・拓殖(タクショク) |
| 15 | 抵 | 扌(てへん) 8 | テイ | 解 氏は、は物を石にあてる形。手をあてる。 | 抵抗(テイコウ)・抵当(テイトウ) |
| 16 | 摘 | 扌(てへん) 14 | テキ / つ(む) | 義 つまみとる。とりたてる。あばく。 | 指摘(シテキ)・摘発(テキハッ) |
| 17 | 拍 | 扌(てへん) 8 | ハク / ヒョウ | 義 両手を打ち合わせる。調子。 | 拍手(ハクシュ)・拍子(ヒョウシ) |
| 18 | 抜 | 扌(てへん) 7 | バツ / ぬ(く・ける) / ぬ(かす) / ぬ(かる) | 義 基準よりとび出す。引きぬく。 | 選抜(センバツ)・抜糸(バッシ) |
| 19 | 搬 | 扌(てへん) 13 | ハン | 源 手(扌)で物を動かす(般)。 | 搬送(ハンソウ)・搬入(ハンニュウ) |
| 20 | 描 | 扌(てへん) 11 | ビョウ / えが(く) / か(く) | 源 手(扌)ですがた(苗→貌)をえがく。 | 描写(ビョウシャ)・素描(ソビョウ) |
| 21 | 払 | 扌(てへん) 5 | フツ / はら(う) | 源 手(扌)でつるを左右(ム)にはらい切る。 | 支払(しはら)い・払底(フッテイ) |
| 22 | 捕 | 扌(てへん) 10 | ホ / と(らえる・らわれる・る) / つか(まえる・まる) | 義 手でしっかりとらえる。 | 捕手(ホシュ)・捕(つか)まる |
| 23 | 抱 | 扌(てへん) 8 | ホウ / だ(く) / いだ(く) / かか(える) | 源 手(扌)で包むようにかかえる⇩いだく | 抱負(ホウフ)・介抱(カイホウ) |

なぞろう

獲 狂 狭 狩 猛 握 扱 援 押 拠 掘 抗 振 拓 抵 摘 拍 抜 搬 描 払 捕 抱

書こう

## 練習

1回目 1　2回目 2　3回目 3

① 賞品を**カクトク**した。（てに入れること）
② 野球の**ネッキョウ**的なファン。（夢中になり感じや興奮で気持ちが高ぶる様子）
③ 家が**テゼマ**になる。（せまいと感じられる様子）
④ 夏の夜にほたる**ガリ**に出かける。（ほたるをかん賞すること）
⑤ テングダケは**モウドク**をもつ。（どく性が強いこと）
⑥ **アクシュ**して別れましょう。（あいさつとしてたがいのてをにぎり合うこと）
⑦ 機械の取り**アツカ**い説明書をよく読む。（物や機械を使ったり操作すること）
⑧ 開発の**エンジョ**をする。（たすけること）
⑨ スタートボタンを**オ**す。（うごかすために上や横から力を加えること）
⑩ 選手が練習の**キョテン**を海外に移す。（活どうのよりどころになる場所）
⑪ 石油を**サイクツ**する。（地下資源をほり出すこと）
⑫ 不当な決定に**コウギ**文をおくる。（反対の意見を申し立てること）
⑬ 物体の**シンドウ**が音波を作る。（ゆれうごくこと）
⑭ 自慢の**ギョタク**を見せてもらう。（さかなにすみをぬり、形を紙に写し取ること）
⑮ 電気の**テイコウ**を測定する。（外からの力に対してさからうこと）
⑯ 自分の短所を**シテキ**される。（注意すべきものとして具体的に示すこと）
⑰ おしみない**ハクシュ**をおくる。（両てをたたいて鳴らすこと）
⑱ **センバツ**チームを組む。（基準や目的に合ったものをえらびぬくこと）
⑲ コンテナを**ハンソウ**する。（運びおくること）
⑳ 風景を**ビョウシャ**する。（客観的にうつし、表現すること）
㉑ 代金の**シハラ**いをする。（物やサービスに対して金銭を渡すこと）
㉒ **ホシュ**のリードで投球する。（野球のキャッチャー）
㉓ 今年の**ホウフ**を話す。（心の中にもっている計画や決意）

## 訓読み

❶ 獲る　❷ 狂おしい　❸ 狭める　❻ 握る
⑯ 摘む　⑳ えがく　㉒ つかまる　㉓ かかえる



## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の漢字の**部首**を**ア〜エ**から**一つ**選び、記号で記せ。

1 嘆（ア 大　イ 艹　ウ 口　エ 夫）（　）
2 闘（ア 門　イ 口　ウ 寸　エ 豆）（　）
3 旬（ア 旬　イ 日　ウ 勹　エ ノ）（　）
4 柔（ア マ　イ 矛　ウ 八　エ 木）（　）
5 弐（ア 弋　イ 一　ウ 二　エ ヽ）（　）

**2** 後の□の中のひらがなを一度だけ使って漢字**一字**に直し、**対義語**と**類義語**を記せ。

**対義語**

1 自立―（　）存
2 軽率―（　）重
3 優勢―（　）勢
4 名声―（　）名

**類義語**

5 風潮―（　）向
6 追従―（　）合
7 薄情―冷（　）
8 長者―富（　）

れっ・けい・い・たん・しん・げい・お・ごう

**解答**

❶ え(る)　❷ くる(おしい)　❸ せば(める)　❻ にぎ(る)　⑯ つ(む)　⑳ 描く　㉒ 捕まる　㉓ 抱える

**1** 1 ウ　2 ア　3 イ　4 エ　5 ア

**2** 1 依　2 慎　3 劣　4 汚　5 傾　6 迎　7 淡　8 豪



5級　4級①〜⑭ 313字　3級　準2級　2級　応用編

# 第14回 4級⑤

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 暇 | 日（ひへん） 13 | カ / ひま | 日 日' 日" 日ᄀ 旫 旫 暇 暇 暇 | 義 ゆっくりとして忙しくない時間。 | 寸暇（スンカ）・休暇（キュウカ）・暇（カ） |
| 2 | 脚 | 月（にくづき） 11 | キャク / キャ / あし | 月 月' 月'' 肚 肚 胠 脚 脚 | 義 体のひざから下の部分。 ㊟足 | 脚立（きゃたつ）・脚注（キャクチュウ） |
| 3 | 脂 | 月（にくづき） 10 | シ / あぶら | 丿 月 月 月' 月' 肸 脂 脂 脂 | 源 うまい（旨）あぶら肉（月）。 ㊟油 | 脱脂（ダッシ）・脂身（あぶらみ）・脂（シ） |
| 4 | 脱 | 月（にくづき） 11 | ダツ / ぬ(ぐ) / ぬ(げる) | 月 月 月' 月' 肸 肸 脱 脱 脱 | 源 肉（月）が落ちてやせる。 | 離脱（リダツ）・脱出（ダッシュツ）・脱（ダッ） |
| 5 | 胴 | 月（にくづき） 10 | ドウ | 丿 月 月 月 胴 胴 胴 胴 | 源 中が空洞（同）の体・臓器（月）⇩胴体 | 胴（ドウ）・胴体（ドウタイ） |
| 6 | 肪 | 月（にくづき） 8 | ボウ | 丿 月 月 月' 月' 肪 肪 | 義 体内の脂質の固まったもの。 | 脂肪（シボウ） |
| 7 | 腰 | 月（にくづき） 13 | ヨウ / こし | 月 月 月 肝 肝 腰 腰 腰 腰 | 源 月（体）＋要（こしの形）。 | 腰（ヨウ）・足腰（あしこし）・痛・腰（こし） |
| 8 | 腕 | 月（にくづき） 12 | ワン / うで | 月 月' 月' 肸 肸 腕 腕 腕 | 源 肉（月）をまげ動かす（宛）ところ。 | 敏腕（ビンワン）・腕力（ワンリョク） |
| 9 | 朽 | 木（きへん） 6 | キュウ / く(ちる) | 一 十 才 木 朽 朽 | 源 くさって曲がった（丂）木⇩くちる | 不朽（フキュウ）・老朽（ロウキュウ） |
| 10 | 枯 | 木（きへん） 9 | コ / か(れる) / か(らす) | 一 十 才 木 杧 枯 枯 枯 | 源 ひからびてかたく（古）なった木。 | 栄枯（エイコ）・枯れ木（かれき） |
| 11 | 桃 | 木（きへん） 10 | トウ / もも | 一 十 才 木 杉 杉 杉 桃 桃 桃 | 源 二つに割れる（兆）木の実⇩もも | 桜桃（オウトウ）・白桃（ハクトウ） |
| 12 | 杯 | 木（きへん） 8 | ハイ / さかずき | 一 十 才 木 杧 杯 杯 杯 | 源 ふっくらとした器。さかずき。 | 乾杯（カンパイ）・一杯（イッパイ） |
| 13 | 柄 | 木（きへん） 9 | ヘイ / がら / え | 一 十 才 木 杧 杧 柄 柄 柄 | 義 木のとって、え、つか。いきおい。がら。 | 横柄（オウヘイ）・人柄（ひとがら） |
| 14 | 欄 | 木（きへん） 20 | ラン | 木 札 札 柑 柑 楋 欄 欄 欄 | 義 しきりの横木。手すり。かこい。 | 欄干（ランカン）・欄外（ランガイ） |
| 15 | 殖 | 歹（がつへん・かばねへん） 12 | ショク / ふ(える) / ふ(やす) | 一 歹 歹 歹 歹 歹 殖 殖 殖 | 義 ふえる、ふやす。つみかさね。 | 養殖（ヨウショク）・増殖（ゾウショク） |
| 16 | 煙 | 火（ひへん） 13 | エン / けむ(る) / けむり / けむ(い) | 丶 火 火 炉 炉 烟 煙 煙 煙 | 源 要はかまどから出るけむりの形。 | 煙突（エントツ）・煙害（エンガイ） |
| 17 | 燥 | 火（ひへん） 17 | ソウ | 火 火 火 炉 炉 炉 燥 燥 燥 | 源 さわがしい音を出して火があがるさま。 | 乾燥（カンソウ）・高燥（コウソウ） |
| 18 | 爆 | 火（ひへん） 19 | バク | 火 炉 炉 煁 煁 煁 爆 爆 爆 | 源 火がはじけ、あれる。 | 起爆（キバク）・爆発（バクハツ） |
| 19 | 環 | 王（おうへん） 17 | カン | 一 丁 王 玎 玎 玎 環 環 環 | 源 輪状にめぐる（睘）玉（王）⇩めぐる | 環視（カンシ）・環境（カンキョウ） |
| 20 | 珍 | 王（おうへん） 9 | チン / めずら(しい) | 一 丁 王 玗 玗 玠 珍 珍 珍 | 源 貴重な玉（王）⇩めずらしい | 珍事（チンジ）・珍重（チンチョウ） |
| 21 | 瞬 | 目（めへん） 18 | シュン / またた(く) | 目 目' 目" 瞬 瞬 瞬 瞬 瞬 瞬 | 義 まばたきする。短い時間。 | 一瞬（イッシュン）・瞬間（シュンカン） |
| 22 | 眠 | 目（めへん） 10 | ミン / ねむ(る) / ねむ(い) | 丨 冂 月 目 目' 目' 眂 眂 眠 | 源 目を閉じて見えない状態（民→瞑）でねむる。 ㊟眼 | 安眠（アンミン）・眠気（ねむケ） |

なぞろう　暇 脚 脂 脱 胴 肪 腰 腕 朽 枯 桃 杯 柄 欄 殖 煙 燥 爆 環 珍 瞬 眠

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① キュウカをとって帰省する。（きゅう日以外のやすみ）

② 教科書のキャクチュウを読む。（本などのページの下部にあるちゅうしゃく）

③ マグロのアブラミを食べる。（肉のしぼうの多い部分）

④ チームが連勝し最下位からダッシュツする。（危険な場所からにげだすこと）

⑤ 船のドウタイに穴があく。（頭や手あしにあたるところを除いた主な部分）

⑥ ヒレ肉はシボウがほとんどない。（あぶらのうち、常温で固たいのもの）

⑦ あの選手はアシコシが強い。（あしとこし）

⑧ ワンリョクには自信がある。（うでのちから）

⑨ ロウキュウ化した校舎を改修する。（古くなってこわれかけている様子）

⑩ カレキに花を咲かせましょう。（かれた樹もく）

⑪ 岡山県はハクトウの名産地だ。（果肉がしろいモモ）

⑫ イッパイのコーヒーを飲む。（容器いっぱい分の量）

⑬ ヒトガラがしたわれる。（そのひとの性質や品格、それらのよさ）

⑭ ランガイに記入する。（印刷部分のそと側、所定のらんのそと側）

⑮ 細ぼうがゾウショクする。（ふえて多くなること）

⑯ 火山の噴火によるエンガイ。（工場や火山などからでるけむりによる、がい悪）

⑰ この辺りはコウソウな地域だ。（土地がたかい所にあって、しっ気が少ないこと）

⑱ 不満がバクハツする。（おさえていたものが一度にそとへ現れること）

⑲ カンキョウ破壊を防ぐ。（ひとや生物に、えいきょうをあたえるがい界）

⑳ しろいヘビはチンチョウされる。（めずらしいものとして大切にすること）

㉑ 優勝決定のシュンカンに立ち会う。（何かをしたちょうどその時）

㉒ アンミンをさまたげる。（ぐっすりとやすらかにねむること）

## 訓読み

❶ 暇
⓰ 煙い
⓴ 珍しい
㉑ 瞬く 高
㉒ 眠い
❹ ぬげる
❾ くちる
⓬ さかずき

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線のカタカナを**漢字一字と送りがな（ひらがな）**に直せ。

1 風景画を**エガク**。（　）
2 行動を**ツツシム**。（　）
3 恋人の**カタワラ**にいる。（　）
4 荷物を**カカエル**。（　）
5 高温で金属が**トケル**。（　）
6 商売が成功して財産が**フエル**。（　）

**2** 文中の**四字熟語**の——線の**カタカナを漢字一字**に直せ。

1 勉強を忘れては**本末転トウ**だ。（　）
2 **五里ム中**で先が見えない。（　）
3 **中ト半端**な説明で混乱する。（　）
4 **キョウ天動地**の大事件だ。（　）
5 **礼ギ作法**について学ぶ。（　）
6 **要害ケン固**の城を築き上げた。（　）

**◉日本にしかない漢字**

漢字は中国から日本に伝わったものだが、本場中国にはなく、日本だけで使われている漢字がある。P25の「峠」のほか、「働」「畑」「辻（つじ）」などがその例で、それらは「国字（こくじ）」と呼ばれている。「国字」は日本で作られた漢字のため、中国での発音がもとになっている音読みはないのが主であるが、「働（ドウ）」のように音読みがある字も存在する。

### 解答

❶ひま ⓰けむ(い) ⓴めずら(しい) ㉑またた(く) ㉒ねむ(い) ❹脱げる ❾朽ちる ⓬杯

**1** 1 描く　2 慎む　3 傍ら　4 抱える　5 溶ける　6 殖える

**2** 1 倒　2 霧　3 途　4 驚　5 儀　6 堅

5級 4級①～⑭ 313字 3級 準2級 2級 応用編

# 第15回 4級⑥

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 祈 | しめすへん 礻 | 8 | キ／いの(る) | 源 神(礻)に幸福に近づく(斤)ことを願う。 | 祈願（キガン）・祈念（キネン） |
| 2 | 砲 | いしへん 石 | 10 | ホウ | 源 石をはじき飛ばして敵にあてた武器。 | 発砲（ハッポウ）・砲火（ホウカ） |
| 3 | 稿 | のぎへん 禾 | 15 | コウ | 義 原稿。下書き。注 推敲(すいこう) | 原稿（ゲンコウ）・投稿（トウコウ） |
| 4 | 称 | のぎへん 禾 | 10 | ショウ | 義 呼び名。つりあう。ほめる。 | 対称（タイショウ）・敬称（ケイショウ） |
| 5 | 稲 | のぎへん 禾 | 14 | トウ／いね／いな | 義 米をとるイネ科の穀物。いね。 | 稲作（いなサク）・水稲（スイトウ） |
| 6 | 被 | ころもへん 衤 | 10 | ヒ／こうむ(る) | 源 ねるときに着る(皮)衣(衤)⇩こうむる | 被害（ヒガイ）・被告（ヒコク） |
| 7 | 維 | いとへん 糸 | 14 | イ | 義 つなぐ。すじ。 | 維持（イジ）・維新（イシン） |
| 8 | 緯 | いとへん 糸 | 16 | イ | 源 縦糸を囲む(韋)横糸。↕経 | 経緯（ケイイ）・緯度（イド） |
| 9 | 縁 | いとへん 糸 | 15 | エン／ふち | 義 へり。よる。ゆかり。注 緑 | 縁起（エンギ）・額縁（ガクぶち） |
| 10 | 繰 | いとへん 糸 | 19 | く(る) | 源 まゆから糸を忙しくたぐり寄せる。 | 繰る（くる） |
| 11 | 継 | いとへん 糸 | 13 | ケイ／つ(ぐ) | 義 つなぐ。うけつぐ。注 接ぐ・次ぐ | 継続（ケイゾク）・中継（チュウケイ） |
| 12 | 紹 | いとへん 糸 | 11 | ショウ | 源 よびよせ(召)つなぐ(糸)。 | 紹介（ショウカイ）・紹継（ショウケイ） |
| 13 | 網 | いとへん 糸 | 14 | モウ／あみ | 解 糸+罔。罔はあみの形に亡(音)を加えたもの。注 綱 | 網戸（あみど）・情報網（ジョウホウモウ） |
| 14 | 紋 | いとへん 糸 | 10 | モン | 源 糸で織り出した美しい模様、あや(文)。 | 波紋（ハモン）・指紋（シモン） |
| 15 | 絡 | いとへん 糸 | 12 | ラク／から(む)／から(まる)／から(める) | 義 からむ。つなぐ。すじみち。 | 脈絡（ミャクラク）・短絡（タンラク） |
| 16 | 粒 | こめへん 米 | 11 | リュウ／つぶ | 義 米つぶ、穀物のつぶ。つぶ状のもの。 | 粒子（リュウシ）・一粒（ひとつぶ） |
| 17 | 舟 | ふね 舟 | 6 | シュウ／ふね／ふな | 源 ふねの形。 | 舟歌（ふなうた）・舟航（シュウコウ） |
| 18 | 般 | ふねへん 舟 | 10 | ハン | 義 種類。ひととおり。時間のひとめぐり。 | 全般（ゼンパン）・先般（センパン） |
| 19 | 詰 | ごんべん 言 | 13 | キツ／つ(める)／つ(まる)／つ(む) | 源 ことば(言)でしめる(吉)⇩問いつめる | 折り詰め（おりづめ）・詰まる（つまる） |
| 20 | 誇 | ごんべん 言 | 13 | コ／ほこ(る) | 源 大げさに(夸)言う。 | 誇張（コチョウ）・誇示（コジ） |
| 21 | 詳 | ごんべん 言 | 13 | ショウ／くわ(しい) | 義 明らか。つまびらか。↕略 | 詳細（ショウサイ）・不詳（フショウ） |
| 22 | 訴 | ごんべん 言 | 12 | ソ／うった(える) | 義 下から上に申し出てうったえる。 | 告訴（コクソ）・勝訴（ショウソ） |
| 23 | 謡 | ごんべん 言 | 16 | ヨウ／うたい／うた(う) | 解 䍃はゆれ動く。節をつけて歌う意。 | 民謡（ミンヨウ）・歌謡（カヨウ） |

なぞろう

書こう

## 練習

① 神仏に**キガン**する。（希望がかなうように、いのりねがうこと）
② 犯人が**ハッポウ**する。（鉄ぽう・大ほうなどをうつこと）
③ **ゲンコウ**用紙に感想文を書く。（印刷や公表するために書いた文章、下書き）
④ 左右**タイショウ**の図形を描く。（たがいに調和を保ってつり合うこと）
⑤ 実家は**イナサク**農家だ。（いねをつくること）
⑥ 大雪による**ヒガイ**を防ぐ。（がいを受けること、受けた損がいのこと）
⑦ 体型を**イジ**するために運動する。（そのままの状態で、保ちつづけること）
⑧ 事の**ケイイ**を説明する。（物事の筋道、いきさつ）
⑨ **エンギ**を担ぐ。（よいこと・悪いことがおこりそうなきざし）
⑩ **クり**上げ当選になる。（順番を前にずらすこと、予定などを早めること）
⑪ **ケイゾク**は力なり。（前からの行い・状態を引きつづいて行うこと）
⑫ 自己**ショウカイ**をする。（知らない人同士を引き合わせること）
⑬ **アミド**を通して風が入ってくる。（虫の侵入を防ぐための、あみをはったと）
⑭ 大臣の一言が**ハモン**を呼んだ。（次次と関連して周囲におよぶえいきょう）
⑮ 話に**ミャクラク**がない。（物事のつながり、筋道）
⑯ おしろいの粉は**リュウシ**がこまかい。（物質を構成している極小のつぶ）
⑰ 船頭が**フナウタ**をうたう。（船乗りが、船をこぎながらうたう、うた）
⑱ **ゼンパン**的に見ると正しい。（ある事柄のすべて、ぜんたい）
⑲ **オリヅメ**弁当を買う。（食物をおり箱につめること）
⑳ 事実を**コチョウ**して表現する。（実際よりも大げさに言ったりしたりすること）
㉑ **ショウサイ**に説明する。（くわしく、こまやかなこと）
㉒ 事件の犯人を**コクソ**する。（ひがい者が犯人を裁判にかけるよう求めること）
㉓ 故郷の**ミンヨウ**を聞く。（生活感情から生まれ、うたいつがれたうた）

## 訓読み

❻ 被る
❾ 縁
⓫ 継ぐ
⓰ 粒
㉑ 詳しい
㉓ 謡う 高
❶ いのる
⓯ からむ 高
⑳ ほこる
㉒ うったえる

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の各文にまちがって使われている**同じ読みの漢字**が**一字**ある。**上に誤字を、下に正しい漢字**を記せ。

1 マラソン大会での健到をたたえ、賞状と記念品を贈る。（　→　）

2 今なお世界には抱弾が乱れ飛ぶ危険な地域が存在する。（　→　）

3 度重なる政治方針の変更により、現政権の偉信は大きく傾いている。（　→　）

4 二軍に降格したプロ野球選手が、不掘の精神で一軍に復帰した。（　→　）

5 会社抗生法の適用を申し出た貿易商社の株式上場が中止された。（　→　）

6 辞書を苦使し、自分の思いを表現するための最上級の言葉を探す。（　→　）

## 解答

❻ こうむ(る) ❾ ふち ⓫ つ(ぐ) ⓰ つぶ ㉑ くわ(しい) ㉓ うた(う) ❶ 祈る ⓯ 絡む ⑳ 誇る ㉒ 訴える

**1** 1 到→闘 2 抱→砲 3 偉→威 4 掘→屈 5 抗→更 6 苦→駆

5級
4級①〜⑭ 313字
3級
準2級
2級
応用編
1回目 2回目 3回目

# 第16回 4級⑦

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 触 | 贈 | 販 | 賦 | 距 | 跡 | 跳 | 踏 | 躍 | 踊 | 較 |
| 部首・画数 | つのへん 角 13 | かいへん 貝 18 | かいへん 貝 11 | かいへん 貝 15 | あしへん 𧾷 12 | あしへん 𧾷 13 | あしへん 𧾷 13 | あしへん 𧾷 15 | あしへん 𧾷 21 | あしへん 𧾷 14 | くるまへん 車 13 |
| 読み | ショク<br>ふ(れる)<br>さわ(る) | ゾウ<br>ソウ<br>おく(る) | ハン | フ | キョ | セキ<br>あと | チョウ<br>は(ねる)<br>と(ぶ) | トウ<br>ふ(む)<br>ふ(まえる) | ヤク<br>おど(る) | ヨウ<br>おど(る)<br>おど(り) | カク |
| 意味 | 源角で虫をつく⇩ふれる・さわる | 義相手に金品をあたえる。おくる。 | 源財貨(貝)をかえす(反)⇩品物を売る・あきなう | 義割りあてでとる。あたえる。 | 源足＋巨㊇(へだてる・へだたる)。 | 義足あと。受け継ぐ。あとかた。㊟後 | 源足で高くはねあがる(兆)。 | 源足をふみ重ねる(沓)。 | 義高くはねあがる、とびはねる。㊟踊る | 義足をあげておどる。まう。㊟躍る | 源もとは車の横木⇩くらべる |
| 用例 | 触発(ショクハツ)<br>接触(セッショク) | 寄贈(キゾウ)*<br>贈与(ゾウヨ) | 販売(ハンバイ)<br>市販(シハン) | 天賦(テンプ)<br>割賦(カップ) | 距離(キョリ) | 旧跡(キュウセキ)<br>足跡(あしあと)* | 高跳び(たかとび)<br>跳躍(チョウヤク) | 踏襲(トウシュウ)<br>未踏(ミトウ) | 躍動(ヤクドウ)<br>躍起(ヤッキ) | 踊り場(おどりば)<br>舞踊(ブヨウ) | 較差(カクサ)<br>比較(ヒカク) |

*寄贈…「キソウ」とも読む。　*足跡…「ソクセキ」とも読む。

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 軒 | 釈 | 鋭 | 鉛 | 鑑 | 鎖 | 鈍 | 飾 | 駆 | 騒 | 鮮 |
| 部首・画数 | くるまへん 車 10 | のごめへん 釆 11 | かねへん 金 15 | かねへん 金 13 | かねへん 金 23 | かねへん 金 18 | かねへん 金 12 | しょくへん 食 13 | うまへん 馬 14 | うまへん 馬 18 | うおへん 魚 17 |
| 読み | ケン<br>のき | シャク | エイ<br>するど(い) | エン<br>なまり | カン<br>かんが(みる) | サ<br>くさり | ドン<br>にぶ(い)<br>にぶ(る) | ショク<br>かざ(る) | ク<br>か(ける)<br>か(る) | ソウ<br>さわ(ぐ) | セン<br>あざ(やか) |
| 意味 | 解ひさし、のき。家を数える語。 | 義ときあかす。はなつ。言い訳する。㊟訳 | 源刀のはさきがとがっている⇩するどい ↕鈍 | 源熱で溶けてたれる(㕣)金属。 | 解鑑はかんがみる。金属製のかがみ。 | 義金属の輪をつないだもの。とざす。 | 源刀のはさきが丸くて切れない⇩にぶい ↕利・鋭 | 源布でよごれをぬぐう⇩かざる | 源馬をむち打って速く走らせる。 | 源蚤(のみ)のせいで馬がやたらと動く。 | 解魚も羊も新しさを尊ぶ。あざやか。 |
| 用例 | 一軒(イッケン)<br>軒並み(のきなみ) | 解釈(カイシャク)<br>釈然(シャクゼン) | 精鋭(セイエイ)<br>鋭敏(エイビン) | 鉛筆(エンピツ)<br>鉛色(なまりいろ) | 鑑賞(カンショウ)<br>印鑑(インカン) | 連鎖(レンサ)<br>鎖骨(サコツ) | 鈍感(ドンカン)<br>鈍角(ドンカク) | 装飾(ソウショク)<br>粉飾(フンショク) | 駆使(クシ)<br>先駆(センク) | 騒音(ソウオン)<br>騒然(ソウゼン) | 鮮明(センメイ)<br>鮮魚(センギョ) |

なぞろう

書こう

## 練習

1回目　2回目　3回目

① 彼の言葉に**ショクハツ**される。
物事にふれ、ある行どう・かん情を起こすこと

② 学校図書館に蔵書を**キゾウ**する。
公共の機関などに物品をおくりあたえること

③ 食品の**ハンバイ**が担当です。
品物をうること

④ 彼は**テンプ**の才能にめぐまれている。
生まれつき備わっている資質

⑤ 長**キョリ**走は得意種目だ。
二つのば所・物の間のへだたり

⑥ 名所**キュウセキ**を案内する。
昔、歴史に残る事件や物のあったば所

⑦ 彼女は走り**タカト**びの選手だ。
横に渡した棒をとび、たかさを競う陸上競技

⑧ 昨年の方法を**トウシュウ**する。
今までの考え・方法をそのまま受け継ぐこと

⑨ この絵は青春の**ヤクドウ**を表現している。
力強く、いきいきとかつどうすること

⑩ 階段の**オドリバ**で先生とすれちがう。
階段のと中に設けた、やや広い平らなば所

⑪ 昨年の平均気温との**カクサ**を調べる。
二つ以上のものを比かくしたときのひらき

⑫ 村はずれの**イッケン**家に住む。
ひとつの家の数え方

⑬ 憲法の条文の**カイシャク**を議論する。
言葉や文章の意味を明らかにすること

⑭ **セイエイ**部隊を投入する。
勢いが強く、するどい気力や能力があること

⑮ **エンピツ**と消しゴムを買う。
木のじくの中に細長いしんを入れたひっ記用具

⑯ 映画をじっくり**カンショウ**する。
芸術作品に接して、よく理かいし味わうこと

⑰ 生物界の食物**レンサ**について学ぶ。
物事がくさりのようにつながっていること

⑱ **ドンカン**な青年が主人公の物語。
かん覚や物事のかんじ方などがにぶいこと

⑲ 部屋の**ソウショク**にこる。
美しく見えるようにかざること

⑳ 最先端の技術を**クシ**する。
思いのままにつかいこなすこと

㉑ 飛行機の**ソウオン**をおさえる技術を研究する。
やかましいおと、うるさくて不快にかんじるおと

㉒ 昔の記憶が**センメイ**によみがえる。
あざやかではっきりしている様子

字を配列し、後世の字書で文字を配列する方法の基本となった。しかし、部首が多すぎるという欠点があったため、一七一六年に完成した『康熙(こうき)字典』では合計二一四部に整理された。

## 訓読み

❶ 触る　❾ 躍る　⓬ 軒　⓰ 鑑みる 高　⓳ 飾る
⓴ 駆る　㉑ 騒ぐ　❽ ふむ　⓲ にぶる　㉒ あざやか

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線のカタカナを漢字に直せ。

1 疑いが晴れて**シャクホウ**される。（　）
2 若者層に**ハンロ**を広げる予定だ。（　）
3 この場所は終日**キンエン**だ。（　）
4 世界の舞台で**カツヤク**する。（　）
5 **ヒッセキ**から犯人を推定する。（　）
6 三日間の学級**ヘイサ**が決定した。（　）
7 原子**バクダン**を世界中から根絶する。（　）
8 国民の**ウッタ**えが政治を動かす。（　）
9 伝統ある母校を**ホコ**りに思う。（　）
10 担当者から**クワ**しい説明がある。（　）
11 服がぬれたので**カワ**かす。（　）
12 薄い**ムラサキ**の色をつけた花。（　）

### 解答

❶ さわ(る)　❾ おど(る)　⓬ のき　⓰ かんが(みる)　⓳ かざ(る)　⓴ か(る)　㉑ さわ(ぐ)　❽ 踏む　⓲ 鈍る　㉒ 鮮やか

**1** 1 釈放　2 販路　3 禁煙　4 活躍　5 筆跡　6 閉鎖　7 爆弾　8 訴　9 誇　10 詳　11 乾　12 紫

5級 | 4級①〜⑭ 313字 | 3級 | 準2級 | 2級 | 応用編

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 刈 | りっとう 刂 4 | か(る) | ノ メ 刈 | 源はさみ(メ)でかって形を整える。 | 刈(か)る |
| 2 | 剣 | りっとう 刂 10 | ケン / つるぎ | ノ 𠆢 亼 合 合 争 㑒 剣 | 義両ばのまっすぐなかたな。 | 真剣(シンケン) 剣術(ケンジュツ) |
| 3 | 剤 | りっとう 刂 10 | ザイ | 丶 亠 ナ 文 文 产 斉 剤 | 源刀(刂)で切りそろえる(斉)⇩薬を調合する | 洗剤(センザイ) 薬剤(ヤクザイ) |
| 4 | 刺 | りっとう 刂 8 | シ / さ(す) / さ(さる) | 一 冖 冂 市 市 朿 朿 刺 | 源刀(刂)でとげ(朿)のようにさす。 | 刺激(シゲキ) 風刺(フウシ) |
| 5 | 到 | りっとう 刂 8 | トウ | 一 工 互 至 至 到 | 源そった刀(刂)のように曲折を経て至る。 | 到達(トウタツ) 到底(トウテイ) |
| 6 | 勧 | ちから 力 13 | カン / すす(める) | 𠂉 亠 午 矢 奄 奞 雈 勧 | 義すすめて行わせる。はげます。 | 勧告(カンコク) 勧進(カンジン) |
| 7 | 戒 | ほこづくり 戈 7 | カイ / いまし(める) | 一 二 于 开 戒 戒 戒 | 源ほこ(戈)を両手(廾)に持ち用心する。 | 警戒(ケイカイ) 戒律(カイリツ) |
| 8 | 戯 | ほこづくり 戈 15 | ギ / たわむ(れる) | 丨 ト 广 卢 虍 虚 虚 戯 戯 | 義たわむれる、ふざける。しばい。㊟戯作(げさく) | 遊戯(ユウギ) 戯曲(ギキョク) |
| 9 | 却 | わりふ 卩 7 | キャク | 一 十 土 去 去 却 却 | 源ひざまずいて(卩)遠ざかる(去)。 | 返却(ヘンキャク) 却下(キャッカ) |
| 10 | 即 | わりふ 卩 7 | ソク | 𠃍 ヨ ヨ 艮 艮 即 即 | 義就く。すなわち。すぐに。 | 即答(ソクトウ) 即興(ソッキョウ) |
| 11 | 影 | さんづくり 彡 15 | エイ / かげ | 日 旦 昌 昱 昱 景 景 影 影 | 義形の見えるかげや姿。 | 人影(ひとかげ) 影響(エイキョウ) |

なぞろう　刈 剣 剤 刺 到 勧 戒 戯 却 即 影

書こう

## 練習

① 田んぼで稲を**カ**る。
② **シンケン**に考えて取り組む。（まじめで心がこもっている様子）
③ **センザイ**の使いすぎは逆効果になる。（服や食器などをあらうために用いられるもの）
④ 大脳に**シゲキ**をあたえる。（外から働きかけ、変化・反応を起こさせること）
⑤ 山頂に**トウタツ**した。（目標とする地点や状態に行き着くこと）
⑥ 辞職を**カンコク**する。（ある行動をとるように説きすすめること）
⑦ 万が一の場合に備えて厳重に**ケイカイ**する。（よくないじ態が起きないよう用心すること）
⑧ 小説を**ギキョク**化する。（演劇のために書かれた脚本、台本）
⑨ 借りた本を**ヘンキャク**する。（借りたり預かったりしたものをかえすこと）
⑩ **ソクトウ**をさける。（その場ですぐにこたえること）
⑪ **ヒトカゲ**まばらな冬の海。（ひとのすがた・かたち）

①「刈る」の問題文中の注記：まとまって生えているものを道具で切り取る

1回目　2回目　3回目

## 訓読み

❷ 剣　❻ 勧める　❽ 戯れる 高　⓮ 攻める　㉒ 頼む
㉒ 頼る　❹ ささる　❼ いましめる　⓬ いろどる 高　⓱ ななめ

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線の**漢字の読み**をひらがなで記せ。

1 主役に自分の姿を投影する。（　　）
2 列車が五分遅れで到着した。（　　）
3 服飾関係の職業にあこがれる。（　　）
4 マンションを売却する。（　　）





| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 彩 | さんづくり 彡 11 | サイ / いろど(る) | 𠂊 ⺤ 平 采 采 彩 彩 | 義美しいいろどりの意。 | 多彩(タサイ) 水彩(スイサイ) |
| 13 | 郎 | おおざと 阝 9 | ロウ | 丶 ㇀ ョ 自 良 良 郎 郎 | 解もとは地名。良(音)を借りて、よい男・家来。 | 新郎(シンロウ) 郎党(ロウドウ)* |
| 14 | 攻 | ぼくづくり 攵 7 | コウ / せ(める) | 一 T エ ェ 攻 攻 | 義学ぶ、研究する。おさめる。せめる。 | 専攻(センコウ) 攻撃(コウゲキ) |
| 15 | 敏 | ぼくづくり 攵 10 | ビン | 𠂉 𠂉 仁 每 每 敏 敏 敏 | 義すばやい、すばしこい。さとい。 | 機敏(キビン) 敏感(ビンカン) |
| 16 | 敷 | ぼくづくり 攵 15 | フ / し(く) | 冂 亩 亩 亩 亩 専 勇 敷 | 義広くほどこす。あまねくしきのべる。 | 屋敷(やしき) 敷布(しきフ) |
| 17 | 斜 | とます 斗 11 | シャ / なな(め) | ノ 𠆢 亼 今 全 余 余 斜 斜 | 義ななめ、傾いている。機げんがよくない。 | 傾斜(ケイシャ) 斜陽(シャヨウ) |
| 18 | 歓 | あくび 欠 15 | カン | 𠂉 𠂉 乍 午 矢 夯 奞 歓 | 源もとは歡。声を合わせて(吅)よろこびあう。 | 交歓(コウカン) 歓迎(カンゲイ) |
| 19 | 殿 | るまた 殳 13 | デン・テン / との・どの | 𠃍 コ 尸 尸 屈 屈 展 殿 殿 | 義大きな建物。身分の高い人。 | 沈殿(チンデン) 御殿(ゴテン) |
| 20 | 隷 | れいづくり 隶 16 | レイ | 士 吉 圭 隶 隶 隷 隷 隷 | 義しもべ。つき従う。書体。 | 隷属(レイゾク) 隷書(レイショ) |
| 21 | 項 | おおがい 頁 12 | コウ | 一 T 工 工 工 項 項 項 | 義分類したことがら。条目。 | 事項(ジコウ) 条項(ジョウコウ) |
| 22 | 頼 | おおがい 頁 16 | ライ / たの(む) / たの(もしい) / たよ(る) | 戸 亘 束 束 束 頼 頼 頼 | 義金品をもうける意⇩あてにする・たのむ | 依頼(イライ) 無頼(ブライ) |

なぞろう　彩 郎 攻 敏 敷 斜 歓 殿 隷 項 頼

書こう

⑫ **タサイ**なイベントが行われる。（種類や変化に富んでいて、はなやかなこと）
⑬ 羽織はかま姿の**シンロウ**。（結婚したばかりの男性、はなむこ）
⑭ 大学で物理学を**センコウ**する。（ある学問の分野をせんもんに研究すること）
⑮ **キビン**な行動をする。（その時に応じて頭や体を適切に働かせること）
⑯ 武家**ヤシキ**を見学する。（家、特に広いしき地に建つ大きな家）
⑰ **ケイシャ**が急になる。（かたむいて、ななめになること）
⑱ 留学生との**コウカン**会を開く。（たがいに親しくまじり、打ち解け楽しむこと）
⑲ 細かい砂が**チンデン**する。（液体中の混じり物が底にしずんでたまること）
⑳ 権力者に**レイゾク**する。（他の支配を受け、従うこと）
㉑ 重要**ジコウ**について話し合う。（ある物ごとを構成している一つ一つのことがら）
㉒ 調査の**イライ**をする。（あることをしてもらえるように人にたのむこと）

●おおざと(阝)

「阝」の部首「おおざと」のもとの漢字は「邑」で、「人民の服従する領地」の意味。したがって、町や村、地名などを表す漢字に用いられることが多い(郡・都・郷など)。このように、部首の意味を知っていると、漢字それぞれのイメージがとらえやすくなる。漢字をなぞる際は、部首の解説にも注目して、その字の理解を深めていこう。

5 災害に即応できる態勢を整える。（　　）
6 寝ぼけていて頭の働きが鈍い。（　　）
7 鮮やかな色のセーターを着る。（　　）
8 腕を曲げる体操をする。（　　）
9 明日そちらへ伺います。（　　）
10 朝日に輝く峰を見上げる。（　　）
11 川の水が濁る。（　　）
12 畑の土を掘る。（　　）

**解答**

❷ つるぎ　❻ すす(める)　❽ たわむ(れる)　⓮ せ(める)　㉒ たの(む)　㉒ たよ(る)　❹ 刺さる　❼ 戒める　⓬ 彩る　⓱ 斜め

**1** 1 とうえい　2 とうちゃく　3 ふくしょく　4 ばいきゃく　5 そくおう　6 にぶ　7 あざ　8 うで　9 うかが　10 みね　11 にご　12 ほ

# 第18回 4級⑨

5級 / 4級①～⑭ 313字 / 3級 / 準2級 / 2級 / 応用編

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 雅 | 隹 ふるとり 13 | ガ | 義 みやびやか。正しい。 | 優雅(ユウガ)・雅楽(ガガク) |
| 2 | 雌 | 隹 ふるとり 14 | シ・めす・め | 源 羽を互いちがいに重ねる(此)めす鳥(隹)。 | 雌花(めばな)・雌雄(シユウ) |
| 3 | 雄 | 隹 ふるとり 12 | ユウ・お・おす | 源 かたをいからせた(厷)おすの鳥(隹)。↕雌 | 雄大(ユウダイ)・雄犬(おいぬ) |
| 4 | 離 | 隹 ふるとり 18 | リ・はな(れる)・はな(す) | 義 別れる、別になる。はなれる。㊟放 は 別 | 離別(リベツ)・分離(ブンリ) |
| 5 | 寂 | 宀 うかんむり 11 | ジャク・セキ・さび・さび(しい)・さび(れる) | 源 家(宀)の中に人声がない(叔)⇩しずか | 静寂(セイジャク)・入寂(ニュウジャク) |
| 6 | 寝 | 宀 うかんむり 13 | シン・ね(る)・ね(かす) | 源 家(宀)のおく深く(㝱)の寝台(爿)でねる。 | 就寝(シュウシン)・寝食(シンショク) |
| 7 | 芋 | 艹 くさかんむり 6 | いも | 義 いも類の総称。㊟×千→○于 | 里芋(さといも)・芋版(いもバン) |
| 8 | 菓 | 艹 くさかんむり 11 | カ | 源 艹＋果㊨(くだもの・木の実)⇩おかし | 菓子(カシ)・製菓(セイカ) |
| 9 | 荒 | 艹 くさかんむり 9 | コウ・あら(い)・あ(れる)・あ(らす) | 源 雑草(艹)が地面をおおい隠す(巟)。 | 荒波(あらなみ)・荒城(コウジョウ) |
| 10 | 芝 | 艹 くさかんむり 6 | しば | 義 庭園や堤防に植えるしばくさ。 | 芝生(しばふ)・芝居(しばい) |
| 11 | 薪 | 艹 くさかんむり 16 | シン・たきぎ | 源 おの(斤)で切った短い木⇩まき | 薪能(たきぎノウ)・薪炭(シンタン) |
| 12 | 蓄 | 艹 くさかんむり 13 | チク・たくわ(える) | 源 作物(艹)をたくわえる(畜)。 | 蓄積(チクセキ)・含蓄(ガンチク) |
| 13 | 薄 | 艹 くさかんむり 16 | ハク・うす(い)・うす(める)・うす(まる)・うす(らぐ)・うす(れる) | 義 うすい。わずか。かるがるしい。せまる。㊟薄 | 薄氷(ハクヒョウ)・薄着(うすぎ) |
| 14 | 茂 | 艹 くさかんむり 8 | モ・しげ(る) | 源 草(艹)がしげる(戊)。 | 茂(しげ)る・繁茂(ハンモ) |
| 15 | 扇 | 戸 とだれ 10 | セン・おうぎ | 源 鳥が羽を動かすように戸を開閉する。 | 扇動(センドウ)・扇子(センス) |
| 16 | 突 | 穴 あなかんむり 8 | トツ・つ(く) | 源 もとは突。穴から犬が急に飛び出す。 | 突進(トッシン)・唐突(トウトツ) |
| 17 | 箇 | 竹 たけかんむり 14 | カ | 源 固い竹⇩数えるときにそえる助数詞 | 箇条(カジョウ)・箇所(カショ) |
| 18 | 範 | 竹 たけかんむり 15 | ハン | 義 手本。型。くぎり。わく。 | 規範(キハン)・師範(シハン) |
| 19 | 需 | 雨 あめかんむり 14 | ジュ | 源 雨ごいをするみこ(而)⇩待ち求める | 需要(ジュヨウ)・必需(ヒツジュ) |
| 20 | 震 | 雨 あめかんむり 15 | シン・ふる(う)・ふる(える) | 源 かみなり(雨)がとどろきふるえる(辰)。 | 震災(シンサイ)・震源(シンゲン) |
| 21 | 霧 | 雨 あめかんむり 19 | ム・きり | 源 周囲をおおい隠す(務)細かい水滴(雨)。 | 濃霧(ノウム)・夜霧(よぎり) |
| 22 | 雷 | 雨 あめかんむり 13 | ライ・かみなり | 源 もとは靁。畾はゴロゴロという音。 | 落雷(ラクライ)・雷鳴(ライメイ) |
| 23 | 露 | 雨 あめかんむり 21 | ロ・ロウ・つゆ | 源 葉に結ぶとう明な(路)水滴(雨)⇩明らか | 露骨(ロコツ)・夜露(よつゆ) |

なぞろう

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① **ユウガ**なピアノの調べによいしれる。(気品があって美しく、おち着いているようす)
② ヘチマの**メバナ**が咲く。(おしべがなく、めしべだけがあるはな)
③ **ユウダイ**な自然の風景に包まれる。(規模がおおきく、堂堂としているようす)
④ **リベツ**の悲しみにたえる。(人とわかれること)
⑤ **セイジャク**に包まれた。(ひっそりとして、しずかなこと)
⑥ **シュウシン**時間は十時です。(ねどこに入ってねること)
⑦ **サトイモ**の皮をむく。(かっ色の皮で、中身は白くねばり気のあるいも)
⑧ 休み時間におカシを食べる。(間食や食後に食べるかん味などの食べ物)
⑨ 太平洋の**アラナミ**にもまれた魚がとれる。(あらく激しいなみ)
⑩ 公園の**シバフ**にねそべる。(しばが一面にはえているところ)
⑪ **タキギノウ**の会場を設営する。(社寺などで夜間かがり火をたいて行う野外のう)
⑫ つかれが**チクセキ**する。(たくわえておおきくすること、たまること)
⑬ **ハクヒョウ**を踏む思い。(うすくはったこおり、危険な状況に臨むこと)
⑭ 木木に青葉が**シゲ**る。(草木がさかんにはえること)
⑮ 一揆(いっき)の**センドウ**者。(ある行どうが起こるように人をそそのかすこと)
⑯ ゴールに向かって**トッシン**する。(目標に向かってまっしぐらにつきすすむこと)
⑰ 問題点を**カジョウ**書きにする。(いくつかに分けて述べ並べた時の一つ一つ)
⑱ 社会の**キハン**に従う。(行どうや判断のよりどころとなる手本)
⑲ **ジュヨウ**と供給のバランスを保つ。(物品などを手に入れようと求めること)
⑳ **シンサイ**からの復興を祈る。(地しんによるさい害)
㉑ **ノウム**のため出航できない。(見通しがきかないほどの深いきり)
㉒ **ラクライ**で被害が出た。(かみなりがおちること)
㉓ **ロコツ**な表現はひかえる。(感情・欲望などを、そのままにあらわすこと)

## 訓読み

❹ 離れる　❺ 寂　⓮ 茂る　⓯ 扇　㉑ 霧　㉓ 露
❷ めす(一字)　❸ おす(一字)　⓬ たくわえる　⓭ うすれる　⑳ ふるえる　㉒ かみなり

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線の**カタカナ**にあてはまる**漢字**を後の(　)の中からそれぞれ**一つ**選んで記せ。

1 **カン**声が校庭に響く。
2 **カン**衆が立ち上がった。
3 植物図**カン**で調べる。
(勧　歓　鑑　感　観)
1(　) 2(　) 3(　)

4 **セン**状地に広がる果樹園。
5 デモ隊が広場を**セン**拠した。
6 効果的な**セン**伝を考える。
(占　線　宣　扇　専)
4(　) 5(　) 6(　)

7 奴**レイ**制は禁止されている。
8 屋久杉の樹**レイ**を調べる。
9 庭に奇**レイ**な花が咲いた。
(齢　例　麗　礼　隷)
7(　) 8(　) 9(　)

10 全力を**ツ**くして戦う。
11 人気の職種に**ツ**く。
12 不意を**ツ**かれる。
(着　突　付　就　尽)
10(　) 11(　) 12(　)

## 解答

❹ はな(れる)　❺ さび　⓮ しげ(る)　⓯ おうぎ　㉑ きり　㉓ つゆ　❷ 雌　❸ 雄　⓬ 蓄える　⓭ 薄れる　⑳ 震える　㉒ 雷

**1** 1 歓　2 観　3 鑑　4 扇　5 占　6 宣　7 隷　8 齢　9 麗　10 尽　11 就　12 突

5級 | 4級①～⑭ 313字 | 3級 | 準2級 | 2級 | 応用編

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 罰 | あみがしら 罒 14 | バツ・バチ | 丶 冖 罒 罒 罒 罒 罰 罰 罰 | 源刀(刂)を持ちののしる(詈)⇩とがめる | 処罰(ショバツ)・天罰(テンバツ) |
| 2 | 髪 | かみがしら 髟 14 | ハツ・かみ | 丨 厂 長 長 髟 髟 髪 髪 髪 | 源髟(かみ)＋友(はえる)。 | 理髪(リハツ)・髪型(かみがた) |
| 3 | 為 | れんが 灬 9 | イ | 丶 ソ 为 为 為 為 為 為 為 | 義人がおこなう、なす。 | 行為(コウイ)・人為(ジンイ) |
| 4 | 煮 | れんが 灬 12 | シャ・に(る・える)・に(やす) | 一 十 土 耂 耂 者 者 者 煮 | 源たきぎを燃やし(灬)火で物を(者)にる。 | 雑煮(ゾウに)・煮え湯(にえゆ) |
| 5 | 烈 | れんが 灬 10 | レツ | 一 ア 歹 歹 列 列 列 烈 烈 | 源火(灬)が強く物がさける(列)⇩激しい | 強烈(キョウレツ)・烈火(レッカ) |
| 6 | 監 | さら 皿 15 | カン | 丨 厂 厂 臣 臣 臣 臣 監 監 | 義見る、注意して見る。 | 監視(カンシ)・監修(カンシュウ) |
| 7 | 盗 | さら 皿 11 | トウ・ぬす(む) | 冫 冫 冫 次 次 次 咨 盗 盗 | 源皿の食物をよだれ(次↓)を流しほしがる。 | 盗作(トウサク)・盗人(ぬすびと) |
| 8 | 盤 | さら 皿 15 | バン | ノ 丿 舟 舟 舟 舟 般 般 盤 | 源平たく大きい皿のような器。 | 序盤(ジョバン)・地盤(ジバン) |
| 9 | 盆 | さら 皿 9 | ボン | ノ 八 分 分 分 分 盆 盆 盆 | 解浅くて幅の広い器。盂蘭盆会(うらぼんえ)の略称。 | 盆地(ボンチ)・旧盆(キュウボン) |
| 10 | 舞 | まいあし 舛 15 | ブ・ま(う)・まい | ノ 二 無 無 無 舞 舞 舞 舞 | 源無(人がまうさま)＋舛(右足と左足)。 | 舞踏(ブトウ)・鼓舞(コブ) |
| 11 | 恐 | こころ 心 10 | キョウ・おそ(れる)・おそ(ろしい) | 一 丁 工 玑 巩 巩 巩 恐 恐 | 源心に穴をあける(巩)⇩おそれる 注怖い | 恐怖(キョウフ)・恐縮(キョウシュク) |

なぞろう　罰 髪 為 煮 烈 監 盗 盤 盆 舞 恐

書こう

## 練習

1回目　2回目　3回目

① 犯罪者を**ショバツ**する。（罪を犯した者に、ばつをあたえること）〔　〕〔　〕〔　〕

② **リハツ**店でひげをそる。（かみの毛を刈って形を整えること）〔　〕〔　〕〔　〕

③ 不法**コウイ**を取りしまる。（ある意志をもってするおこない）〔　〕〔　〕〔　〕

④ **ゾウニ**を食べる。（もちを主にして様様な具を取り合わせたしる物）〔　〕〔　〕〔　〕

⑤ **キョウレツ**な個性を持った人。（ちから・さ用などがつよく激しいさま）〔　〕〔　〕〔　〕

⑥ 事務所に**カンシ**カメラを設置する。（注意して見張ること）〔　〕〔　〕〔　〕

⑦ 論文の**トウサク**が発覚する。（他人のさく品などを自分のさくとして使うこと）〔　〕〔　〕〔　〕

⑧ **ジョバン**戦から調子が良い。（物事の始まったばかりの段階）〔　〕〔　〕〔　〕

⑨ **ボンチ**の独特な気候。（周囲を山によって囲まれた平ち）〔　〕〔　〕〔　〕

⑩ はなやかな**ブトウ**会が開かれた。（踊りをおどること、ダンス）〔　〕〔　〕〔　〕

⑪ **キョウフ**感がつのる。（おそろしく感じること）〔　〕〔　〕〔　〕

## 訓読み

⑦ ぬすむ〔　〕　⑩ 舞う〔　〕

⑬ いかる〔　〕　⑪ 恐れる〔　〕

⑯ まどう〔　〕　⑫ 恵む〔　〕

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 1～3の三つの□に**共通する漢字**を入れて熟語を作れ。漢字は後の語群から**一つ**選んで記せ。

1 □囲・模□・師□（　）

2 相□・□反・□和感（　）

3 □出・吐□・□骨（　）

根　露　擬　為　違　範

**2** **熟語の構成**のしかたには次のようなものがある。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの　（**岩石**）





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 恵 | こころ 心 10 | ケイ・エ・めぐ(む) | 一 厂 戸 百 亘 亩 恵 恵 恵 | 義いつくしむ。かしこい。あたえる。 | 恩恵(オンケイ)・知恵(チエ) |
| 13 | 怒 | こころ 心 9 | ド・いか(る)・おこ(る) | く 女 女 奴 奴 奴 怒 怒 怒 | 源心に力をこめる(奴)⇩いかる | 怒号(ドゴウ)・喜怒(キド) |
| 14 | 慮 | こころ 心 15 | リョ | ' ト 广 广 庐 虍 虍 虐 慮 | 義深く考えること。注虜 | 思慮(シリョ)・不慮(フリョ) |
| 15 | 恋 | こころ 心 10 | レン・こ(う)・こい・こい(しい) | 亠 ナ 亣 亦 亦 亦 恋 恋 恋 | 義心がひかれ、こいしたうこと。 | 初恋(はつこい)・恋情(レンジョウ) |
| 16 | 惑 | こころ 心 12 | ワク・まど(う) | 一 亘 亘 或 或 或 惑 惑 惑 | 源あるいは(或)と疑う心。 | 惑星(ワクセイ)・迷惑(メイワク) |
| 17 | 床 | まだれ 广 7 | ショウ・とこ・ゆか | 丶 亠 广 广 庄 床 床 | 義寝台。ゆか。とこ。 | 臨床(リンショウ)・床下(ゆかした) |
| 18 | 屈 | かばね 尸 8 | クツ | ㇇ コ 尸 尸 屈 屈 屈 屈 | 源しり(尸)を後ろに出す。↕伸 | 屈指(クッシ)・不屈(フクツ) |
| 19 | 尽 | かばね 尸 6 | ジン・つ(くす)・つ(きる)・つ(かす) | ㇇ コ 尸 尺 尽 尽 | 義つきる、つくす。きわめる。 | 尽力(ジンリョク)・無尽蔵(ムジンゾウ) |
| 20 | 尾 | かばね 尸 7 | ビ・お | ㇇ コ 尸 尸 尸 尸 尾 | 源しり(尸)に生えた毛を垂らす⇩お | 尾行(ビコウ)・語尾(ゴビ) |
| 21 | 疲 | やまいだれ 疒 10 | ヒ・つか(れる) | 丶 亠 广 疒 疒 疒 疒 疲 疲 | 義つかれる、おとろえるの意。 | 疲れる(つかれる)・疲労(ヒロウ) |
| 22 | 療 | やまいだれ 疒 17 | リョウ | 疒 疒 疒 疒 疒 疒 瘠 療 療 | 源尞→了(終わる)⇩病気を治めなおす | 治療(チリョウ)・療養(リョウヨウ) |

なぞろう　恵 怒 慮 恋 惑 床 屈 尽 尾 疲 療

書こう

⑫ 自然の**オンケイ**を受ける。（あたえられて、利益や幸福となるもの）〔　〕〔　〕〔　〕

⑬ 野党の**ドゴウ**が飛び交う中法案が可決された。（いかり叫びあう声）〔　〕〔　〕〔　〕

⑭ 彼は**シリョ**深い人物だ。（考えをおもいめぐらすこと）〔　〕〔　〕〔　〕

⑮ **ハツコイ**は中学生の時です。（はじめてのこい）〔　〕〔　〕〔　〕

⑯ **ワクセイ**を探査する。（こうせいの周囲を回るほし）〔　〕〔　〕〔　〕

⑰ **リンショウ**検査技師の資格を取る。（医りょうがおこなわれている現場）〔　〕〔　〕〔　〕

⑱ 彼は県内でも**クッシ**のハンドボール選手だ。（多数の中から特にすぐれていること）〔　〕〔　〕〔　〕

⑲ 環境問題に**ジンリョク**する。（ちからをつくすこと）〔　〕〔　〕〔　〕

⑳ 犯人を**ビコウ**する。（後をつけること）〔　〕〔　〕〔　〕

㉑ **ツカ**れた体を休める。（体がだるく感じること）〔　〕〔　〕〔　〕

㉒ 傷口を**チリョウ**する。（病気やけがをなおすための手当てをすること）〔　〕〔　〕〔　〕

**●こざとへん(阝)**

「おおざと」が左側に来ると、「こざとへん」という別の部首となる。「こざとへん」のもとの漢字は「阜」で、「ずんぐりと土を積み重ねたさま・丘」の意味（「おおざと」より示す範囲が小さい）。これをふまえると、P27の「陰」は日の当たる「丘」のかげとなっている部分、「隠」は「丘」にかくれて見えないことが語源であることが理解しやすい。

イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの　（**高低**）

ウ 上の字が下の字を修飾しているもの　（**洋画**）

エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの　（**着席**）

オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの　（**非常**）

次の熟語は右の**ア**～**オ**のどれにあたるか、**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 無為（　）　2 逃避（　）　3 需給（　）　4 濃霧（　）

5 及第（　）　6 冒険（　）　7 先輩（　）　8 尋問（　）

**解答**

⑩ま(う)　⑪おそ(れる)　⑫めぐ(む)　⑦盗む　⑬怒る　⑯惑う

**1** 1 範　2 違　3 露

**2** 1 オ　2 ア　3 イ　4 ウ　5 エ　6 エ　7 ウ　8 ア

# 第20回 4級⑪

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 違 | 辶（しんにょう） 13 | イ／ちが(う)／ちが(える) | 一 𠃊 𠃍 吾 韋 韋 韋 韋 違 | 義 いっちしない。さからう。 | 違法（イホウ）・違和感（イワカン） |
| 2 | 迎 | 辶（しんにょう） 7 | ゲイ／むか(える) | 丿 𠂉 卬 卬 迎 迎 迎 | 源 道(辶)に出てむかえる(卬)。↕送 | 歓迎（カンゲイ）・迎合（ゲイゴウ） |
| 3 | 遣 | 辶（しんにょう） 13 | ケン／つか(う)／つか(わす) | 口 中 中 串 甹 甹 貴 遣 遣 | 義 使いとして行かせる。つかう。㊟遺 | 派遣（ハケン）・先遣（センケン） |
| 4 | 込 | 辶（しんにょう） 5 | こ(む)／こ(める) | 丿 入 入 込 込 | 解 国字。辶(行く)＋入(入りこむ)。 | *人込み（ひとごみ）・見込み（みこみ） |
| 5 | 遅 | 辶（しんにょう） 12 | チ／おく(れる)／おく(らす)／おそ(い) | 𠃍 コ 尸 尸 屋 犀 犀 遅 遅 | 源 歩み(辶)がおそい動物(犀)。↕速・早 | 遅刻（チコク）・遅延（チエン） |
| 6 | 途 | 辶（しんにょう） 10 | ト | 丿 𠆢 亼 今 余 余 余 途 途 | 義 こみち、みちすじ。 | 帰途（キト）・途方（トホウ） |
| 7 | 逃 | 辶（しんにょう） 9 | トウ／に(げる・がす)／のが(す・れる) | 丿 丿 丬 兆 兆 兆 逃 逃 逃 | 源 はなれ(兆)去る(辶)⇩にげる | 逃走（トウソウ）・逃避（トウヒ） |
| 8 | 透 | 辶（しんにょう） 10 | トウ／す(く・ける)／す(かす) | 二 千 禾 禾 秀 秀 透 透 透 | 源 秀は長くのびる⇩つきぬける・とおる | 透明（トウメイ）・透視（トウシ） |
| 9 | 迫 | 辶（しんにょう） 8 | ハク／せま(る) | 丿 亻 白 白 白 白 迫 迫 | 義 ぴったりくっつく。せまる。苦しめる。 | 迫害（ハクガイ）・迫力（ハクリョク） |
| 10 | 避 | 辶（しんにょう） 16 | ヒ／さ(ける) | 𠃍 尸 启 辟 辟 辟 辟 避 避 | 源 わきへ寄る(辟)⇩さける | 避暑（ヒショ）・避難（ヒナン） |
| 11 | 越 | 走（そうにょう） 12 | エツ／こ(す)／こ(える) | 土 キ キ キ 走 走 走 走 越 | 解 戉(こえる・ひっかける)の形に注意。㊟超 | 越境（エッキョウ）・優越（ユウエツ） |

*人込み…「人混み」とも書く。

なぞろう：違 迎 遣 込 遅 途 逃 透 迫 避 越

書こう

## 練習

① **イホウ**行為を罰する。（きめられた事柄に背くこと）［　］［　］

② 新入部員の**カンゲイ**会を開く。（喜びをもってむかえること）［　］［　］

③ 代表者を**ハケン**する。（命令して出張させること）［　］［　］

④ **ヒトゴ**みにまぎれる。（ひとが群れのようにたくさんいること）［　］［　］

⑤ 明日は**チコク**しないように。（時間におくれること）［　］［　］

⑥ 仕事を終えて**キト**につく。（かえり道）［　］［　］

⑦ 容疑者が**トウソウ**した。（にげてはしり去ること）［　］［　］

⑧ **トウメイ**な容器に入れる。（すき通っていること）［　］［　］

⑨ 異教徒が**ハクガイ**を受ける。（圧力をかけ危害を加えること）［　］［　］

⑩ **ヒショ**地に出かける。（あつさをさけること）［　］［　］

⑪ **ユウエツ**感にひたる。（他よりすぐれていること）［　］［　］



## 訓読み

❸ 遣わす［　］　㉑ 乾く［　］

❿ 避ける［　］　❼ のがす［　］

⓰ 闘う［　］　❾ せまる［　］

⓲ 丈［　］　㉒ たがいに［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の漢字の**部首**を**ア〜エ**から**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 慮（ア 一　イ 七　ウ 田　エ 心）（　）

2 壁（ア 立　イ 尸　ウ 土　エ 𠮷）（　）

3 朱（ア ノ　イ 十　ウ 木　エ 一）（　）

4 繁（ア ノ　イ 母　ウ 攵　エ 糸）（　）

5 唐（ア 广　イ 口　ウ 丄　エ 十）（　）





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 趣 | 走（そうにょう） 15 | シュ／おもむき | 土 キ キ 走 走 走 趄 趄 趣 | 義 おもむき。おもしろみ。 | 趣向（シュコウ）・趣旨（シュシ） |
| 13 | 匹 | 匸（かくしがまえ） 4 | ヒツ／ひき | 一 ア 兀 匹 | 義 動物を数える語。一つの。 | 匹敵（ヒッテキ）・三匹（サンびき） |
| 14 | 圏 | 囗（くにがまえ） 12 | ケン | 丨 冂 冂 円 円 円 圏 圏 圏 | 源 丸く(巻)囲む(囗)⇩まるいかこい | 大気圏（タイキケン）・圏内（ケンナイ） |
| 15 | 弐 | 弋（しきがまえ） 6 | ニ | 一 二 三 三 弐 弐 | 源 貨へいである貝二つの形。 | 弐万円（ニマンエン）・弐千円（ニセンエン） |
| 16 | 闘 | 門（もんがまえ） 18 | トウ／たたか(う) | 丨 ｢ ｢ 門 門 門 門 門 闘 闘 | 源 門(二人が争う)＋封(おので切る)。 | 決闘（ケットウ）・闘志（トウシ） |
| 17 | 丘 | 一（いち） 5 | キュウ／おか | 丿 亻 𠂉 斤 丘 | 源 四方が高く、中央のくぼんだ山の形。 | 砂丘（サキュウ）・段丘（ダンキュウ） |
| 18 | 丈 | 一（いち） 3 | ジョウ／たけ | 一 ナ 丈 | 義 長さの単位。十尺(約三・〇三メートル)。 | 丈夫（ジョウブ）・背丈（せたけ） |
| 19 | 与 | 一（いち） 3 | ヨ／あた(える) | 一 与 与 | 義 あたえる。くみする、仲間になる。 | 関与（カンヨ）・与党（ヨトウ） |
| 20 | 丹 | 丶（てん） 4 | タン | 丿 冂 冂 丹 | 源 丹砂を掘るいどの形⇩赤・まごころ | 丹精（タンセイ）・丹念（タンネン） |
| 21 | 乾 | 乙（おつ） 11 | カン／かわ(く)／かわ(かす) | 一 十 古 吉 卓 卓 卓 乾 乾 | 義 かわく、水分がなくなる。㊟干 | 速乾（ソッカン）・乾物（カンブツ） |
| 22 | 互 | 二（に） 4 | ゴ／たが(い) | 一 工 互 互 | 源 なわや糸をねじり合わせた形。 | 交互（コウゴ）・相互（ソウゴ） |

なぞろう：趣 匹 圏 弐 闘 丘 丈 与 丹 乾 互

⑫ **シュコウ**を変える。（おもむき、おもむきを出す方ほう）［　］［　］

⑬ 彼の能力は君に**ヒッテキ**する。（力・技・地位などが対等であること）［　］［　］

⑭ 宇宙船が**タイキケン**に突入する。（地球を取り囲むたいきの存在する範囲）［　］［　］

⑮ **ニマンエン**を手にする。（10000えんの2倍）［　］［　］

⑯ 西部劇の**ケットウ**シーン。（相手と対けつすること）［　］［　］

⑰ 鳥取**サキュウ**に出かける。（すなでできたおか）［　］［　］

⑱ **ジョウブ**な素材でかばんを作る。（壊れにくいこと）［　］［　］

⑲ その問題には**カンヨ**していない。（ある物事にかかわること）［　］［　］

⑳ **タンセイ**して育てた農作物。（真心をこめること）［　］［　］

㉑ **ソッカン**性のインクを使用する。（すぐにかわく性質）［　］［　］

㉒ 左右を**コウゴ**に見る。（たがいちがいのさま）［　］［　］

◉**送りがなで迷ったら**

「表す」と「表わす」はどちらが正解？ 基本的なルールとしては「活用語尾から送る」ので、「表す」が正解。送りがなで迷ったら、頭の中で「活用表」を唱えてみよう。ただし、「表す」は活用語尾の前の音節から送ることも許されているので、実は「表わす」も間違いではない。巻末綴じ込みの「送りがなの付け方」をよく確認しておこう。

**2** 後の□の中のひらがなを一度だけ使って漢字**一字**に直し、**対義語と類義語**を記せ。

**対義語**

1 苦言—（　）言

2 建設—破（　）

3 特別—（　）通

4 起床—就（　）

**類義語**

5 専有—独（　）

6 冷静—（　）着

7 悲鳴—絶（　）

8 入念—（　）念

しん・かい・せん・たん・かん・きょう・ちん・ふ

**解答**

❸つか(わす) ❿さ(ける) ⓰たたか(う) ⓲たけ ㉑かわ(く) ❼逃す ❾迫る ㉒互いに

**1** 1エ 2ウ 3ウ 4エ 5イ

**2** 1甘 2壊 3普 4寝 5占 6沈 7叫 8丹

# 第21回 4級⑫

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 凡 | つくえ 几 3 | ボン ハン | ノ 几 凡 | 義 およそ。すべて。なみ。 | 平凡(ヘイボン) 凡例(ハンレイ) |
| 2 | 凶 | うけばこ 凵 4 | キョウ | ノ メ 区 凶 | 源 米びつ(凵)が空である(メ)⇩不作・災い | 凶悪(キョウアク) 凶作(キョウサク) |
| 3 | 介 | ひとやね 人 4 | カイ | ノ 人 介 介 | 義 助ける。なかだち、はさまる。ひとり。 | 介在(カイザイ) 一介(イッカイ) |
| 4 | 兼 | はち 八 10 | ケン か(ねる) | 䒑 䒑 䒑 兯 兯 争 兼 兼 兼 | 源 手(ヨ)で二本の稲(禾)を合わせ持つ。 | 兼備(ケンビ) 兼業(ケンギョウ) |
| 5 | 劣 | ちから 力 6 | レツ おと(る) | 丨 小 小 少 劣 劣 | 源 力が少ない⇩おとっている | 劣悪(レツアク) 劣勢(レッセイ) |
| 6 | 占 | うらない 卜 5 | セン し(める) うらな(う) | 丨 卜 卜 占 占 | 義 うらなう。しめる。自分のものとする。 | 独占(ドクセン) 占有(センユウ) |
| 7 | 及 | また 又 3 | キュウ およ(ぶ・ぼす) およ(び) | ノ 乃 及 | 源 人に後ろから手が届いたさま。 | 及第(キュウダイ) 言及(ゲンキュウ) |
| 8 | 含 | くち 口 7 | ガン ふく(む) ふく(める) | ノ 人 𠆢 今 今 含 含 | 義 口の中に入れておく。ふくむ。 | 包含(ホウガン) 含有(ガンユウ) |
| 9 | 召 | くち 口 5 | ショウ め(す) | フ 刀 刀 召 召 | 源 神れいを招くための刀でよびよせる(口)。 | 召集(ショウシュウ) 召す(めす) |
| 10 | 唐 | くち 口 10 | トウ から | 亠 广 庐 庐 庐 唐 唐 唐 唐 | 解 大きい(庚)ことを言う(口)。中国古代王朝の名。 | 唐突(トウトツ) 唐土(トウド) |
| 11 | 堅 | つち 土 12 | ケン かた(い) | 丨 厂 𠂆 臣 臣 臣 臣 臤 堅 | 源 かたい(臤)土が原義。 | 堅実(ケンジツ) 中堅(チュウケン) |

なぞろう：凡 凶 介 兼 劣 占 及 含 召 唐 堅

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① **ヘイボン**ながらも幸せな毎日を送る。（並みであること）
② **キョウアク**な犯罪が発生する。（残にんでわるいこと）
③ 両国間に**カイザイ**する課題。（両者の間にはさまっていること）
④ 才色**ケンビ**な人物を目標とする。（かねそなえていること）
⑤ **レツアク**な環境を改善する。（おとっていてわるいこと）
⑥ 話題を**ドクセン**する。（一人じめにすること）
⑦ 試験に**キュウダイ**する。（合格すること）
⑧ 複数の意味を**ホウガン**している。（つつみふくむこと）
⑨ 国会を**ショウシュウ**する。（呼びあつめること）
⑩ **トウトツ**な発言におどろく。（とつ然）
⑪ **ケンジツ**な考え方をする。（着じつでしっかりしていること）

## 訓読み

❹ 兼ねる
⓲ 尋ねる
❻ 占める
❺ おとる
❾ 召す
❻ うらなう
⓫ 堅い
❼ およぼす
⓬ 執る
⓳ めぐる

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線の**カタカナ**を漢字**一字と送りがな（ひらがな）**に直せ。

1 歌声がコンサート会場に**ヒビク**。（　）
2 子供の軽率な行動を**イマシメル**。（　）
3 急な発熱に**オソワレル**。（　）
4 雨に**ケムル**空港を後にした。（　）





| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 執 | つち 土 11 | シツ シュウ と(る) | 一 十 土 去 去 幸 幸 𡙇 執 執 | 義 こだわる。つかさどる。手に持つ。 | 執筆(シッピツ) 執念(シュウネン) |
| 13 | 壁 | つち 土 16 | ヘキ かべ | コ コ 尸 居 居 居 辟 辟 壁 | 義 家のかべ。切り立ったところ。注 璧 | 白壁(しらかべ) 障壁(ショウヘキ) |
| 14 | 壱 | さむらい 士 7 | イチ | 一 十 士 士 声 壱 壱 | 源 酒が発こうしてつぼいっぱいになった形。 | 壱万円(イチマンエン) 壱円玉(イチエンだま) |
| 15 | 奥 | だい 大 12 | オウ おく | ノ 门 门 冂 内 冂 冂 奥 奥 | 源 家(宀)の中の火をたく(釆)ところ⇩おく | 奥付(おくづけ) 奥義(オウギ) |
| 16 | 奇 | だい 大 8 | キ | 一 ナ 大 本 本 奇 奇 奇 | 義 めずらしい。あやしい。すぐれる。 | 奇抜(キバツ) 奇跡(キセキ) |
| 17 | 威 | おんな 女 9 | イ | ノ 厂 厂 反 反 反 威 威 威 | 源 おの(戉)で女をおどす。 | 威力(イリョク) 威光(イコウ) |
| 18 | 尋 | すん 寸 12 | ジン たず(ねる) | フ ヨ ヨ ヨ ヨ 尋 尋 尋 尋 | 義 たずねる。ふつう。長さの単位(ひろ)。 | 尋問(ジンモン) 尋常(ジンジョウ) |
| 19 | 巡 | かわ 巛 6 | ジュン めぐ(る) | く 巛 巛 巛 巛 巡 | 源 川(巛)のように同じ道筋でめぐる(辶)。 | 巡業(ジュンギョウ) 巡視(ジュンシ) |
| 20 | 巨 | たくみ・え 工 5 | キョ | 丨 厂 戶 巨 巨 | 源 とってのある定規の形⇩大きい | 巨万(キョマン) 巨大(キョダイ) |
| 21 | 幾 | いとがしら 幺 12 | キ いく | 幺 幺 幺 丝 丝 丝 幾 幾 幾 | 源 ほこ(戈)があとわずか(𢆶)で人に届く⇩ちかい | 幾分(いくブン) 幾多(いくタ) |
| 22 | 恥 | こころ 心 10 | チ は(じる) は(じらう) は(ずかしい) | 一 丆 F 耳 耳 耳 恥 恥 恥 | 源 耳が赤くなるほど心にはじる。 | 無恥(ムチ) 恥(はじ) |

なぞろう：執 壁 壱 奥 奇 威 尋 巡 巨 幾 恥

⑫ 作家が意欲的に**シッピツ**活動を行う。（文章を書くこと）
⑬ **シラカベ**の続く町並みを歩く。（しろいかべ）
⑭ **イチマンエン**を貯金する。（1000えんの十倍）
⑮ 本の巻末の**オクヅケ**を見る。（その本の発行年月日などを記したもの）
⑯ **キバツ**な案を出す。（人の思いもよらないこと）
⑰ **イリョク**を発揮する。（他を圧倒するちから）
⑱ 裁判官が被告人に**ジンモン**する。（といただすこと）
⑲ 相撲(すもう)の地方**ジュンギョウ**を見に行く。（さまざまな土地を回って興行すること）
⑳ **キョマン**の富を築く。（非常に多くの数）
㉑ 景気が**イクブン**良くなる。（ある程度、多少）
㉒ 厚顔**ムチ**な言動にあきれる。（えんりょやはじを知らず、ずうずうしいさま）

**◉楷書(かいしょ)で書くこと**

漢字検定だけではなく、各種申請(しんせい)用紙などに見られる「楷書で」の注意書き。それは「行書(ぎょうしょ)」「草書(そうしょ)」といった手書きのくずし文字が今も用いられている証(あかし)と言える。特に、楷書の画を書きやすく続けた「行書」は、文字も読みやすく実用的。公文書は楷書で、手紙は行書でと粋(いき)に使い分けてみてはどうだろうか。

5 暑さで食べ物が**クサル**。（　）

**2** 文中の**四字熟語**の——線の**カタカナ**を**漢字一字**に直せ。

1 害虫の群れを**一網打ジン**にした。（　）
2 **キ想天外**の案で大差をはね返す。（　）
3 **ボウ若無人**の振る舞い。（　）
4 すべての事柄に**疑心暗キ**になる。（　）
5 **言行一チ**の行動で信頼を得る。（　）
6 法律の条文は**無味乾ソウ**な文章だ。（　）

**解答**

❹ か(ねる) ❻ し(める) ❾ め(す) ⓫ かた(い) ⓬ と(る) ⓲ たず(ねる) ❺ 劣る ❻ 占う ❼ 及ぼす ⓳ 巡る

**1** 1 響く 2 戒める 3 襲われる 4 煙る 5 腐る

**2** 1 尽 2 奇 3 傍 4 鬼 5 致 6 燥

第22回 4級⑬

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 撃 | て 手 15 | ゲキ／う(つ) | 一 ㄇ 亘 車 軗 墼 撃 | 源車がぶつかり合う(轚)＋手⇩うつ | 目撃（モクゲキ）・撃退（ゲキタイ）・撃（ゲキ） |
| 2 | 旨 | ひ 日 6 | シ／むね | 一 ヒ 旨 旨 旨 | 義主とすること。事の意味・内容。 | 要旨（ヨウシ）・本旨（ホンシ）・旨（シ） |
| 3 | 旬 | ひ 日 6 | ジュン・シュン | ノ 勹 勺 句 旬 旬 | 義ジュンは十日間。シュンは食材の味が最も良いとき。 | 上旬（ジョウジュン）・旬（ジュン）・旬報（ジュンポウ） |
| 4 | 是 | ひ 日 9 | ゼ | 丨 ㄇ 日 旦 早 昇 是 | 義正しい。これ、この、ここ。↕非 | 是正（ゼセイ）・是非（ゼ）・是認（ゼニン） |
| 5 | 曇 | ひ 日 16 | ドン／くも(る) | 日 旦 昌 曇 曇 曇 | 源雲が広がり日をおおいかくす。 | 曇（くも）り・曇天（ドンテン） |
| 6 | 普 | ひ 日 12 | フ | ソ 丷 并 並 普 普 | 源太陽(日)の光がゆきわたる⇩あまねく | 普及（フキュウ）・普段（フダン） |
| 7 | 暦 | ひ 日 14 | レキ／こよみ | 一 厂 厂 厂 厤 厤 暦 | 義一定の間かくで運行していく日・月。 | 陰暦（インレキ）・西暦（セイレキ）・暦（レキ） |
| 8 | 更 | いわく 曰 7 | コウ・さら／ふ(ける)・ふ(かす) | 一 ㄏ 㠯 戸 㫗 更 | 義さらに。あらためる。新しくする。 | 更新（コウシン）・更生（コウセイ）・更（コウ） |
| 9 | 替 | いわく 曰 12 | タイ／か(える)・か(わる) | 二 夫 扶 扶 替 替 | 源二人(扶)が引き継ぎで話す(日)。 | 代替（ダイタイ）・両替（リョウがえ）・替（タイ） |
| 10 | 冒 | いわく 曰 9 | ボウ／おか(す) | 丨 ㄇ 曰 冃 冒 冒 | 義おおう。おかす。押し切ってする。 | 感冒（カンボウ）・冒険（ボウケン）・冒（ボウ） |
| 11 | 朱 | き 木 6 | シュ | ノ 二 牛 朱 朱 | 源木の中心の赤い色。 | 朱（シュ）・朱肉（シュニク）・朱色（シュいろ） |
| 12 | 柔 | き 木 9 | ジュウ・ニュウ／やわ(らか)・やわ(らかい) | 矛 柔 柔 柔 | 源ほこ(矛)の柄にするしなやかな木。 | 柔和（ニュウワ）・柔道（ジュウドウ）・柔（ジュウ） |
| 13 | 歳 | とめる 止 13 | サイ・セイ | 丨 ト 止 屵 歳 歳 歳 | 源種まきから収かく(戉)の一巡り(止↓歩)。 | 歳（サイ）・歳出（サイシュツ）・歳暮（セイボ） |
| 14 | 獣 | いぬ 犬 16 | ジュウ／けもの | ツ 兴 単 嘼 獣 獣 | 源犬と武器(嘼)とで狩りをする⇩けもの | 獣（ジュウ）・獣医（ジュウイ）・野獣（ヤジュウ） |
| 15 | 玄 | げん 玄 5 | ゲン | 丶 亠 𠫓 玄 玄 | 源黒糸の束の形⇩くろ・奥深い | 玄（ゲン）・玄米（ゲンマイ）・玄妙（ゲンミョウ） |
| 16 | 甘 | かん・あまい 甘 5 | カン／あま(い)・あま(える)・あま(やかす) | 一 十 廿 甘 甘 | 源食物を口に含み甘さを味わう形。 | 甘（カン）・甘美（カンビ）・甘酒（あまざけ） |
| 17 | 畳 | た 田 12 | ジョウ／たた(む)・たたみ | 丨 ㄇ 田 田 畄 畳 畳 | 解積み重ねる。日本ではたたみの意も。 | 石畳（いしだたみ）・畳（ジョウ）・百畳（ヒャクジョウ） |
| 18 | 皆 | しろ 白 9 | カイ／みな | 一 ヒ 比 比 皆 皆 | 源みんなが並んで(比)申し述べる(白)。 | 皆（カイ）・皆無（カイム）・皆目（カイモク） |
| 19 | 盾 | め 目 9 | ジュン／たて | 一 厂 斤 盾 盾 | 源身を守り、目をおおうたての形。 | 後ろ盾（うしろだて）・盾（たて） |
| 20 | 矛 | ほこ 矛 5 | ム／ほこ | ㇇ マ 予 矛 矛 | 源兵車に立てる、柄の長いほこの形。 | 矛（ム）・矛先（ほこさき）・矛盾（ムジュン） |
| 21 | 秀 | のぎ 禾 7 | シュウ／ひい(でる) | 一 二 千 禾 禾 秀 秀 | 源いねがのびる⇩ひいでる | 優秀（ユウシュウ）・秀（シュウ）・秀才（シュウサイ） |
| 22 | 端 | たつへん 立 14 | タン／はし・は・はた | 立 立' 立山 端 端 | 義まっすぐで正しい。はじめ。はし。 | 端（タン）・端正（タンセイ）・発端（ホッタン） |

なぞろう：撃 旨 旬 是 曇 普 暦 更 替 冒 朱 柔 歳 獣 玄 甘 畳 皆 盾 矛 秀 端

書こう

## 練習

① モクゲキ者の証言が頼りだ。（実際に見ること）

② 百字以内で本文のヨウシを書く。（大筋、大切な部分）

③ 十月ジョウジュンの気候。（月の1日から10日まで）

④ 不公平をゼセイする。（悪い点を改めること）

⑤ 今日の天気はクモりのち雨だ。（雲が空をおおっている状態）

⑥ システムの開発とフキュウに尽力する。（広く世間一般にいきわたること）

⑦ インレキでは八月を葉月と呼ぶ。（たいいんれき）

⑧ パスポートをコウシンする。（改めてあたらしくすること）

⑨ ダイタイ品で我慢しよう。（他のものでだい用すること）

⑩ 流行性カンボウにかかる。（かぜ）

⑪ 印鑑とシュニクを用意する。（印鑑にしゅ色の顔料をつけるためのもの）

⑫ ニュウワな表情を浮かべる。（性格がおだやかでやさしいこと）

⑬ 国と地方のサイシュツを比較する。（公共団体の支しゅつ）

⑭ ジュウイが牛の体を調べる。（動物のいしゃ）

⑮ ゲンマイを精白する。（精白していないこめ）

⑯ カンビなメロディーに聞き入る。（あまくてこころよいこと）

⑰ 旧街道のイシダタミを歩く。（いしを敷き詰めた道）

⑱ 交通死亡事故をカイムにする。（全く存在しないこと）

⑲ 会社で彼のウシロダテとなる。（かげで助けてくれる人）

⑳ ムジュンした発言を指摘する。（現実として両立しがたい事柄）

㉑ ユウシュウな成績で卒業する。（すぐれてひいでていること）

㉒ タンセイな身のこなし。（きちんとしていてうつくしいこと）

## 訓読み

❶ 撃つ　⓮ 獣　❼ 暦　⓴ 矛　❽ 更ける 高　❽ さらに　❿ 冒す　⓰ あまえる　⓬ 柔らかい　㉑ ひいでる 高

### 漢字検定 練習問題にチャレンジ

1 次の各文にまちがって使われている**同じ読みの漢字**が**一字**ある。**上に誤字を、下に正しい漢字**を記せ。

1 政権交代の経移を検証し、その結果を活用することが、国家の再生には必要だ。（　↓　）

2 医料保険改革は内政上の最優先課題であり、その動向に注目が集まる。（　↓　）

3 幹状道路の整備は、都市機能の低下を防ぐために必要不可欠だ。（　↓　）

4 左右対照であることは、人の美的判断に関わる重要な要素の一つだ。（　↓　）

5 オリンピックで日本の選手が恐異的な記録を出したことが報道された。（　↓　）

6 日本文化を海外に招介することは、国際理解が深まる好機となる。（　↓　）

**解答**

❶う(つ)　❼こよみ　❽ふ(ける)　❿おか(す)　⓬やわ(らかい)　⓮けもの　⓴ほこ　❽更に　⓰甘える　㉑秀でる

1　1 移→緯　2 料→療　3 幹→環　4 照→称　5 恐→驚　6 招→紹

●**書道か書法か**

書道は漢字の本場中国から伝わったが、中国では「書道」ではなく「書法」という言い方をする。行儀よりも技術を重視する一面もあり、なんとなく気楽さが漂っている。例えば首都北京の公園を歩くと、石畳の地面に、水をつけた筆で書を楽しむ人びとに出会う。片付けいらずの気軽なエクササイズとしても親しまれているようだ。



5級　4級①〜⑭ 313字　3級　準2級　2級　応用編　1回目　2回目　3回目

# 第23回 4級⑭



| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 成り立ち・意味 | 用例 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | 紫 | 糸(いと) 12 | シ / むらさき | 解 むらさき。中国ではてい王、せん人の色。 | 紫外線(シガイセン) 紫雲(シウン) |
| 2 | 繁 | 糸(いと) 16 | ハン | 源 糸が増える(毎)⇩しげる ㊟繁(しげ)るは常用外。 | 繁栄(ハンエイ) 繁殖(ハンショク) |
| 3 | 翼 | 羽(はね) 17 | ヨク / つばさ | 源 もう一つ別の(異)つばさ(羽)が原義。 | 尾翼(ビヨク) 一翼(イチヨク) |
| 4 | 耐 | 而(しかして) 9 | タイ / た(える) | 源 もっと(寸)できる(而)⇩たえる | 耐久(タイキュウ) 耐火(タイカ) |
| 5 | 肩 | 肉(にく) 8 | ケン / かた | 源 体(月)+かたの形(戸) | 肩書(かたがき) 比肩(ヒケン) |
| 6 | 腐 | 肉(にく) 14 | フ / くさ(る) くさ(れる) くさ(らす) | 源 くら(府)にしまいこんだ肉⇩くさる・心をくだく | 腐敗(フハイ) 豆腐(トウフ) |
| 7 | 膚 | 肉(にく) 15 | フ | 源 肉(月)+盧 ㊅(盧の略体。おおうの意。)⇩はだ | 完膚(カンプ) 皮膚(ヒフ) |
| 8 | 致 | 至(いたる) 10 | チ / いた(す) | 義 招く。ありさま。きわめる。つくす。 | 合致(ガッチ) 致命傷(チメイショウ) |
| 9 | 舗 | 舌(した) 15 | ホ | 源 金具をしき並べる(甫)⇩みせ | 舗装(ホソウ) 本舗(ホンポ) |
| 10 | 襲 | 衣(ころも) 22 | シュウ / おそ(う) | 源 衣を重ねる(龍)⇩あとを継ぐ | 世襲(セシュウ) 襲名(シュウメイ) |
| 11 | 誉 | 言(げん) 13 | ヨ / ほま(れ) | 源 ことば(言)でもちあげる(⺌)⇩ほめる | 名誉(メイヨ) 栄誉(エイヨ) |

なぞろう
書こう

## 練習

① シガイセンからはだを守る。（日焼けの原因となる太陽のひかり）
② 子孫ハンエイを祈る。（さかえること）
③ 飛行機のビヨクを整備する。（飛行機後方にある、安定を保つためのつばさ）
④ 二十四時間タイキュウレースにいどむ。（長くもちこたえること）
⑤ 父のカタガキは課長です。（地位、身分）
⑥ 政治のフハイを防止する。（だ落して害を及ぼすこと）
⑦ カンプ無きまでに打ちのめされる。（一つも傷がついていない皮ふ）
⑧ 内容がガッチしている。（ぴったりあうこと）
⑨ 道路のホソウ工事が始まる。（たいきゅう力が増すように表面を固めること）
⑩ 日本に古来からあるセシュウ制度。（その家の特質を子孫が受け継ぐこと）
⑪ メイヨをかけた勝負を行う。（ほまれ）

## 訓読み

④ 耐える
⑲ 麗しい 高
⑧ 致す
⑥ くさる
⑩ 襲う
⑪ ほまれ
⑭ 載せる
⑬ かがやく
⑰ 驚く
⑳ だまる

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナを漢字に直せ。

1 エイビンな感覚の持ち主。
2 コダイ広告を厳しくとりしまる。
3 キョガクの建設費がかかる。
4 ゾウトウ用のはなやかな花束。
5 この和室の広さは約ロクジョウだ。
6 梅雨に入り、ドンテンが続く。
7 まだアシアトが残っている。
8 ハずかしい体験談を語る。
9 優勝して記念のタテをもらう。
10 サワらぬ神にたたりなし。
11 体がナマリのように重い。
12 アマい言葉には用心する。





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 成り立ち・意味 | 用例 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 12 | 豪 | 豕(ぶた・いのこ) 14 | ゴウ | 源 ヤマアラシのこと⇩すぐれる・強い | 文豪(ブンゴウ) 豪快(ゴウカイ) |
| 13 | 輝 | 車(くるま) 15 | キ / かがや(く) | 源 光がとりまき(軍)かがやく。 | 光輝(コウキ) 輝く(かがやく) |
| 14 | 載 | 車(くるま) 13 | サイ / の(せる) の(る) | 源 荷が車から落ちないようにのせるが原義。 | 満載(マンサイ) 連載(レンサイ) |
| 15 | 輩 | 車(くるま) 15 | ハイ | 源 車がたくさん並ぶ(非)⇩仲間・ともがら | 輩出(ハイシュツ) 先輩(センパイ) |
| 16 | 響 | 音(おと) 20 | キョウ / ひび(く) | 源 四方に広がってゆく(郷)音⇩ひびき | 影響(エイキョウ) 反響(ハンキョウ) |
| 17 | 驚 | 馬(うま) 22 | キョウ / おどろ(く) おどろ(かす) | 源 敏感な馬がはっと緊張する(敬)⇩おどろく | 驚異(キョウイ) 驚嘆(キョウタン) |
| 18 | 鬼 | 鬼(おに) 10 | キ / おに | 源 人が面をかぶり死者のれいにふんする形。 | 鬼気(キキ) 鬼(おに) |
| 19 | 麗 | 鹿(しか) 19 | レイ / うるわ(しい) | 源 美しい角(丽)が出そろった鹿(しか)の形。 | 端麗(タンレイ) 麗しい(うるわしい) |
| 20 | 黙 | 黒(くろ) 15 | モク / だま(る) | 源 犬がほえない(黒→動かない→静)。 | 暗黙(アンモク) 黙秘(モクヒ) |
| 21 | 齢 | 歯(はへん) 17 | レイ | 源 生まれてからへてきた(令)とし(歯)。 | 高齢(コウレイ) 妙齢(ミョウレイ) |
| 22 | 鼓 | 鼓(つづみ) 13 | コ / つづみ | 義 太鼓。ふるいたたせる。 | 鼓動(コドウ) 鼓腹(コフク) |

⑫ 明治時代のブンゴウの作品を読む。（ぶん学の大家）
⑬ コウキにみちた業績を残す。（かがやき）
⑭ 荷物をマンサイしたトラックが走る。（いっぱいにのせること）
⑮ 優れた人材をハイシュツする。（優れた人をだすこと）
⑯ 友達のエイキョウを受ける。（他に作用が及んだその反応のこと）
⑰ キョウイの新記録が生まれた。（信じられない事柄に対するおどろき）
⑱ キキせまる形相でやって来た。（こわさを感じるほどのけ配）
⑲ 容姿タンレイの人にあこがれる。（顔立ちや姿がととのっていて美しい様子）
⑳ アンモクのルールが存在する。（考えを表面化しないこと）
㉑ 社会のコウレイ化が進む。（年れいがたかいこと）
㉒ 胸のコドウがたかまる。（心臓のうごき）

### ◉画数の諸説

子どもの命名に際して漢字の画数を考慮する親は多い。ところが、この数え方には諸説あって、ある一派は「りっしんべん(忄)」は「心」の意味なので四画、「てへん(扌)」は「手」の意味なので四画と数えるという。いずれも漢和辞典を引けば三画であるし、三画のまま数える一派も存在する。あなたならどちらを選ぶ?

### 解答

❹た(える) ❽いた(す) ❿おそ(う) ⓮の(せる) ⓱おどろ(く) ⓳うるわ(しい) ❻腐る ⓫誉れ ⓭輝く ⓴黙る

**1** 1 鋭敏 2 誇大 3 巨額 4 贈答 5 六畳 6 曇天 7 足跡 8 恥 9 盾 10 触 11 鉛 12 甘

# 第24回 3級①

| 番号 | 漢字 | 部首名・部首・画数 | 読み | 源・義 | 熟語 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 佳 | にんべん イ 8 | カ | 源 均整がとれている(圭)人(イ)⇩よい | 佳境(カキョウ)・佳作(カサク) |
| 2 | 偶 | にんべん イ 11 | グウ | 義 二で割り切れる。たまたま。ならぶ。人形。 | 偶数(グウスウ)・偶発(グウハツ) |
| 3 | 倹 | にんべん イ 10 | ケン | 源 イ(人)+㑒(しめる)⇩生活をひきしめる | 倹約(ケンヤク)・節倹(セッケン) |
| 4 | 債 | にんべん イ 13 | サイ | 義 借りたお金。返してもらうお金。 | 債権(サイケン)・債務(サイム) |
| 5 | 催 | にんべん イ 13 | サイ／もよお(す) | 源 人(イ)をおし進める(崔↓推)⇩うながす | 開催(カイサイ)・主催(シュサイ) |
| 6 | 侍 | にんべん イ 8 | ジ／さむらい | 源 人(イ)のそばにとどまり(寺)仕える。 | 侍従(ジジュウ)・侍医(ジイ) |
| 7 | 伸 | にんべん イ 7 | シン／の(びる)／の(ばす)／の(べる) | 源 人+申(音)(のびる)。↕屈・縮 | 伸縮(シンシュク)・追伸(ツイシン) |
| 8 | 促 | にんべん イ 9 | ソク／うなが(す) | 源 人(イ)をうながして(足)急がせる。 | 催促(サイソク)・促音(ソクオン) |
| 9 | 伐 | にんべん イ 6 | バツ | 源 人(イ)にほこ(戈)をあててきる。 | 伐採(バッサイ)・乱伐*(ランバツ) |
| 10 | 伴 | にんべん イ 7 | ハン／バン／ともな(う) | 源 人+半⇩よきかたわれ⇩つれ・とも | 伴奏(バンソウ)・同伴(ドウハン) |
| 11 | 伏 | にんべん イ 6 | フク／ふ(せる)／ふ(す) | 源 犬が人(イ)の側にふす⇩ふせる・従う | 起伏(キフク)・伏線(フクセン) |
| 12 | 倣 | にんべん イ 10 | ホウ／なら(う) | 源 放は並べて比べる意⇩ならう・まねする | 模倣(モホウ)・倣(なら)う |
| 13 | 凝 | にすい 冫 16 | ギョウ／こ(る)／こ(らす) | 源 こおり(冫)が固まる(疑)が原義。 | 凝固(ギョウコ)・凝視(ギョウシ) |
| 14 | 凍 | にすい 冫 10 | トウ／こお(る)／こご(える) | 源 こおって(冫)重くなる(東↓重)が原義。 | 冷凍(レイトウ)・凍結(トウケツ) |
| 15 | 喚 | くちへん 口 12 | カン | 義 声をかけてよぶ。わめく。 | 喚問(カンモン)・喚起(カンキ) |
| 16 | 喫 | くちへん 口 12 | キツ | 義 飲む。吸いこむ。受ける。 | 喫煙(キツエン)・満喫(マンキツ) |
| 17 | 嘱 | くちへん 口 15 | ショク | 源 口+属(音)(従う)⇩口で言ってたのむ・ゆだねる | 委嘱(イショク)・嘱望(ショクボウ) |
| 18 | 塊 | つちへん 土 13 | カイ／かたまり | 義 土のかたまり。かたまり。 | 金塊(キンカイ)・塊状(カイジョウ) |
| 19 | 坑 | つちへん 土 7 | コウ | 義 地面に掘った穴。 | 炭坑(タンコウ)・坑道(コウドウ) |
| 20 | 壇 | つちへん 土 16 | ダン／タン | 源 高く築いた平地(亶)が原義。 | 演壇(エンダン)・文壇(ブンダン) |
| 21 | 墳 | つちへん 土 15 | フン | 源 土(土)を盛りあげ(賁)て作った墓。 | 古墳(コフン)・墳墓(フンボ) |
| 22 | 埋 | つちへん 土 10 | マイ／う(める)／う(まる)／う(もれる) | 源 土の中にうずめるが原義。 | 埋設(マイセツ)・埋没(マイボツ) |

*乱伐…「濫伐」とも書く。

なぞろう

書こう

## 練習

1回目　2回目　3回目

① 話がカキョウに入る。（最も興味を感じさせるところ）
② グウスウは二で割り切れる。（2で割り切れる整すう）
③ 彼はケンヤク家として知られる。（無だを省いて出費を少なくすること）
④ サイケン者が返済を要求する。（きん銭などを貸した人が返済を求めるけん利）
⑤ 株主総会をカイサイする。（会合やもよおし物をひらき行うこと）
⑥ ジジュウ長の手記を読む。（君主のそば近くに仕える人）
⑦ シンシュク自在の包帯を巻く。（のびたりちぢんだりすること）
⑧ 矢のサイソクをする。（物事を早くするようにうながすこと）
⑨ 原生林のバッサイを中止する。（山林などから樹木を切り出すこと）
⑩ ピアノのバンソウに合わせる。（主声部に付け加えられる付ずい的な音楽）
⑪ キフクに富んだ人生を送る。（高くなったり低くなったりしていること）
⑫ 芸術はモホウと独創だ。（他のものをまねること、似せること）
⑬ 水がギョウコすると氷になる。（こりかたまる、液体や気体がこ体になる）
⑭ レイトウ食品を温める。（食品などを保存するためにこおらせること）
⑮ 国会での証人カンモンが行われる。（公的な機関が人を呼び出してといただすこと）
⑯ キツエンの習慣を改める。（たばこを吸うこと）
⑰ イショク状を手渡す。（ある期間、特定の仕事を人に頼んで任せること）
⑱ 難破船でキンカイを見つけた。（きんのかたまり）
⑲ 父はタンコウで働いていた。（石たんをさい掘するために掘った穴）
⑳ 首相がエンダンに立つ。（講えんやえん説をする人が立つだん）
㉑ コフンの発掘調査に参加する。（土を高く盛りあげて作った、こ代の墓）
㉒ 海底ケーブルをマイセツする。（地中にうめてせっ置すること）

## 訓読み

⑦ 伸びる　⑪ 伏せる　⑫ 倣う 高　⑬ 凝る　⑭ 凍える
⑱ 塊　⑤ もよおす　⑧ うながす　⑩ ともなう　㉒ うまる

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線の漢字の読みをひらがなで記せ。

1 何か魂胆のありそうな顔つきだ。
2 幼稚園の先生を目指して勉強する。
3 犯罪を抑止する方法を議論する。
4 囲炉裏を囲んで祖父の話を聞く。
5 突然の知らせに挙措を失う。
6 そで口のほころびを繕う。
7 期待で胸が膨らむ。
8 春の景色が殊に美しい。
9 解決策を審議会に諮る。
10 娘の婿となる人に会う。
11 唐揚げ弁当を注文する。
12 友との別れを惜しむ。

◉偶隅遇パニック！
「偶」に「隅」に「遇」。紛らわしくて書き間違えそう。そんな時、こんな覚え方はいかがだろう。「人ざとに侵入して、偶たま隅で遇う。」
「人」＝「イ」(にんべん)、「ざと」＝「阝」(こざとへん)、「侵入」＝「⻌」(しんにょう)のことをそれぞれ表している。偏のちがいに注目した覚え方の工夫だ。

## 解答

❼ の(びる)　⓫ ふ(せる)　⓬ なら(う)
⓭ こ(る)　⓮ こご(える)　⓲ かたまり
❺ 催す　❽ 促す　❿ 伴う　㉒ 埋まる

**1**
1 こんたん　2 ようちえん
3 よくし　4 いろり
5 きょそ　6 つくろ
7 ふく　8 こと　9 はか
10 むこ　11 からあ　12 お

5級　4級　3級①～⑬ 284字　準2級　2級　応用編

# 第25回 3級②

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 嫁 | 娯 | 如 | 嬢 | 婿 | 姫 | 妨 | 孤 | 孔 | 峡 | 巧 |
| 部首・画数 | おんなへん 女 13 | おんなへん 女 10 | おんなへん 女 6 | おんなへん 女 16 | おんなへん 女 12 | おんなへん 女 10 | おんなへん 女 7 | こへん 子 9 | こへん 子 4 | やまへん 山 9 | たくみへん 工 5 |
| 読み | カ よめ とつ(ぐ) | ゴ | ジョ ニョ | ジョウ | セイ むこ | ひめ | ボウ さまた(げる) | コ | コウ | キョウ | コウ たく(み) |
| 意味・成り立ち | 解 女が夫の家にいく。おしつける。 | 源 女と語り(呉→語)楽しむが原義。 | 源 女が人のことば(口)に従う⇩ごとし | 義 おもに未婚の女性の敬称。 | 義 むすめの夫。 | 義 女性の美称。貴人の娘。かわいいこと。 | 源 女が男の仕事のじゃまをする(方)が原義。 | 源 身よりのない(瓜)子⇩みなしご・一人 | 義 あな。孔子の略称。 | 義 山と山との間の谷あい。はざま。 | 源 物を曲げ(丂)工作する⇩たくみ ↕拙 |
| 用例 | 花嫁(はなよめ) 転嫁(テンカ) 嫁(よめ) | 娯楽(ゴラク) | 欠如(ケツジョ) 如実(ニョジツ) | 令嬢(レイジョウ) | 花婿(はなむこ) 女婿(ジョセイ) | 姫君(ひめぎみ) 姫松(ひめまつ) | 妨害(ボウガイ) 妨げ(さまたげ) | 孤独(コドク) 孤軍(コグン) | 気孔(キコウ) 眼孔(ガンコウ) | 海峡(カイキョウ) 峡谷(キョウコク) | 巧妙(コウミョウ) 技巧(ギコウ) |

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 弧 | 悦 | 怪 | 悔 | 慨 | 悟 | 慌 | 恨 | 惜 | 憎 |
| 部首・画数 | ゆみへん 弓 9 | りっしんべん 忄 10 | りっしんべん 忄 8 | りっしんべん 忄 9 | りっしんべん 忄 13 | りっしんべん 忄 10 | りっしんべん 忄 12 | りっしんべん 忄 9 | りっしんべん 忄 11 | りっしんべん 忄 14 |
| 読み | コ | エツ | カイ あや(しい) あや(しむ) | カイ く(いる) く(やむ) くや(しい) | ガイ | ゴ さと(る) | コウ あわ(てる) あわ(ただしい) | コン うら(む) うら(めしい) | セキ お(しい) お(しむ) | ゾウ にく(む)・にく(い)・にく(らしい)・にく(しみ) |
| 意味・成り立ち | 源 弓のように曲がる(瓜)。 | 源 わだかまりが抜け(兑→脱)喜ぶ心(忄)。 | 義 疑わしい。不思議な。普通でない。 | 源 暗い(毎)気持ち(忄)⇩くやむ 注侮 | 源 気持ち(忄)が胸にいっぱいになる(既)。 | 源 心(忄)があきらかになる(吾)⇩さとる | 源 心(忄)をなくす(荒→亡)⇩あわてる | 源 心(忄)にうらみがとどまる(艮)。 | 源 昔のことを心(忄)にとめて残念がる。 | 源 いやな気持ち(忄)が重なる(曽→層)。 |
| 用例 | 弧(コ) 弧状(コジョウ) | 悦楽(エツラク) 喜悦(キエツ) | 奇怪(キカイ) 怪力(カイリキ) | 後悔(コウカイ) 悔恨(カイコン) | 感慨(カンガイ) 慨嘆(ガイタン) | 覚悟(カクゴ) 悔悟(カイゴ) | 慌てる(あわてる) 恐慌(キョウコウ) | 遺恨(イコン) 恨恨(コンコン) | 惜別(セキベツ) 惜敗(セキハイ) | 憎悪(ゾウオ) 愛憎(アイゾウ) |

なぞろう

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① 美しいハナヨメ姿に見とれる。（結婚したばかりの女性、結婚式当日の新婦）
② テレビのゴラク番組を見る。（仕事や勉学の余暇にする遊びやたのしみ）
③ 彼の発言には常識がケツジョしている。（必要なものがかけていること）
④ 深窓のレイジョウとして大切に育てられる。（貴人の娘や他人の娘を敬っていう語）
⑤ タキシード姿のハナムコ。（結婚したばかりの男性、結婚式当日の新郎）
⑥ 王家のヒメギミをお守りする。（貴人の娘、特に年長の娘を敬っていう語）
⑦ 安眠をボウガイするものを取り除く。（じゃまをすること）
⑧ 時にはコドクな時間も必要だ。（仲間や身寄りがなくひとりぼっちであること）
⑨ 植物はキコウで呼吸をする。（葉の裏側などにある小さな穴）
⑩ 宗谷(そうや)カイキョウを航行する船。（二つの陸地にはさまれた狭い海域）
⑪ 敵のコウミョウなわなをくぐり抜ける。（物事の方法がかん心するほどたくみであること）
⑫ コを描いて落下する。（弓のように曲がった形、円周などの一部分）
⑬ 深いエツラクに浸る。（喜びを得てたのしむこと）
⑭ キカイな物語を集めた本を読む。（常識では考えられないほど不思議なさま）
⑮ コウカイ先に立たず。（自分の行為をあとになってくやむこと）
⑯ 久しぶりの再会にカンガイ無量だ。（心に深くかんじてしみじみとした思いになる）
⑰ カクゴを決める。（好ましくない事態を受けとめようと決心する）
⑱ 急な指名にアワてる。（せわしなく落ち着かないさま）
⑲ イコンを残す結果となった。（忘れられない深いうらみ）
⑳ セキベツの情をよんだ俳句を味わう。（わかれをおしむこと）
㉑ 武力による弾圧にゾウオの念を抱く。（ひどくにくみきらうこと）

## 訓読み

❶ 嫁ぐ
⓫ 巧み
⓮ 怪しい
⓯ 悔やむ
⓳ 恨む
⓴ 惜しい
㉑ 憎む
❼ さまたげる
⓯ くやしい
⓱ さとる
⓲ あわてる
㉑ にくしみ

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナにあてはまる漢字を後の（　）の中からそれぞれ一つ選んで記せ。

1 生コウな文章で読みにくい。
2 発コウ食品を好む。
3 コウ辛料を調合する。
（香　拘　酵　坑　硬）

1（　　）2（　　）3（　　）

4 料理が得意で自スイする。
5 学問への純スイな情熱。
6 計画通りにスイ行された。
（粋　垂　衰　炊　遂）

4（　　）5（　　）6（　　）

7 ケイ約書にサインする。
8 ケイ発活動に力を入れる。
9 論文が雑誌にケイ載される。
（啓　掲　契　傾　携）

7（　　）8（　　）9（　　）

10 交通違反を取りシまる。
11 真綿で首をシめる。
12 市場全体にシめる割合。
（絞　占　閉　染　締）

10（　　）11（　　）12（　　）

## 解答

❶とつ(ぐ) ⓫たく(み) ⓮あや(しい) ⓯く(やむ) ⓳うら(む) ⓴お(しい) ㉑にく(む) ❼妨げる ⓯悔しい ⓱悟る ⓲慌てる ㉑憎しみ

**1** 1 硬　2 酵　3 香　4 炊　5 粋　6 遂　7 契　8 啓　9 掲　10 締　11 絞　12 占

◉りっしんべん（忄）

「りっしんべん」は象形文字で、心臓がルーツ。よく見ると、心室、心房がきちんと分かれているようにも見え、「いつ解剖(かいぼう)したの？」と言いたくなる。もちろんかわいいハートマークなどではない。見るとまっすぐに伸びる縦線は、流れ出る血液を示しているように見える。こう知ると、なんだか「忄」の三画が心臓の鼓動のように聞こえてくるから不思議だ。

# 第26回 3級③

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 滑 | 湿 | 潤 | 瀬 | 潜 | 滞 | 滝 | 泌 | 漂 | 没 | 滅 |
| 部首 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 |
| 画数 | 13 | 12 | 15 | 19 | 15 | 13 | 13 | 8 | 14 | 7 | 13 |
| 読み | カツ コツ すべ(る) なめ(らか) | シツ しめ(る) しめ(す) | ジュン うるお(う) うるお(す) うる(む) | せ | セン ひそ(む) もぐ(る) | タイ とどこお(る) | たき | ヒツ ヒ | ヒョウ ただよ(う) | ボツ | メツ ほろ(びる) ほろ(ぼす) |
| 筆順 | 氵 氵 氵冂 氵冋 氵咼 滑 滑 滑 | 氵 氵 氵口 氵日 浔 浔 湿 湿 湿 | 氵 氵 氵門 氵門 氵門 氵門 潤 潤 潤 | 氵 氵 氵亠 氵束 氵束 氵束 瀬 瀬 瀬 | 氵 氵 氵夫 氵夫 氵夫 氵夫 潜 潜 潜 | 氵 氵 氵一 氵卄 氵卄 氵卄 滞 滞 滞 | 氵 氵 氵亠 氵立 氵立 氵立 滝 滝 滝 | 氵 氵 氵 氵 氵 泌 泌 泌 | 氵 氵 氵一 氵覀 氵覀 氵覀 漂 漂 漂 | 氵 氵 氵 氵几 氵几 没 | 氵 氵 氵 氵厂 氵厂 氵厂 滅 滅 滅 |
| 意味 | 源水(氵)があってなめらかに動く(骨)⇩すべる | 義しめる。うるおう。↕乾 | 義水が十分にある。つやがある。 | 義浅く速い流れ。↕淵(ふち) | 源水中(氵)に深く入りこむ(替)⇩ひそむ | 源帯がまきついたように水(氵)が動かないが原義。 | 源本来は雨(氵)がふりしきる(竜)意⇩たき | 源とじた(必)ところからにじみ出る水(氵)。 | 源水面(氵)に火の粉がまう(票)⇩ただよう・さらす | 源水中(氵)に身をもぐらせる(殳)⇩沈む | 源水(氵)をかけ火を消す(威)⇩ほろびる |
| 用例 | 滑走(カッソウ) 円滑(エンカツ) 滑稽 | 湿布(シップ) 湿原(シツゲン) | 潤滑(ジュンカツ) 潤色(ジュンショク) | 浅瀬(あさせ) 早瀬(はやせ) | 潜在(センザイ) 潜水(センスイ) | 滞在(タイザイ) 滞納(タイノウ) | 滝川(たきがわ) 滝(たき) | *分泌(ブンピツ) 泌尿(ヒニョウ) | 漂流(ヒョウリュウ) 漂泊(ヒョウハク) | 没頭(ボットウ) 没収(ボッシュウ) | 滅亡(メツボウ) 絶滅(ゼツメツ) |

*分泌…「ブンピ」とも読む。

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 濫 | 浪 | 漏 | 湾 | 肝 | 胎 | 胆 | 胞 | 膨 | 膜 |
| 部首 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | さんずい 氵 | にくづき 月 | にくづき 月 | にくづき 月 | にくづき 月 | にくづき 月 | にくづき 月 |
| 画数 | 18 | 10 | 14 | 12 | 7 | 9 | 9 | 9 | 16 | 14 |
| 読み | ラン | ロウ | ロウ も(る) も(れる) も(らす) | ワン | カン きも | タイ | タン | ホウ | ボウ ふく(らむ) ふく(れる) | マク |
| 筆順 | 氵 氵 氵 氵 氵 氵 濫 濫 濫 | 氵 氵 氵 氵 氵 氵 浪 浪 浪 | 氵 氵 氵 氵 氵 氵 漏 漏 漏 | 氵 氵 氵 氵 氵 氵 湾 湾 湾 | 丿 月 月 月 月 肝 | 丿 月 月 月 月 月 胎 胎 胎 | 丿 月 月 月 月 月 胆 胆 胆 | 丿 月 月 月 月 月 胞 胞 胞 | 月 月 月 月 月 月 膨 膨 膨 | 月 月 月 月 月 月 膜 膜 膜 |
| 意味 | 義水があふれる。むやみに。 | 源水(氵)がなみだつ(良)⇩なみ | 源屋根(尸)から雨がもれる。 | 義海水が陸地に入りこむところ。まがる。 | 義肝臓のこと。注×干→○干 | 義母の体内に子ができる。はらむ。 | 義胆じゅうを蓄えておく消化器官。きも。 | 解胎児を包む薄いまく。母体。原形質。 | 源肉体(月)が太鼓のようにふくれる(彭)。 | 源内臓(月)をおおう(莫)薄い皮。 |
| 用例 | *濫用(ランヨウ) *濫読(ランドク) | 浪費(ロウヒ) 浪漫(ロウマン) | 漏電(ロウデン) 遺漏(イロウ) | 湾岸(ワンガン) 港湾(コウワン) | *肝心(カンジン) 肝要(カンヨウ) 肝(きも) | 胎児(タイジ) 胎動(タイドウ) | 大胆(ダイタン) 落胆(ラクタン) 胆 | 細胞(サイボウ) 同胞(ドウホウ) | 膨大(ボウダイ) 膨れる(ふくれる) | 鼓膜(コマク) 腹膜(フクマク) |

*濫用「乱用」、濫読「乱読」とも書く、*肝心「肝腎」とも書く

なぞろう 滑 湿 潤 瀬 潜 滞 滝 泌 漂 没 滅 濫 浪 漏 湾 肝 胎 胆 胞 膨 膜

書こう

## 練習 1回目 2回目 3回目

① 雪で空港の**カッソウ**路が閉鎖になる。（すべって進むこと）

② ねんざした足首に**シップ**をはる。（薬などを浸したぬの）

③ 機械に**ジュンカツ**油を差す。（うるおいがあって動きがなめらかであること）

④ 船が**アサセ**に乗り上げる。（かわや海のあさいところ）

⑤ **センザイ**能力を引き出す。（表面には表れず内にひそんでいること）

⑥ ロンドンに**タイザイ**する。（よそへ行ってそこに一定の期間とどまること）

⑦ 山間の**タキガワ**に沿って続く道。（山の谷間などの急りゅう）

⑧ ホルモンの**ブンピツ**が活発になる。（さいぼうが内部の生産物などを外に出すこと）

⑨ 海上を**ヒョウリュウ**する。（海に浮かぶ物が風や潮のままにながされること）

⑩ 研究に**ボットウ**する。（他をかえりみず、一つのことに熱中すること）

⑪ 十四世紀に鎌倉(かまくら)幕府が**メツボウ**した。（ほろびてなくなってしまうこと）

⑫ 悪質な職権**ランヨウ**を摘発する。（一定の基準や限度をこえてむやみに使うこと）

⑬ 金銭を**ロウヒ**する。（金銭・物・労力などを無だに使うこと）

⑭ **ロウデン**による火災に注意する。（でんりゅうが回路以外にもれてながれること）

⑮ ドライブで**ワンガン**道路を通る。（わんに沿った陸地）

⑯ **カンジン**かなめの時に頼りになる。（最もたいせつなこと）

⑰ **タイジ**の発育状態を確認する。（母体で生育している子供）

⑱ **ダイタン**不敵な態度をとる。（度胸があること）

⑲ **サイボウ**は生物体の基本単位だ。（生物体を構成する基本単位）

⑳ **ボウダイ**な資料を整理する。（ふくれておおきくなること、巨だいなこと）

㉑ **コマク**が破れそうな爆発音がした。（音波を受けて振動し音を伝える耳の中のまく）

## 訓読み

❶ なめらか　❷ 湿る　❸ うるおう　❻ 滞る　❺ もぐる　❾ 漂う

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 1～3の三つの□に**共通する漢字**を入れて熟語を作れ。漢字は後の語群から**一つ**選んで記せ。

1 □設・□策・実□（　）

2 □託・委□・□望（　）

3 □絶・□世・遠□（　）

敷　隔　施　胞　嘱　漏

**2** **熟語の構成**のしかたには次のようなものがある。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの　（**岩石**）

イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの　（**高低**）

ウ 上の字が下の字を修飾しているもの　（**洋画**）

エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの　（**着席**）

オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの　（**非常**）

次の熟語は右の**ア**～**オ**のどれにあたるか、**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 伸縮（　）　2 無謀（　）　3 抱擁（　）　4 隆起（　）

5 排気（　）　6 孤島（　）　7 出没（　）　8 託児（　）

### ●にくづき(月)

「にくづき」は身体の形や器官をあらわす部首。「五臓六腑(ぷ)」の「五臓」は心臓・肺臓・肝臓・腎(じん)臓・脾(ひ)臓を指し、「六腑」は胃・胆・大腸・小腸・三焦(さんしょう)(内分泌・消化・排泄(せつ)の機能)・膀胱(ぼうこう)を指す。「肝胆相照(かんたんあいて)らす」(肝臓や胆まで照らし合うほど深く知り合う)友と「五臓六腑にしみわたる」おいしい料理を食べたいものである。

### 解答

❷しめ(る) ❻とどこお(る) ❾ただよ(う) ❶滑らか ❸潤う ❺潜る

**1** 1 施　2 嘱　3 隔

**2** 1 イ　2 オ　3 ア　4 ア　5 エ　6 ウ　7 イ　8 エ

5級　4級　3級①～⑬ 284字　準2級　2級　応用編

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 徐 | 彳(ぎょうにんべん) 10 | ジョ | 源ゆっくり(余)行く(彳)⇩おもむろ | 徐行(ジョコウ)　徐徐(ジョジョ) |
| 2 | 帆 | 巾(はばへん) 6 | ハン　ほ | 解舟を走らせるため風を受ける布。凡はその形。 | 出帆(シュッパン)　帆船(ハンセン) |
| 3 | 掛 | 扌(てへん) 11 | か(ける)　か(かる)　かかり | 義ものをかける。積んでおく。 | 売り掛け(うりかけ)　鋳掛け(いかけ) |
| 4 | 換 | 扌(てへん) 12 | カン　か(える)　か(わる) | 源扌(手)＋奐(とりかえる)。 | 転換(テンカン)　換言(カンゲン) |
| 5 | 掲 | 扌(てへん) 11 | ケイ　かか(げる) | 義手で高くあげる。かかげる。 | 掲示(ケイジ)　掲載(ケイサイ) |
| 6 | 携 | 扌(てへん) 13 | ケイ　たずさ(える)　たずさ(わる) | 義手にさげる。手をつなぐ。 | 携帯(ケイタイ)　必携(ヒッケイ) |
| 7 | 拘 | 扌(てへん) 8 | コウ | 義とらえる。こだわる。 | 拘束(コウソク)　拘置(コウチ) |
| 8 | 控 | 扌(てへん) 11 | コウ　ひか(える) | 義ひかえる。さしひく。うったえる。 | 控え(ひかえ)　控訴(コウソ) |
| 9 | 搾 | 扌(てへん) 13 | サク　しぼ(る) | 源扌(手)＋窄(穴からしぼり出す)。注絞 | 搾る(しぼる)　搾取(サクシュ) |
| 10 | 撮 | 扌(てへん) 15 | サツ　と(る) | 義とる。つかみとる。 | 撮影(サツエイ)　撮る(とる) |
| 11 | 擦 | 扌(てへん) 17 | サツ　す(る)　す(れる) | 源手(扌)でふれあう(察)⇩する・こする | 擦過傷(サッカショウ)　擦る(する) |

なぞろう　徐　帆　掛　換　掲　携　拘　控　搾　撮　擦

書こう

## 練習

① 安全のため車は構内では**ジョコウ**すること。(車両が速度を落としてゆっくり進むこと)
② 船が**シュッパン**する。(船が港をでること)
③ **ウリカケ**金の計算をする。(代金を後で受けとる約そくで商品をうること)
④ 車を方向**テンカン**する。(別の物・方向に変えること)
⑤ **ケイジ**板に本日の日程をはる。(伝えることを文書にして目立つようにしめす)
⑥ **ケイタイ**電話の電源を切る。(身につけたり、手で持ち運んだりする)
⑦ 犯人の身柄を**コウソク**する。(こうどうや自由を制限すること)
⑧ **ヒカ**え室でお待ち下さい。(ぎょう事などで、開始やで番を待つための部屋)
⑨ 牧場で牛の乳を**シボ**る。(強く力を加えて内部の水分や液をとりだすこと)
⑩ 観光地で記念**サツエイ**をする。(写真や映画をとること)
⑪ 保健室で**サッカショウ**の手当てをする。(すりきず、かすりきず)

## 訓読み

❹ 換える　❺ かかげる　⓫ 擦る　❻ たずさえる　⓲ 揚がる　⓳ ゆらぐ　㉑ 抑える　㉒ 施す

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の漢字の**部首**をア～エから**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 聴 (ア心　イ皿　ウ耳　エ十) (　)
2 犠 (ア牜　イ⺷　ウ戈　エ我) (　)
3 窒 (ア宀　イ穴　ウ至　エ土) (　)
4 獄 (ア犭　イ言　ウ犬　エ丶) (　)
5 棄 (ア亠　イム　ウ一　エ木) (　)





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 摂 | 扌(てへん) 13 | セツ | 義とる。続べる。やしなう。代わって行う。 | 摂取(セッシュ)　摂理(セツリ) |
| 13 | 措 | 扌(てへん) 11 | ソ | 源手(扌)をかさねる(昔)⇩おく・ふるまい | 措置(ソチ)　措辞(ソジ) |
| 14 | 掃 | 扌(てへん) 11 | ソウ　は(く) | 源ほうき(帚)ではく。 | 清掃(セイソウ)　一掃(イッソウ) |
| 15 | 択 | 扌(てへん) 7 | タク | 源次次と現れるものを手(扌)で選ぶ(尺)。 | 採択(サイタク)　一択(イッタク) |
| 16 | 抽 | 扌(てへん) 8 | チュウ | 源深く通じる穴(由)から、手(扌)で抜く。 | 抽選(チュウセン)　抽象(チュウショウ) |
| 17 | 排 | 扌(てへん) 11 | ハイ | 義おし出す。おしのける。 | 排気(ハイキ)　排除(ハイジョ) |
| 18 | 揚 | 扌(てへん) 12 | ヨウ　あ(げる)　あ(がる) | 義空中高く上げる。高まる。 | 高揚(コウヨウ)　揚揚(ヨウヨウ) |
| 19 | 揺 | 扌(てへん) 12 | ヨウ　ゆ(れる・る・らぐ・るぐ・する・さぶる・すぶる) | 源手(扌)でよくようをつける(䍃)⇩ゆらする | 動揺(ドウヨウ)　揺れる(ゆれる) |
| 20 | 擁 | 扌(てへん) 16 | ヨウ | 義まもる。だきかかえる。 | 擁護(ヨウゴ)　抱擁(ホウヨウ) |
| 21 | 抑 | 扌(てへん) 7 | ヨク　おさ(える) | 義おさえる。しずめる。ひかえめにする。 | 抑揚(ヨクヨウ)　抑制(ヨクセイ) |
| 22 | 施 | 方(ほうへん) 9 | シ　セ　ほどこ(す) | 義おこなう。もうける(=設)。ほどこす。 | 施設(シセツ)　実施(ジッシ) |

なぞろう　摂　措　掃　択　抽　排　揚　揺　擁　抑　施

⑫ 栄養**セッシュ**を考えた食事を心がける。(とりいれて自分のものにする)
⑬ 緊急**ソチ**としてやむをえない。(ある事態のために必要な手続き)
⑭ 室内の**セイソウ**をする。(きれいにそうじすること)
⑮ 議案の**サイタク**をおこなう。(いくつかの中からえらんでとりあげること)
⑯ 宝くじの**チュウセン**日を楽しみに待つ。(くじによって当落を決めること、くじ引き)
⑰ 車の**ハイキ**ガスを減らす研究が進む。(くうきを外へだすこと)
⑱ チームの士きが**コウヨウ**する。(精神やきぶんがたかまること)
⑲ 突然の知らせに**ドウヨウ**する。(ゆれうごくこと、平静さを失うこと)
⑳ 人権を**ヨウゴ**する。(害を受けないようにかばい守ること)
㉑ **ヨクヨウ**をつけて話す。(話す時の声や文章の調子などの上がり下がり)
㉒ 公共の**シセツ**を利用する。(ある目的のために作られた建物やせつび)

**●順風満帆(じゅんぷうまんぱん)**
四字熟語の「順風満帆」の「帆」は「帆掛船(ほかけぶね)」の「帆」。江戸時代に木綿(もめん)が使われるまでは、和船の帆には目の粗(あら)いむしろが使われていたという。しっかり風が吹かなければ船は進められない。どんなに風が待たれたことか。「順風満帆」(全ての物事が順調に進むことのたとえ)には人びとの願いがこめられている。

**2** 後の□の中のひらがなを一度だけ使って漢字**一字**に直し、**対義語**と**類義語**を記せ。

**対義語**
1 収縮―(　)張
2 債権―債(　)
3 倹約―(　)費
4 勤勉―(　)慢

**類義語**
5 専念―(　)頭
6 土台―基(　)
7 失望―落(　)
8 未熟―幼(　)

む・そ・ろう・ぼっ・たん
たい・ぼう・ち

## 解答

❹か(える)　⓫す(る)　⓲あ(がる)　❺掲げる　❻携える　⓳揺らぐ　㉑おさ(える)　㉒ほどこ(す)
**1** 1ウ　2ア　3イ　4ア　5エ
**2** 1膨　2務　3浪　4怠　5没　6礎　7胆　8稚



5級　4級　3級①～⑬ 284字　準2級　2級　応用編　練習 1回目 2回目 3回目

# 第28回 3級⑤

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 熟語 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 隔 | こざとへん 阝 13 | カク / へだ(てる) / へだ(たる) | 源 境界の山(阝)が原義。鬲はしきりのある土器の形。 | 間隔 隔絶 |
| 2 | 随 | こざとへん 阝 12 | ズイ | 源 辶(行く)＋隋(よりすがる)⇩したがう | 追随 随想 |
| 3 | 阻 | こざとへん 阝 8 | ソ / はば(む) | 源 丘(阝)が重なり(且)けわしい⇩はばむ | 阻止 阻害 |
| 4 | 陳 | こざとへん 阝 11 | チン | 義 ならべる。のべる。古い。 | 陳腐 陳列 |
| 5 | 陶 | こざとへん 阝 11 | トウ | 義 やきもの。うっとりする。教え育てる。 | 陶器 陶芸 |
| 6 | 陪 | こざとへん 阝 11 | バイ | 源 二重(咅)の丘(阝)⇩つき従う | 陪席 陪審 |
| 7 | 隆 | こざとへん 阝 11 | リュウ | 源 降の略(おりる)＋生(あがる)⇩もりあがる・さかん | 興隆 隆起 |
| 8 | 陵 | こざとへん 阝 11 | リョウ / みささぎ | 義 大きな丘。みささぎ(天子の墓)。 | 丘陵 陵墓 |
| 9 | 獄 | けものへん 犭 14 | ゴク | 源 犬(犭・犬)がいがみあう(言)⇩うったえ・ろうや | 監獄 疑獄 |
| 10 | 猟 | けものへん 犭 11 | リョウ | 義 かり。鳥や獣をとらえる。さがす。 | 狩猟 密猟 |
| 11 | 概 | きへん 木 14 | ガイ | 義 おおよそ・おおむね・あらまし。心持ち。 | 概念 概況 |
| 12 | 棋 | きへん 木 12 | キ | 義 囲ごや将棋の盤。 | 将棋 棋士 |
| 13 | 楼 | きへん 木 13 | ロウ | 義 高い建物。やぐら。㊟桜 | 楼閣 楼門 |
| 14 | 殊 | かばねへん 歹 10 | シュ / こと | 義 特に。普通とちがう、ちがえる。 | 殊勝 特殊 |
| 15 | 炊 | ひへん 火 8 | スイ / た(く) | 源 火を吹いて(欠)飯をたく。 | 炊事 自炊 |
| 16 | 炉 | ひへん 火 8 | ロ | 源 火が取り囲む(戸)ところ・設備。 | 暖炉 炉端 |
| 17 | 犠 | うしへん 牛 17 | ギ | 源 神にささげるいけにえ(義)の牛が原義。 | 犠打 |
| 18 | 牲 | うしへん 牛 9 | セイ | 源 生きたままのいけにえの牛が原義。 | 犠牲 |
| 19 | 祉 | しめすへん 礻 8 | シ | 源 神(礻)からさずかる(止↓賜)幸福が原義。 | 福祉 |
| 20 | 硬 | いしへん 石 12 | コウ / かた(い) | 源 たやすくくだけないかたい(更)石が原義。 | 硬化 生硬 |
| 21 | 礎 | いしへん 石 18 | ソ / いしずえ | 源 楚は木の下の足の形⇩土台の石 | 礎石 定礎 |
| 22 | 碑 | いしへん 石 14 | ヒ | 義 事跡や功績をほった立て石。 | 詩碑 碑文 |

なぞろう　書こう

## 練習

① 一定の**カンカク**で並べる。（あいだの距離や時かん）
② 他の**ツイズイ**を許さない。（あとにつき従うこと）
③ 発展を**ソガイ**する要因を考察する。（じゃまをすること、さまたげること）
④ **チンプ**な表現の多い文章を改める。（ありふれていてつまらないこと）
⑤ 瀬戸物は**トウキ**である。（ねん土を材料にうわぐすりをかけて焼いたもの）
⑥ 晩さん会で大臣と**バイセキ**した。（身分の高い人と同せきすること）
⑦ 仏教が**コウリュウ**した時代。（栄えて勢いがさかんなこと）
⑧ 緑豊かな**キュウリョウ**地帯が続く。（起伏のゆるやかな低い山が続く地形）
⑨ 犯罪者が**カンゴク**に入れられる。（受けい者・被告人・被疑者などを収容する施設）
⑩ **シュリョウ**解禁日を調べる。（山野の鳥獣を鉄砲や網、わななどでとること）
⑪ 物質の**ガイネン**を定義する。（物ごとのおおよその意味内容）
⑫ 縁側で**ショウギ**を指す。（交互にこまを動かして王しょうを詰める遊び）
⑬ その計画は砂上の**ロウカク**のようにくずれ去った。（高層の立派な建物、たかどの）
⑭ それは**シュショウ**な心がけだ。（心がけや行いが、けなげで感心な様子）
⑮ **スイジ**、洗たくは得意です。（食べ物を煮たきして調理すること）
⑯ **ダンロ**にまきをくべる。（部屋をあたためるために火をたくところ）
⑰ **ギダ**で走者をセカンドに送る。（だ者をアウトにさせて走者を進める野球の攻撃）
⑱ 大きな**ギセイ**があったのは確かだ。（ある目的のために大切なものをささげること）
⑲ 社会**フクシ**に力を入れる。（だれもが等しく受けられる安定した生活環境）
⑳ 互いに態度を**コウカ**させた。（かたくなること）
㉑ 昔の建物の**ソセキ**が発見される。（建物の土台のいし）
㉒ 北原白秋(きたはらはくしゅう)の**シヒ**を訪ねる。（しい歌をほったせきひ）

## 訓読み

❶ 隔てる
㉑ 礎 高
❽ 陵 高
❶ へだたる
⓮ 殊に
❸ はばむ 高
⑳ 硬い
⓯ たく

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線の**カタカナを漢字一字と送りがな(ひらがな)**に直せ。

1 部員を**ツノル**。（　）
2 **ユルヤカ**にカーブする道。（　）
3 お金の流れが**トドコオル**。（　）
4 雨で公園の緑が**ウルオウ**。（　）
5 **オダヤカ**な日日が続く。（　）

**2** 文中の**四字熟語**の――線の**カタカナを漢字二字**に直せ。

1 四番が面目**ヤクジョ**の一打を放つ。（　）
2 **換骨ダッタイ**の名作だ。（　）
3 **コジョウ落日**の思いに目がうるむ。（　）
4 **天衣ムホウ**に振る舞う。（　）
5 **生者ヒツメツ**を実感する。（　）
6 **神出キボツ**の怪盗が捕まった。（　）
7 **暖衣ホウショク**の生活を送る。（　）

●どうして囲碁(いご)を打つ人を「棋士」と呼ぶ？

将棋を指す人を棋士と呼ぶが、囲碁を打つ人も棋士と呼ぶ。「其」には、方形に区切るという意味がある。つまり、「棋」は方形に区切られた木＝盤を指す字だということ。したがって、将棋も囲碁も「棋士」になるのだ。他の「其」が使われた文字(旗、基、期など)も、区切られたものや四角いものとなっている。

## 解答

❶ へだ(てる)　❽ みささぎ　⓮ こと(に)　⑳ かた(い)　㉑ いしずえ　❶ 隔たる　❸ 阻む　⓯ 炊く

**1** 1 募る　2 緩やか　3 滞る　4 潤う　5 穏やか

**2** 1 躍如　2 奪胎　3 孤城　4 無縫　5 必滅　6 鬼没　7 飽食

# 第29回 3級⑥

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 畔 | 田（たへん） 10 | ハン | 丨 冂 冊 田 田' 田⺀ 畔 | 義 耕作地の境・あぜ。ほとり。水ぎわ。 | 湖畔（コハン）、河畔（カハン） |
| 2 | 穏 | 禾（のぎへん） 16 | オン / おだ(やか) | 禾 禾' 禾⺈ 秤 穏 穏 穏 穏 | 源 穀物（禾）を倉へしまう（㥯→隠）。 | 穏健（オンケン）、安穏（アンノン） |
| 3 | 穫 | 禾（のぎへん） 18 | カク | 禾 秆 秆 秆 秆 秆 穫 穫 穫 | 源 穀物（禾）をつかみ取り入れる（蒦）。 | 収穫（シュウカク） |
| 4 | 穂 | 禾（のぎへん） 15 | スイ / ほ | 禾 禾' 和 和 和 穂 穂 穂 | 義 穀物のくきの先のほうきの状の部分。 | 初穂（はつほ）、穂先（ほさき） |
| 5 | 稚 | 禾（のぎへん） 13 | チ | 禾 禾' 利 秆 秆 秆 稚 稚 稚 | 源 若い（隹↓遅）いね（禾）⇩おさない・成長していない | 稚魚（チギョ）、稚気（チキ） |
| 6 | 裸 | 衤（ころもへん） 13 | ラ / はだか | 衤 衤 衤 衤 衤 衵 衵 裡 裸 | 源 衣（衤）をつけないむき出し（果）の状態。 | 丸裸（まるはだか）、裸体（ラタイ） |
| 7 | 緩 | 糸（いとへん） 15 | カン / ゆる(い・やか) / ゆる(む・める) | 幺 糸 糸' 糸⺈ 糸⺈ 絆 緩 緩 緩 | 義 きびしくない。ゆるめる。 | 緩和（カンワ）、緩慢（カンマン） |
| 8 | 絞 | 糸（いとへん） 12 | コウ / しぼ(る) / し(まる) / し(める) | 𠃋 幺 幺 糸 糸 糸 紋 絞 絞 | 源 ひも（糸）を互いちがいに（交）する。 注 搾 | 絞殺（コウサツ）、絞る（しぼる） |
| 9 | 綱 | 糸（いとへん） 14 | コウ / つな | 糸 紅 紅 紅 紅 紅 綱 綱 綱 | 義 太く強いなわ。つな。 注 網 | 綱紀（コウキ）、横綱（よこづな） |
| 10 | 紺 | 糸（いとへん） 11 | コン | 𠃋 幺 幺 糸 糸 糸一 紐 紺 紺 | 義 青と紫の交じった色。こん。 | 紺屋（コンや）*、紺青（コンジョウ） |
| 11 | 繕 | 糸（いとへん） 18 | ゼン / つくろ(う) | 糸 糸 糸' 糸⺈ 紺 紺 繕 繕 繕 | 義 破れたところを直す。 注 ×喜→○善 | 修繕（シュウゼン）、営繕（エイゼン） |

＊紺屋…「コウや」とも読む。

なぞろう
書こう

## 練習

① 森の中のしずかな**コハン**を散歩する。（みずうみのほとり）
② 彼は**オンケン**な思想の持ち主だ。（考えがおだやかなこと）
③ **シュウカク**の季節が待ち遠しい。（農作物の取り入れ）
④ **ハツホ**料としてお供えする。（神仏に供える、その年はじめて実った稲など）
⑤ 学校近くの川に**チギョ**を放流する。（卵からかえったばかりの小さなサカナ）
⑥ 台風で並木が**マルハダカ**になる。（体に何もつけていない状態）
⑦ 交通規制が**カンワ**される。（ゆるめること）
⑧ ぞうきんを**シボ**る。（力を加えて中の液（主にはいき物）を出すこと）
⑨ 職員の**コウキ**を正す。（根本の規律）
⑩ **コンヤ**の白ばかま。（染物の店）
⑪ 時計を**シュウゼン**に出す。（つくろい直すこと）

1回目 2回目 3回目

## 訓読み

⑫ 締まる
⑲ 糧 高
⑭ 紛れる
⑪ つくろう
⑮ 縫う
⑬ しばる
⑰ 粗い
⑱ ねばる

### 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の各文にまちがって使われている**同じ読みの漢字**が**一字**ある。**上に誤字を、下に正しい漢字**を記せ。

1 先年、某所で有名作家の記念卑を見た。（　　）→（　　）
2 慕集要項に不明の点があり、問い合わせの電話をした。（　　）→（　　）
3 権力を濫用し、抵抗する者を排籍する態度は許せない。（　　）→（　　）





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 締 | 糸（いとへん） 15 | テイ / し(まる) / し(める) | 糸 糸' 糸⺈ 紵 紵 紵 締 締 締 | 源 ひも（糸）で固定（帝）する。 注 閉・絞 | 締結（テイケツ）、締盟（テイメイ） |
| 13 | 縛 | 糸（いとへん） 16 | バク / しば(る) | 糸 紅 紅 紅 紅 紅 縛 縛 縛 | 源 糸をすきまなく当てる（尃）⇩しばる 注 ×専→○尃 | 捕縛（ホバク）、束縛（ソクバク） |
| 14 | 紛 | 糸（いとへん） 10 | フン / まぎ(れる・らす・らわす・らわしい) | 𠃋 幺 幺 糸 糸 糸八 紛 紛 | 源 糸が分かれて乱れる。 | 内紛（ナイフン）、紛争（フンソウ） |
| 15 | 縫 | 糸（いとへん） 16 | ホウ / ぬ(う) | 糸 糸' 糸⺈ 紋 紋 紋 縫 縫 縫 | 源 糸をぬい合わせる（逢）。 | 縫合（ホウゴウ）、裁縫（サイホウ） |
| 16 | 粋 | 米（こめへん） 10 | スイ / いき | 丷 丷 半 米 米 米' 粋 粋 粋 | 源 完全（卆←卒）にそろってまじりけのない米。 注 枠 | 純粋（ジュンスイ）、生粋（きっスイ） |
| 17 | 粗 | 米（こめへん） 11 | ソ / あら(い) | 丷 丷 半 米 米 米 粗 粗 粗 | 源 精米していない米のこと⇩あらい・そまつ | 粗雑（ソザツ）、粗食（ソショク） |
| 18 | 粘 | 米（こめへん） 11 | ネン / ねば(る) | 丷 丷 半 米 米 米 粘 粘 粘 | 源 米＋占（定着する）⇩ねばる・ねばねばする | 粘着（ネンチャク）、粘土（ネンド） |
| 19 | 糧 | 米（こめへん） 18 | リョウ / ロウ / かて | 米 米 米' 粐 粐 粐 糧 糧 糧 | 源 分量をはかって（量）主食用いる（米）。 | 食糧（ショクリョウ）、兵糧（ヒョウロウ） |
| 20 | 聴 | 耳（みみへん） 17 | チョウ / き(く) | 一 丆 F 耳 耳 耳 耳 聴 聴 | 源 耳をつき出しまっすぐな心（悳）できく。 | 静聴（セイチョウ）、聴衆（チョウシュウ） |
| 21 | 軌 | 車（くるまへん） 9 | キ | 一 丆 万 百 亘 車 車 軌 軌 | 義 車の両輪の間隔。わだち。 | 軌跡（キセキ）、常軌（ジョウキ） |
| 22 | 軸 | 車（くるまへん） 12 | ジク | 百 亘 亘 車 車 車 軸 軸 軸 | 義 車輪の心棒。回転するものの中心。 | 車軸（シャジク）、地軸（チジク） |

⑫ 条約を**テイケツ**する。（むすぶこと）
⑬ 犯人を**ホバク**する。（つかまえてしばること）
⑭ 国際**フンソウ**が起こる。（ごたごたしたあらそい）
⑮ 傷口を**ホウゴウ**する。（ぬいあわせること）
⑯ 自家受粉で**ジュンスイ**種を作る。（まったくまじりけがないこと）
⑰ **ソザツ**に扱ったので破損した。（あらく、いいかげんなこと）
⑱ **ネンチャク**テープを使う。（ねばりつくこと）
⑲ **ショクリョウ**不足の解消に尽力する。（穀物などのたべ物）
⑳ ご**セイチョウ**願います。（しずかにきくこと）
㉑ 学校創立百周年の**キセキ**をたどる。（わだち、ある人や物事がたどってきたあと）
㉒ **シャジク**を流すような大雨が降る。（くるまのタイヤをつけるための心棒）

◉**天衣無縫（てんいむほう）**
四字熟語の「天衣無縫」は、「夏の夜に空から降りてきた天女の衣には縫い目が無かった」という中国の伝説から生まれた。中国語では専ら「詩歌などで、技巧の跡がなく完璧（かんぺき）な様子」という意味で用いられるが、日本語ではその意味に加えて、「性格が無邪気（むじゃき）で飾り気がない」（＝「天真爛漫（てんしんらんまん）」）という意味でも用いられる。

4 冒頭鎮述をよく聞き、慎重に判断を下した。（　　）→（　　）

**2** 次の——線の**カタカナ**を**漢字**に直せ。

1 ネット依存に**ケイショウ**を鳴らす。（　　）
2 受験日が迫り、**キンチョウ**する。（　　）
3 各国の**ホゲイ**の歴史を学ぶ。（　　）
4 時**スデ**に遅し。（　　）
5 落ち込む友人を**ナグサ**める。（　　）
6 **ユズ**りあいの精神をもつ。（　　）

**解答**
⑫ し(まる) ⑭ まぎ(れる) ⑮ ぬ(う) ⑰ あら(い) ⑲ かて ⑪ 繕う ⑬ 縛る ⑱ 粘る
**1** 1 卑→碑 2 慕→募 3 籍→斥 4 鎮→陳
**2** 1 警鐘 2 緊張 3 捕鯨 4 既 5 慰 6 譲

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 詠 | ごんべん 言 12 | エイ / よ(む) | 源 ことば(言)をながく(永)引いてうたう。 | 朗詠(ロウエイ) 詠嘆(エイタン) |
| 2 | 該 | ごんべん 言 13 | ガイ | 義 かねる。あてはまる。その。 | 該当(ガイトウ) 当該(トウガイ) |
| 3 | 諮 | ごんべん 言 16 | シ / はか(る) | 義 上の人が下の人に相談する。 | 諮問(シモン) 諮議(シギ) |
| 4 | 譲 | ごんべん 言 20 | ジョウ / ゆず(る) | 義 ゆずる。へりくだる。 | 譲与(ジョウヨ) 譲歩(ジョウホ) |
| 5 | 請 | ごんべん 言 15 | セイ・シン / こ(う) / う(ける) | 義 願いたのむ。引きとる。 | 請求(セイキュウ) 請負(うけおい) |
| 6 | 託 | ごんべん 言 10 | タク | 義 あずける。まかせる。かこつける。 | 託児(タクジ) 結託(ケッタク) |
| 7 | 諾 | ごんべん 言 15 | ダク | 義「はい」と答える。承知する。↕否 | 快諾(カイダク) 諾否(ダクヒ) |
| 8 | 訂 | ごんべん 言 9 | テイ | 源 言＋丁㊅(正しい)⇩文字や文章を正す | 改訂(カイテイ) 校訂(コウテイ) |
| 9 | 謀 | ごんべん 言 16 | ボウ・ム / はか(る) | 義 ひそかに相談する。計画。 | 無謀(ムボウ) 謀反(ムホン) |
| 10 | 誘 | ごんべん 言 14 | ユウ / さそ(う) | 義 さそう。みちびく。引きおこす。 | 誘惑(ユウワク) 誘致(ユウチ) |
| 11 | 賊 | かいへん 貝 13 | ゾク | 源 ほこ(戈)で人を傷つける(肘)。 | 海賊(カイゾク) 賊軍(ゾクグン) |

なぞろう　書こう

## 練習

① 漢詩を**ロウエイ**する。（声を高らかにしてうたうこと）［　］［　］［　］
② **ガイトウ**する語を答えよ。（ぴったりあてはまること）［　］［　］［　］
③ 大臣が委員会に**シモン**する。（目上の者が下の者に相談すること）［　］［　］［　］
④ 財産を**ジョウヨ**する。（ゆずりあたえること）［　］［　］［　］
⑤ 月末締めで**セイキュウ**します。（権利としてもとめること）［　］［　］［　］
⑥ 子供を**タクジ**所に預ける。（子供を預けること）［　］［　］［　］
⑦ 二つ返事で**カイダク**する。（こころよく承知すること）［　］［　］［　］
⑧ 本を**カイテイ**する。（書もつの文章や内容をあらためること）［　］［　］［　］
⑨ **ムボウ**な計画に対して練り直しをもとめる。（深い考えがないこと）［　］［　］［　］
⑩ 甘い言葉による**ユウワク**に注意する。（さそいまどわすこと）［　］［　］［　］
⑪ 主人公が**カイゾク**に襲われる。（うみで商船などを襲い、略だつする者）［　］［　］［　］

## 訓読み

❶ 詠む 高［　］　⓳ 鎮まる 高［　］
❸ 諮る［　］　❹ ゆずる［　］
❺ 請う 高［　］　⓭ よう［　］
❺ 請ける［　］　⓱ きたえる［　］
❾ 謀る 高［　］　㉒ あきる［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線の**漢字の読み**をひらがなで記せ。

1 慈善団体に寄付をする。（　）
2 騎兵隊が登場する映画。（　）
3 本社への赴任を命じられた。（　）
4 緊迫したムードに包まれている。（　）





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 酵 | とりへん 酉 14 | コウ | 源 酒(酉)が交わって(孝㊅↓交)変化すること。 | 発酵(ハッコウ) 酵素(コウソ) |
| 13 | 酔 | とりへん 酉 11 | スイ / よ(う) | 源 酒(酉)を飲み終わる(卆↓卒)⇩よう | 心酔(シンスイ) 酔眼(スイガン) |
| 14 | 錯 | かねへん 金 16 | サク | 源 金属を重ねる(昔)⇩まじる・間違える | 錯覚(サッカク) 交錯(コウサク) |
| 15 | 鐘 | かねへん 金 20 | ショウ / かね | 源 つい(童↓撞)て音を出すかね(金)。 | 半鐘(ハンショウ) 晩鐘(バンショウ) |
| 16 | 錠 | かねへん 金 16 | ジョウ | 義 戸やふたにつけてしめる。丸薬。 | 手錠(てジョウ) 錠前(ジョウまえ) |
| 17 | 鍛 | かねへん 金 17 | タン / きた(える) | 源 金属を打ち重ねる(段)⇩きたえる | 鍛造(タンゾウ) 鍛錬*(タンレン) |
| 18 | 鋳 | かねへん 金 15 | チュウ / い(る) | 義 金属を溶かして型に流しこむ。 | 鋳物(いもの) 鋳造(チュウゾウ) |
| 19 | 鎮 | かねへん 金 18 | チン / しず(める) / しず(まる) | 源 金属をつめこん(真)だおもし⇩しずめる | 重鎮(ジュウチン) 鎮圧(チンアツ) |
| 20 | 錬 | かねへん 金 16 | レン | 義 金属を熱してねりきたえる。 | 精錬(セイレン) 錬金(レンキン) |
| 21 | 餓 | しょくへん 食 15 | ガ | 義 食物がとぼしくてひもじい。 | 餓死(ガシ) 餓鬼(ガキ) |
| 22 | 飽 | しょくへん 食 13 | ホウ / あ(きる) / あ(かす) | 源 食物(食)がいっぱいでふくらむ(包)。 | 飽食(ホウショク) 飽和(ホウワ) |

＊鍛錬…「鍛練」とも書く。

⑫ 大豆を**ハッコウ**させてみそを作る。（微生ぶつによる有機ぶつの分解）［　］［　］［　］
⑬ 夏目漱石(なつめそうせき)に**シンスイ**する。（夢中になること）［　］［　］［　］
⑭ 縄を見てへびだと**サッカク**した。（見まちがい・聞きまちがい・思いちがいのこと）［　］［　］［　］
⑮ **ハンショウ**を打ち鳴らす。（火事などを知らせるための小さなつりがね）［　］［　］［　］
⑯ 犯人に**テジョウ**が掛けられた。（てが使えないようにする鉄製の金具）［　］［　］［　］
⑰ 刀剣を**タンゾウ**する。（柔らかくした金属を打って形をつくること）［　］［　］［　］
⑱ **イモノ**を作る職人。（とかした金属を型に流してつくったもの）［　］［　］［　］
⑲ 彼は政界の**ジュウチン**だ。（じゅう要な人ぶつ）［　］［　］［　］
⑳ 鉄鋼を**セイレン**する。（十分きたえること）［　］［　］［　］
㉑ **ガシ**する子供がいない世界を作ろう。（うえじに）［　］［　］［　］
㉒ **ホウショク**の時代に生きる。（たべもの・生活に不自由がないこと）［　］［　］［　］

◉**とりへん(酉)**
「とりへん」は「酒を造る実りの秋」を表す部首。次のように、酒に関連する漢字によく用いられている。

よく「醸(かも)」された「酒」を「酌(く)」み交わし、宴「酣(たけなわ)」ともなれば、したたか「酩酊(めいてい)」するやからも出る始末。さかずきの応「酬(しゅう)」からやがて「醜(しゅう)」態(たい)を演じ、「酔」いが「醒(さ)」めれば人生の辛(しん)「酸(さん)」をなめることも…。

5 部屋の湿度を測る。（　）
6 最後まで自分の意志を貫く。（　）
7 夕飯に炊き込みご飯を作る。（　）
8 もろみからしょう油を搾る。（　）
9 彼は辛いカレーが好きだ。（　）
10 励ましの言葉をかけられる。（　）
11 犬小屋を作ってペンキを塗る。（　）
12 橋を架けて交通の便を良くする。（　）

## 解答

❶よ(む)　❸はか(る)　❺こ(う)　❺う(ける)　❾はか(る)　⓳しず(まる)　❹譲る　⓭酔う　⓱鍛える　㉒飽きる

**1**
1 じぜん　2 きへい　3 ふにん　4 きんぱく　5 しつど　6 つらぬ　7 た　8 しぼ　9 から　10 はげ　11 ぬ　12 か



5級　4級　3級①～⑬ 284字　準2級　2級　応用編　1回目　2回目　3回目

# 第31回 3級⑧

5級 / 4級 / 3級①～⑬ 284字 / 準2級 / 2級 / 応用編

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 騎 | 馬（うまへん）18 | キ | 源 足を曲げ（奇）て馬にまたがる。 | 騎手（キシュ） 騎馬（キバ） |
| 2 | 駐 | 馬（うまへん）15 | チュウ | 源 馬がとどまる（主）。 | 駐在（チュウザイ） 駐留（チュウリュウ） |
| 3 | 髄 | 骨（ほねへん）19 | ズイ | 義 骨の中心部の組織。物事の本質。 | 骨髄（コツズイ） 真髄*（シンズイ） |
| 4 | 鯨 | 魚（うおへん）19 | ゲイ くじら | 源 大きい（京）魚⇩くじら | 白鯨（ハクゲイ） 鯨（くじら） |
| 5 | 刑 | 刂（りっとう）6 | ケイ | 源 わく（幵）に入れて刀（刂）でこらしめる。 | 刑事（ケイジ） 刑罰（ケイバツ） |
| 6 | 削 | 刂（りっとう）9 | サク けず(る) | 源 刀（刂）で細くけずる（肖）。 | 削減（サクゲン） 添削（テンサク） |
| 7 | 勘 | 力（ちから）11 | カン | 義 調べ考える。罪を問う。第六感。 | 勘弁（カンベン） 勘当（カンドウ） |
| 8 | 励 | 力（ちから）7 | レイ はげ(む) はげ(ます) | 源 力をはげしく（厉）する。 | 励行（レイコウ） 激励（ゲキレイ） |
| 9 | 卸 | 卩（わりふ）9 | おろ(す) おろし | 義 小売業者におろす。 | 卸売り（おろしうり） 卸値（おろしね） |
| 10 | 彫 | 彡（さんづくり）11 | チョウ ほ(る) | 源 模様（彡）をめぐらす（周）⇩ほる | 彫像（チョウゾウ） 彫刻（チョウコク） |
| 11 | 郭 | 阝（おおざと）11 | カク | 義 都市の外壁。囲われたところ。外まわり。 | 郭公（カッコウ） 輪郭（リンカク） |
| 12 | 郊 | 阝（おおざと）9 | コウ | 義 都の周辺。町はずれ。 | 近郊（キンコウ） 郊外（コウガイ） |
| 13 | 邪 | 阝（おおざと）8 | ジャ | 解 もとは地名。のち不正の意のジャ㊂の当て字に。 | 邪推（ジャスイ） 邪念（ジャネン） |
| 14 | 邦 | 阝（おおざと）7 | ホウ | 源 境界（丰）で囲まれた領地（阝）⇩国 | 邦人（ホウジン） 連邦（レンポウ） |
| 15 | 敢 | 攵（ぼくづくり）12 | カン | 義 あえて。思い切って行う。 | 敢闘（カントウ） 敢行（カンコウ） |
| 16 | 斗 | 斗（とます）4 | ト | 源 柄のついたひしゃくの形。 | 漏斗（ロウト） 北斗（ホクト） |
| 17 | 斤 | 斤（きん）4 | キン | 解 重さの単位。一斤は約六百グラム。 | 斤目（きんめ） 一斤（イッキン） |
| 18 | 斥 | 斤（きん）5 | セキ | 義 しりぞける。うかがう。さぐる。 | 排斥（ハイセキ） 斥候（セッコウ） |
| 19 | 欧 | 欠（あくび）8 | オウ | 解 ㊂からヨーロッパをさす。㊟欧羅巴（ヨーロッパ） | 西欧（セイオウ） 欧米（オウベイ） |
| 20 | 欺 | 欠（あくび）12 | ギ あざむ(く) | 源 いかつく（其）口をあけ（欠）ておどす⇩あざむく | 欺（あざむ）く |
| 21 | 殴 | 殳（るまた）8 | オウ なぐ(る) | 義 なぐる。うつ。 | 殴打（オウダ） 殴（なぐ）る |
| 22 | 顧 | 頁（おおがい）21 | コ かえり(みる) | 義 かえりみる。心にかける。㊟省みる | 回顧（カイコ） 顧慮（コリョ） |

＊真髄…「神髄」とも書く。

なぞろう　書こう

## 練習　1回目　2回目　3回目

① 体育祭で**キバ**戦に出場した。（うまに乗ること）
② 軍隊が**チュウリュウ**する。（とどまること、滞在すること）
③ 学問の**シンズイ**を探る。（物事の中心となる最もかんじんなところ）
④ **クジラ**の見学ツアーに参加する。（クジラ目の魚の形をしたほにゅう類の総称）
⑤ **ケイバツ**の基準を定める。（罪人に与える制裁）
⑥ **テンサク**指導を受ける。（文字を加えたりして文章を直すこと）
⑦ 親方が弟子を**カンドウ**する。（親子・師弟の縁を切り、追放すること）
⑧ 選手を**ゲキレイ**する。（はげますこと）
⑨ **オロシネ**で分けてもらった。（問屋が小売商にうり渡すときのねだん）
⑩ 授業で**チョウコク**刀を使う。（ほりきざむこと）
⑪ 計画の**リンカク**をお話しします。（おおよその形）
⑫ **コウガイ**の宅地化が進む。（町のはずれ）
⑬ **ジャネン**を払って打ち込む。（よこしまな気持ち）
⑭ 一九九一年にソビエト**レンポウ**はほう壊した。（複数の国が組んで作った一国）
⑮ ストライキを**カンコウ**する。（思い切って物事をすること）
⑯ 夜空に輝く**ホクト**七星をじっくりながめる。（ひしゃくの形に並ぶ大ぐま座の七つ星）
⑰ 食パンを**イッキン**ください。（食パンの量の単位）
⑱ **セッコウ**を敵地に派遣する。（ひそかに敵の様子をうかがう役目の兵）
⑲ **オウベイ**を視察する。（ヨーロッパとアメリカ合衆国）
⑳ 敵を巧みに**アザム**く。（だますこと）
㉑ 素手で相手を**ナグ**る。（力をこめて打つこと、たたくこと）
㉒ 青春時代を**カイコ**する。（昔のことをふりかえって思う）

●食パン一斤何グラム？
「斤」は尺貫法で重さを表す単位の一つであるが、現在はパンの重さにしか用いられない。尺貫法の一斤は約六〇〇g。でも食パン一斤ってそんなに重い？　実はパンの重さを表す「斤」は、舶来品の重さを表す「英斤（はくらい）」という単位で、英国の一ポンド（約四五〇g）に相当する。その後食パン一斤は三五〇～四〇〇gが一般的になった。

## 訓読み

❻ 削る　❿ 彫る
❽ 励む　❽ はげます
❾ 卸す　㉒ かえりみる

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線のカタカナにあてはまる漢字を後の（　）の中からそれぞれ一つ選んで記せ。

1 真犯人が**タイ**捕される。
2 **タイ**児の健康を管理する。
3 代**タイ**品を用意する。
（体　胎　逮　滞　替）
1（　）2（　）3（　）

4 活動が続く**カイ**状火山。
5 今になって後**カイ**した。
6 **カイ**力乱神を語らず。
（怪　壊　悔　塊　階）
4（　）5（　）6（　）

7 官**ボウ**長官の記者会見。
8 **ボウ**大な量の書類。
9 陰**ボウ**が発覚する。
（棒　謀　膨　房　妨）
7（　）8（　）9（　）

10 雪の結**ショウ**を観察する。
11 レンズの**ショウ**点が合う。
12 部長に**ショウ**進して喜ぶ。
（晶　昇　掌　焦　招）
10（　）11（　）12（　）

13 趣味は写真を**ト**ることだ。
14 友人の家に**ト**まる。
15 困難な任務をやり**ト**げた。
（執　泊　捕　撮　遂）
13（　）14（　）15（　）

## 解答

❻けず(る)　❽はげ(む)　❾おろ(す)　❿ほ(る)　❽励ます　㉒顧みる

**1**　1 逮　2 胎　3 替　4 塊　5 悔　6 怪　7 房　8 膨　9 謀　10 晶　11 焦　12 昇　13 撮　14 泊　15 遂

# 第32回 3級⑨

| No. | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 冠 | 冖（わかんむり） 9 | カン かんむり | 義 一定のきまりのあるかぶりもの。 | 栄冠（エイカン） 冠水（カンスイ） |
| 2 | 冗 | 冖（わかんむり） 4 | ジョウ | 源 ひまで家（冖）に人（几）がいる⇩むだ | 冗談（ジョウダン） 冗長（ジョウチョウ） |
| 3 | 宴 | 宀（うかんむり） 10 | エン | 源 家（宀）の中で安んじ（晏）楽しむ。 | 宴会（エンカイ） 祝宴（シュクエン） |
| 4 | 審 | 宀（うかんむり） 15 | シン | 義 はっきり見分ける。詳しく調べる。 | 審議（シンギ） 不審（フシン） |
| 5 | 華 | 艹（くさかんむり） 10 | カ **ケ** はな | 解 花が多く咲く⇩はなやか 花のもとの字。 | 華美（カビ） 栄華（エイガ） |
| 6 | 菊 | 艹（くさかんむり） 11 | キク | 源 両手ですくうときの指の形のような花。 注 キクは音 | 野菊（のギク） 白菊（しらギク） |
| 7 | 葬 | 艹（くさかんむり） 12 | ソウ **ほうむ（る）** | 源 草原（艹・廾）に死者をほうむる。 | 葬儀（ソウギ） 火葬（カソウ） |
| 8 | 藩 | 艹（くさかんむり） 18 | ハン | 義 かき根で囲った領地。大名の治める国。 | 藩士（ハンシ） 藩主（ハンシュ） |
| 9 | 苗 | 艹（くさかんむり） 8 | **ビョウ** なえ なわ | 源 田に生える草（艹）。稲のなえが原義。 | 苗床（なえどこ） 種苗（シュビョウ） |
| 10 | 芳 | 艹（くさかんむり） 7 | ホウ **かんば（しい）** | 源 草花のよいかおりが四方に広がる⇩敬意を表す言葉 | 芳香（ホウコウ） 芳名（ホウメイ） |
| 11 | 房 | 戸（とだれ） 8 | ボウ ふさ | 義 部屋。家。巣。ふさ。 | 暖房（ダンボウ） 一房（ひとふさ） |
| 12 | 窒 | 穴（あなかんむり） 11 | チツ | 源 穴がふさがり進めない（至）⇩つまる | 窒息（チッソク） 窒素（チッソ） |
| 13 | 籍 | ⺮（たけかんむり） 20 | セキ | 源 竹札を重ねて（耤）保存する⇩書物 | 移籍（イセキ） 書籍（ショセキ） |
| 14 | 篤 | ⺮（たけかんむり） 16 | トク | 義 病気が重い。人情深い。熱心。 | 危篤（キトク） 篤実（トクジツ） |
| 15 | 符 | ⺮（たけかんむり） 11 | フ | 源 竹の割り札を合わせる（付）⇩札・記号 | 符合（フゴウ） 切符（きっプ） |
| 16 | 簿 | ⺮（たけかんむり） 19 | ボ | 源 竹札をとじた（溥）帳面。 注 薄 | 名簿（メイボ） 簿記（ボキ） |
| 17 | 虐 | 虍（とらかんむり） 9 | ギャク **しいた（げる）** | 源 とら（虍）がつめ（ヨ）で人を傷つける。 | 虐待（ギャクタイ） 残虐（ザンギャク） |
| 18 | 虚 | 虍（とらかんむり） 11 | キョ **コ** | 義 むなしい。ない。から。弱い。 | 虚無（キョム） 虚空（コクウ） |
| 19 | 零 | 雨（あめかんむり） 13 | レイ | 源 したたる（令）雨のしずく⇩わずか | 零細（レイサイ） 零下（レイカ） |
| 20 | 霊 | 雨（あめかんむり） 15 | レイ **リョウ たま** | 源 雨ごいをする神主（巫）⇩たましい | 霊験（レイゲン） 言霊（ことだま） |
| 21 | 克 | 儿（ひとあし） 7 | コク | 源 重いかぶとを身に付けた形⇩耐える・うちかつ | 克明（コクメイ） 克己（コッキ） |
| 22 | 免 | 儿（ひとあし） 8 | メン ***まぬか（れる）** | 源 子を産む形⇩ぬけでる | 免除（メンジョ） 放免（ホウメン） |

*「まぬがれる」とも読む。

なぞろう：冠 冗 宴 審 華 菊 葬 藩 苗 芳 房 窒 籍 篤 符 簿 虐 虚 零 霊 克 免

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① **エイカン**は我に輝く。（輝かしい勝利）
② 友人と**ジョウダン**交じりに話をする。（ふざけて言う話）
③ 年も改まり新年**エンカイ**を開く。（飲食しながら歓だんする集まり）
④ 法案を**シンギ**する。（意見を出して詳しく話しあうこと）
⑤ 場所によっては**カビ**な服装を慎む。（はなやかできれいなこと）
⑥ 小説『**ノギク**の墓』を読む。（のはらに咲くきく）
⑦ **ソウギ**の日取りを決める。（死者をほうむる式）
⑧ 坂本龍馬（さかもとりょうま）は土佐**ハンシ**だった。（江戸時代の大みょうの家来）
⑨ トマトの**ナエドコ**を作る。（なえを作るために種をまく場所）
⑩ **ホウコウ**剤を部屋に置く。（よいかおり）
⑪ 冷**ダンボウ**完備の部屋に住む。（室内をあたためる設備）
⑫ **チッソク**時の応急処置法を知っておく。（呼吸が止まること）
⑬ 別のチームへ**イセキ**する。（所属先をうつすこと）
⑭ **キトク**の知らせに慌てる。（病状が悪く、生命があぶないこと）
⑮ その仮定は史実に**フゴウ**する。（ぴったりあうこと）
⑯ **メイボ**で住所を確認する。（なまえや住所などを記した表・冊子）
⑰ 動物**ギャクタイ**を防止する。（弱者をむごく扱う）
⑱ **キョム**感を味わう。（むなしくて何もないこと）
⑲ **レイサイ**な資金を有効に活用する。（規模がごく小さいこと）
⑳ **レイゲン**あらたかな神社を訪ねる。（神仏の不思議な力の効き目やしるし）
㉑ **コクメイ**な心理描写をする。（詳しくこまかいこと）
㉒ 授業料を**メンジョ**される。（すべきことをしなくてよいと許すこと）

●**訓読みのない漢字**
「菊」や「茶」は音読みしかない漢字。訓読みがないということは、もともとは日本に存在しなかったということになる。「菊」は奈良時代以降に渡来したとされるし、「茶」を飲む習慣は鎌倉（かまくら）時代に中国から臨済宗（りんざいしゅう）を伝えた栄西（えいさい）がもたらしたと言われる。存在しない物には名前のつけようがなかったのだ。

## 訓読み

❺ 華 ［　］　㉒ 免れる 高 ［　］
❾ 苗代 ［　］　❶ かんむり ［　］
⑰ 虐げる 高 ［　］　❿ かんばしい 高 ［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 1～3の三つの□に**共通する漢字**を入れて熟語を作れ。漢字は後の語群から**一つ**選んで記せ。

1 □示・□発・拝□（　）
2 □進・販□・催□（　）
3 湿□・利□・□沢（　）

| 潤　疑　促　迎　啓　触 |
|---|

**2** **熟語の構成**のしかたには次のようなものがある。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの （**岩石**）
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの （**高低**）
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの （**洋画**）
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの （**着席**）
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの （**非常**）

次の熟語は右の**ア**～**オ**のどれにあたるか、**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 合掌（　）　5 賢母（　）
2 吉凶（　）　6 未了（　）
3 潜水（　）　7 収穫（　）
4 慈愛（　）　8 不遇（　）

### 解答

❺ はな ❾ なわしろ ⑰ しいた（げる） ㉒ まぬか（れる）・まぬが（れる） ❶ 冠 ❿ 芳しい
**1** 1 啓 2 促 3 潤
**2** 1 エ 2 イ 3 エ 4 ア 5 ウ 6 オ 7 ア 8 オ

5級
4級
3級①～⑬ 284字
準2級
2級
応用編

# 第33回 3級⑩

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 焦 | 灬（れんが） 12 | ショウ / こ(げる・がす) / こ(がれる) / あせ(る) | ノ イ 亻 仁 什 件 隹 隹 焦 | 源 鳥（隹）を火（灬）であぶる。 | 焦点（ショウテン）・焦土（ショウド） |
| 2 | 慰 | 心（こころ） 15 | イ / なぐさ(める) / なぐさ(む) | 尸 尸 尸 尽 尽 尉 尉 慰 慰 | 義 心安らかなようにいたわること。 | 慰問（イモン）・慰謝（イシャ） |
| 3 | 忌 | 心（こころ） 7 | キ / い(む) / い(まわしい) | ㇆ コ 己 己 己 忌 忌 | 義 いむ。きらう。さける。もに服す。 | 忌避（キヒ）・忌引（きびき） |
| 4 | 愚 | 心（こころ） 13 | グ / おろ(か) | 丨 口 日 日 月 禺 禺 禺 愚 | 義 おろか。けんそんするときも使う。↕賢 | 愚問（グモン）・愚直（グチョク） |
| 5 | 憩 | 心（こころ） 16 | ケイ / いこ(い) / いこ(う) | 二 千 舌 舌 舌 刮 甜 憩 憩 | 義 休息すること。 | 休憩（キュウケイ）・小憩（ショウケイ） |
| 6 | 慈 | 心（こころ） 13 | ジ / いつく(しむ) | 丷 䒑 䒑 玄 玄 玄 兹 兹 慈 | 義 愛情をかけ、いつくしむこと。 | 慈愛（ジアイ）・慈雨（ジウ） |
| 7 | 怠 | 心（こころ） 9 | タイ / おこた(る) / なま(ける) | ㇜ ム ム 台 台 台 怠 怠 怠 | 源 心がゆるむ（台）⇩たるむ・おこたる | 怠慢（タイマン）・怠業（タイギョウ） |
| 8 | 慕 | 㣺（したごころ） 14 | ボ / した(う) | 艹 艹 苩 苩 莫 莫 莫 慕 慕 | 源 さぐりもとめる（莫）心（㣺）。 | 敬慕（ケイボ）・追慕（ツイボ） |
| 9 | 厘 | 厂（がんだれ） 9 | リン | 一 厂 厂 厂 厂 厂 厘 厘 厘 | 義 重量・長さ・貨へいの単位。 | 九厘（クリン）・一厘（イチリン） |
| 10 | 廉 | 广（まだれ） 13 | レン | 广 广 广 庐 庐 庐 庐 庐 廉 | 源 家（广）の角（兼）⇩端正・つつましい | 清廉（セイレン）・廉価（レンカ） |
| 11 | 廊 | 广（まだれ） 12 | ロウ | 广 广 广 広 庐 庐 庐 廊 廊 | 義 ろうか。わたどの。堂の東西の部屋。 | 廊下（ロウカ）・画廊（ガロウ） |

なぞろう　焦 慰 忌 愚 憩 慈 怠 慕 厘 廉 廊

書こう

## 練習

① レンズのショウテンを合わせる。（光の集まるところ、もん題の中心てん）
② 福祉施設のイモンをする。（見舞い、なぐさめること）
③ 害虫対策にキヒ剤を使う。（きらってさけること）
④ それはグモンだ。（くだらない質もん、質もんを謙そんしていう語）
⑤ 昼のキュウケイ時間に外出する。（一時的にきゅう息をとること）
⑥ ジアイに満ちたまなざしを向ける。（あいし、大切にすること）
⑦ 職務タイマンを厳しく注意する。（なまけ、いい加減にすること）
⑧ 師と仰ぎ、ケイボする。（うやまい、そうなりたいと願うこと）
⑨ く分クリン間違いない。（ほとんど完全なこと）
⑩ セイレン潔白な彼女はだれからもしたわれる。（心がきよらかで無欲なこと）
⑪ ロウカは静かに歩こう。（家屋内の細長い通路）

1回目　2回目　3回目

## 訓読み

❶ 焦る 高　㉑ 超える
❹ 愚か　❼ おこたる
❺ 憩い　❽ したう
⑲ 遭う　㉒ おもむく

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の漢字の**部首**を**ア〜エ**から**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 匿（ア 艹　イ 匚　ウ 口　エ 右）（　）
2 没（ア 氵　イ 几　ウ 又　エ 殳）（　）
3 墜（ア 阝　イ 丷　ウ 豕　エ 土）（　）
4 撮（ア 日　イ 耳　ウ 扌　エ 又）（　）
5 簿（ア ⺮　イ 氵　ウ 寸　エ 甫）（　）



5級　4級　3級①〜⑬ 284字　準2級　2級　応用編

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 尿 | 尸（かばね） 7 | ニョウ | ㇆ コ 尸 尸 尸 尸 尿 | 源 動物のしり（尸）から出る水。 | 検尿（ケンニョウ）・尿意（ニョウイ） |
| 13 | 疾 | 疒（やまいだれ） 10 | シツ | ' 亠 广 疒 疒 疒 疒 疾 疾 | 源 矢を受けてできた急な傷（疒）⇩急病・速い | 疾風（シップウ）・疾病（シッペイ） |
| 14 | 痘 | 疒（やまいだれ） 12 | トウ | ' 亠 广 疒 疒 疒 疒 痘 痘 | 義 もがさ。皮膚にできる豆形の病気。 | 水痘（スイトウ）・種痘（シュトウ） |
| 15 | 癖 | 疒（やまいだれ） 18 | ヘキ / くせ | 疒 疒 疒 疒 疒 疒 癖 癖 癖 | 義 かたよった好みや習性のこと。 | 口癖（くちぐせ）・悪癖（アクヘキ） |
| 16 | 遇 | 辶（しんにょう） 12 | グウ | 口 日 日 月 禺 禺 禺 禺 遇 | 源 たまたま（禺）道（辶）で会う⇩もてなす | 境遇（キョウグウ）・厚遇（コウグウ） |
| 17 | 遵 | 辶（しんにょう） 15 | ジュン | 丷 䒑 䒑 酋 酋 酋 尊 尊 遵 | 源 辶（行く）＋尊（したがう）⇩まもる | 遵守（ジュンシュ）・遵法（ジュンポウ） |
| 18 | 遂 | 辶（しんにょう） 12 | スイ / と(げる) | 丷 䒑 䒑 豸 豸 豸 豕 遂 遂 | 源 道（辶）をどこまでも行く（㒸）⇩とげる | 未遂（ミスイ）・完遂（カンスイ） |
| 19 | 遭 | 辶（しんにょう） 14 | ソウ / あ(う) | 一 冂 冂 冂 冂 曲 曲 曹 遭 | 源 路上（辶）で二人（曹 音↓）相が出会う。 | 遭難（ソウナン）・遭遇（ソウグウ） |
| 20 | 逮 | 辶（しんにょう） 11 | タイ | ㇆ ⺕ ⺕ 聿 聿 聿 隶 隶 逮 | 源 隶はおよぶ意⇩おいつく・とらえる | 逮捕（タイホ）・逮夜（タイヤ） |
| 21 | 超 | 走（そうにょう） 12 | チョウ / こ(える) / こ(す) | 一 十 土 キ キ 走 走 起 超 | 源 走ってとびこえる（召↓跳）。注 越 | 超人（チョウジン）・超越（チョウエツ） |
| 22 | 赴 | 走（そうにょう） 9 | フ / おもむ(く) | 一 十 土 キ キ 走 走 赴 赴 | 源 急いで（卜）ゆく（走）⇩おもむく | 赴任（フニン）・赴く（おもむく） |

なぞろう　尿 疾 痘 癖 遇 遵 遂 遭 逮 超 赴

書こう

⑫ ケンニョウで病気を調べる。（にょうの医学的けん査）
⑬ シップウのように駆け抜ける。（速く吹くかぜ）
⑭ スイトウは小児の伝染病だ。（みずぼうそうのこと）
⑮ クチグセとはいつも言う言葉のこと。（言いなれていつも言うこと、その言葉）
⑯ 不幸なキョウグウを乗り越える。（生きていくうえでの環きょうや立場）
⑰ 法律をジュンシュする。（きまりごとにしたがい、きちんとまもること）
⑱ ミスイに終わった事件。（着手したが、やり終えなかったこと）
⑲ 雪山のソウナン者を救助する。（災なんにであうこと）
⑳ 逃走犯のタイホに全力をあげる。（ひとの行動の自由をうばい拘束すること）
㉑ チョウジン的な体力だ。（普通よりはるかに優れた能力をもつひと）
㉒ 離島の小学校にフニンする。（職務のある地へ行くこと）

**◉親孝行な鳥「慈鳥（じちょう）」**

「慈鳥」はカラスの異名。カラスは、親が口移しで餌を与えてくれた幼い頃の恩を忘れず、大人になると年老いた親に餌を運んでその恩を返すといわれている。子が成長ののち、親の恩に報いるたとえとして「慈烏反哺」「烏に反哺の孝あり」という言葉もある。カラスに対するイメージが少し変わるのではないだろうか。

**2** 後の□の中のひらがなを一度だけ使って漢字**一字**に直し、**対義語と類義語**を記せ。

**対義語**

1 必然 ―（　）然
2 具象 ―（　）象
3 出火 ―（　）火
4 抑制 ―（　）進

**類義語**

5 中心 ― 主（　）
6 実行 ― 実（　）
7 重要 ―（　）心
8 美人 ―（　）人

そく・じく・し・かん・か・ちゅう・ぐう・ちん

**解答**

❶あせ(る)　❹おろ(か)　❺いこ(い)　❼怠る　❽慕う　⑲あ(う)　㉑こ(える)　㉒赴く

**1** 1 イ　2 ア　3 エ　4 ウ　5 ア

**2** 1 偶　2 抽　3 鎮　4 促　5 軸　6 施　7 肝　8 佳

# 第34回 3級⑪

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 匠 | 匚（はこがまえ）6 | ショウ | 一 ア ア 戸 斤 匠 | 源かね尺（匚）とおの（斤）⇩大工・技術者 | 意匠（イショウ）・巨匠（キョショウ） |
| 2 | 匿 | 匸（かくしがまえ）10 | トク | 一 二 ヂ 芋 芋 若 若 若 匿 | 源中にかくれ（匚）従わ（若）ない。 | 匿名（トクメイ）・隠匿（イントク） |
| 3 | 衝 | 行（ぎょうがまえ）15 | ショウ | 彳 彳 徉 徉 裈 裈 衝 衝 衝 | 源通り（行）をどんと（重）つきぬける。 | 衝突（ショウトツ）・折衝（セッショウ） |
| 4 | 閲 | 門（もんがまえ）15 | エツ | 丨 𠃌 門 門 門 閂 閉 閲 閲 | 源門の中で服をぬがせる（兌）⇩調べる・経過する | 検閲（ケンエツ）・閲歴（エツレキ） |
| 5 | 乏 | ノ（はらいぼう）4 | ボウ / とぼ（しい） | ノ イ 乏 乏 | 解正の字の上下逆の形。不正。不足。 | 欠乏（ケツボウ）・耐乏（タイボウ） |
| 6 | 乙 | 乙（おつ）1 | オツ | 乙 | 義気の利いた。二番目。きのと（十干）。 | 乙（オツ）・乙種（オツシュ） |
| 7 | 了 | 亅（はねぼう）2 | リョウ | 乛 了 | 義あきらか。はっきりさとる。おわる。 | 了解（リョウカイ）・了見（リョウケン） |
| 8 | 企 | 人（ひとやね）6 | キ / くわだ（てる） | ノ 人 个 仐 仚 企 | 源人がつま先立ちし（止↓足）て望む⇩くわだてる | 企画（キカク）・企業（キギョウ） |
| 9 | 募 | 力（ちから）12 | ボ / つの（る） | 艹 艹 芦 莒 莫 莫 募 募 募 | 義つのる。招き集める。広く求める。 | 募金（ボキン）・募集（ボシュウ） |
| 10 | 卓 | 十（じゅう）8 | タク | ト ト ⺊ 占 占 卣 卓 卓 | 義つくえ。こえる。すぐれている。 | 卓越（タクエツ）・卓球（タッキュウ） |
| 11 | 卑 | 十（じゅう）9 | ヒ / いや（しい） / いや（しむ） / いや（しめる） | ノ イ 白 白 由 由 甶 卑 卑 | 義ひくい。下品。軽んじる。↕尊 | 卑下（ヒゲ）・卑劣（ヒレツ） |
| 12 | 双 | 又（また）4 | ソウ / ふた | フ ヌ 刄 双 | 源もとは雙。二羽の鳥（隹）を手（又）に持つ。 | 双方（ソウホウ）・無双（ムソウ） |
| 13 | 又 | 又（また）2 | また | フ 又 | 義また。さらに。それから。 | 又聞き（またぎき）・又（また） |
| 14 | 哀 | 口（くち）9 | アイ / あわ（れ） / あわ（れむ） | 丶 亠 亣 亨 声 亨 哀 哀 哀 | 源口を隠し（衣）て悲しむ。 | 哀楽（アイラク）・哀願（アイガン） |
| 15 | 吉 | 口（くち）6 | キチ / キツ | 一 十 士 吉 吉 吉 | 源指導者（士）の立派なことば（口）⇩よい | 吉兆（キッチョウ）・吉報（キッポウ） |
| 16 | 啓 | 口（くち）11 | ケイ | 一 ㇇ 三 戸 戸 戸 启 启 啓 | 義ひらく。教える。申し上げる。 | 啓示（ケイジ）・啓発（ケイハツ） |
| 17 | 哲 | 口（くち）10 | テツ | 一 十 扌 扌 扩 折 折 哲 哲 | 義物の道理をよくわきまえる。けん明な人。 | 哲人（テツジン）・先哲（センテツ） |
| 18 | 吏 | 口（くち）6 | リ | 一 冖 冂 曰 吏 吏 | 義役人。おさめる。㊟史 | 官吏（カンリ）・吏員（リイン） |
| 19 | 墾 | 土（つち）16 | コン | 夕 乎 豸 豸 豸 豸 貇 貇 墾 | 源荒地（土）を深く（豤）耕す。 | 開墾（カイコン）・墾田（コンデン） |
| 20 | 墜 | 土（つち）15 | ツイ | 了 阝 阝 阝 阝 阝 阝 隊 墜 | 義落下する。おとろえる。失う。 | 墜落（ツイラク）・失墜（シッツイ） |
| 21 | 塗 | 土（つち）13 | ト / ぬ（る） | 氵 氵 氵 氵 汵 汵 涂 涂 塗 | 義ぬる。どろ。 | 塗装（トソウ）・塗炭（トタン） |
| 22 | 墨 | 土（つち）14 | ボク / すみ | 口 日 甲 甲 里 黒 黒 墨 墨 | 源すす（黒）と土をこねて固める。 | 墨守（ボクシュ）・白墨（ハクボク） |

なぞろう

書こう

## 練習

① 特許庁に**イショウ**登録をする。（趣向、工夫）
② 雑誌に**トクメイ**で投稿する。（なまえをかくして知らせないこと）
③ 車同士の**ショウトツ**事故が発生した。（ぶつかること）
④ 国家による表現物の**ケンエツ**は禁止されている。（調べ改めること）
⑤ 物資が**ケツボウ**しないように備える。（不足していて困ること）
⑥ この料理は**オツ**な味がする。（ちょっと気がきいていて味わい深いさま）
⑦ 上司の**リョウカイ**を得る。（理かいし認めること）
⑧ イベントの**キカク**を立てる。（計かくを立てること、その計かく）
⑨ 街頭**ボキン**に応じる。（寄付きんをつのる）
⑩ 熟練工の**タクエツ**した技術に舌を巻く。（他よりはるかに優れていること）
⑪ 自分自身を**ヒゲ**しすぎる必要はない。（つまらないものとしていやしめる、へりくだる）
⑫ 労使**ソウホウ**の言い分を述べる。（両ほう）
⑬ **マタギ**きの話なので不確かだ。（間接的にきくこと）
⑭ 彼は喜怒**アイラク**がはっきりしている。（かなしみとたのしみ）
⑮ 季節外れの桜の花を**キッチョウ**だと喜ぶ。（喜ばしいきざし）
⑯ 神の**ケイジ**を受ける。（さとししめすこと）
⑰ 古代ギリシャの**テツジン**ソクラテス。（見識高く道理に通じたひと）
⑱ **カンリ**になって国務にあたる。（役にん）
⑲ **カイコン**して農地を広げる。（自然のままの土地を耕し、田畑とすること）
⑳ 救急隊が飛行機の**ツイラク**現場に駆けつける。（高いところからおちること）
㉑ 自動車を**トソウ**する。（と料をぬること）
㉒ 古い習慣を**ボクシュ**する。（前からの習慣や考えを固くまもり続けること）

1回目 / 2回目 / 3回目

## 訓読み

❽ 企てる　❾ 募る　⓫ 卑しい 高　⓬ 双葉
㉒ 墨　❺ とぼしい　⓮ あわれむ　㉑ ぬる

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナを漢字一字と送りがな（ひらがな）に直せ。

1 原料不足に**トモナウ**値上げ。（　）
2 **マギラワシイ**表現を避ける。（　）
3 市場に農作物を**オロス**。（　）
4 油で**スベリ**をよくする。（　）
5 敵に秘密が**モレル**。（　）

**2** 文中の四字熟語の――線のカタカナを漢字二字に直せ。

1 千載**イチグウ**の好機にめぐりあう。（　）
2 **キカイ**千万な話だ。（　）
3 その考えは空中**ロウカク**に過ぎない。（　）
4 **シンボウ**遠慮をめぐらす。（　）
5 首尾**イッカン**した行動をとる。（　）
6 支離**メツレツ**な説明で混乱が生じた。（　）
7 体の**シンチン**代謝を活発にする食品。（　）

◉干支（えと）としての常用漢字

「乙」は年月日を表す干支にも用いられる漢字。常用漢字としては音しかないが、干支としては「きのと」と訓でも読まれる。干支としての訓は、古代中国哲学がもとになっていて、ほかにも「丁」は「ひのと」、「己」は「つちのと」など、特殊な読み方をする場合が多い。辞書などで調べてみよう。

## 解答

❽くわだ(てる)　❾つの(る)　⓫いや(しい)　⓬ふたば　㉒すみ　❺乏しい　⓮哀れむ　㉑塗る

**1** 1 伴う　2 紛らわしい　3 卸す　4 滑り　5 漏れる

**2** 1 一遇　2 奇怪　3 楼閣　4 深謀　5 一貫　6 滅裂　7 新陳

# 第35回 3級⑫

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 契 | だい 大 9 | ケイ / ちぎ(る) | 契 | 義 きっかけ・原因。割符。約束。 | 契約（ケイヤク）・契機（ケイキ） |
| 2 | 奪 | だい 大 14 | ダツ / うば(う) | 奪 | 源 羽ばたく鳥(奞)を手にする(寸)形。 | 強奪（ゴウダツ）・奪回（ダッカイ） |
| 3 | 奉 | だい 大 8 | ホウ / ブ / たてまつ(る) | 奉 | 義 両手を寄せて物をささげる。 | 奉行（ブギョウ）・奉納（ホウノウ） |
| 4 | 婆 | おんな 女 11 | バ | 婆 | 義 年老いた女性。 | 老婆（ロウバ）・産婆（サンバ） |
| 5 | 寿 | すん 寸 7 | ジュ / ことぶき | 寿 | 源 もとは壽。耂(老人)＋𠷎(久しい)。 | 喜寿（キジュ）・天寿（テンジュ） |
| 6 | 封 | すん 寸 9 | フウ / ホウ | 封 | 義〈フウ〉閉じこめる。〈ホウ〉領地。境。 | 同封（ドウフウ）・封印（フウイン） |
| 7 | 岳 | やま 山 8 | ガク / たけ | 岳 | 義 高く大きい山。 | 山岳（サンガク）・岳人（ガクジン） |
| 8 | 崩 | やま 山 11 | ホウ / くず(れる) / くず(す) | 崩 | 源 山が左右に割れ(朋)てくずれる。 | 崩壊（ホウカイ）・崩御（ホウギョ） |
| 9 | 帝 | はば 巾 9 | テイ | 帝 | 源 神をまつる台の形⇩天の神・みかど | 帝政（テイセイ）・帝位（テイイ） |
| 10 | 幻 | いとがしら 幺 4 | ゲン / まぼろし | 幻 | 義 まぼろし。まどわす。変化する。 | 変幻（ヘンゲン）・幻想（ゲンソウ） |
| 11 | 幽 | いとがしら 幺 9 | ユウ | 幽 | 義 かすか。くらい。あの世。 | 幽玄（ユウゲン）・幽寂（ユウジャク） |
| 12 | 憂 | こころ 心 15 | ユウ / うれ(える) / うれ(い) / う(い) | 憂 | 義 心配する。㊟×百→○亘 愁と区別 | 憂慮（ユウリョ）・憂色（ユウショク） |
| 13 | 掌 | て 手 12 | ショウ | 掌 | 源 手で物に押しあてる(尚)⇩てのひら | 掌中（ショウチュウ）・分掌（ブンショウ） |
| 14 | 暫 | ひ 日 15 | ザン | 暫 | 義 切りとったわずかの時間。しばらく。 | 暫定（ザンテイ）・暫時（ザンジ） |
| 15 | 昇 | ひ 日 8 | ショウ / のぼ(る) | 昇 | 義 のぼる。あがる。 | 昇進（ショウシン）・昇降（ショウコウ） |
| 16 | 晶 | ひ 日 12 | ショウ | 晶 | 源 三つの星が光る形。 | 結晶（ケッショウ）・水晶（スイショウ） |
| 17 | 架 | き 木 9 | カ / か(ける) / か(かる) | 架 | 源 木を加えてわたす⇩たな | 高架（コウカ）・書架（ショカ） |
| 18 | 棄 | き 木 13 | キ | 棄 | 源 𠫓は子の逆の形。子供を見捨てるが原義。 | 棄却（キキャク）・棄権（キケン） |
| 19 | 桑 | き 木 10 | ソウ / くわ | 桑 | 源 叒は大きな葉をつけた三本の枝。 | 桑畑（くわばたけ）・桑田（ソウデン） |
| 20 | 某 | き 木 9 | ボウ | 某 | 義 はっきりしないものや人を表す。 | 某国（ボウコク）・某所（ボウショ） |
| 21 | 甲 | た 田 5 | コウ / カン | 甲 | 義 よろい。かぶと。こうら。 | 甲乙（コウオツ）・甲板（カンパン） |
| 22 | 畜 | た 田 10 | チク | 畜 | 源 獣の頭にひもをつけた形⇩養い育てる | 家畜（カチク）・畜産（チクサン） |

なぞろう　契 奪 奉 婆 寿 封 岳 崩 帝 幻 幽 憂 掌 暫 昇 晶 架 棄 桑 某 甲 畜

書こう

## 練習

1回目　2回目　3回目

① **ケイヤク**が成立した。（やく束、法律上の取り決め）
② 現金を**ゴウダツ**した犯人が捕まった。（無理やりにうばいとること）
③ 江戸時代の町**ブギョウ**の活躍を描いた時代劇。（武士の役職で、ある分野を取り仕切るもの）
④ **ロウバ**の手を引く少年を見かけた。（年を取った女性）
⑤ 祖父は**キジュ**とは思えないほど元気だ。（七十七歳のこと、その年を祝うこと）
⑥ 返信用切手を**ドウフウ**する。（ふう書に他のものをいっしょに入れること）
⑦ 世界の**サンガク**地帯を旅する。（やま、たかく険しいやまが集まっているところ）
⑧ 建物が**ホウカイ**する。（こわれてだめになってしまうこと）
⑨ ロシア革命で**テイセイ**が倒れた。（君主が統治するせい治の形態）
⑩ マジシャンが**ヘンゲン**自在に球を操る。（へん化がすばやく一ていしない様子）
⑪ **ユウゲン**の美を追求した和歌。（趣深く微妙な味わいがある様子）
⑫ 自然環境の悪化を**ユウリョ**する。（心配していろいろと考える）
⑬ 宝を**ショウチュウ**に収める。（自分の所有として自由にできる範囲内）
⑭ **ザンテイ**的な取り決めに従う。（確ていするまでの間、臨時的にそう決めること）
⑮ 課長に**ショウシン**した。（上の地位にのぼること）
⑯ 雪の**ケッショウ**を観察する。（いろいろな要素がきちんとした形になったもの）
⑰ 列車が**コウカ**橋を渡る。（空ちゅうたかくにかけわたすこと）
⑱ 再審請求が**キキャク**される。（裁判所が申し立てを取りあげないこと）
⑲ 眼前に**クワバタケ**が広がる。（クワを植えたはたけ）
⑳ **ボウコク**の主張が認められる。（あるくに、どのくにかを伏せるときの言い方）
㉑ どちらも**コウオツ**つけがたい。（ふたつの間の優劣）
㉒ **カチク**の世話をする。（人が飼う鳥獣）

## 訓読み

❸ 奉る 高
❺ 寿
❼ 岳
❿ 幻
⓯ 昇る
⓱ 架ける
❶ ちぎる 高
❷ うばう
❽ くずれる
⓬ うれえる

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の各文にまちがって使われている**同じ読みの漢字が一字**ある。**上に誤字を、下に正しい漢字**を記せ。

1 社会の高齢化が進み、さらなる福志制度の整備が求められる。（　↓　）

2 ノーベル賞受賞者が段上に登り、記念のスピーチを行った。（　↓　）

3 道路や空き地に散乱する紙くずや阻大ゴミを見て、ため息をつく。（　↓　）

4 保育所を増やし、労働者の待偶を改善して、国民の就労を促す。（　↓　）

5 環境保護の観点から、温室効果ガスの輩出権取引の議論は無視できない。（　↓　）

6 スポーツ選手にとって、四年に一度開祭される五輪大会は特別だ。（　↓　）

**解答**

❸ たてまつ(る)　❺ ことぶき　❼ たけ　❿ まぼろし　⓯ のぼ(る)　⓱ か(ける)　❶ 契る　❷ 奪う　❽ 崩れる　⓬ 憂える

**1**　1 志→祉　2 段→壇　3 阻→粗　4 偶→遇　5 輩→排　6 祭→催

◉**若くても「老婆」**
日本で「老婆」と聞くと、どうしても年を取った女性をイメージしてしまいがちだが、中国語の「老婆（ラオポ）」は「妻」の意味。年齢には関係がない。「姑（しゅうとめ）」は「婆婆（ポーポ）」と言うが、これも漢字から受けるイメージほどは年を取っていない？ ちなみに、「夫」は「丈夫（チャンフ）」と言う。男は丈夫でなくてはいけないらしい。

5級　4級　3級①～⑬ 284字　準2級　2級　応用編

# 第36回 3級⑬

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 解説 | 熟語 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 炎 | ひ 火 8 | エン ほのお | 解 火＋火。もえあがるほのお。 | 炎暑（エンショ） 炎上（エンジョウ） |
| 2 | 既 | なし・ぶ 旡 10 | キ すで（に） | 義 すでに。みな。 | 既成（キセイ） 既製（キセイ） |
| 3 | 緊 | いと 糸 15 | キン | 源 糸を堅く（臤）ひきしめる。注 ×巨→○臣 | 緊縮（キンシュク） 緊密（キンミツ） |
| 4 | 翻 | はね 羽 18 | ホン ひるがえ（る） ひるがえ（す） | 源 鳥が羽をひらひらさせ（番）て飛ぶ。 | 翻訳（ホンヤク） 翻案（ホンアン） |
| 5 | 脅 | にく 肉 10 | キョウ おびや（かす） おど（す・かす） | 解 もとは脇（わきばら）。脅の形ではおびやかす意。 | 脅威（キョウイ） 脅迫（キョウハク） |
| 6 | 覆 | おおいかんむり 襾 18 | フク おお（う） くつがえ（す） くつがえ（る） | 源 ふた（襾）をひっくりかえす（復）。 | 覆面（フクメン） 転覆（テンプク） |
| 7 | 蛮 | むし 虫 12 | バン | 義 未開の地に住む民。 | 野蛮（ヤバン） 蛮勇（バンユウ） |
| 8 | 衰 | ころも 衣 10 | スイ おとろ（える） | 源 雨具のみのが垂れた形。注 哀・衷 | 盛衰（セイスイ） 衰弱（スイジャク） |
| 9 | 袋 | ころも 衣 11 | タイ ふくろ | 源 かわるがわる（代）物を包み入れる衣。 | 手袋（てぶくろ） 紙袋（かみぶくろ） |
| 10 | 裂 | ころも 衣 12 | レツ さ（く） さ（ける） | 源 衣服を切りさく（列）。 | 決裂（ケツレツ） 裂傷（レッショウ） |
| 11 | 豚 | いのこ・ぶた 豕 11 | トン ぶた | 源 肉（月）づきのよいブタ（豕）。 | 豚肉（ぶたニク） 養豚（ヨウトン） |
| 12 | 貫 | かい・こがい 貝 11 | カン つらぬ（く） | 源 銭（貝）をさしとおす（毌）⇩つらぬく | 貫通（カンツウ） 一貫（イッカン） |
| 13 | 賢 | かい・こがい 貝 16 | ケン かしこ（い） | 源 かたい（臤）良質の貝⇩まさる・かしこい | 賢者（ケンジャ） 賢人（ケンジン） |
| 14 | 赦 | あか 赤 11 | シャ | 源 攵（むちで打つ）＋赤（ゆるむ）⇩ゆるす | 容赦（ヨウシャ） 赦免（シャメン） |
| 15 | 辛 | からい 辛 7 | シン から（い） | 源 入れ墨の針の形⇩つらい・からい | 辛酸（シンサン） 辛勝（シンショウ） |
| 16 | 辱 | しんのたつ 辰 10 | ジョク はずかし（める） | 義 はずかしめる。恥をかかせる。 | 屈辱（クツジョク） 雪辱（セツジョク） |
| 17 | 雇 | ふるとり 隹 12 | コ やと（う） | 源 戸（とびら）＋隹（とり）＝鳥を飼う⇩やとう | 解雇（カイコ） 雇用（コヨウ） |
| 18 | 隻 | ふるとり 隹 10 | セキ | 源 手（又）に一羽の鳥（隹）を持つ⇩一つ | 三隻（サンセキ） 隻句（セック） |
| 19 | 魂 | おに 鬼 14 | コン たましい | 源 死者の霊（鬼）がめぐりのぼる（云↓運）。 | 入魂（ニュウコン） 鎮魂（チンコン） |
| 20 | 魔 | おに 鬼 21 | マ | 源 麻（しびれさせる）＋鬼⇩まもの | 病魔（ビョウマ） 魔法（マホウ） |
| 21 | 魅 | きにょう 鬼 15 | ミ | 源 不明の（未）魔力（鬼）⇩みいる・心をひきつける | 魅力（ミリョク） 魅惑（ミワク） |
| 22 | 鶏 | とり 鳥 19 | ケイ にわとり | 源 ひもでつないで（奚）飼う鳥⇩にわとり | 養鶏（ヨウケイ） 鶏舎（ケイシャ） |

なぞろう
炎 既 緊 翻 脅 覆 蛮 衰 袋 裂 豚 貫 賢 赦 辛 辱 雇 隻 魂 魔 魅 鶏

書こう

## 練習

① 列島は**エンショ**の日日が続く。（夏のきびしいあつさ）
② **キセイ**事実を作る。（物事などがすでになりたっていること）
③ **キンシュク**予算案を提出する。（切り詰め、引き締めること）
④ 好んで**ホンヤク**小説を読む。（ある言語の文を別の言語に直すこと）
⑤ 原子爆弾の**キョウイ**を訴える。（存在やちからでおどし、安全を危うくすること）
⑥ **フクメン**をした強盗が現れる。（顔をおおいかくすこと）
⑦ 戦争は**ヤバン**な行為だ。（乱暴で粗野な様子）
⑧ 国家の栄枯**セイスイ**を描いた歴史物語。（栄えたり、おとろえたりすること）
⑨ プレゼントに**テブクロ**を買う。（防寒具の一種）
⑩ 話し合いは**ケツレツ**した。（交しょうが物別れになること）
⑪ 沖縄で**ブタニク**料理を食べる。（食用のブタのにく）
⑫ トンネルが**カンツウ**する。（つらぬきとおすこと）
⑬ **ケンジャ**に教えを受ける。（知恵のある人）
⑭ 自然の厳しさが**ヨウシャ**なく襲いかかる。（許すこと、ひかえめにすること）
⑮ **シンサン**をなめる。（つらい経験）
⑯ **クツジョク**的な仕打ちに耐える。（相ての下について受ける恥）
⑰ 不当な**カイコ**に異議を申し立てる。（仕事をやめさせること）
⑱ **サンセキ**の船がとおり過ぎた。（船ばくを数える単位）
⑲ 一球**ニュウコン**の精神で試合に臨む。（何かに心をこめること）
⑳ **ビョウマ**と闘う。（びょう気を、まものにたとえた語）
㉑ とても**ミリョク**的な人だ。（人をひきつけるちから）
㉒ **ヨウケイ**場から卵を出荷する。（家畜としてニワトリを飼う）

**●南蛮渡来とは?**
「南蛮」とは、中国大陸を制覇した中国王朝が、思うように服従しない南方の異民族を未開の地の民（＝蛮）としたことから生まれた言葉。漢字が伝わった当初は日本でも同じ意味合いで用いられていたようだが、15世紀以降、ヨーロッパとの貿易が始まってからは、海外から渡って来た事物・文化全般を指す言葉となった。

## 訓読み

❹ 翻す 高
❺ 脅す
❻ 覆る 高
❽ 衰える
❿ 裂ける
⓭ 賢い
❺ おびやかす 高
❻ おおう
⓬ つらぬく
⓱ やとう

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線のカタカナを漢字に直せ。

1 時代**サクゴ**の法律を改める。（　）
2 規則の一部を**サクジョ**する。（　）
3 講座の**ガイヨウ**を説明する。（　）
4 **ボクチク**の歴史を調べる。（　）
5 **シツジュン**な気候の土地だ。（　）
6 任務をきちんと**スイコウ**する。（　）
7 図書館で資料を**エツラン**する。（　）
8 国連の**シンタク**統治が終わる。（　）
9 学習の**サマタ**げとなるものを排除する。（　）
10 **キク**が美しく咲いた。（　）
11 塩分を**ヒカ**えた料理を作る。（　）
12 クラブの先輩を**シタ**う。（　）

**解答**
❹ひるがえ（す） ❺おど（す） ❻くつがえ（る） ❽おとろ（える） ❿さ（ける） ⓭かしこ（い） ❺脅かす ❻覆う ⓬貫く ⓱雇う
**1** 1 錯誤 2 削除 3 概要 4 牧畜 5 湿潤 6 遂行 7 閲覧 8 信託 9 妨 10 菊 11 控 12 慕

5級 4級 3級①～⑬ 284字 準2級 2級 応用編 1回目 2回目 3回目

# 第37回 準2級①

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 偽 | 傑 | 侯 | 儒 | 俊 | 償 | 仙 | 但 | 偵 | 伯 | 侮 |
| 部首・画数 | にんべん イ 11 | にんべん イ 13 | にんべん イ 9 | にんべん イ 16 | にんべん イ 9 | にんべん イ 17 | にんべん イ 5 | にんべん イ 7 | にんべん イ 11 | にんべん イ 7 | にんべん イ 8 |
| 読み | ギ いつわ(る) にせ | ケツ | コウ | ジュ | シュン | ショウ つぐな(う) | セン | ただ(し) | テイ | ハク | ブ あなど(る) |
| 意味 | 源人(イ)がわざとする(為)⇩いつわる | 源きわだって高い(桀)人(イ)⇩すぐれた人 | 義領主、大名。㊟候 | 源徳をもって人をうるおす(需)人(イ)。 | 源抜きん出た(夋→出)人(イ)⇩すぐれる | 源人(イ)が財貨(賞)を払う⇩つぐなう | 源山中に住み術を得た人(イ)⇩秀でた人 | 義ただし。しかし。それとも。 | 源イ(人)+貞(占う)⇩様子をさぐる | 源かしら(白)↓父となる人⇩年長者・一芸に秀でた人 | 義相手を軽く扱う。あなどる。㊟悔 |
| 用例 | 偽善(ギゼン) 偽物(にせもの) | 傑作(ケッサク) 豪傑(ゴウケツ) | 王侯(オウコウ) 諸侯(ショコウ) | 儒教(ジュキョウ) 儒学(ジュガク) | 俊敏(シュンビン) 俊才(シュンサイ) | 代償(ダイショウ) 無償(ムショウ) | 水仙(スイセン) 仙人(センニン) | 但し(ただし) | 偵察(テイサツ) 探偵(タンテイ) | 伯仲(ハクチュウ) 画伯(ガハク) | 侮辱(ブジョク) 侮る(あなどる) |

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 併 | 偏 | 俸 | 僕 | 僚 | 倫 | 嚇 | 喝 | 吟 | 唆 | 唯 |
| 部首・画数 | にんべん イ 8 | にんべん イ 11 | にんべん イ 10 | にんべん イ 14 | にんべん イ 14 | にんべん イ 10 | くちへん ロ 17 | くちへん ロ 11 | くちへん ロ 7 | くちへん ロ 10 | くちへん ロ 11 |
| 読み | ヘイ あわ(せる) | ヘン かたよ(る) | ホウ | ボク | リョウ | リン | カク | カツ | ギン | サ そそのか(す) | ユイ イ |
| 意味 | 源人(イ)が並ぶ(并)⇩連なる・あわせる | 源人(イ)が片端におり(扁)、中立でない。 | 源人(イ)がつとめる(奉)⇩給料 | 義男性の自称・謙称。しもべ。 | 源寮は役人の住む部屋⇩役人・仲間 | 源人(イ)のちつ序正しい(侖)関係。 | 義顔を赤くして怒る。おどす。 | 義大きな声でしかったりおどしたりする。 | 義味わう。うたう。口ずさむ。うめく。 | 義そそのかす。けしかける。 | 義そのものだけ。返答の言葉。 |
| 用例 | 併設(ヘイセツ) 合併(ガッペイ) | 偏食(ヘンショク) 偏向(ヘンコウ) | 俸給(ホウキュウ) 年俸(ネンポウ) | 公僕(コウボク) 僕(ボク) | 同僚(ドウリョウ) 僚友(リョウユウ) | 人倫(ジンリン) 倫理(リンリ) | 威嚇(イカク) 嚇怒(カクド) | 恐喝(キョウカツ) 喝破(カッパ) | 苦吟(クギン) 吟詠(ギンエイ) | 示唆(シサ) 教唆(キョウサ) | 唯物(ユイブツ) 唯一(ユイイツ) |

なぞろう 偽 傑 侯 儒 俊 償 仙 但 偵 伯 侮 併 偏 俸 僕 僚 倫 嚇 喝 吟 唆 唯

書こう

## 練習

① ギゼン的な態度を戒める。（みせかけにする良いこと）
② 次次にケッサクが生まれた。（すぐれたできばえのさく品）
③ これはオウコウ貴族の愛用した楽器です。（国おうとしょこう）
④ 孔子(こうし)はジュキョウの始祖である。（孔子を祖とするおしえ）
⑤ シュンビンに行動する。（才知がすぐれていて行動が素早いこと）
⑥ 大きなダイショウを払う。（損害のつぐないとして金品などを出すこと）
⑦ スイセンの花は冬の季語です。（ヒガンバナ科の多年草）
⑧ タダし書きをよく読む。（本文の後などに書き添えるほ足説明）
⑨ 敵情をテイサツする。（ひそかに敵や相手の様子を探ること）
⑩ 実力がハクチュウする。（優劣の差をつけにくいこと）
⑪ ひとをブジョクしてはいけない。（相手を見下し、ひどい扱いをすること）
⑫ 大学に小学校をヘイセツする。（おなじ場所に二つ以上のものをせっ置すること）
⑬ ヘンショクせず何でもたべる。（好きなものしかたべないこと）
⑭ ホウキュウ生活を始める。（定期的な労働に対して支払われるお金）
⑮ コウボクとして国民に奉仕する。（こう務員の謙称）
⑯ 職場のドウリョウと旅行に行く。（職場がおなじひと）
⑰ ジンリンを踏みにじる行為に批判が集中する。（社会の綱紀を維持する道徳）
⑱ イカク攻撃が行われる。（強い力をしめして脅すこと）
⑲ キョウカツ未遂事件のニュースが流れる。（相手の弱みにつけこんで脅すこと）
⑳ クギンの末の名句。（く心して詩歌をつくること）
㉑ シサに富む話を聞く。（ほのめかすこと）
㉒ マルクス主義はユイブツ論を基盤としている。（真の存在はただぶっ質だけと考えること）

## 訓読み

❶ 偽る
❶ 偽 高
❽ 但し
⓬ 併せる
⓭ 偏る
㉑ 唆す 高
❻ つぐなう
⓫ あなどる 高

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線の漢字の読みをひらがなで記せ。

1 汚職を糾弾する。（　）
2 所轄の行政官庁に届け出る。（　）
3 懇切丁寧な指導を心がける。（　）
4 謹慎を命じられた武士。（　）
5 稚拙な内容で恥ずかしい。（　）
6 二国間の角逐が続く。（　）
7 古典は、はやり廃りに影響されない。（　）
8 煩わしい手順を簡略化する。（　）
9 寮生の食事を賄う。（　）
10 教え諭すことを仕事とする。（　）
11 恭しい態度を示す。（　）
12 害虫が嫌がる成分を配合する。（　）

**●言葉は生きている**

「喝」（本ページ19）を使う熟語といえば「一喝」「喝破」「喝采(かっさい)」「恐喝」などが思い浮かぶが、いずれも「大きな声を張り上げる」ことと関係がある。ところが現代の中国語で「喝（ハー）」と言えば、「飲む」という動詞を表す。所変われば品変わる。言葉が生きていることを実感できる一例と言えよう。

## 解答

❶いつわ(る) ❶にせ ❽ただ(し)
⓬あわ(せる) ⓭かたよ(る)
㉑そそのか(す) ❻償う ⓫侮る

**1** 1 きゅうだん　2 しょかつ　3 こんせつ　4 きんしん　5 ちせつ　6 かくちく　7 すた　8 わずら　9 まかな　10 さと　11 うやうや　12 いや

5級 4級 3級 準2級①〜⑮ 328字 2級 応用編 1回目 2回目 3回目

# 第38回 準2級②

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 准 | 垣 | 堪 | 壌 | 塚 | 坪 | 培 | 塀 | 堀 | 岬 | 弦 |
| 部首・画数 | 冫（にすい） 10 | 土（つちへん） 9 | 土（つちへん） 12 | 土（つちへん） 16 | 土（つちへん） 12 | 土（つちへん） 8 | 土（つちへん） 11 | 土（つちへん） 12 | 土（つちへん） 11 | 山（やまへん） 8 | 弓（ゆみへん） 8 |
| 読み | ジュン | かき | カン た(える) | ジョウ | つか | つぼ | バイ つちか(う) | ヘイ | ほり | みさき | ゲン つる |
| 意味 | 義 よりどころとする。許す。準ずる。 | 源 めぐらした(亘)土塀。 | 義 たえる。がまんする。 | 義 やわらかで肥えた土地。農地。 | 義 土を盛りあげて作ったところ。墓。 | 解 平らな土地。土地の面積の単位。 | 源 土をふっくらと(音)盛る。 | 源 土を積み重ねておおいかくすかき(屏)。 | 義 地面を掘って水を流したり蓄えるところ。 | 義 陸地の海中に突き出した部分。 | 源 弓＋玄(両端が引っ張られた糸)が原義。 |
| 用例 | 批准（ヒジュン） 准教授（ジュンキョウジュ） | 人垣（ひとがき） 垣根（かきね） | ＊堪能（カンノウ） 堪忍（カンニン） | 土壌（ドジョウ） | 一里塚（イチリづか） | 建坪（たてつぼ） 一坪（ひとつぼ） | 培養（バイヨウ） 培う（つちかう） | 土塀（ドベイ） 板塀（いたベイ） | 内堀（うちぼり） 割堀（わりぼり） | 潮岬（しおのみさき） 岬（みさき） | 上弦（ジョウゲン） 正弦（セイゲン） |

＊堪能：一般的には「タンノウ」と読む。

なぞろう　書こう

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 循 | 徹 | 懐 | 憾 | 惰 | 悼 | 憤 | 愉 | 陥 | 隅 | 附 |
| 部首・画数 | 彳（ぎょうにんべん） 12 | 彳（ぎょうにんべん） 15 | 忄（りっしんべん） 16 | 忄（りっしんべん） 16 | 忄（りっしんべん） 12 | 忄（りっしんべん） 11 | 忄（りっしんべん） 15 | 忄（りっしんべん） 12 | 阝（こざとへん） 10 | 阝（こざとへん） 12 | 阝（こざとへん） 8 |
| 読み | ジュン | テツ | カイ・ふところ なつ(かしい) なつ(かしむ)・なつ(ける・く) | カン | ダ | トウ いた(む) | フン いきどお(る) | ユ | カン おちい(る) おとしい(れる) | グウ すみ | フ |
| 意味 | 源 したがって行く(盾)(彳)⇩めぐる | 義 つらぬき通す。やりぬく。 | 義 思う。なつかしむ。ふところ。 | 源 心(忄)がすっかり揺れ動く(感)⇩うらむ・残念がる | 源 心(忄)がゆるむ(育)⇩おこたる・習慣 | 源 心(忄)が悲しみで動く(卓)。㊟傷む・痛む | 源 いっぱいの心(忄)がふき出す(賁→噴)。 | 源 心(忄)がうつって(俞→輸)楽しむ。 | 源 丘(阝)が落ちこむ(臽)。 | 源 丘(阝)のはっきり見えない(禺→愚)ところ。 | 解 附はつく、付はつけるの意だが、混用される。 |
| 用例 | 循環（ジュンカン） 因循（インジュン） | 貫徹（カンテツ） 徹底（テッテイ） | 懐疑（カイギ） 懐手（ふところで） | 遺憾（イカン） 憾悔（カイカン） | 惰性（ダセイ） 惰眠（ダミン） | 追悼（ツイトウ） 哀悼（アイトウ） | 憤然（フンゼン） 義憤（ギフン） | 愉快（ユカイ） 愉悦（ユエツ） | 欠陥（ケッカン） 陥落（カンラク） | 一隅（イチグウ） 片隅（かたすみ） | ＊附託（フタク） ＊附属（フゾク） |

＊附記「付記」、附属「付属」とも書く

なぞろう　書こう

## 練習

①条約をヒジュンする。（条約に対して国ないの同意が成立すること）〔　〕
②ヒトガキができる。（多くのひとがかきのように並ぶこと）〔　〕
③書にカンノウな姉がうらやましい。（その道に達してじょうずなこと）〔　〕
④このドジョウは野菜作りに適している。（作物を育てる土地）〔　〕
⑤門松はめいどの旅のイチリヅカ。（いちり（約4キロ）の距離を示す盛りつち）〔　〕
⑥この家のタテツボはどのくらいですか。（けん築物が土地を覆っている部分のつぼ数）〔　〕
⑦実験でカビをバイヨウする。（生物の細胞や組織をじん工的に育てること）〔　〕
⑧ドベイに囲まれた家を訪ねる。（つちでつくったへい）〔　〕
⑨白鳥がウチボリで泳いでいる。（城のない部にあるほり）〔　〕
⑩台風が和歌山県のシオノミサキを通過する。（本州最南端のみさき）〔　〕
⑪今夜はジョウゲンの月だ。（新月から満月の間の、げんがうえになる半月）〔　〕
⑫血液のジュンカンをよくする。（ひとまわりして繰り返すこと）〔　〕
⑬初志をカンテツする。（やりぬくこと）〔　〕
⑭デカルトのカイギ主義を勉強する。（うたがいをもつこと）〔　〕
⑮誠にイカンに存じます。（心残りがする様子）〔　〕
⑯ダセイを断ち切る。（従来からの癖・習慣）〔　〕
⑰犠牲者をツイトウする。（死者の生前のことを思い出し、いたむこと）〔　〕
⑱フンゼンとして立ちあがった。（いきどおるさま）〔　〕
⑲今日はとてもユカイな気分です。（楽しく心地よいこと）〔　〕
⑳商品のケッカンを指摘する。（かけて足りないもの）〔　〕
㉑都会のイチグウをカメラに収める。（いっぽうのすみ）〔　〕
㉒審議前の予備調査を委員会にフタクする。（頼み、任せること）〔　〕

## 訓読み

❸堪える〔　〕　❾堀〔　〕　⓫弦 高〔　〕　⓮懐 高〔　〕　⓱悼む 高〔　〕
⓲憤る 高〔　〕　㉑隅〔　〕　❼つちかう 高〔　〕　⓮なつく 高〔　〕　⓴おちいる〔　〕

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の漢字の**部首**を記せ。

1 彰（　）　2 頑（　）　3 戻（　）　4 爵（　）
5 衡（　）　6 尚（　）　7 畝（　）　8 繭（　）

**2** 次の――線の**カタカナ**にあてはまる**漢字**を後の（　）の中からそれぞれ**一つ**選んで記せ。

1 議論の応**シュウ**があった。
2 **シュウ**悪な争いが終わった。
3 **シュウ**嘆場を演じる。
（臭　醜　愁　酬　宗）
1（　）2（　）3（　）

4 菊の花を栽**バイ**する。
5 化学反応を速める触**バイ**。
6 損害を**バイ**償する。
（媒　倍　培　陪　賠）
4（　）5（　）6（　）

7 弓で的の中心を**イ**る。
8 縁起の悪いことばを**イ**む。
9 温泉で疲れを**イ**やす。
（忌　要　射　癒　居）
7（　）8（　）9（　）

◉「埼」と「崎」と「岬」

常用漢字としての「埼」（P.157）には「さい」という読み方しかないが、千葉県銚子市にある「犬吠埼」の「埼」のように、「さき」と読んで「崎」と同じ意味を表す場合もあるので知っておくとよい。

ちなみに、「崎」に美称の「み」を付けたのが「岬」の語源という説があるが、「崎」と「岬」の実際の違いははっきりしないのが実情。

## 解答

❸た(える)　❾ほり　⓫つる　⓮ふところ　⓱いた(む)　⓲いきどお(る)　㉑すみ　❼培う　⓮懐く　⓴陥る

**1** 1 彡　2 頁　3 戸　4 爫　5 行　6 ⺍　7 田　8 糸

**2** 1 酬　2 醜　3 愁　4 培　5 媒　6 賠　7 射　8 忌　9 癒

5級　4級　3級　準2級①～⑮ 328字　2級　応用編　1回目　2回目　3回目

# 第39回 準2級③

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 熟語 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 猿 | 犭 13 | エン / さる | 源ひじの長い(袁)獣(犭)⇩さる | 類人猿(ルイジンエン)　猿声(エンセイ) |
| 2 | 猫 | 犭 11 | ビョウ / ねこ | 源かすかな鳴き声(苗)の獣(犭)⇩ねこ | 愛猫(アイビョウ)　猫舌(ねこじた) |
| 3 | 猶 | 犭 12 | ユウ | 義ためらう。なお。やはり。さながら。 | 猶予(ユウヨ)　猶子(ユウシ) |
| 4 | 拐 | 扌 8 | カイ | 義かどわかす。かたる。たぶらかす。 | 誘拐(ユウカイ)　拐帯(カイタイ) |
| 5 | 括 | 扌 9 | カツ | 源手(扌)でくくりしめる。舌はもと昏でくびれた形。 | 包括(ホウカツ)　総括(ソウカツ) |
| 6 | 擬 | 扌 17 | ギ | 義なぞらえる。似せる。まがいもの。 | 模擬(モギ)　擬古(ギコ) |
| 7 | 拒 | 扌 8 | キョ / こば(む) | 源手(扌)でへだてる(巨)。 | 拒絶(キョゼツ)　拒否(キョヒ) |
| 8 | 挟 | 扌 9 | キョウ / はさ(む) はさ(まる) | 源手(扌)＋夾(わきにはさむ)。 | 挟撃(キョウゲキ)　挟持(キョウジ) |
| 9 | 拷 | 扌 9 | ゴウ | 義うつ。たたく。 | 拷問(ゴウモン) |
| 10 | 抄 | 扌 7 | ショウ | 源手(扌)でさっとすくうき(少)⇩抜き書き | 抄本(ショウホン)　抄録(ショウロク) |
| 11 | 据 | 扌 11 | す(える) す(わる) | 源手(扌)でおく(居)⇩すえつける | 据え置き(すえおき)　据わる(すわる) |
| 12 | 拙 | 扌 8 | セツ / つたな(い) | 源手(扌)の技がつたなくてはみ出る。↔巧 | 拙劣(セツレツ)　拙者(セッシャ) |
| 13 | 捜 | 扌 10 | ソウ / さが(す) | 義すみずみまでさがす。注探す ×中↓○申 | 捜査(ソウサ)　捜索(ソウサク) |
| 14 | 挿 | 扌 10 | ソウ / さ(す) | 義さす。さしはさむ。はさみこむ。 | 挿入(ソウニュウ)　挿絵(さしえ) |
| 15 | 挑 | 扌 9 | チョウ / いど(む) | 源手(扌)ではねあげて動かす(兆)。 | 挑発(チョウハツ)　挑戦(チョウセン) |
| 16 | 撤 | 扌 15 | テツ | 義とり除く。どかせる。 | 撤回(テッカイ)　撤廃(テッパイ) |
| 17 | 搭 | 扌 12 | トウ | 義のる。のせる。 | 搭乗(トウジョウ)　搭載(トウサイ) |
| 18 | 把 | 扌 7 | ハ | 義手でつかむ。束ねたものの単位。 | 十把(ジッパ)　把握(ハアク) |
| 19 | 披 | 扌 8 | ヒ | 源手(扌)で皮をはぎとる⇩ひらく | 披露(ヒロウ)　披見(ヒケン) |
| 20 | 扶 | 扌 7 | フ | 源手(扌)をそえ(夫)てささえる。 | 扶養(フヨウ)　扶助(フジョ) |
| 21 | 撲 | 扌 15 | ボク | 源手(扌)＋菐 音(うつときに出る音)。 | 打撲(ダボク)　撲滅(ボクメツ) |
| 22 | 抹 | 扌 8 | マツ | 義ぬぐう。こする。ぬり消す。粉にする。 | 抹消(マッショウ)　抹茶(マッチャ) |

なぞろう　書こう

## 練習

1回目　2回目　3回目

① チンパンジーはルイジンエンに分けられる。（サルの中で最もにんげんに近いもの）[類人猿]
② ネコジタなので熱い物は苦手だ。（熱いものを飲み食いできないこと）[猫舌]
③ ユウヨ期間を与えられる。（実行の期日をのばすこと）[猶予]
④ ユウカイ犯を逮捕する。（ひとをだましてさそい出すこと）[誘拐]
⑤ 全体をホウカツして述べる。（全部をひっくるめて一つにまとめること）[包括]
⑥ 授業でモギ裁判を体験する。（ほん物に似せて行うこと）[模擬]
⑦ キョゼツ反応が現れる。（ことわって受け付けないこと）[拒絶]
⑧ 敵をキョウゲキする。（はさみうちすること）
⑨ ゴウモンは憲法で禁止されている。（自白を強要するために苦痛を与えること）
⑩ 戸籍ショウホンをもらいに行く。（原ぽんの一部を書き抜いたもの）
⑪ スエオき型のパソコンを買い求める。（移動したりしないこと）
⑫ セツレツな文章で読みにくい。（技術などがおとっていること）
⑬ 警察によるソウサの手が及ぶ。（探して取り調べること）
⑭ ドラマのソウニュウ歌を覚える。（間にさしいれること）
⑮ 不用意に相手のチョウハツにはのらないこと。（事件などを起こすようにしむけること）
⑯ 前言をテッカイする。（一たん提出したものを取りさげること）
⑰ 飛行機のトウジョウ手続きをする。（飛行機などにのること）
⑱ ジッパひとからげにして論じる。（1たばねの10倍。いろいろな種るいのもの）
⑲ ヒロウ宴に出席する。（世間に広くはっ表すること）
⑳ フヨウ家族が増えたので手続きをする。（助けやしなうこと）
㉑ ダボク傷を負う。（体をぶつけたり、うちつけたりすること）
㉒ 記録をマッショウする。（塗りつぶすなどして記載事項をけすこと）

◉謙称と敬称
「拙」(本ページ12)は、「拙劣」のように「拙い」の意味を表すこともあるが、「拙者」のような謙称(謙遜を込めた表現)に用いられることもある。日本語には謙称が数多くあるので、意識して覚えていこう。↓で示した敬称(敬意を込めた表現)も一緒に覚えるとなお良い。「弊社」(↔「貴社」)、「愚息」(↔「令息」)、「小弟」(↔「大兄」)など。

## 訓読み

❶ 猿　⓮ 挿す
⓫ 据わる　❼ こばむ
⓬ 拙い　❽ はさまる
⓭ 捜す　⓯ いどむ

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの（岩石）
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの（高低）
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの（洋画）
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの（着席）
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの（非常）

次の熟語は右のア〜オのどれにあたるか、一つ選び、記号で記せ。

1 真偽（　）　2 建坪（　）　3 不浄（　）　4 偏見（　）
5 軟弱（　）　6 無駄（　）　7 殉職（　）　8 殺菌（　）

**2** 1〜3の三つの□に共通する漢字を入れて熟語を作れ。漢字は後の語群から一つ選んで記せ。

1 学□・□族・派□（　）
2 □脱・後□・□話（　）
3 補□・□電・□当（　）

逸　償　耐　充　離　閥

## 解答

❶さる ⓫す(わる) ⓬つたな(い) ❽挟まる ⓭さが(す) ⓮さ(す) ❼拒む ⓯挑む

**1** 1イ 2ウ 3オ 4エ 5ア 6オ 7エ 8エ

**2** 1閥 2逸 3充

# 第40回 準2級④

| No. | 漢字 | 部首 | 画数 | 読み | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 姻 | 女(おんなへん) | 9 | イン | 源 女＋因(音)(よる)⇩とつぐ・縁組み | 婚姻(コンイン) 姻族(インゾク) |
| 2 | 嫌 | 女(おんなへん) | 13 | ケン・ゲン きら(う) いや | 義 きらう。うたがう。㊟×気嫌→○機嫌 | 嫌悪(ケンオ) 嫌味(いやミ) |
| 3 | 娠 | 女(おんなへん) | 10 | シン | 源 女の胎内で子供が動く(辰→振)。 | 妊娠(ニンシン) |
| 4 | 嫡 | 女(おんなへん) | 14 | チャク | 源 夫がまっすぐ(啇)向き合う女⇩正妻・あとつぎ | 嫡男(チャクナン) 嫡流(チャクリュウ) |
| 5 | 妊 | 女(おんなへん) | 7 | ニン | 源 女＋壬(ふくらむ)⇩みごもる | 懐妊(カイニン) 妊婦(ニンプ) |
| 6 | 媒 | 女(おんなへん) | 12 | バイ | 義 男女の仲をとりもつ。なかだち。 | 媒介(バイカイ) 触媒(ショクバイ) |
| 7 | 妃 | 女(おんなへん) | 6 | ヒ | 源 自分(己)につれそう女⇩きさき | 王妃(オウヒ) 后妃(コウヒ) |
| 8 | 旋 | 方(ほうへん) | 11 | セン | 源 はた(㫃)をめぐらしてもどる(疋→疋)。 | 旋風(センプウ) 旋回(センカイ) |
| 9 | 暁 | 日(ひへん) | 12 | ギョウ あかつき | 義 あけがた。物事に明るい。 | 払暁(フツギョウ) 通暁(ツウギョウ) |
| 10 | 核 | 木(きへん) | 10 | カク | 源 木の実のかたいしん(亥)⇩物事の中心 | 中核(チュウカク) 結核(ケッカク) |
| 11 | 棺 | 木(きへん) | 12 | カン | 解 死体をかこむ(官→館)木の箱。ひつぎ。 | 出棺(シュッカン) 石棺(セッカン) |
| 12 | 桟 | 木(きへん) | 10 | サン | 源 うすく小さい(戋)木⇩かけはし・さん | 桟橋(サンばし) 桟道(サンドウ) |
| 13 | 枢 | 木(きへん) | 8 | スウ | 源 木＋区(とびらの回転軸)⇩大切なところ | 中枢(チュウスウ) 枢軸(スウジク) |
| 14 | 杉 | 木(きへん) | 7 | すぎ | 源 多くの針葉が集まった(彡)木⇩すぎ | 杉戸(すぎと) 糸杉(いとすぎ) |
| 15 | 析 | 木(きへん) | 8 | セキ | 源 木をおの(斤)で切り分ける⇩わける | 透析(トウセキ) 解析(カイセキ) |
| 16 | 栓 | 木(きへん) | 10 | セン | 源 木を削り穴の全体をふさぐようにしたせん。 | 開栓(カイセン) 耳栓(みみセン) |
| 17 | 槽 | 木(きへん) | 15 | ソウ | 解 いくつもある(曹)木の器。飼料おけ。容器。 | 水槽(スイソウ) |
| 18 | 棚 | 木(きへん) | 12 | たな | 源 材木を並べた(朋)たな。 | 棚田(たなだ) 戸棚(とだな) |
| 19 | 棟 | 木(きへん) | 12 | トウ むね むな | 義 むなぎ。むね。家屋の単位。かしら。 | 病棟(ビョウトウ) 棟木(むなぎ) |
| 20 | 朴 | 木(きへん) | 6 | ボク | 源 折れ(卜)たまま手を加えない木⇩すなお | 素朴(ソボク) |
| 21 | 柳 | 木(きへん) | 9 | リュウ やなぎ | 源 枝が流れるような(卯↓流)木⇩やなぎ | 柳腰(やなぎごし) 柳刃(やなぎば) |
| 22 | 枠 | 木(きへん) | 8 | わく | 義 木や竹などで作った骨組み。㊟粋 | 窓枠(まどわく) 枠内(わくナイ) |

なぞろう：姻 嫌 娠 嫡 妊 媒 妃 旋 暁 核 棺 桟 枢 杉 析 栓 槽 棚 棟 朴 柳 枠

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① **コンイン**届をだす。（結こんすること）［　］［　］［　］
② 自己**ケンオ**から抜けだす。（憎みきらうこと）［　］［　］［　］
③ 彼女は**ニンシン**している。（子供を胎内に宿すこと）［　］［　］［　］
④ 頼朝(よりとも)は源氏の**チャクナン**として育った。（本妻から生まれた、家を継ぐだん子）［　］［　］［　］
⑤ 皇后の**カイニン**の知らせを聞く。（にんしんすること）［　］［　］［　］
⑥ 虫が**バイカイ**するウイルスを研究する。（二つのものの間で何らかの関係をつけること）［　］［　］［　］
⑦ **オウヒ**にお目にかかる。（おうの妻）［　］［　］［　］
⑧ 市場に新しい**センプウ**を巻き起こす。（社会に影響を与える突発的なでき事、その反響）［　］［　］［　］
⑨ **フツギョウ**の空を見上げる。（もう少しで夜が明けきろうとするころ）［　］［　］［　］
⑩ 彼が組織の**チュウカク**をなす人物だ。（物事のちゅう心、重要な部分）［　］［　］［　］
⑪ **シュッカン**の時が来る。（葬式で、ひつぎを家から送りだすこと）［　］［　］［　］
⑫ 港の**サンバシ**から船に乗る。（船をつけて貨物の積みおろしなどをするところ）［　］［　］［　］
⑬ **チュウスウ**神経を刺激する。（物事のちゅう心で大事な働きをする部分）［　］［　］［　］
⑭ **スギド**をあける。（すぎでできた、表面がすべすべしている、と）［　］［　］［　］
⑮ 祖父は人工**トウセキ**を受けている。（血液ちゅうの老廃物を除去するための治療）［　］［　］［　］
⑯ ガスの**カイセン**をする。（閉じてあったせんをあけること）［　］［　］［　］
⑰ **スイソウ**でメダカを飼う。（みずをためておく入れ物）［　］［　］［　］
⑱ **タナダ**が眼前に広がる。（斜面を利用してたな状に作られる、すいでん）［　］［　］［　］
⑲ 小児**ビョウトウ**に入院する。（かん者の治療や入院のための建物）［　］［　］［　］
⑳ **ソボク**な人柄に好感を持つ。（飾らずありのままである様子）［　］［　］［　］
㉑ **ヤナギゴシ**の美人に見とれる。（しなやかなこしつき）［　］［　］［　］
㉒ アルミサッシの**マドワク**。（まどの周囲に取り付けたわく）［　］［　］［　］

## 訓読み

❷ 嫌う［　］
❾ 暁［　］
⓳ 棟木 高［　］
❷ いやがる［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 後の□の中の語を一度だけ使って漢字に直し、対義語と類義語を記せ。

**対義語**

1 巧妙―（　）
2 貧困―（　）
3 収賄―（　）
4 放任―（　）

**類義語**

5 残念―（　）
6 是認―（　）
7 推薦―（　）
8 我慢―（　）



◉**おんなへん(女)**

「女」という文字は、両手をしなやかに重ね、ひざまずく女性の象形から成り立っている。この「おんな」をもと(偏(へん))にして、「娘」「妃」といった様様な女の人、「妊娠」「婚姻」など女性の特徴、状態、男女関係に関する漢字ができていった。ちなみに「おんなへん」には多くの字があるが、「男」は、「たへん(田)」に入っており部首すらない。

| |
|---|
| ふゆう・いかん・にんたい せつれつ・こうてい ぞうわい・かんしょう しょうれい |

**2** 次の――線の**カタカナ**を**漢字一字と送りがな(ひらがな)**に直せ。

1 損失を**ツグナウ**。（　）
2 敵のわなに**オチイル**。（　）
3 単なる風邪と**アナドル**なかれ。（　）
4 もとの状態に**モドス**。（　）
5 昔のことを**ナツカシム**。（　）

**解答**

❷ きら(う)　❾ あかつき　⓳ むなぎ
❷ 嫌がる

**1** 1 拙劣　2 富裕　3 贈賄　4 干渉　5 遺憾　6 肯定　7 奨励　8 忍耐

**2** 1 償う　2 陥る　3 侮る　4 戻す　5 懐かしむ



5級 4級 3級 準2級①～⑮ 328字 2級 応用編

# 第41回 準2級⑤

| 番号 | 漢字 | 部首 | 画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 渦 | 氵(さんずい) | 12 | カ / うず | 源まるく(咼)うずまく水(氵)。 | 渦中(カチュウ)、渦潮(うずしお) |
| 2 | 涯 | 氵(さんずい) | 11 | ガイ | 源水(氵)ぎわのがけ(厓)⇩はて | 天涯(テンガイ)、生涯(ショウガイ) |
| 3 | 渇 | 氵(さんずい) | 11 | カツ / かわ(く) | 義水が枯れる。のどがかわく。ほしがる。 | 渇望(カツボウ)、渇水(カッスイ) |
| 4 | 渓 | 氵(さんずい) | 11 | ケイ | 源水(氵)＋奚(細い糸)⇩谷川 | 渓流(ケイリュウ)、雪渓(セッケイ) |
| 5 | 江 | 氵(さんずい) | 6 | コウ / え | 源大陸をつらぬく(工)大河(氵)。日本では入り江。 | 入り江(いりえ)、江湖(コウコ) |
| 6 | 洪 | 氵(さんずい) | 9 | コウ | 源水(氵)が一緒になる(共)⇩おおみず | 洪水(コウズイ)、洪積層(コウセキソウ) |
| 7 | 溝 | 氵(さんずい) | 13 | コウ / みぞ | 義水を流すためのみぞ。 | 側溝(ソッコウ)、排水溝(ハイスイコウ) |
| 8 | 漆 | 氵(さんずい) | 14 | シツ / うるし | 義うるしの幹に傷をつけて採った塗料。 | 漆黒(シッコク)、漆器(シッキ) |
| 9 | 汁 | 氵(さんずい) | 5 | ジュウ / しる | 源食べ物の煮じる⇩広く、液体の意 | 苦汁(クジュウ)、粉汁(こじる) |
| 10 | 渋 | 氵(さんずい) | 11 | ジュウ / しぶ / しぶ(い・る) | 義とどこおる。しぶる。 | 渋滞(ジュウタイ)、難渋(ナンジュウ) |
| 11 | 淑 | 氵(さんずい) | 11 | シュク | 源氵(清くたたえた水)＋叔(控えめ)⇩善良 | 淑女(シュクジョ)、私淑(シシュク) |



## 練習

1回目 2回目 3回目

① **カチュウ**の人にインタビューする。（事件などで大騒ぎしている様子）[　][　][　]

② **テンガイ**孤独な身の上です。（空のはて、故郷を遠く離れた地）[　][　][　]

③ 平和を**カツボウ**する。（心からのぞむこと）[　][　][　]

④ **ケイリュウ**であゆをつる。（谷川）[　][　][　]

⑤ 波の静かな**イリエ**に船が浮かぶ。（海が陸地にはいり込んだ部分）[　][　][　]

⑥ **コウズイ**で大きな被害を受ける。（大雨などで河川のみずがあふれ出ること）[　][　][　]

⑦ **ソッコウ**に落ち葉が詰まる。（みずの排出のために道などのわきに設けたみぞ）[　][　][　]

⑧ **シッコク**のやみが広がる。（うるしを塗ったようにくろく、つやがあること）[　][　][　]

⑨ **クジュウ**をなめる。（にがいしる、転じてにがい経験）[　][　][　]

⑩ 高速道路の**ジュウタイ**に巻き込まれる。（とどこおってなかなか進まないこと）[　][　][　]

⑪ 紳士(しんし)**シュクジョ**が集う。（品位のあるじょ性）[　][　][　]

## 訓読み

❶ 渦 [　]

❸ 渇く [　]

❼ 溝 [　]

❽ 漆 [　]

❾ 汁 [　]

⓮ 津 [　]

⓳ 洞穴 [　]

❿ しぶる [　]

㉑ わかす [　]

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 後の□内のひらがなを一度ずつ**漢字**に直して□に入れ、**四字熟語**を完成せよ。

1 森□万象（　）
2 □頭徹尾（　）
3 勧善□悪（　）
4 隠□自重（　）
5 竜頭□尾（　）





| 番号 | 漢字 | 部首 | 画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 渉 | 氵(さんずい) | 11 | ショウ | 源水(氵)の中を歩いてわたる。 | 交渉(コウショウ)、渉外(ショウガイ) |
| 13 | 浄 | 氵(さんずい) | 9 | ジョウ | 義けがれのない、きよらか。きよめる。 | 不浄(フジョウ)、浄化(ジョウカ) |
| 14 | 津 | 氵(さんずい) | 9 | シン / つ | 解水(氵)を進む(聿→進)船の発着所。みなと。 | 津津(シンシン)、津波(つなみ) |
| 15 | 漸 | 氵(さんずい) | 14 | ゼン | 源水(氵)を切り(斬)徐徐に進む。 | 漸次(ゼンジ)、漸進(ゼンシン) |
| 16 | 濯 | 氵(さんずい) | 17 | タク | 源もとは濯。水中(氵)から布を引き上げ(翟)洗う。 | 洗濯(センタク)、濯足(タクソク) |
| 17 | 漬 | 氵(さんずい) | 14 | つ(ける) / つ(かる) | 源水中(氵)に物を積み重ねる(責)。 | 漬物(つけもの)、塩漬け(しおづけ) |
| 18 | 泥 | 氵(さんずい) | 8 | デイ / どろ | 源どろどろにねばった(尼)水(氵)⇩どろ | 泥水(どろみず)、泥酔(デイスイ) |
| 19 | 洞 | 氵(さんずい) | 9 | ドウ / ほら | 義ほらあな。つらぬく。 | 洞察(ドウサツ)、洞穴(ほらあな)* |
| 20 | 漠 | 氵(さんずい) | 13 | バク | 源水(氵)がない(莫)⇩砂漠・果てしない | 漠然(バクゼン)、砂漠(サバク) |
| 21 | 沸 | 氵(さんずい) | 8 | フツ / わ(く) / わ(かす) | 義液体が煮え立つ。興奮する。㊟湧 | 沸点(フッテン)、沸騰(フットウ) |
| 22 | 浦 | 氵(さんずい) | 10 | うら | 解みず(氵)が広がる(甫)ところ。いりえ。 | 浦風(うらかぜ)、浦浦(うらうら) |

*洞穴…「ドウケツ」とも読む。



⑫ **コウショウ**は決裂した。（相手と取り決めるために話し合うこと）[　][　][　]

⑬ **フジョウ**な心を清める。（汚れていること）[　][　][　]

⑭ 興味**シンシン**の表情を浮かべる。（たえずわき出る様子）[　][　][　]

⑮ 病気は**ゼンジ**快方に向かっている。（しだいに、だんだん）[　][　][　]

⑯ 今日は**センタク**日和だ。（衣服などをあらうこと）[　][　][　]

⑰ おいしい**ツケモノ**をいただく。（主に野菜をしおなどでつけた食品）[　][　][　]

⑱ **ドロミズ**が服にかかる。（どろの混じったみず）[　][　][　]

⑲ 彼の**ドウサツ**力は鋭い。（良く見通すこと）[　][　][　]

⑳ **バクゼン**とした考えを持っている。（ぼんやりしてはっきりしないさま）[　][　][　]

㉑ みずの**フッテン**は摂氏百度である。（ふっとうする温度）[　][　][　]

㉒ **ウラカゼ**が潮の香りを運ぶ。（海岸を吹くかぜ）[　][　][　]

### ◉「莫」という漢字

「漠」（本ページ20）のつくりである「莫」は、「ない」という意味の一字の漢字としても用いられる。常用漢字には含まれないが、「莫(な)し」という読みで漢文学習では頻出(ひんしゅつ)の漢字である。ちなみに、「莫大小」は「大小がない」ということから、「メリヤス」（靴下(くつした)の生地などのように伸縮性のある布）と読む。

6 内柔外□（　）
7 暗中模□（　）
8 呉越同□（　）
9 安□秩序（　）
10 汗牛□棟（　）
11 快刀乱□（　）
12 東□西走（　）
13 □話休題（　）
14 気宇□大（　）
15 不□不党（　）

ごう・にん・しゅう・そう・ちょう・さく・へん・ほん・ら・ねい・だ・かん・てっ・ま・じゅう

## 解答

❶うず ❸かわ(く) ❼みぞ ❽うるし ❾しる ⓮つ ⓳ほらあな ❿渋る ㉑沸かす

**1** 1 羅 2 徹 3 懲 4 忍 5 蛇 6 剛 7 索 8 舟 9 寧 10 充 11 麻 12 奔 13 閑 14 壮 15 偏

# 第42回 準2級⑥

なぞろう　書こう

| 番号 | 漢字 | 部首名・部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味 | 熟語 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 泡 | さんずい 氵 8 | ホウ あわ | 丶 冫 氵 氵 氵 沟 沟 泡 | 源 丸く包んだ形のみず(氵)⇩あわ・うたかた | 水泡(スイホウ) 発泡(ハッポウ) |
| 2 | 涼 | さんずい 氵 11 | リョウ すず(しい) すず(む) | 丶 冫 氵 氵 汁 泞 泞 涼 涼 | 源 良い(京←良)みず(氵)⇩すずしい | 清涼(セイリョウ) 納涼(ノウリョウ) |
| 3 | 朕 | つきへん 月 10 | チン | 丿 刀 月 月 肸 肸 朕 | 義 天子の自称。われ。 | 朕(チン) |
| 4 | 肢 | にくづき 月 8 | シ | 丿 刀 月 月 肝 肢 肢 | 源 体(月)から分かれたもの(支)⇩手足 | 義肢(ギシ) 肢体(シタイ) |
| 5 | 肌 | にくづき 月 6 | はだ | 丿 刀 月 月 肌 肌 | 源 体(月)を包むもの(几)。 | 地肌(じはだ) 肌着(はだぎ) |
| 6 | 殉 | かばねへん 歹 10 | ジュン | 一 ア 歹 歹 歹 殉 殉 殉 | 義 命を投げ出す。死者のあとを追う。 | 殉職(ジュンショク) 殉死(ジュンシ) |
| 7 | 禍 | しめすへん 礻 13 | カ | 礻 礻 礻 礻 礻 礻 禍 禍 禍 | 源 神(礻)のとがめ(咼)⇩わざわい ↔福 | 災禍(サイカ) 禍福(カフク) |
| 8 | 祥 | しめすへん 礻 10 | ショウ | 丶 ラ 礻 礻 礻 礻 祥 祥 | 義 神の力によるさいわい。きざし。 | 発祥(ハッショウ) 祥雲(ショウウン) |
| 9 | 禅 | しめすへん 礻 13 | ゼン | 礻 礻 礻 礻 礻 禅 禅 禅 | 義 禅宗・座禅のこと。位を譲る意も。 | 座禅(ザゼン) 禅寺(ゼンでら) |
| 10 | 睡 | めへん 目 13 | スイ | 目 目 目 目 目 睡 睡 睡 | 源 まぶた(目)を垂れて眠る。 | 睡魔(スイマ) 熟睡(ジュクスイ) |
| 11 | 眺 | めへん 目 11 | チョウ なが(める) | 丨 冂 目 目 目 眺 眺 眺 | 解 目を開いて遠くを見る(兆)。ながめる。 | 眺望(チョウボウ) 眺臨(チョウリン) |
| 12 | 矯 | やへん 矢 17 | キョウ た(める) | 矢 矢 矢 矢 矯 矯 | 源 矢をまっすぐにする(喬)⇩ただす・激しい | 矯正(キョウセイ) 奇矯(キキョウ) |
| 13 | 砕 | いしへん 石 9 | サイ くだ(く) くだ(ける) | 一 ア 石 石 石 砕 砕 | 源 石が形を失いこわれる(卆←卒)。 | 粉砕(フンサイ) 砕氷(サイヒョウ) |
| 14 | 硝 | いしへん 石 12 | ショウ | 一 ア 石 石 石 硝 硝 | 義 鉱物。無色ガラス状の結晶体。 | 硝煙(ショウエン) 硝石(ショウセキ) |
| 15 | 礁 | いしへん 石 17 | ショウ | 石 石 石 石 石 礁 礁 | 源 水面に見えかくれする黒い(焦)岩。 | 暗礁(アンショウ) 座礁(ザショウ) |
| 16 | 硫 | いしへん 石 12 | リュウ | ア 石 石 石 石 硫 硫 | 源 石の間から流(㐬)れ出る鉱物⇩いおう | 硫酸(リュウサン) 硫安(リュウアン) |
| 17 | 稼 | のぎへん 禾 15 | カ かせ(ぐ) | 二 千 禾 禾 禾 稼 稼 | 源 稲(禾)を移し植える(家)仕事。 | 稼働*(カドウ) 稼業(カギョウ) |
| 18 | 租 | のぎへん 禾 10 | ソ | 一 二 千 禾 禾 租 租 | 義 収穫にかかる年ぐ。税金。かりる。 | 租税(ソゼイ) 租界(ソカイ) |
| 19 | 秩 | のぎへん 禾 10 | チツ | 二 千 禾 禾 秩 秩 | 源 稲(禾)を順序よく積む(失↓秩)。秩父(ちちぶ)㊟ | 秩序(チツジョ) 秩米(チツマイ) |
| 20 | 褐 | ころもへん 衤 13 | カツ | 衤 衤 衤 衤 褐 褐 | 解 くず(曷↓葛)で織った布(衤)。黒みがかった茶色。 | 褐色(カッショク) 褐炭(カッタン) |
| 21 | 襟 | ころもへん 衤 18 | キン えり | 衤 衤 衤 衤 襟 襟 | 源 衣(衤)の前をとじ合わせる(禁)ところ。 | 襟足(えりあし) 開襟(カイキン) |
| 22 | 裕 | ころもへん 衤 12 | ユウ | 衤 衤 衤 衤 裕 裕 | 源 衣(衤)がゆったり(谷)する⇩ゆたか | 裕福(ユウフク) 富裕(フユウ) |

＊稼働…「稼動」とも書く。

## 練習

① 苦心が**スイホウ**に帰す。（みずのあわ）
② ペットと過ごす時間が一服の**セイリョウ**剤になる。（心をさわやかにしてくれる物事）
③ **チン**は国家なりとは、絶対王政を象徴する言葉。（天子の自称）
④ 人工の手あしを**ギシ**という。（ぎ手・ぎそくの総称）
⑤ 乱伐で山の**ジハダ**が現れる。（だいちの表面）
⑥ 警察官が**ジュンショク**した。（しょく務中に死ぬこと）
⑦ **カフク**はあざなえる縄のごとし。（災いと幸ふく）
⑧ インダス文明の**ハッショウ**について学ぶ。（物事がそこから起こること）
⑨ 精神統一のため**ザゼン**を組む。（あしを組んですわり、修行すること）
⑩ **スイマ**に襲われる。（非常に強い眠気）
⑪ 山頂からの**チョウボウ**がすばらしい。（ながめ）
⑫ 歯の**キョウセイ**器具を外す。（欠点や誤りをただし、なおすこと）
⑬ 岩石を**フンサイ**する。（こなごなにくだくこと）
⑭ **ショウエン**がたちこめる。（火薬のけむり）
⑮ 船が**アンショウ**に乗り上げる。（すい面下の、航行の妨げとなる岩）
⑯ **リュウサン**銅の結晶は青い。（い黄・さん素・すい素が化合した、さん性の液）
⑰ 工場の機械を**カドウ**させる。（機械をうごかすこと）
⑱ 不況で**ソゼイ**収入が落ち込む。（法律に基づき、国が国民から強制的に取る金銭）
⑲ **チツジョ**ただしく行進する。（ただしい状態を保つための一定のきまり）
⑳ 庭の木に茶**カッショク**の実がなる。（黒っぽいちゃいろ）
㉑ ブラシで**エリアシ**を整える。（耳の後ろからうなじまでの、髪の生え際）
㉒ **ユウフク**な生活を夢見る。（金銭的に恵まれていること）

## 訓読み

❶ 泡
⓫ 眺める
⓬ 矯める 高
❷ すずしい
⓭ くだく
⓱ 稼ぐ

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の各文にまちがって使われている**同じ読みの漢字**が**一字**ある。**上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。**

1 清廉潔白という印象だった彼に、汚職の謙疑がかけられた。（　）→（　）
2 インターネットを利用して全国の市町村情報を検錯する。（　）→（　）
3 不正行為を犯した者に対しては、厳しい徴罰を科すべきだ。（　）→（　）
4 民主主義政権の誕生に伴い、従来の編向教育が改められた。（　）→（　）
5 排水構に落ちたボールを拾った結果、靴が泥で汚れた。（　）→（　）
6 彼らは互いに身を乗り出し、延延と文句の応醜を繰り広げた。（　）→（　）
7 この自動車には業界最高水準の安全装置が多数塔載されている。（　）→（　）
8 貨弊経済の発達によって、物物交換での取引はほとんど見られなくなった。（　）→（　）

**◉なにかのために命を捧げる「殉」**

ドラマで刑事が犯人に撃たれて亡くなるシーンを観たことはないだろうか。職務中に死ぬことを「殉職」と言う。「殉教」は宗教弾圧に抵抗して信仰のために命を投げうつこと。亡くなった主君を追って臣下が自死するのは「殉死」。明治天皇の崩御に伴う乃木希典大将の殉死事件は世間を騒がせ、夏目漱石『こころ』にも描かれた。

## 解答

❶あわ ⓫なが(める) ⓬た(める) ⓱かせ(ぐ) ❷涼しい ⓭砕く

**1** 1 謙→嫌　2 錯→索　3 徴→懲　4 編→偏　5 構→溝　6 醜→酬　7 塔→搭　8 弊→幣

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 煩 | 珠 | 糾 | 緒 | 紳 | 繊 | 紡 | 粧 | 耗 | 艦 | 艇 |
| 部首・画数 | 火 ひへん 13 | 王 おうへん 10 | 糸 いとへん 9 | 糸 いとへん 14 | 糸 いとへん 11 | 糸 いとへん 17 | 糸 いとへん 10 | 米 こめへん 12 | 耒 すきへん 10 | 舟 ふねへん 21 | 舟 ふねへん 13 |
| 読み | ハン・ボン わずら(う) わずら(わす) | シュ | キュウ | ショ チョ お | シン | セン | ボウ つむ(ぐ) | ショウ | モウ コウ | カン | テイ |
| 筆順 | 丶 火 炉 炘 煩 煩 | 一 王 珠 珠 | 糸 糾 糾 | 糸 紶 緒 緒 | 糸 紳 紳 | 糸 繊 繊 | 糸 紡 紡 | 米 粧 粧 | 耒 耗 耗 | 舟 艦 艦 | 舟 艇 艇 |
| 意味 | 源 頭(頁)に熱(火)があり頭痛がする。 | 義 真珠。たま。美しいもののたとえ。 | 義 ただす。もつれる。 | 源 まゆを煮(者→煮)て糸を引き出す⇩はじめ | 義 身分。教養。人格の備わった人。 | 義 ほそい。こまかい。ほそい毛状のもの。 | 義 糸をより合わせる。つむぐ。 | 源 おしろい(米)をつけてかたちを作る(庄㊟→装)。 | 源 小粒(毛)の米(耒)⇩へる | 源 攻撃を防ぐよう囲った(監)舟。 | 解 細長く小さな(廷)舟。ボート。 |
| 熟語 | 煩雑(ハンザツ) 煩悩(ボンノウ) | 真珠(シンジュ) 珠算(シュザン) | 紛糾(フンキュウ) 糾弾(キュウダン) | *情緒(ジョウチョ) 鼻緒(はなお) | 紳士(シンシ) 紳商(シンショウ) | 繊維(センイ) 繊弱(センジャク) | 紡績(ボウセキ) 混紡(コンボウ) | 化粧(ケショウ) 美粧(ビショウ) | *消耗(ショウモウ) 耗弱(コウジャク) | 艦船(カンセン) 戦艦(センカン) | 競艇(キョウテイ) 短艇(タンテイ) |

*情緒…「ジョウショ」とも読む。*消耗…「ショウコウ」とも読む。

なぞろう　煩 珠 糾 緒 紳 繊 紡 粧 耗 艦 艇

書こう

## 練習

1回目　2回目　3回目

① 手続きが**ハンザツ**だ。（わずらわしく、複ざつなこと）
② 母から**シンジュ**の指輪を譲り受けた。（アコヤガイが作る、白く美しい玉）
③ 事態が**フンキュウ**する。（事態がもつれてすんなりと展開しないこと）
④ **ジョウチョ**豊かな町並みを歩く。（そのものに接したときに感じる特有のおもむき）
⑤ **シンシ**的な態度を心がける。（立派で上品な男性）
⑥ **センイ**製品の販売が主です。（織物・紙の材料になる細かい糸状のもの）
⑦ **ボウセキ**工場で働く。（糸をつむぐこと）
⑧ 雪**ゲショウ**した庭で遊ぶ。（装いを美しく飾ること）
⑨ **ショウモウ**品を買い足す。（使った結果、減ったりなくなったりすること）
⑩ 港に**カンセン**が停泊している。（軍かんと一般のふねをあわせた総称）
⑪ **キョウテイ**はボートレースに名を変えた。（モーターボートレース、それによる公営とばく）

## 訓読み

❶ 煩う　❹ 緒　⓮ 謹む　⓲ 詔 高
⓳ 診る　❶ わずらわす　❼ つむぐ 高　㉑ さとす

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナを漢字に直せ。

1 細かいことには**コウデイ**しない。（　）
2 **コウナン**両様の構えで臨む。（　）
3 映画館に**チョウダ**の列ができる。（　）
4 実験に**ショクバイ**を使う。（　）
5 日本語の**オンイン**を研究する。（　）
6 空気**セイジョウ**機のフィルターを洗う。（　）
7 ご多忙中、**ハナハ**だ恐縮の限りです。（　）
8 **ウルシ**塗りの器を飾る。（　）
9 **ツリボリ**で糸を垂れる人人。（　）
10 畳二枚分が一**ツボ**の広さだ。（　）
11 漢詩を**ギン**ずるのが趣味だ。（　）
12 定年に際して金時計を**タマワ**りました。（　）



5級　4級　3級　準2級①～⑮ 328字　2級　応用編

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 舶 | 謁 | 謹 | 謙 | 詐 | 訟 | 詔 | 診 | 譜 | 諭 |
| 部首・画数 | 舟 ふねへん 11 | 言 ごんべん 15 | 言 ごんべん 17 | 言 ごんべん 17 | 言 ごんべん 12 | 言 ごんべん 11 | 言 ごんべん 12 | 言 ごんべん 12 | 言 ごんべん 19 | 言 ごんべん 16 |
| 読み | ハク | エツ | キン つつし(む) | ケン | サ | ショウ | ショウ みことのり | シン み(る) | フ | ユ さと(す) |
| 筆順 | ノ 舟 舶 舶 | 言 謁 謁 | 言 謹 謹 | 言 謙 謙 | 言 許 詐 | 言 訟 訟 | 言 詔 詔 | 言 診 診 | 言 譜 譜 | 言 諭 諭 |
| 意味 | 義 海を渡る大きな舟。 | 義 身分の高い人に会う。まみえる。 | 源 言葉がわずか(菫→僅)なこと。 | 解 正しく整っ(兼→廉)た言葉。へりくだる。 | 源 作りごと(乍)を言う。 | 義 原告と被告が公の場であらそう意。 | 解 まねい(召)て告げる言葉。天皇の言葉。 | 義 病状を調べる。㊟見 | 義 順序に従って書き並べたもの。 | 源 ことば(言)で心をうつす(俞→輸)。 |
| 熟語 | 船舶(センパク) 舶来(ハクライ) | 拝謁(ハイエツ) 謁見(エッケン) | 謹賀(キンガ) 謹製(キンセイ) | 謙虚(ケンキョ) 謙譲(ケンジョウ) | 詐欺(サギ) 詐取(サシュ) | 訴訟(ソショウ) 争訟(ソウショウ) | 詔書(ショウショ) 詔勅(ショウチョク) | 診断(シンダン) 往診(オウシン) | 楽譜(ガクフ) 年譜(ネンプ) | 説諭(セツユ) 教諭(キョウユ) |

なぞろう　舶 謁 謹 謙 詐 訟 詔 診 譜 諭

⑫ この店は**ハクライ**品を扱っている。（外国からふねで運んできたこと・物）
⑬ 貴人への**ハイエツ**を許される。（天皇や皇族などに会うこと）
⑭ 「**キンガ**新年」は年頭のあいさつに用いる語だ。（つつしんで祝うこと）
⑮ 何事も**ケンキョ**に受け止める。（自己主張を控えた様子）
⑯ **サギ**の常習犯が捕まった。（他人をだまして金などをとること）
⑰ **ソショウ**を起こす。（うったえ出ること）
⑱ 天皇による**ショウショ**が下される。（みことのりを記したぶんしょ）
⑲ 健康**シンダン**を受ける。（医者が病気の種類や状態を判だんすること）
⑳ 合唱曲の**ガクフ**が配布される。（がっ曲を一定の記号でかき表したもの）
㉑ 厳しく**セツユ**する。（悪事を改めるよう言い聞かせること）

◉「匁(もんめ)」という単位

平成22年11月に常用漢字から削除された「匁」は尺貫法での重さの単位で、一匁は三・七五g。日本の計量法では、尺貫法の単位はほぼ廃止されているが、「匁」は真珠の重さの単位として国際的に認められているため、真珠の重さに限り、日本国内でも現役で使用されている。

## 解答

❶ わずら(う)　❹ お　⓮ つつし(む)
⓲ みことのり　⓳ み(る)　❶ 煩わす
❼ 紡ぐ　㉑ 諭す

**1**
1 拘泥　2 硬軟　3 長蛇
4 触媒　5 音韻　6 清浄
7 甚　8 漆　9 釣堀
10 坪　11 吟　12 賜

# 第44回 準2級⑧

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 蚊 | むしへん 虫 10 | か | 源ブン(文)と羽音をたてる虫⇩か | 蚊(か)柱(ばしら)、蚊(か)取(と)り |
| 2 | 蛇 | むしへん 虫 11 | ジャ、ダ、へび | 解它は頭の大きいへび(虫)。虫は小動物全般の意。 | 蛇(ダ)足(ソク)、蛇(ジャ)口(ぐち) |
| 3 | 購 | かいへん 貝 17 | コウ | 義金銭に相応する物品を買い取る。 | 購(コウ)買(バイ)、購(コウ)入(ニュウ) |
| 4 | 賜 | かいへん 貝 15 | シ、たまわ(る) | 義目上の人が目下の人に金品を与える。 | 賜(シ)杯(ハイ)、恩(オン)賜(シ) |
| 5 | 賠 | かいへん 貝 15 | バイ | 義つぐなう。 | 賠(バイ)償(ショウ) |
| 6 | 賄 | かいへん 貝 13 | ワイ、まかな(う) | 義財貨を人に与える。役立てる。食事を用意する。 | 収(シュウ)賄(ワイ)、贈(ゾウ)賄(ワイ)、賄(ワイ)賂(ロ) |
| 7 | 践 | あしへん 足 13 | セン | 義ふみ行う。実際に行う。 | 実(ジッ)践(セン)、践(セン)行(コウ) |
| 8 | 酷 | とりへん 酉 14 | コク | 源舌をしめつける(告)ような強い酒(酉)⇩むごい | 酷(コク)似(ジ)、酷(コク)暑(ショ) |
| 9 | 酢 | とりへん 酉 12 | サク、す | 源日が重なり(乍↓組)酒(酉)が酸化する⇩す | 酢(サク)酸(サン)、酬(シュウ)酢(サク) |
| 10 | 酌 | とりへん 酉 10 | シャク、く(む) | 源酉(酒)+勺(ひしゃく)⇩酒をくむ | 酌(シャク)量(リョウ)、晩(バン)酌(シャク) |
| 11 | 酬 | とりへん 酉 13 | シュウ | 源酒(酉)を互いにつらねる(州)⇩返礼する・むくいる | 報(ホウ)酬(シュウ)、応(オウ)酬(シュウ) |

なぞろう　書こう

## 練習

①夏の夕方、**カバシラ**が立つ。（多くのかが群がる様子をはしらに見立てたもの）
②全くの**ダソク**ですが…。（余分なもののたとえ）
③**コウバイ**意欲をかきたてる商品。（かうこと）
④優勝した力士が**シハイ**を受け取る。（ほうびとして受け取る器）
⑤損害の**バイショウ**をする。（相手に与えた損害をつぐなうこと）
⑥**シュウワイ**の事実が発覚する。（わいろを受け取ること）
⑦すすんで**ジッセン**する。（主張や考えを自分で行動に移すこと）
⑧二人の容姿は**コクジ**している。（違いが分からないほどよくにていること）
⑨**サクサン**は医薬品の原料にも使われる。（木材などが原料の無色で強いにおいのある液体）
⑩情状**シャクリョウ**の余地がある。（事情をくみとって手加減すること）
⑪仕事の**ホウシュウ**を受け取る。（勤労や物の使用に対して支払われる金銭や品物）

## 訓読み

❷蛇　❹賜る　❾酢　❿酌む 高　⓰釣る
⓳鈴　⓴飢える　❻まかなう　⓬みにくい　⓭かもす 高

**漢字検定 練習問題にチャレンジ**

**1** 次の――線の漢字の読みをひらがなで記せ。

1 粉骨砕身の努力をする。（　）
2 酒を一献差し上げたい。（　）
3 皇帝が権力の禅譲を決意する。（　）
4 試験に頻出する問題を分析する。（　）





| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 醜 | とりへん 酉 17 | シュウ、みにく(い) | 義みにくい。悪い。にくむ。↕美 | 醜(シュウ)悪(アク)、醜(シュウ)態(タイ) |
| 13 | 醸 | とりへん 酉 20 | ジョウ、かも(す) | 義酒が発酵する。ふん囲気をつくる。 | 醸(ジョウ)造(ゾウ)、醸(ジョウ)成(セイ) |
| 14 | 酪 | とりへん 酉 13 | ラク | 義牛や羊の乳から作った食品。 | 酪(ラク)農(ノウ)、乾(カン)酪(ラク) |
| 15 | 銃 | かねへん 金 14 | ジュウ | 源金属をつめこむ(充)⇩てっぽう　注銃 | 銃(ジュウ)弾(ダン)、小(ショウ)銃(ジュウ) |
| 16 | 釣 | かねへん 金 11 | チョウ、つ(る) | 源金ばりですくいあげる(勺)⇩つる | 釣(チョウ)果(カ)、釣(つ)り銭(セン) |
| 17 | 鉢 | かねへん 金 13 | ハチ、ハツ | 解もとは僧の食器。深くて大きい皿。 | 鉢(ハチ)植(う)え、金(キン)魚(ギョ)鉢(バチ) |
| 18 | 銘 | かねへん 金 14 | メイ | 源金属に名を刻み記す⇩心に刻む | 感(カン)銘(メイ)、銘(メイ)柄(がら) |
| 19 | 鈴 | かねへん 金 13 | レイ、リン、すず | 源金+令(音)。令はリンリンと鳴るすずの音。 | 予(ヨ)鈴(レイ)、風(フウ)鈴(リン) |
| 20 | 飢 | しょくへん 食 10 | キ、う(える) | 源食物がとぼしい(几)⇩うえる | 飢(キ)餓(ガ)、飢(キ)渇(カツ) |
| 21 | 靴 | かわへん 革 13 | カ、くつ | 義革で作ったはきもの。くつ。 | 製(セイ)靴(カ)、靴(くつ)下(した) |
| 22 | 駄 | うまへん 馬 14 | ダ | 源荷物を運ぶ大きい(太)馬。 | 駄(ダ)作(サク)、無(ム)駄(ダ) |

なぞろう　書こう

⑫人間性の**シュウアク**な一面を描いた演劇を見る。（卑劣でいやらしいこと、みにくいこと）
⑬日本酒は米を発酵させた**ジョウゾウ**酒だ。（発酵作用を利用して酒などを作ること）
⑭夫婦で**ラクノウ**を営む。（牛などを飼って乳や乳製品を作る仕事）
⑮**ジュウダン**に倒れた革命家。（ピストルなどのたま）
⑯今日の**チョウカ**はフグ二匹だった。（つりのけっか）
⑰**ハチウ**えのカーネーションを飾る。（うえ木ばちにうえること）
⑱苦労話に**カンメイ**を受ける。（忘れられないほどに深いかん動）
⑲**ヨレイ**の前に登校する。（本れいの少し前に鳴る合図のベル）
⑳**キカツ**にあえぐ。（うえとかわき）
㉑くつをつくる**セイカ**業を経営する。（くつをつくること）
㉒**ダサク**と言われた理由を探る。（できの悪いさく品）

●**かいへん(貝)**
「かいへん」は子安貝(こやすがい)の殻(から)の形をかたどった象形文字。古代中国において、子安貝は財産の象徴とされていた。そのため、「かいへん」の漢字は貝本来に関する意味より、この回の「購」「賜」「賄」などのように、財産や貨幣(かへい)に関する意味を表すことの方が多くなっている。

5 人を軽侮するような態度は慎む。（　）
6 秋宵の名月を楽しむ。（　）
7 偽札が発見された。（　）
8 校庭に記念碑を据える。（　）
9 長年培った技術を生かす。（　）
10 見解が偏りすぎないよう注意する。（　）
11 ガスのような臭いがする。（　）
12 新居に神棚を設ける。（　）

**解答**
❷へび ❹たまわ(る) ❾す ❿く(む) ⓰つ(る) ⓳すず ⓴う(える) ❻賄う ⓬醜い ⓭醸す
**1** 1さいしん 2いっこん 3ぜんじょう 4ひんしゅつ 5けいぶ 6しゅうしょう 7にせさつ 8す 9つちか 10かたよ 11にお 12かみだな

5級 4級 3級 準2級①～⑮ 328字 2級 応用編

# 第45回 準2級⑨

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 轄 | 車 くるまへん 17 | カツ | 源車輪が外れるのをふせぐ(害)くさび⇩とりしまる | 管轄(カンカツ) 直轄(チョッカツ) |
| 2 | 軟 | 車 くるまへん 11 | ナン やわ(らか) やわ(らかい) | 源もとは輭(ぜん)。車の振動をやわらげる(耎)意。 | 柔軟(ジュウナン) 軟弱(ナンジャク) |
| 3 | 剛 | 刂 りっとう 10 | ゴウ | 源刀(刂)の材料にするかたい(岡→鋼)鉄 ↕柔 | 剛健(ゴウケン) 金剛(コンゴウ) |
| 4 | 剰 | 刂 りっとう 11 | ジョウ | 源刀(刂)で切りとってもまだ余りがある(乗)意。 | 過剰(カジョウ) 剰余(ジョウヨ) |
| 5 | 剖 | 刂 りっとう 10 | ボウ | 源刀(刂)で二つに切り分ける(咅)。 | 解剖(カイボウ) |
| 6 | 劾 | 力 ちから 8 | ガイ | 義しらべる。罪をあばく。 | 弾劾(ダンガイ) 劾奏(ガイソウ) |
| 7 | 勅 | 力 ちから 9 | チョク | 義みことのり。天子のことば。 | 勅命(チョクメイ) 勅使(チョクシ) |
| 8 | 彰 | 彡 さんづくり 14 | ショウ | 解あや模様が原義。明らか。あらわれる。 | 表彰(ヒョウショウ) 顕彰(ケンショウ) |
| 9 | 邸 | 阝 おおざと 8 | テイ | 源諸侯の宿所⇩やしき・とどめる | 豪邸(ゴウテイ) 官邸(カンテイ) |
| 10 | 款 | 欠 あくび 12 | カン | 義法令や証書の条目。しるす。文字。 | 借款(シャッカン) 落款(ラッカン) |
| 11 | 殻 | 殳 るまた 11 | カク から | 義外皮。ぬけがら。㊟殼 | 地殻(チカク) 貝殻(かいがら) |

なぞろう 書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① 高校は文部科学省が**カンカツ**している。（権限によって下部の組織を支配すること）
② **ジュウナン**体操で体を慣らす。（やわらかな様子）
③ 質実**ゴウケン**を校風とする。（心身ともにたくましく、くじけない様子）
④ 彼女は自意識**カジョウ**だ。（必要な程度を超えている様子）
⑤ **カイボウ**模型で人体の構造を学ぶ。（生物の身体を切り開いて調べること）
⑥ 国会内に**ダンガイ**裁判所が設けられる。（公職者の不正を暴き、責任を追及すること）
⑦ 天皇の**チョクメイ**で歌集をつくる。（天皇が下すめい令）
⑧ 入賞者を**ヒョウショウ**する。（よい行いを皆の前でほめて知らせること）
⑨ **ゴウテイ**が立ち並ぶ。（立派な屋敷）
⑩ アジア諸国への円**シャッカン**を続ける。（国と国との間の貸しかり）
⑪ この山は**チカク**変動によってできた。（ち球の最外層）

## 訓読み

❷ 軟らか
⓫ 殻
⓲ 扉
㉑ 筒
⓳ もどす



| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 頑 | 頁 おおがい 13 | ガン | 義かたくな。強い。 | 頑固(ガンコ) 頑強(ガンキョウ) |
| 13 | 顕 | 頁 おおがい 18 | ケン | 義明らか。あらわれる。よく見える。↕隠 | 顕在(ケンザイ) 顕示(ケンジ) |
| 14 | 頒 | 頁 おおがい 13 | ハン | 義広くわけ与える。㊟領 | 頒布(ハンプ) 頒価(ハンカ) |
| 15 | 頻 | 頁 おおがい 17 | ヒン | 義しきりに。たびたび。 | 頻発(ヒンパツ) 頻度(ヒンド) |
| 16 | 享 | 亠 なべぶた 8 | キョウ | 源祖先を祭った場所の形⇩うける | 享受(キョウジュ) 享年(キョウネン) |
| 17 | 亭 | 亠 なべぶた 9 | テイ | 義人びとのとどまりいこう建物。 | 亭主(テイシュ) 料亭(リョウテイ) |
| 18 | 扉 | 戸 とだれ 12 | ヒ とびら | 源左右に分かれる(非)戸⇩開き戸 | 門扉(モンピ) 扉絵(とびらエ) |
| 19 | 戻 | 戸 とだれ 7 | レイ もど(す) もど(る) | 源戸の下を犬(大)が身をよじりぬける。 | 返戻(ヘンレイ) 後戻り(あともどり) |
| 20 | 爵 | 爫 つめかんむり 17 | シャク | 源きゅうていでの祭礼用の杯の形⇩貴族の位 | 爵位(シャクイ) 伯爵(ハクシャク) |
| 21 | 筒 | ⺮ たけかんむり 12 | トウ つつ | 源節を除いて貫通させた(同)竹づつ。 | 封筒(フウトウ) 水筒(スイトウ) |

⑫ 父親は**ガンコ**に反対した。（反対にも負けず自分の考えを貫く様子）
⑬ 円高不況が**ケンザイ**化する。（形にあらわれて存ざいすること）
⑭ 記念品を**ハンプ**する。（多くの人に分けること）
⑮ 民族紛争が**ヒンパツ**している。（事件・事故などがたびたび起こること）
⑯ 芸術を**キョウジュ**する。（よさを味わったり、うけ入れたりすること）
⑰ あの人は近所の居酒屋の**テイシュ**だ。（家や店のあるじ）
⑱ **モンピ**を閉ざす。（もんのとびら）
⑲ 保険の満期**ヘンレイ**金をうけ取る。（かえすこと）
⑳ 国王から**シャクイ**をいただく。（貴族の階級）
㉑ **フウトウ**で手紙を出す。（手紙や文書を入れる紙の袋）

### ◉「享」と「宴」

「享」(本ページ16)と「宴」(P70の3)は、ともに料理をささげることを意味する漢字。一般的には、神や祖先に対して供物をささげる場合は「享」、大切な客人を酒食でもてなす場合には「宴」、と使い分けられている。「享」にも酒やごちそうで客をもてなす意味もあるが、その場合は同じ音の「饗(キョウ)」(もてなす意)の代用であることが多い。

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の漢字の部首を記せ。

1 泰（　） 2 充（　） 3 覇（　） 4 曹（　） 5 窯（　）
6 甚（　） 7 弔（　） 8 斉（　） 9 喪（　） 10 粛（　）

**2** 次の――線の**カタカナ**にあてはまる**漢字**を後の（　）の中からそれぞれ**一つ**選んで記せ。

1 写真の顔に酷ジした人物。
2 国ジとは国を象徴する印。
3 市長選挙が告ジされた。
（似　辞　示　慈　璽）
1（　）2（　）3（　）

4 湖畔で旅シュウに浸る。
5 虜シュウの辱めをうける。
6 結婚式用のごシュウ儀袋。
（宗　祝　愁　囚　執）
4（　）5（　）6（　）

7 年末はアワただしい。
8 別案もアワせて検討する。
9 同病相アワれむ。
（併　慌　泡　哀　淡）
7（　）8（　）9（　）

**解答**

❷やわ(らか) ⓫から ⓲とびら ㉑つつ ⓳戻す

**1** 1 氺 2 儿 3 襾 4 曰 5 穴 6 甘 7 弓 8 斉 9 口 10 聿

**2** 1 似 2 璽 3 示 4 愁 5 囚 6 祝 7 慌 8 併 9 哀

# 第46回 準2級⑩

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 寡 | 宀（うかんむり）14 | カ | 寡 | 源 家（宀）に子供が一人でいる様子⇩少ない ↕衆 | 寡黙（カモク）、衆寡（シュウカ） |
| 2 | 寛 | 宀（うかんむり）13 | カン | 寛 | 源 まるくゆとりのある（萈）家（宀）⇩ひろい | 寛容（カンヨウ）、寛大（カンダイ） |
| 3 | 宜 | 宀（うかんむり）8 | ギ | 宜 | 義 よろしい。都合がよい。㊟宣 | 便宜（ベンギ）、適宜（テキギ） |
| 4 | 宰 | 宀（うかんむり）10 | サイ | 宰 | 義 役人の長。とりしきる。 | 主宰（シュサイ）、宰相（サイショウ） |
| 5 | 宵 | 宀（うかんむり）10 | ショウ、よい | 宵 | 源 窓（宀）から月が少し（⺌）さす⇩よい | 徹宵（テッショウ）、宵（よい） |
| 6 | 寧 | 宀（うかんむり）14 | ネイ | 寧 | 義 願いがかなって安らか。 | 安寧（アンネイ）、寧日（ネイジツ） |
| 7 | 寮 | 宀（うかんむり）15 | リョウ | 寮 | 源 宀（家）＋尞（連なる）⇩役所・建物・寄宿舎 | 寮生（リョウセイ）、寮母（リョウボ） |
| 8 | 菌 | 艹（くさかんむり）11 | キン | 菌 | 源 まるくまとまる（囷）植物（艹）⇩きのこ・微生物 | 細菌（サイキン）、殺菌（サッキン） |
| 9 | 薫 | 艹（くさかんむり）16 | クン、かお（る） | 薫 | 源 草（艹）をいぶす（熏）⇩かおる・感化 | 薫陶（クントウ）、薫風（クンプウ） |
| 10 | 茎 | 艹（くさかんむり）8 | ケイ、くき | 茎 | 源 草（艹）のまっすぐな（巠）部分⇩くき | 球茎（キュウケイ）、歯茎（はぐき） |
| 11 | 薦 | 艹（くさかんむり）16 | セン、すす（める） | 薦 | 義 取り上げ使うようにすすめる。 | 推薦（スイセン）、自薦（ジセン） |
| 12 | 荘 | 艹（くさかんむり）9 | ソウ | 荘 | 源 草（艹）が盛ん（壮）に茂る⇩立派・屋敷 | 荘重（ソウチョウ）、山荘（サンソウ） |
| 13 | 藻 | 艹（くさかんむり）19 | ソウ、も | 藻 | 源 水中（氵）で群生する（喿）草（艹）⇩水草 | 海藻（カイソウ）、藻草（もぐさ） |
| 14 | 窮 | 穴（あなかんむり）15 | キュウ、きわ（める）、きわ（まる） | 窮 | 源 穴の中で身をまげて（弓）動けない。 | 窮屈（キュウクツ）、窮状（キュウジョウ） |
| 15 | 窃 | 穴（あなかんむり）9 | セツ | 窃 | 義 ぬすむ。ひそかに取る。 | 窃盗（セットウ） |
| 16 | 窯 | 穴（あなかんむり）15 | ヨウ、かま | 窯 | 義 かわらや陶器を焼くかまど。 | 窯業（ヨウギョウ）、窯跡（かまあと） |
| 17 | 罷 | 罒（あみがしら）15 | ヒ | 罷 | 義 やめる。やめさせる。 | 罷免（ヒメン）、罷業（ヒギョウ） |
| 18 | 羅 | 罒（あみがしら）19 | ラ | 羅 | 源 あみ（罒）をつなぐ（維）⇩つらねる | 羅針盤（ラシンバン）、網羅（モウラ） |
| 19 | 虞 | 虍（とらかんむり）13 | おそれ | 虞 | 源 もとはとらに似た伝説上の獣。（ぐ）美人草 ㊟虞 | 虞（おそれ） |
| 20 | 虜 | 虍（とらかんむり）13 | リョ | 虜 | 義 とりこ。いけどる。㊟慮 | 捕虜（ホリョ）、虜囚（リョシュウ） |
| 21 | 霜 | 雨（あめかんむり）17 | ソウ、しも | 霜 | 源 草木を滅ぼし（相㊅）枯らす水（雨）。 | 星霜（セイソウ）、初霜（はつしも） |
| 22 | 雰 | 雨（あめかんむり）12 | フン | 雰 | 源 雨が小さく分散する⇩たちこめる | 雰囲気（フンイキ） |

なぞろう　寡 寛 宜 宰 宵 寧 寮 菌 薫 茎 薦 荘 藻 窮 窃 窯 罷 羅 虞 虜 霜 雰

書こう

## 練習

1回目　2回目　3回目

① 祖父は**カモク**な人である。（無口な様子）
② **カンヨウ**な態度をとる。（失敗をとがめず、いい面を認める様子）
③ **ベンギ**を図る。（都合のよいこと）
④ 同人誌を**シュサイ**する。（中心となって物事をおこなうこと）
⑤ **テッショウ**して準備をする。（一晩中起きていること、一晩中）
⑥ **アンネイ**秩序を願う。（社会の秩序が保たれ、平和なこと）
⑦ 彼女はこの学校の**リョウセイ**です。（りょうに住むせいと・学せい）
⑧ **サイキン**類の有効利用を研究する。（寄せいして腐らせたり病原となる微せい物）
⑨ 良師の**クントウ**を受ける。（優れた人格で人を感化し立派に育てること）
⑩ 里芋は**キュウケイ**でふえる。（地下のきゅう状のくき）
⑪ 委員長に**スイセン**する。（適任者としてすすめること）
⑫ **ソウチョウ**な音楽が流れる。（おごそかでおもおもしい印象を与える様子）
⑬ ワカメは**カイソウ**です。（うみの中にはえる胞子植物）
⑭ いすが小さくて**キュウクツ**だ。（狭くて、くつろげない様子）
⑮ **セットウ**事件が相次ぐ。（ものをぬすむこと）
⑯ **ヨウギョウ**が盛んな地域を調べる。（かまを使い、とう磁器などを作る仕事）
⑰ 役人を**ヒメン**する。（役職を辞めさせること）
⑱ **ラシンバン**が発明された歴史をひもとく。（磁力を利用して方位を測定する器具、コンパス）
⑲ 水害の**オソレ**がある。（よくないことが起こるのではないかという心配）
⑳ ここは昔**ホリョ**収容所だった。（敵にとらえられた人）
㉑ 故郷を離れて幾**セイソウ**。（年月）
㉒ **フンイキ**のいいお店を探す。（その場で自然に作りだされている気分、ムード）

## 訓読み

❺ 宵　⓭ 藻　❾ 薫る　⓮ 窮まる 高　❿ 茎　⓰ 窯　⓫ 薦める　㉑ しも

## 漢字検定　練習問題にチャレンジ

**1** 次の——線の**カタカナ**にあてはまる**漢字**を後の（　）の中からそれぞれ**一つ**選んで記せ。

1 遺**カン**の意を表する。
2 施設運営を県に移**カン**する。
3 証人を召**カン**する。
（堪　喚　勘　憾　管）
1（　）2（　）3（　）

4 師への**ケン**辞をつけた論文。
5 自己**ケン**示欲の強い性格。
6 一貫した態度を**ケン**持する。
（顕　堅　謙　献　遣）
4（　）5（　）6（　）

7 その件で訴**ショウ**を起こす。
8 自覚**ショウ**状がある。
9 貯金を**ショウ**励する。
（宵　奨　抄　訟　症）
7（　）8（　）9（　）

10 実力が均**コウ**している。
11 都市近**コウ**の住宅地。
12 給与から**コウ**除する。
（絞　控　衡　慌　郊）
10（　）11（　）12（　）

13 旧友の逝去を**イタ**む。
14 歩きすぎて足が**イタ**む。
15 **イタ**んだ所を修理する。
（致　痛　悼　傷　至）
13（　）14（　）15（　）

**●日本における爵位**

「爵位」（P99の20）とは、貴族の階級のことで、日本では明治17年に「華族授爵ノ詔勅」が下され、華族（従来の貴族階級）と国家功労者に五段階の爵位が授けられた。この爵位制度は昭和時代まで続いたが、昭和22年5月3日、日本国憲法が施行されるとともに廃止となった。

## 解答

❺ よい　❾ かお（る）　❿ くき　⓫ すす（める）　⓭ も　⓮ きわ（まる）　⓰ かま　㉑ 霜

**1** 1 憾　2 管　3 喚　4 献　5 顕　6 堅　7 訟　8 症　9 奨　10 衡　11 郊　12 控　13 悼　14 痛　15 傷

5級　4級　3級　準2級①〜⑮ 328字　2級　応用編

# 第47回 準2級⑪

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 充 | 儿 ひとあし 6 | ジュウ／あ(てる) | 丶 亠 亡 𠫓 𠫔 充 | 源 人(儿)が育つ(𠫓)⇩成長する・みちる | 補充 ホジュウ／充電 ジュウデン |
| 2 | 泰 | 氺 したみず 10 | タイ | 一 三 丰 夫 夫 夫 泰 泰 泰 | 源 人が水につかってくつろぐ様子⇩やすらか | 安泰 アンタイ／泰然 タイゼン |
| 3 | 弊 | 廾 にじゅうあし 15 | ヘイ | ' ⺌ ⺌ 尚 尚 尚 敝 敝 弊 | 義 悪い。疲れる。へり下って言う言葉。注 幣 | 悪弊 アクヘイ／語弊 ゴヘイ |
| 4 | 患 | 心 こころ 11 | カン／わずら(う) | 丶 口 口 吕 吕 吕 串 患 患 | 源 心を貫く(串)⇩わずらう・うれえる | 患部 カンブ／患者 カンジャ |
| 5 | 懸 | 心 こころ 20 | ケン・ケ／か(ける)／か(かる) | 冂 目 目 県 県 県 縣 縣 懸 | 源 心にかける(縣)。 | 懸念 ケネン／懸想 ケソウ |
| 6 | 懇 | 心 こころ 17 | コン／ねんご(ろ) | 夕 豸 豸 豸 豸 豸 豤 豤 懇 | 源 深く(豤)まごころ(心)をつくす。 | 懇意 コンイ／懇談 コンダン |
| 7 | 愁 | 心 こころ 13 | シュウ／うれ(える)／うれ(い) | 二 千 禾 禾 禾 禾 秒 秋 愁 | 源 心＋秋(音)(心が悲しくなる)。注 憂 | 愁傷 シュウショウ／憂愁 ユウシュウ |
| 8 | 懲 | 心 こころ 18 | チョウ／こ(りる)／こ(らす)／こ(らしめる) | 彳 彳 彳 彳 徉 徉 徨 徴 懲 | 義 こらしめる。こりる。 | 懲役 チョウエキ／懲罰 チョウバツ |
| 9 | 忍 | 心 こころ 7 | ニン／しの(ぶ)／しの(ばせる) | フ 刀 刃 刃 忍 忍 忍 | 解 心＋強い刀の刃。粘り強くたえる。 | 忍耐 ニンタイ／忍者 ニンジャ |
| 10 | 悠 | 心 こころ 11 | ユウ | ノ 亻 亻 亻 亻 亻 攸 悠 悠 | 義 ゆったりしているさま。はるか。 | 悠久 ユウキュウ／悠長 ユウチョウ |
| 11 | 恭 | 㣺 したごころ 10 | キョウ／うやうや(しい) | 一 十 廾 共 共 共 恭 恭 恭 | 源 神に物をそなえる(共↓供)ときの心(㣺)。 | 恭順 キョウジュン／恭賀 キョウガ |

なぞろう：充 泰 弊 患 懸 懇 愁 懲 忍 悠 恭

書こう

## 練習

1回目 2回目 3回目

① 欠員を**ホジュウ**する。（不足のあるところをおぎないみたすこと）
② これでお家は**アンタイ**だ。（あん定していて心配がないこと）
③ **アクヘイ**を断ち切る。（わるい習慣・ならわし）
④ **カンブ**を消毒する。（病気やきずなどがある所）
⑤ 結果を**ケネン**する。（心配すること、気にかかること）
⑥ **コンイ**にしている友人に会う。（親しいつき合いをおこなうこと）
⑦ 誠に**ごシュウショウ**さまです。（人が亡くなったときの、くやみのあいさつ）
⑧ **チョウエキ**の刑に処す。（既決の罪人を一定の労えきに服させること）
⑨ **ニンタイ**にも限度がある。（苦しみや怒りなどを我慢すること）
⑩ **ユウキュウ**の時の流れを感じる。（永遠に続いていくこと）
⑪ **キョウジュン**の態度を示す。（つつしみの態度で服従すること）

## 訓読み

❶ 充てる 高
❹ 患う 高
❺ 懸ける
❼ 愁える 高
❾ 忍ぶ
⓫ 恭しい 高
⓰ 尼
⓱ 履く
❻ ねんごろ 高
❽ こりる
⓮ すたる
㉑ いえる

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** **熟語の構成**のしかたには次のようなものがある。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの　（**岩石**）
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの　（**高低**）
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの　（**洋画**）
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの　（**着席**）
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの　（**非常**）

次の熟語は右の**ア～オ**のどれにあたるか、**記号**で記せ。

1 存廃（　）　2 逸脱（　）　3 来賓（　）　4 落款（　）　5 無窮（　）　6 災禍（　）
7 多寡（　）　8 融解（　）　9 罷業（　）　10 嫌煙（　）　11 愉悦（　）　12 一括（　）





| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 厄 | 厂 がんだれ 4 | ヤク | 一 厂 厅 厄 | 源 厂(狭いがけ)＋㔾(人)⇩危うい・災い | 厄介 ヤッカイ／厄年 ヤクどし |
| 13 | 庶 | 广 まだれ 11 | ショ | 丶 亠 广 广 庐 庐 庐 庶 庶 | 源 家(广)の火(灬)に集まる人びと⇩民衆 | 庶民 ショミン／庶務 ショム |
| 14 | 廃 | 广 まだれ 12 | ハイ／すた(れる)／すた(る) | 丶 亠 广 广 庐 庐 庐 廃 廃 | 源 本来は家(广)が破れ(発)てすたれること。 | 廃止 ハイシ／廃品 ハイヒン |
| 15 | 庸 | 广 まだれ 11 | ヨウ | 丶 亠 广 户 户 户 肩 肩 庸 | 義 平凡。かたよらない。用いる。 | 中庸 チュウヨウ／凡庸 ボンヨウ |
| 16 | 尼 | 尸 かばね 5 | ニ／あま | フ コ 尸 尸 尼 | 義 女の僧。比丘尼(びくに)の略。 | 尼僧 ニソウ／尼寺 あまでら |
| 17 | 履 | 尸 かばね 15 | リ／は(く) | コ 尸 尸 尸 尸 屉 屐 屐 履 | 義 はきもの。はく。行う。経験する。 | 履行 リコウ／履歴 リレキ |
| 18 | 疫 | 疒 やまいだれ 9 | エキ・ヤク | 丶 亠 广 疒 疒 疒 疒 疫 疫 | 義 はやりやまい。流行病。 | 免疫 メンエキ／疫病 エキビョウ |
| 19 | 症 | 疒 やまいだれ 10 | ショウ | 丶 亠 广 疒 疒 疒 疔 疔 症 | 源 疒＋正(音)。もとは証。病気(疒)の様子・状態。 | 症候 ショウコウ／症状 ショウジョウ |
| 20 | 痴 | 疒 やまいだれ 13 | チ | 亠 广 疒 疒 疒 疒 疟 疾 痴 | 源 知のやまい(疒)⇩劣っている・おろか | 愚痴 グチ／音痴 オンチ |
| 21 | 癒 | 疒 やまいだれ 18 | ユ／い(える)／い(やす) | 亠 广 疒 疒 疒 疒 瘉 瘉 癒 | 義 病気がなおる。病気をなおす。 | 治癒 チユ／癒着 ユチャク |
| 22 | 痢 | 疒 やまいだれ 12 | リ | 亠 广 疒 疒 疒 疒 疔 疖 痢 | 源 疒(病気)＋利(よく通る)⇩はらくだり | 下痢 ゲリ／赤痢 セキリ |

なぞろう：厄 庶 廃 庸 尼 履 疫 症 痴 癒 痢

⑫ **ごヤッカイ**になります。（面倒なこと、手数がかかりわずらわしいこと）
⑬ 浅草は**ショミン**的な町です。（世間一般の人びと、大衆）
⑭ 赤字のバス路線を**ハイシ**する。（おこなってきた活動などをやめること）
⑮ **チュウヨウ**の精神を保つ。（偏りのない、バランスのとれた状態）
⑯ **ニソウ**の住む寺を訪ねる。（女性のお坊さん）
⑰ 約束を**リコウ**する。（取り決めたことを実際におこなうこと）
⑱ 病気に対する**メンエキ**力を高める。（病原菌に対して抵抗する性質ができること）
⑲ 病気の**ショウコウ**が現れる。（体に現れた病的変化・病気のしるし）
⑳ **グチ**を言わないよう心がける。（言ってもどうにもならないことを嘆くこと）
㉑ 難病が**チユ**した。（病気やけがなどがなおること）
㉒ **ゲリ**がとまった。（大便が液状になって出ること、腹をくだすこと）

◉**泰山(たいざん)**
泰山北斗(ほくと)という言葉がある。これは泰山と北斗星のことで、転じてその道で最も世に仰ぎ尊ばれる人のことである。この泰山、中国の道教の聖地である五つの山(＝五岳(ごがく))のひとつで、古来、天子が諸侯をここに会して封禅(ほうぜん)の儀式を行なったことでも有名である。李白(りはく)の「長恨歌(ちょうごんか)」で有名な玄宗(げんそう)も、この泰山で封禅を行なっている。

## 解答

❶あ(てる)　❹わずら(う)　❺か(ける)　❼うれ(える)　❾しの(ぶ)　⓫うやうや(しい)　❻懇ろ　❽懲りる　⓮廃る　⓰あま　⓱は(く)　㉑癒える

**1** 1イ　2ア　3ウ　4エ　5オ　6ア　7イ　8ア　9エ　10エ　11ア　12ウ

# 第48回 準2級⑫

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 逸 | 辶(しんにょう) 11 | イツ | 源うさぎ(免)が逃げる(辶)⇩それる | 逸脱(イツダツ)・逸話(イツワ) |
| 2 | 還 | 辶(しんにょう) 16 | カン | 源ひとめぐり(睘)して元にかえる(辶)。 | 還付(カンプ)・生還(セイカン) |
| 3 | 遮 | 辶(しんにょう) 14 | シャ さえぎ(る) | 義さえぎる。へだてる。 | 遮断(シャダン)・遮る(さえぎる) |
| 4 | 迅 | 辶(しんにょう) 6 | ジン | 源はやく(卂)進む(辶)。 | 迅速(ジンソク)・迅雷(ジンライ) |
| 5 | 逝 | 辶(しんにょう) 10 | セイ ゆ(く) い(く) | 源目の前から離れ(折)て行く(辶)⇩死ぬ | 逝去(セイキョ)・急逝(キュウセイ) |
| 6 | 遷 | 辶(しんにょう) 15 | セン | 源天にのぼる(䙴→仙)⇩うつる | 変遷(ヘンセン)・左遷(サセン) |
| 7 | 逐 | 辶(しんにょう) 10 | チク | 源いのしし(豕)を追う(辶)⇩順を追う | 逐次(チクジ)・逐一(チクイチ) |
| 8 | 逓 | 辶(しんにょう) 10 | テイ | 義かわるがわる。つぎつぎと。だんだんと。 | 逓減(テイゲン)・逓送(テイソウ) |
| 9 | 迭 | 辶(しんにょう) 8 | テツ | 源一定の道からそれる(失)⇩かわる | 更迭(コウテツ) |
| 10 | 遍 | 辶(しんにょう) 12 | ヘン | 解ひらたくうすく(扁)ゆきわたる(辶)。回数。 | 普遍(フヘン)・遍歴(ヘンレキ) |
| 11 | 廷 | 廴(えんにょう) 7 | テイ | 義天子が役人に会う庭。宮廷。役所。 | 法廷(ホウテイ)・出廷(シュッテイ) |
| 12 | 囚 | 口(くにがまえ) 5 | シュウ | 源人を囲い(口)に入れる⇩とらえる | 囚人(シュウジン)・脱獄囚(ダツゴクシュウ) |
| 13 | 衡 | 行(ぎょうがまえ) 16 | コウ | 源牛の角と角とを横木でつないだ形⇩天秤(てんびん) | 均衡(キンコウ)・平衡(ヘイコウ) |
| 14 | 閑 | 門(もんがまえ) 12 | カン | 源門に木を置いて侵入を防ぐ⇩のどか | 閑散(カンサン)・閑静(カンセイ) |
| 15 | 閥 | 門(もんがまえ) 14 | バツ | 義家柄。党派。 | 財閥(ザイバツ)・学閥(ガクバツ) |
| 16 | 且 | 一(いち) 5 | か(つ) | 義二つの動作を同時に行う意。 | 且つ(かつ) |
| 17 | 丙 | 一(いち) 5 | ヘイ | 義三番目。ひのえ(十干)。㊟丙午(ひのえうま) | 丙午(ヘイゴ) |
| 18 | 亜 | 二(に) 7 | ア | 義つぐ。準ずる。亜細亜(あじあ)の略称。 | 東亜(トウア)・亜鉛(アエン) |
| 19 | 凹 | 凵(うけばこ) 5 | オウ | 義中央がくぼんだ形。↕凸 | 凹(オウ)・凹凸(オウトツ) |
| 20 | 凸 | 凵(うけばこ) 5 | トツ | 義中央が突き出た形。↕凹 | 凸面(トツメン)・凸版(トッパン) |
| 21 | 傘 | 人(ひとやね) 12 | サン かさ | 源からかさを広げた形。 | 傘下(サンカ)・傘立て(かさたて) |
| 22 | 刃 | 刀(かたな) 3 | ジン は | 解刀に「丶」を加えて刀のはの部分を示す。 | 両刃(リョウば)・刃物(はもの) |

なぞろう 書こう

## 練習

① 本筋から**イツダツ**している。（本筋からそれてしまうこと）［　］

② 税金の**カンプ**を受ける。（政府が所有・租借していたものを返すこと）［　］

③ 踏切の**シャダン**機が降りる。（流れをさえぎり止めること）［　］

④ **ジンソク**な対応で事なきを得た。（対応がきわめてはやいこと）［　］

⑤ 恩師の**セイキョ**を悼む。（ひとが亡くなることの尊敬語）［　］

⑥ 時代の**ヘンセン**をたどる。（時代とともに移りかわること）［　］

⑦ 全集を**チクジ**刊行する。（順を追ってつぎつぎに）［　］

⑧ じんこうの**テイゲン**が問題視される。（少しずつへること・へらすこと）［　］

⑨ 国務大臣を**コウテツ**する。（その職にあるひとをいれかえること）［　］

⑩ **フヘン**的な事例を示す。（すべてのものにあてはまるさま）［　］

⑪ **ホウテイ**で決着をつける。（裁判が行われる場所）［　］

⑫ 服役中の**シュウジン**が施設の清掃をする。（罪を犯して刑務所で服役しているひと）［　］

⑬ 力の**キンコウ**が破れた。（偏りがなくバランスがとれていること）［　］

⑭ **カンサン**とした田舎の駅に降り立つ。（しずまりかえっていること、暇なこと）［　］

⑮ 戦後に**ザイバツ**解体が行われた。（大きな資本をもち、企業を支配する一族）［　］

⑯ 飲み、**カ**つ歌う。（二つのことが同時に行われる様子）［　］

⑰ **ヘイゴ**は「ひのえうま」とも読まれる。（干支(えと)の一つ）［　］

⑱ **アエン**メッキを施した鉄板をトタンという。（金属元素の一つ）［　］

⑲ **オウ**レンズで見る。（中央部が薄いレンズ）［　］

⑳ カーブミラーは**トツメン**鏡になっている。（中央部がふくらんだめん）［　］

㉑ 大企業の**サンカ**に入る。（大きな勢力の支配のもとにあること）［　］

㉒ **リョウバ**の包丁を研ぐ。（りょう側に、はがあること）［　］

## 訓読み

❺ 逝く 高［　］
㉑ 傘［　］
⑯ 且つ［　］
❸ さえぎる［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 1～4の三つの□に**共通する漢字**を入れて熟語を作れ。漢字は後の語群から**一つ**選んで記せ。

1 □夜・一□・□底（　）
2 草□・□修・□歴（　）
3 □性・怠□・□眠（　）
4 □度・□出・□繁（　）

| 履 | 頻 | 生 | 徹 | 既 | 終 |
|---|---|---|---|---|---|
| 惰 | 妄 | | | | |

**2** 後の□の中の語を一度だけ使って**漢字**に直し、**対義語**と**類義語**を記せ。

**対義語**

1 理論—実（　）
2 弔事—（　）事
3 周辺—中（　）
4 明確—（　）然
5 多弁—（　）黙

**類義語**

6 卓抜—（　）出
7 脅迫—威（　）
8 不用—無（　）
9 互角—（　）仲
10 尋常—中（　）

せん・かく・すう・だ・はく・けっ・けい・ばく・か・よう

●「凹」と「凸」
二一三六字ある常用漢字の中でも、印象に残りやすい漢字と言えば、本ページ19・20の「凹」と「凸」ではないだろうか。いずれもその形だけで容易に意味を想像できるだろう。常用漢字表「付表」(P156)には、「凸凹」と書いて「でこぼこ」という、いかにもあいきょうのある訓があるので一緒に覚えておこう。

## 解答

❺ ゆ(く)・い(く) ⑯ か(つ) ㉑ かさ ❸ 遮る
**1** 1 徹 2 履 3 惰 4 頻
**2** 1 践 2 慶 3 枢 4 漠 5 寡 6 傑 7 嚇 8 駄 9 伯 10 庸

5級
4級
3級
準2級①～⑮ 328字
2級
応用編
1回目 2回目 3回目

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 勲 | 力（ちから） 15 | クン | 義 てがら。香り高い。 | 殊勲（シュクン）・勲章（クンショウ） |
| 2 | 升 | 十（じゅう） 4 | ショウ・ます | 源 ひしゃくで液体をくみあげた形。 | 升目（ますめ）・一升（イッショウ） |
| 3 | 叔 | 又（また） 8 | シュク | 義 父母の年下のきょうだい ↕伯父・伯母 | 叔母*（シュクボ）・叔父*（シュクフ） |
| 4 | 叙 | 又（また） 9 | ジョ | 義 のべる。順序をつける。 | 叙情（ジョジョウ）・叙事（ジョジ） |
| 5 | 呉 | 口（くち） 7 | ゴ | 義 中国古代王朝の名。 | 呉服（ゴフク）・呉音（ゴオン） |
| 6 | 嗣 | 口（くち） 13 | シ | 源 竹札（冊）をまとめる（司）⇩つぐ | 嗣子（シシ）・後嗣（コウシ） |
| 7 | 唇 | 口（くち） 10 | シン・くちびる | 源 ふるえる（辰）口の部分⇩くちびる | 唇音（シンオン）・口唇（コウシン） |
| 8 | 喪 | 口（くち） 12 | ソウ・も | 源 哭（大声で泣く）＋亡（人の死）。 | 喪失（ソウシツ）・喪中（もチュウ） |
| 9 | 呈 | 口（くち） 7 | テイ | 源 口で隠さず（王）述べる⇩差し出す・あらわれる | 呈示（テイジ）・露呈（ロテイ） |
| 10 | 塾 | 土（つち） 14 | ジュク | 源 土で作った門の両側の部屋（孰）⇩まなびや | 塾長（ジュクチョウ）・学習塾（ガクシュウジュク） |
| 11 | 塑 | 土（つち） 13 | ソ | 源 土をこねあげ（朔）て物の形を作る。 | 可塑性（カソセイ）・塑像（ソゾウ） |

＊叔母…「おば」、叔父…「おじ」とも読む。

なぞろう　書こう

## 練習

① **シュクン**賞を受賞した。（特別にすぐれた手柄のこと）［　　］

② 方眼紙の**マスメ**を使って図を描く。（四角い形に区切られた枠のこと）［　　］

③ 遠方に住む**シュクボ**を訪ねる。（父ぼの妹のこと、おば）［　　］

④ **ジョジョウ**的な文章をつづる。（自身の思いや感動を表現すること）［　　］

⑤ **ゴフク**の語源は中国の織物だ。（絹織物、和ふく用の織物・反物の総称）［　　］

⑥ **シシ**となるべきこどもが生まれた。（家をつぐべきこども）［　　］

⑦ 「f」「v」は歯**シンオン**です。（くちびるを使って出すおと）［　　］

⑧ **ソウシツ**した自信を取り戻す。（うしなうこと）［　　］

⑨ 身分証明書を**テイジ**する。（差し出して見せること）［　　］

⑩ **ジュクチョウ**に就任する。（じゅくの最こう責任者）［　　］

⑪ 粘土は**カソセイ**のある物質だ。（変形させると元に戻らないせい質）［　　］

## 訓読み

❼ 唇［　　］

❽ 喪主［　　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナを漢字一字と送りがな（ひらがな）に直せ。

1 摘んできた花を花瓶に**サス**。（　　）

2 辞令を**ツツシン**で受ける。（　　）

3 私は機械類の操作に**ウトイ**。（　　）

4 問題の解決に悩み**ワズラウ**。（　　）

5 **スズシイ**風が吹いてきた。（　　）

**2** 後の□内のひらがなを一度ずつ漢字に直して□に入れ、四字熟語を完成せよ。

1 □津浦浦（　　）

2 無常□速（　　）





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 堕 | 土（つち） 12 | ダ | 源 丘（阝）がくずれ土が重なった（有）さま。 | 堕落（ダラク）・堕胎（ダタイ） |
| 13 | 塁 | 土（つち） 12 | ルイ | 源 土を重ねて築いたとりでが原義。 | 孤塁（コルイ）・出塁（シュツルイ） |
| 14 | 壮 | 士（さむらい） 6 | ソウ | 源 大きな（爿）男（士）⇩さかん | 壮健（ソウケン）・壮大（ソウダイ） |
| 15 | 奨 | 大（だい） 13 | ショウ | 源 大いにすすめる（将）。 | 奨励（ショウレイ）・奨学（ショウガク） |
| 16 | 奔 | 大（だい） 8 | ホン | 解 両手を振り走る人（大）＋多くの足（卉）。はしる。 | 奔放（ホンポウ）・奔走（ホンソウ） |
| 17 | 妥 | 女（おんな） 7 | ダ | 源 手（爫）で女をなだめているさま。 | 妥協（ダキョウ）・妥当（ダトウ） |
| 18 | 妄 | 女（おんな） 6 | モウ・ボウ | 源 我を忘れ（亡）女に心を奪われる。 | 妄執（モウシュウ）・妄想*（モウソウ） |
| 19 | 尉 | 寸（すん） 11 | イ | 義 軍隊での官名。 | 尉官（イカン）・中尉（チュウイ） |
| 20 | 尚 | ⺌（しょう） 8 | ショウ | 義 たかい。なお。たっとぶ。 | 高尚（コウショウ）・尚早（ショウソウ） |
| 21 | 屯 | 屮（てつ） 4 | トン | 義 たむろする。人が集まる。 | 屯田（トンデン）・駐屯（チュウトン） |
| 22 | 崇 | 山（やま） 11 | スウ | 義 とうとぶ。あがめる。たかい。 | 崇拝（スウハイ）・崇高（スウコウ） |

＊妄想…「ボウソウ」とも読む。

⑫ **ダラク**した生活を改める。（不けん全な生活・精神になること）［　　］

⑬ ひとり**コルイ**を守る。（こ立したよりどころ・場所）［　　］

⑭ 彼は実に**ソウケン**な男だ。（元気盛んで丈夫なこと）［　　］

⑮ 地場産業を**ショウレイ**する。（よいと思われることをすすめはげますこと）［　　］

⑯ 自由**ホンポウ**にふるまう。（自分の思うがままにふるまうこと）［　　］

⑰ **ダキョウ**を許さぬ厳しい態度。（対立する者の一方または双方が相手に譲ること）［　　］

⑱ **モウシュウ**にとらわれないことが肝要だ。（心の迷いによって凝り固まった気持ち）［　　］

⑲ 彼は昔、自衛隊の**イカン**だった。（軍隊の階級で、将かんや佐かんの下）［　　］

⑳ **コウショウ**な趣味を持つ。（上品で程度がたかい様子）［　　］

㉑ **トンデン**兵は北海道の開拓にあたった。（未開の地を開墾しながら、周辺を警備する兵士）［　　］

㉒ 偶像を**スウハイ**する。（心からあこがれ尊敬すること）［　　］

◉「一升瓶（びん）」見たことある？

「升」は尺貫法における容積の単位で、一升は約一・八〇三九ℓ。昔の酒や醤油（しょうゆ）はガラスの一升瓶に入っていた。一升の十分の一は一合（ごう）、炊飯器の「〇合炊き」などに残っている。一升の十倍は一斗（と）、灯油缶などに見られる。もともと身体のサイズから生み出されたこれらの単位は、現代でも使い勝手がいいものとなっている。

3 軽挙□動（　　）

4 □一無二（　　）

5 □然自若（　　）

6 百戦錬□（　　）

7 内憂外□（　　）

8 六根清□（　　）

9 和洋折□（　　）

10 大言□語（　　）

11 堅□不抜（　　）

12 時期□早（　　）

そう・ゆい・にん・ちゅう・つ・もう・しょう・じょう・ま・じん・かん・たい

## 解答

❼ くちびる　❽ もしゅ

**1** 1 挿す　2 謹ん　3 疎い　4 煩う　5 涼しい

**2** 1 津　2 迅　3 妄　4 唯　5 泰　6 磨　7 患　8 浄　9 衷　10 壮　11 忍　12 尚

# 第50回　準2級⑭

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味など | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 帥 | はば 巾 9 | スイ | ′ 亻 户 户 自 自 帥 帥 帥 | 義 ひきいる。集団の統率者。注 師 | 統帥（トウスイ） 元帥（ゲンスイ） |
| 2 | 幣 | はば 巾 15 | ヘイ | ′ ′′ 丷 尚 尚 尚 敝 幣 幣 | 義 かね。みつぎ物。引出物。注 弊 | 貨幣（カヘイ） 造幣（ゾウヘイ） 紙幣（ヘイ） |
| 3 | 弔 | ゆみ 弓 4 | チョウ　とむら(う) | ᄀ ⼕ 弓 弔 | 義 とむらう。↕慶 | 弔問（チョウモン） 追弔（ツイチョウ） |
| 4 | 慶 | こころ 心 15 | ケイ | 广 广 声 声 声 声 庐 慶 慶 | 解 声はしか。昔、祝い事にしかの皮を贈った。↕弔 | 慶事（ケイジ） 慶弔（ケイチョウ） |
| 5 | 摩 | て 手 15 | マ | 广 广 广 庁 麻 麻 麻 麈 摩 | 源 麻を手でさいてもむ⇩する・こする | 摩擦（マサツ） 減摩（ゲンマ） |
| 6 | 昆 | ひ 日 8 | コン | 丨 冂 日 日 旦 戶 昆 昆 | 解 足の多い虫の形。「昆布」の表記の由来は諸説ある。 | 昆布（コンブ） 昆虫（コンチュウ） |
| 7 | 曹 | いわく 曰 11 | ソウ | 一 冂 冃 曲 曲 曲 曹 曹 曹 | 義 部屋。軍隊の階級。役所。なかま。 | 法曹（ホウソウ） 御曹司（おんゾウシ） |
| 8 | 栽 | き 木 10 | サイ | 一 十 土 圭 圭 圭 栽 栽 栽 | 義 草木をしっかり立てる。枝葉を切る。 | 盆栽（ボンサイ） 栽培（サイバイ） |
| 9 | 献 | いぬ 犬 13 | ケン　コン | 十 古 古 南 南 南 献 献 献 | 源 神にいけにえの犬をささげる。南は鬳（食器）の略。 | 献立（コンだて） 献身（ケンシン） |
| 10 | 琴 | おう 王 12 | キン　こと | 一 丅 王 王 王 王 琴 琴 琴 | 義 こと（弦楽器）の意。 | 琴線（キンセン） 木琴（モッキン） |
| 11 | 璽 | たま 玉 19 | ジ | 一 ⼌ 帀 帀 爾 爾 爾 璽 璽 | 義 しるし。印。玉に刻んだ印。 | 御璽（ギョジ） 国璽（コクジ） |
| 12 | 瓶 | かわら 瓦 11 | ビン | ソ 丷 半 并 并 并 瓶 瓶 瓶 | 源 二つをあわせ（并）て作った土器（瓦）⇩かめ・つるべ | 花瓶（カビン） 土瓶（ドビン） |
| 13 | 甚 | かん あまい 甘 9 | ジン　はなは(だ)　はなは(だしい) | 一 十 廿 廿 甘 甘 其 甚 甚 | 源 夫婦（匹）の仲がはなはだよい（甘→甘）。 | 甚大（ジンダイ） 深甚（シンジン） |
| 14 | 畝 | た 田 10 | うね | 亠 亠 亡 市 亩 亩 亩 亩 畝 畝 | 源 土盛り（久→丘）をして田を区切る。 | 畝（うね） |
| 15 | 疎 | ひきへん 𧾷 12 | ソ　うと(い)　うと(む) | ᄀ 了 下 正 正 正 距 距 疎 | 義 親しくない。おろそか。粗い。↕親・近・密 | 疎遠（ソエン） 疎開（ソカイ） |
| 16 | 碁 | いし 石 13 | ゴ | 一 十 廿 甘 甘 其 其 其 碁 | 義 石で遊ぶ台。ご石。 | 囲碁（イゴ） 碁盤（ゴバン） |
| 17 | 磨 | いし 石 16 | マ　みが(く) | 广 广 广 庁 麻 麻 麻 麼 磨 | 源 石をこする（麻）⇩みがく・石うす | 琢磨（*タクマ） 錬磨（*レンマ） 磨（マ） |
| 18 | 督 | め 目 13 | トク | 丨 ト 上 ナ 未 叔 叔 督 督 | 義 みはる。とりしまる。うながす。 | 家督（カトク） 監督（カントク） |
| 19 | 盲 | め 目 8 | モウ | ᅵ 亠 亡 亡 亡 肓 盲 盲 | 源 視力（目）を失う（亡）。 | 盲点（モウテン） 盲従（モウジュウ） |
| 20 | 繭 | いと 糸 18 | ケン　まゆ | 艹 艹 芇 芇 莭 莭 繭 繭 繭 | 源 糸＋虫＋芇（おおう）。 | 繭玉（まゆだま） 繭糸（ケンシ） |
| 21 | 索 | いと 糸 10 | サク | 一 十 亠 去 去 去 索 索 索 | 解 なわが原義。たぐるようにもとめる。 | 検索（ケンサク） 索引（サクイン） |
| 22 | 累 | いと 糸 11 | ルイ | 丨 冂 冊 田 田 田 男 累 累 | 源 糸を順序よくかさねる（田）。 | 係累（ケイルイ） 累進（ルイシン） |

*「琢」は常用漢字外。*錬磨…「練磨」とも書く。

なぞろう　書こう

## 練習

1回目　2回目　3回目

①トウスイ権が行使された。（軍隊などをとうろ率・指揮すること）
②絹は昔カヘイの代用だった。（商品などと交換できる価値をもつもの）
③チョウモン客が訪れる。（遺族を訪ね、くやみを述べること）
④出産、結婚などのケイジが続く。（よろこび祝うべきこと）
⑤マサツ熱を利用する。（物と物がこすれあうこと）
⑥コンブでダシをとる。（褐色で帯状の海藻）
⑦弁護士としてホウソウ界に入る。（ほう律じ務に携わる人）
⑧祖父の趣味はボンサイを育てることです。（観賞用の鉢植えの草木）
⑨今日のコンダテを考える。（料理の品目や出す順序、メニュー）
⑩心のキンセンにふれる名言を集める。（感動や共鳴を生む心をことの糸にたとえた表現）
⑪詔書にギョジが押印される。（天皇の印）
⑫カビンにバラを生ける。（はなを挿すためのびん）
⑬台風の被害はジンダイだ。（程度がはなはだしく悪い状況を示す）
⑭ウネに苗を植えつける。（作物を植えるために作る筋状の盛り土）
⑮ソエンになっていた旧友に再会した。（連絡が途絶えて親密さがなくなること）
⑯父は今イゴに凝っています。（白と黒の石で領域を占めあうゲーム）
⑰若者たちが切磋（せっさ）タクマする。（学もん・技芸に励み、向上させること）
⑱長男がカトクを継ぐ。（相続するべきいえの跡目）
⑲モウテンを突かれる。（だれもが見落としているようなところ）
⑳マユダマ飾りを竹につるす。（新年の飾りに使う菓子などでできたたま）
㉑パソコンで図書館の蔵書をケンサクする。（調べてさがし出すこと）
㉒私にはこれといったケイルイはない。（自分が世話をするべきか族）

## 訓読み

❸弔う　⑬はなはだ
❿琴　⓯うとい 高
⓱磨く

## 漢字検定　練習問題にチャレンジ

**1** 次の各文にまちがって使われている**同じ読みの漢字**が**一字**ある。**上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。**

1 大型船舶が座焦した場所は波が荒く、救助活動は難航が予想される。
（　　→　　）

2 環境保護の観点から、包装用の資材に発砲スチロールを使う頻度は減ってきている。
（　　→　　）

3 よく行く居酒屋の邸主は、落語を演じるのが趣味で、時折愉快な演目を披露してくれる。
（　　→　　）

4 この武将は、敵の貞察部隊に偽の情報を流すことによって一気に形勢を逆転した。
（　　→　　）

5 彼は才能豊かな人物で、中央官僚として昇進したが、政権を批判したため左薦された。
（　　→　　）

6 物価の高謄で消費者の生活は益益圧迫されており、政府の早急な対策が望まれている。
（　　→　　）

7 その夜のコンサートは、演奏者と聴衆が一体となり、幻想的な雰囲気が譲成された。
（　　→　　）





**◉琴（こと）の正体は？**

「琴（こと）」と聞くと、多くの人が十三本の弦を張った日本の伝統楽器を思い浮かべそうだが、厳密にはそのイメージは誤りである。

実際は、七弦のものを「琴（きん）」、十三弦のものを「箏（そう）」、四弦で胴の丸いものを「琵琶（びわ）」と呼び、ほかにもいくつかの弦楽器を総称して「琴（こと）」と言う。

## 解答

❸とむら(う)　❿こと　⓱みが(く)
⓭甚だ　⓯疎い

**1**
1 焦→礁　2 砲→泡
3 邸→亭　4 貞→偵
5 薦→遷　6 謄→騰
7 譲→醸

# 第51回 準2級⑮

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 筆順 | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 翁 | はね 羽 10 | オウ | ノ 八 公 … 翁 翁 | 義 おきな。男性の老人への敬称。 | 老翁（ロウオウ） |
| 2 | 粛 | ふでづくり 聿 11 | シュク | フ ヨ 肀 … 粛 粛 | 義 つつしむ。おごそか。いましめる。 | 自粛（ジシュク）　厳粛（ゲンシュク）　粛粛（シュクシュク） |
| 3 | 肯 | にく 肉 8 | コウ | ｜ ト 止 … 肯 肯 | 義 承知する。うなずく。 | 首肯（シュコウ）　肯定（コウテイ） |
| 4 | 肖 | にく 肉 7 | ショウ | ｜ 丷 … 肖 肖 | 義 にる。にせる。 | 不肖（フショウ）　肖像（ショウゾウ） |
| 5 | 臭 | みずから 自 9 | シュウ　くさ（い）　にお（う） | ノ 丿 白 自 … 臭 | 源 鼻（自）でよくにおいをかぐ犬（大）。 | 消臭（ショウシュウ）　悪臭（アクシュウ）　臭気（シュウキ） |
| 6 | 覇 | おおいかんむり 襾 19 | ハ | 一 襾 … 覇 覇 | 義 旗がしら。諸侯の長。 | 覇気（ハキ）　覇権（ハケン） |
| 7 | 蛍 | むし 虫 11 | ケイ　ほたる | 丶 丷 … 蛍 蛍 | 源 丸く囲む光（⺍）を発する虫⇩ほたる | 蛍雪（ケイセツ）　蛍光（ケイコウ） |
| 8 | 融 | むし 虫 16 | ユウ | 一 戸 … 融 融 | 義 とける。とおる。やわらぐ。 | 融解（ユウカイ）　融和（ユウワ） |
| 9 | 衷 | ころも 衣 9 | チュウ | 一 亠 … 衷 衷 | 義 まごころ。なか。中央。よい。 | 折衷（セッチュウ）　苦衷（クチュウ） |
| 10 | 褒 | ころも 衣 15 | ホウ　ほ（める） | 亠 … 褒 褒 | 解 もとはつつむ（保）衣。保が報に通じ、ほめる意に。 | 褒美（ホウビ）　褒賞（ホウショウ） |
| 11 | 缶 | ほとぎ 缶 6 | カン | ノ 𠂉 午 缶 | 源 胴が太く口の小さいかめの形。 | 缶詰（カンづめ）　空き缶（あきカン） |
| 12 | 誓 | げん 言 14 | セイ　ちか（う） | 一 扌 扩 … 誓 誓 | 義 神や人前でしたとり決めの言葉。 | 誓約（セイヤク）　誓願（セイガン） |
| 13 | 謄 | げん 言 17 | トウ | 丿 月 … 謄 謄 | 義 原本を書き写す。 | 謄本（トウホン）　謄写（トウシャ） |
| 14 | 貢 | こがい・かいへん 貝 10 | コウ　ク　みつ（ぐ） | 一 工 … 貢 貢 | 源 財産（貝）をささげる（工→共）。 | 貢献（コウケン）　年貢（ネング） |
| 15 | 貞 | こがい・かいへん 貝 9 | テイ | 丨 卜 … 貞 貞 | 義 問いただす。正しい。 | 貞操（テイソウ）　貞淑（テイシュク） |
| 16 | 賓 | こがい・かいへん 貝 15 | ヒン | 宀 … 賓 賓 | 源 財産（貝）を贈り、客をもてなす（㝠）。 | 来賓（ライヒン）　賓客（ヒンキャク） |
| 17 | 斎 | せい 斉 11 | サイ | 亠 文 … 斎 斎 | 源 神を祭る（示）前に心身を清める（斉）。注 斉 | 斎宮（サイグウ）　斎場（サイジョウ） |
| 18 | 斉 | せい 斉 8 | セイ | 亠 文 … 斉 斉 | 義 ひとしい。ととのう。注 斎 | 斉唱（セイショウ）　一斉（イッセイ） |
| 19 | 韻 | おと 音 19 | イン | 立 音 … 韻 韻 | 源 まるい（員）音⇩ととのったひびき | 余韻（ヨイン）　韻文（インブン） |
| 20 | 騰 | うま 馬 20 | トウ | 月 … 騰 騰 | 源 馬がはね上がる（朕）⇩のぼる・あがる | 暴騰（ボウトウ）　騰高（コウトウ） |
| 21 | 竜 | りゅう 竜 10 | リュウ　たつ | 亠 立 … 竜 竜 | 源 想像上のリュウの姿の形⇩たつ | 竜骨（リュウコツ）　竜宮（リュウグウ） |
| 22 | 麻 | あさ 麻 11 | マ　あさ | 亠 广 … 麻 麻 | 源 家（广）でアサを並べ（林）て繊維をとる。 | 乱麻（ランマ）　麻酔（マスイ） |

なぞろう　書こう

## 練習

① **ロウオウ**とはおじいさんのこと。（年をとった男性）［　］

② **ゲンシュク**な儀式が執り行われる。（おごそかで心が引き締まるさま）［　］

③ 物事を**コウテイ**的に考える。（その通りだと判断して認めること）［　］

④ **フショウ**ながら努力いたします。（親に似ず愚かなこと、また自分をへりくだって言う語）［　］

⑤ **ショウシュウ**スプレーを使う。（ふ快なにおいをけすこと）［　］

⑥ **ハキ**のある前向きな人材を求める。（積極的な意き込み、人の上に立とうとする意志）［　］

⑦ **ケイセツ**の功。（苦労して学問にはげむことのたとえ）［　］

⑧ 金の**ユウカイ**点は摂氏一〇六四度である。（固体が熱によって液体になること、ゆうてん）［　］

⑨ 和洋**セッチュウ**料理でもてなす。（両方のよいところをほどよく調和させること）［　］

⑩ **ホウビ**をもらう。（ほめるしるしに与えられるもの）［　］

⑪ リュックに**カンヅメ**をつめる。（食品などをかんにつめて密閉したもの）［　］

⑫ **セイヤク**書を書く。（ちかいを立ててやく束すること）［　］

⑬ 戸籍**トウホン**を取り寄せる。（原ぽんの内容をすべて複写した文書）［　］

⑭ 地域社会の発展に**コウケン**する。（何かの役に立つように力を尽くすこと）［　］

⑮ **テイソウ**を固く守る。（一人の人との恋愛関係を堅持すること）［　］

⑯ **ライヒン**の紹介をします。（式、会などに客として招かれた人）［　］

⑰ 伊勢神ぐうには**サイグウ**があった。（奉仕した皇女、またはその居所）［　］

⑱ 校歌を**セイショウ**する。（声をそろえて歌をうたうこと）［　］

⑲ 感動の**ヨイン**が胸に残る。（あとあとまで影響を残す味わい）［　］

⑳ 地価が**ボウトウ**する。（値段が急激に上がること）［　］

㉑ 船に**リュウコツ**を取り付ける。（船の底を船首から船尾まで貫く主要部材）［　］

㉒ 快刀**ランマ**を断つように難問を解決する。（複雑にからみ合った物事のたとえ）［　］

## 訓読み

❺ 臭う［　］
㉒ 麻［　］
❼ 蛍［　］
❺ くさい［　］
⑫ 誓う［　］
⑩ ほめる［　］
㉑ 竜［　］
⑭ みつぐ 高［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナを漢字に直せ。

1 闘志が**フツフツ**とわき起こる。（　）
2 **テイネイ**な言葉遣いを心がける。（　）
3 冬になって**シモバシラ**が立つ。（　）
4 **セイシュク**に願います。（　）
5 会話文にかぎ**カッコ**を用いる。（　）
6 核**ユウゴウ**の理論を学ぶ。（　）
7 **エリ**を正して入室する。（　）
8 砂糖と**ス**を少少入れる。（　）
9 自分の**カラ**を破る。（　）
10 **クチビル**がはれている。（　）
11 **ネンゴロ**な仲になる。（　）
12 堪忍袋の**オ**が切れる。（　）

●**蛍雪の功**

「蛍雪の功」とは苦学して学問に励むことのたとえ。古代中国の車胤と孫康は、それぞれ貧しくて灯油が買えず、車胤は蛍の光で、孫康は雪明かりで読書をしたと言われている。卒業式に歌われる「蛍の光、窓の雪…」は、この故事にもとづいて作られたものである。

## 解答

❺ にお（う）　❼ ほたる　⑫ ちか（う）
㉑ たつ　㉒ あさ　❺ 臭い　⑩ 褒める
⑭ 貢ぐ

**1**
1 沸沸　2 丁寧　3 霜柱
4 静粛　5 括弧　6 融合
7 襟　8 酢　9 殻
10 唇　11 懇　12 緒

5級　4級　3級　準2級①～⑮ 328字　2級　応用編
練習 1回目 2回目 3回目

# 第52回 2級①

| 番号 | 漢字 | 部首 | 画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 俺 | 亻(にんべん) | 10 | おれ | 源人(亻)+奄(われの意の俗語)。男性の自称。 | 俺(おれ) |
| 2 | 伎 | 亻(にんべん) | 6 | キ | 源支は枝を持つ人の形⇩わざ・操る | 歌舞伎(カブキ)、伎*楽(ギガク) |
| 3 | 僅 | 亻(にんべん) | 13 | キン、わず(か) ［僅］でも可 | 源堇は小さい・とぼしいの意⇩わずか | 僅差(キンサ)、僅か(わずか) |
| 4 | 傲 | 亻(にんべん) | 13 | ゴウ | 義相手に目もくれず堂堂としている。あなどる。 | 傲慢(ゴウマン) |
| 5 | 侶 | 亻(にんべん) | 9 | リョ | 源呂はつらなる背骨の意⇩仲間 | 伴侶(ハンリョ)、僧侶(ソウリョ) |
| 6 | 凄 | 冫(にすい) | 10 | セイ | 義すさまじい。さむい。さみしい。 | 凄惨(セイサン) |
| 7 | 冶 | 冫(にすい) | 7 | ヤ | 源冫(こおり)+台(人工を加える)⇩とかす | 陶冶(トウヤ)、冶金(ヤキン) |
| 8 | 咽 | 口(くちへん) | 9 | イン | 源食物や呼吸がたよりとする(因)口の部分⇩のど | 咽頭(イントウ)、咽喉(インコウ) |
| 9 | 唄 | 口(くちへん) | 10 | うた | 源仏徳をたたえる歌⇩民謡・俗謡 | 鼓唄(つづみうた)、子守唄(こもりうた) |
| 10 | 嗅 | 口(くちへん) | 13 | キュウ、か(ぐ) ［嗅］でも可 | 義においを鼻でかぎわける。 | 嗅覚(キュウカク)、嗅ぐ(かぐ) |
| 11 | 喉 | 口(くちへん) | 12 | コウ、のど | 義のど。のどの穴。 | 咽喉(インコウ)、喉頭(コウトウ) |
| 12 | 叱 | 口(くちへん) | 5 | シツ、しか(る) | 源口で切りかかる(七)⇩しかる | 叱責(シッセキ)、叱る(しかる) |
| 13 | 呪 | 口(くちへん) | 8 | ジュ、のろ(う) | 解口+兄(いのる)。いのる。のろう。まじなう。 | 呪文(ジュモン)、念呪(ネンジュ) |
| 14 | 唾 | 口(くちへん) | 11 | ダ、つば | 源口から垂れる液⇩つば | 唾棄(ダキ)、唾液(ダエキ) |
| 15 | 嘲 | 口(くちへん) | 15 | チョウ、あざけ(る) ［嘲］でも可 | 源口からつばを飛ばして話す(朝)声⇩あざける | 嘲笑(チョウショウ)、嘲罵(チョウバ) |
| 16 | 哺 | 口(くちへん) | 10 | ホ | 源口の中にひろげる(甫)⇩かみくだく・ふくむ | 哺乳類(ホニュウルイ)、反哺(ハンポ) |
| 17 | 喩 | 口(くちへん) | 12 | ユ ［喩］でも可 | 源口で不明・無知から抜け出すように言う(兪)。 | 比喩(ヒユ)、直喩(チョクユ) |
| 18 | 嫉 | 女(おんなへん) | 13 | シツ | 解女+疾(やまい)。心が病む。ねたむ。 | 嫉妬(シット) |
| 19 | 妬 | 女(おんなへん) | 8 | ト、ねた(む) | 源婦人(女)から夫への積もった(石)感情⇩ねたみ | 妬み(ねたみ)、嫉妬(シット) |
| 20 | 妖 | 女(おんなへん) | 7 | ヨウ、あや(しい) | 義なまめかしい。あやしい。わざわい。 | 妖怪(ヨウカイ)、妖精(ヨウセイ) |
| 21 | 弥 | 弓(ゆみへん) | 8 | や | 義(時間的・空間的に)わたる。ひさしい。とおい。 | 弥生(やよい)、弥*次馬(やじうま) |

＊伎…「ギ」の読みは常用漢字表外。

＊弥次馬…「野次馬」とも書く。

なぞろう　書こう

## 練習

① 彼は自分のことを**オレ**と呼ぶ。（通常、男性が同輩・目下に対して用いる自称）

② **カブキ**の創始者は江戸期の出雲阿国(いずものおくに)といわれる。（江戸時代に発せいしたぶたい芸術）

③ **キンサ**で試合に勝利した。（ほんの少しの、さ）

④ 主君の**ゴウマン**な態度をいさめる。（おごりたかぶって人を見下すさま）

⑤ よき**ハンリョ**に恵まれる。（ともに連れだって行く者、配偶者）

⑥ **セイサン**な事故現場を前に言葉を失う。（目をおおうほどむごたらしいこと）

⑦ 読書は人格の**トウヤ**に役立つ。（人の素質や能力を理想的に育てあげること）

⑧ **イントウ**炎で熱が出る。（鼻からのどにかけての部分）

⑨ **ツヅミウタ**の演奏を聴く。（主にたいこだけをばん奏とする、うた）

⑩ **キュウカク**の鋭い人だ。（においの刺激によっておこる感かく）

⑪ 耳鼻**インコウ**科に通う。（のど）

⑫ 父に**シッセキ**される。（しかってとがめること）

⑬ **ジュモン**を唱える。（まじないのときに唱える言葉）

⑭ 弱い者いじめをするのは**ダキ**すべき人間だ。（さげすみ、嫌うこと）

⑮ 失敗を繰り返し、**チョウショウ**を買う。（あざけりわらうこと）

⑯ カモノハシも**ホニュウルイ**だ。（母にゅうで子を育てるせきつい動物）

⑰ **ヒユ**表現のおもしろさを知る。（ある事柄を他の物事に置き換えて表すこと）

⑱ **シット**心を解消する方法を探る。（自分との違いやより優れた人をうらやむこと）

⑲ **ネタ**みの感情をうむ脳の働きを研究する。（自分との違いやより優れた人をうらやむこと）

⑳ 不可思議なことは**ヨウカイ**のしわざだろう。（人知を超える不思議な現象や存在）

㉑ **ヤヨイ**三月　花のころ。（陰暦三月の異称）

練習 1回目 2回目 3回目

## 訓読み

⑩ 嗅ぐ

⑪ 喉

⑬ 呪う

⑭ 唾

⑳ 妖しい

㉑ 弥次

⑫ しかる

⑮ あざける

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線の**漢字の読みをひらがなで記せ。**

1 絶滅が危惧される動物。（　）

2 違法賭博が摘発された。（　）

3 この猫は臆病な性格だ。（　）

4 真摯な態度で臨む。（　）

5 辛辣な表現で非難する。（　）

6 考えが甘いと一蹴された。（　）

7 相手を激しく罵倒する。（　）

8 煎餅を食べる。（　）

9 いたずらをして叱られた。（　）

10 雪の重みで潰れた小屋。（　）

11 臼で粉をひく。（　）

12 臭いものに蓋をする。（　）

## 解答

⑩か(ぐ)　⑪のど　⑬のろ(う)　⑭つば　⑳あや(しい)　㉑やじ　⑫叱る　⑮嘲(嘲)る

**1**
1 きぐ　2 とばく
3 おくびょう　4 しんし
5 しんらつ　6 いっしゅう
7 ばとう　8 せんべい
9 しか　10 つぶ
11 うす　12 ふた

◉**仮名と真名　パートI**

漢字の別名として「真名(まな)」という呼び方がある。「真名」とは文字通り「まこと(真)の名」ということだが、この「名」とは何か？　実は「名」という漢字には「名前」の意味のほかに「文字」という意味がある。つまり、漢字は「まことの文字」と位置づけられているのである。

第53回 2級②

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 堆 | 塡 | 惧 | 憬 | 憧 | 慄 | 隙 | 淫 | 潰 | 沙 | 汰 |
| 部首・画数 | 扌 つちへん 11 | 扌 つちへん 13 | 忄 りっしんべん 11 | 忄 りっしんべん 15 | 忄 りっしんべん 15 | 忄 りっしんべん 13 | 阝 こざとへん 13 | 氵 さんずい 11 | 氵 さんずい 15 | 氵 さんずい 7 | 氵 さんずい 7 |
| 読み | タイ | テン ［塡］でも可 | グ ［惧］でも可 | ケイ | ショウ あこが(れる) | リツ | ゲキ すき | イン みだ(ら) ［淫］でも可 | カイ つぶ(す) つぶ(れる) | サ | タ |
| 意味 | 源土＋隹(ずんぐりした小鳥)⇩うずたかい・丘 | 源土をつめ(眞)て穴をふさぐ⇩うずめる・みたす | 義おそれる。 | 源忄(心)＋景(ひかり)。心中が明るくなるが原義。 | 源心(忄)が動い(童)て定まらない⇩あこがれる | 源心(忄)＋栗。いがぐりを見ておそれるが原義。 | 義物のあいた所。手のあいた時。 | 義度を越す。みだら。ひたす。ふける。 | 源堤防がつぶれ(貴)て水(氵)がもれる⇩ついえる | 源水(氵)に洗われて小さく(少)なったすな。 | 源十分な(太)水(氵)で悪い部分を洗う⇩おごる |
| 用例 | 堆積(タイセキ) 堆肥(タイヒ) | 補塡(ホテン) 充塡(ジュウテン) | 危惧(キグ) | *憧憬(ショウケイ) | 憧(あこが)れる *憧憬(ショウケイ) | 戦慄(センリツ) 慄然(リツゼン) | 隙間(すきま) 寸隙(スンゲキ) | 淫(みだ)ら 淫書(インショ) | 潰(つぶ)れる 潰瘍(カイヨウ) | 沙汰(サタ) *流沙(リュウサ) | *淘汰(トウタ) 沙汰(サタ) |

*憧憬…「ドウケイ」は慣用読み。 *流沙…「流砂」とも書く。 *「淘」は常用漢字外。

なぞろう 堆 塡 惧 憬 憧 慄 隙 淫 潰 沙 汰

書こう

練習

① **タイセキ**したものを取り除く。（つみ重なること）
② 赤字を**ホテン**する。（不足をうめおぎなうこと）
③ **キグ**した事態は免れた。（あやぶみ、おそれること）
④ 故郷への**ショウケイ**を描いた作品。（強く心をひかれること、あこがれ）
⑤ アイドル歌手に**アコガ**れる。（強く心をひかれること）
⑥ ニュースを聞いて**センリツ**を覚えた。（おそろしさで体がふるえること）
⑦ **スキマ**風が身にしみる。（物と物とのあいだ、あいた時かん）
⑧ **ミダ**らな行為を慎む。（不品行でだらしのない様子）
⑨ 声が**ツブ**れるほど応援する。（本来の形や働き・機能を失うこと）
⑩ 詳細は追って**サタ**する。（物事の是非・善悪を論じ定めて処置すること）
⑪ 自然**トウタ**の原理が働く。（劣っているものを除き、選別すること）

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 溺 | 氾 | 汎 | 湧 | 沃 | 狙 | 曖 | 旺 | 昧 | 牙 |
| 部首・画数 | 氵 さんずい 13 | 氵 さんずい 5 | 氵 さんずい 6 | 氵 さんずい 12 | 氵 さんずい 7 | 犭 けものへん 8 | 日 ひへん 17 | 日 ひへん 8 | 日 ひへん 9 | 牙 きば 4 |
| 読み | デキ おぼ(れる) ［溺］でも可 | ハン | ハン | ユウ わ(く) | ヨク | ソ ねら(う) | アイ | オウ | マイ | ガ ゲ きば ［牙］でも可 |
| 意味 | 源水中(氵)で弱る(弱)⇩おぼれる | 源水(氵)がひろがりはびこる(㔾)。 | 解風(凡)のように軽く浮く。ひろがる。 | 義液体が出てくる。発生する。㊟沸 | 源若い巫女(みこ)の形。豊かでこえて美しいが原義。 | 義うかがう。ねらう。さる。いぬ。 | 源日に雲がまといつく(愛)⇩かげる・くらい | 源大きく(王)さかんな日⇩さかん | 解日＋未(見えにくい)。ほの暗い。夜明け方の明るさ。 | 源交互にかみ合う歯の形。 |
| 用例 | 溺愛(デキアイ) 溺死(デキシ) | *氾論(ハンロン) 氾濫(ハンラン) | *広汎(コウハン) 汎用(ハンヨウ) | 湧水(ユウスイ) 湧出(ユウシュツ) | 肥沃(ヒヨク) 沃野(ヨクヤ) | 狙撃(ソゲキ) 狙公(ソコウ) | 曖昧(アイマイ) | 旺盛(オウセイ) | *三昧(サンマイ) 愚昧(グマイ) 曖昧(アイマイ) | 歯牙(シガ) 牙城(ガジョウ) |

*氾論…「汎論」とも書く。 *広汎…「広範」とも書く。 *三昧…上に名詞がくると「ザンマイ」となる。

なぞろう 溺 氾 汎 湧 沃 狙 曖 旺 昧 牙

書こう

⑫ 娘を**デキアイ**する。（むやみにかわいがること）
⑬ 川が**ハンラン**する。（河川などのみずがあふれ出て洪ずいになること）
⑭ **コウハン**な知識が必要だ。（範囲がひろいこと）
⑮ 冷たい**ユウスイ**をくむ。（地中からわき出るみず）
⑯ **ヒヨク**な大地の恵みをいただく。（土地がこえていて作物がよく育つこと）
⑰ **ソゲキ**犯の行方を追う。（ねらってうつこと）
⑱ **アイマイ**な言い方に不安を覚える。（ぼんやりしてはっきりしない様子）
⑲ **オウセイ**な食欲を発揮する。（意欲や活力が非常にさかんな様子）
⑳ スポーツ**ザンマイ**の日日を送る。（一つの対象に精神を集中すること）
㉑ 人のうわさなど**シガ**にもかけない。（全く問題にしないこと）

訓読み

⑫ 溺れる
⑮ 湧く
㉑ 牙
⑰ ねらう

漢字検定 練習問題にチャレンジ

1 次の漢字の部首を記せ。

1 頰　2 瘍　3 弥　4 僅　5 脇　6 呂　7 瞭
8 侶　9 瑠　10 璧　11 辣　12 妖　13 窟　14 遜
15 喩　16 闇　17 冶　18 痩　19 弄　20 餅　21 詣
22 麺　23 睦　24 骸　25 冥　26 蜜　27 眉　28 股

◉仮名と真名　パートⅡ

「真名」に対して「仮の文字」という意味で使われているのが、普段から聞き覚えのある「仮名」である。もともと日本には表記文字がなかったため、古代の日本人は中国から伝来した表記文字である漢字を借りて、日本語の音を表す工夫を始めた。つまり、「仮名」とは漢字から出来た「仮の文字」なのである。

解答

⑫おぼ(れる) ⑮わ(く) ㉑きば ⑰狙う

1 1頁 2疒 3弓 4亻 5月 6口 7目 8亻 9王 10玉 11辛 12女 13穴 14辶 15口 16門 17冫 18疒 19廾 20食 21言 22麦 23目 24骨 25冖 26虫 27目 28月

5級 4級 3級 準2級 2級①～⑨ 185字 応用編　1回目 2回目 3回目

# 第54回 2級③

| No. | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 挨 | てへん 扌 10 | アイ | 解扌(手)+矣(つかえてとまる)。撃つ・近づく。 | 挨拶(アイサツ) |
| 2 | 挫 | てへん 扌 10 | ザ | 解扌(手)+坐(人が土にひざをつけて座る)。くじく。 | 頓挫(トンザ)・挫折(ザセツ) |
| 3 | 拶 | てへん 扌 9 | サツ | 解扌(手)+巛(ならぶ)。せまる。近づく。 | 挨拶(アイサツ) |
| 4 | 拭 | てへん 扌 9 | ショク・ふ(く)・ぬぐ(う) | 源扌(手)+式(動かす)⇩きよめる | 払拭(フッショク)・拭う(ぬぐう) |
| 5 | 捉 | てへん 扌 10 | ソク・とら(える) | 源足㊥は束(しばる)に通じ、手でしばる意。 | 捕捉(ホソク)・捉える(とらえる) |
| 6 | 捗 | てへん 扌 10 | チョク [捗]でも可 | 義おさめる。打つ。仕事がはかどる。㊟渉 | 進捗(シンチョク) |
| 7 | 捻 | てへん 扌 11 | ネン | 義ひねる。ねじる。よる。 | 捻出(ネンシュツ)・捻挫(ネンザ) |
| 8 | 拉 | てへん 扌 8 | ラ | 解立は独占する意。わしづかみにして握りつぶす。 | 拉致(ラチ) |
| 9 | 臆 | にくづき 月 17 | オク | 源月(肉)+意(おもう)。感情をつかさどる所⇩むね | 臆面(オクメン)・臆病(オクビョウ) |
| 10 | 股 | にくづき 月 8 | コ・また | 義ひざから上の内またの部分。もも。また。 | 四股(シコ)・股下(またした) |
| 11 | 腫 | にくづき 月 13 | シュ・は(れる)・は(らす) | 源月(肉)+重(ふくれておもいふくろ)⇩はれもの | 腫れる(はれる)・腫瘍(シュヨウ) |
| 12 | 腎 | にく 肉 13 | ジン | 義腎臓。かなめ。たいせつな所。 | 腎臓(ジンゾウ)・副腎(フクジン) |
| 13 | 脊 | にく 肉 10 | セキ | 義背。すじみち。 | 脊柱(セキチュウ)・脊椎(セキツイ) |
| 14 | 腺 | にくづき 月 13 | セン | 源体内(月)で水がたまる(泉)⇩分泌作用を営む器官 | 涙腺(ルイセン)・腺病質(センビョウシツ) |
| 15 | 膳 | にくづき 月 16 | ゼン | 源よい(善)肉(月)⇩よくととのった料理 | 配膳(ハイゼン)・膳部(ゼンブ) |
| 16 | 膝 | にくづき 月 15 | ひざ | 義すねとももとをつなぐ関節部分の前方部。 | 膝元(ひざもと)・膝頭(ひざがしら) |
| 17 | 肘 | にくづき 月 7 | ひじ | 義腕の関節部。 | 肘鉄砲(ひじデッポウ)・肘(ひじ) |
| 18 | 脇 | にくづき 月 10 | わき | 解脅の別体。わき。わきばら。かたわら。 | 脇役(わきヤク)・脇道(わきみち) |
| 19 | 玩 | おうへん 王 8 | ガン | 源玉(王)を手の中でめぐらす(元)⇩もてあそぶ | 玩具(ガング)・愛玩(アイガン) |
| 20 | 璃 | おうへん 王 14 | リ | 解熟語「瑠璃」(宝石)として用いられることが多い。 | 瑠璃(ルリ) |
| 21 | 瑠 | おうへん 王 14 | ル | 解熟語「瑠璃」(宝石)として用いられることが多い。 | 浄瑠璃(ジョウルリ) |

なぞろう　書こう

## 練習

① アイサツ運動を実施する。（社会的な慣習として取り交わす言葉や動作）
② ザセツ感を乗り越える。（計画・事業などが途中でだめになること）
③ 手紙に時候のアイサツを書く。（社会的な慣習として取り交わす言葉や動作）
④ 昨日までの不安がフッショクされる。（すっかり取り除くこと）
⑤ レーダーが飛行物体をホソクした。（つかまえること）
⑥ シンチョク状況を報告する。（すすみはかどること）
⑦ 費用をネンシュツする。（工夫して生みだすこと）
⑧ 何者かにラチされる。（むりに連れ去ること）
⑨ オクメンもなくうそをつく態度にあきれる。（気後れした顔つき、遠慮した様子）
⑩ 横綱のシコはすばらしい。（力士が土俵で足を高く上げ力強く地を踏むこと）
⑪ 急に歯茎がハれる。（身体の一部がふくれあがること）
⑫ ジンゾウはソラマメの種子のような形をしている。（尿の排しゅつをつかさどる内ぞうの一つ）
⑬ セキチュウのゆがみを検査する。（背骨）
⑭ 彼はルイセンが弱い。（なみだが分泌される器官）
⑮ 店員がハイゼンを整える。（食器を机にくばること）
⑯ 親のヒザモトを離れて暮らす。（世話をしてくれる人の身に近いところ）
⑰ しつこい誘いにヒジデッポウを食わせる。（誘いや申しでを強くはねつけること）
⑱ ワキヤクに徹する。（主やくを助け引き立たせるやく）
⑲ 石川啄木(いしかわたくぼく)の歌集『悲しきガング』。（おもちゃ）
⑳ 正倉院の白ルリの器について調べる。（青い宝石、ガラスの古名）
㉑ 人形ジョウルリを鑑賞する。（三味線を伴奏とする語り物音楽）

1回目　2回目　3回目

## 訓読み

❹ 拭く　❹ 拭う　❺ 捉える　❿ 股

**漢字検定　練習問題にチャレンジ**

**1** **熟語の構成**のしかたには次のようなものがある。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの（**岩石**）
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの（**高低**）
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの（**洋画**）
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの（**着席**）
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの（**非常**）

次の熟語は右の**ア〜オ**のどれにあたるか、**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 憂鬱　2 呪術　3 覚醒　4 毀誉　5 嘲笑　6 稽古　7 無稽　8 侮蔑
9 挫折　10 罵声　11 潰滅　12 美貌　13 辛辣　14 氾濫　15 斬首　16 石臼



5級　4級　3級　準2級　2級①〜⑨ 185字　応用編

**◉仮名と真名　パートⅢ**

現在仮名には平仮名と片仮名があるが、それらが成立したのは平安時代になってから。それより前の仮名は、伝来した漢字の音を漢字の意味とは関係なく、日本語の音に当てたものが中心であった(日本語の「島(しま)」→「斯麻」と表記)。それらは万葉仮名と呼ばれ、『万葉集』や『日本書紀』などの書物で確認できる。

**解答**

❹ ふ(く)　❹ ぬぐ(う)　❺ とら(える)　❿ また

**1**
1 ア　2 ウ　3 ア　4 イ
5 ウ　6 エ　7 オ　8 ア
9 ア　10 ウ　11 ア　12 ウ
13 ア　14 ア　15 エ　16 ウ

# 第55回 2級④

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 椅 | 楷 | 柿 | 桁 | 梗 | 柵 | 椎 | 枕 | 瞳 | 睦 | 瞭 |
| 部首・画数 | きへん 木 12 | きへん 木 13 | きへん 木 9 | きへん 木 10 | きへん 木 11 | きへん 木 9 | きへん 木 12 | きへん 木 8 | めへん 目 17 | めへん 目 13 | めへん 目 17 |
| 読み | イ | カイ | かき | けた | コウ | サク | ツイ | まくら | ドウ ひとみ | ボク | リョウ |
| 筆順 | 木 杧 杼 桍 梌 椅 | 木 杙 杫 椙 楷 | 一 十 木 杧 柿 | 一 木 桁 | 一 木 杧 梗 | 一 十 木 机 柵 | 一 木 椎 | 一 十 木 杧 枕 | 目 盵 瞳 | 目 眭 睦 | 目 瞭 |
| 解説 | 解 奇は寄(よる)に通じる⇩よる・背もたれのあるイス | 義 樹木の名(日本ではカイノキ)。楷書。 | 義 果樹の名(カキ)、その実。 | 義 橋げた。そろばんの縦の棒。数の位。 | 源 木＋更(かたい)⇩強い・まっすぐ・大略 | 解 木＋冊(ひもで編んだふだの形)。木や竹のかきね。 | 義 物をたたく道具(つち)。打ちたたく。 | 義 寝るときに頭にしくもの。まくら。 | 源 目の中の童(わらべ)⇩ひとみ | 源 目がすなおな様子(坴)⇩仲がよい | 源 かがり火が明るい様子(尞)⇩あきらか |
| 用例 | 椅子(イス) | 楷書(カイショ) | 柿渋(かきしぶ) 干し柿(ほしがき) | 桁外れ(けたはずれ) 井桁(いげた) | 梗概(コウガイ) 梗塞(コウソク) | 柵(サク) 鉄柵(テッサク) | 椎間板(ツイカンバン) 鉄椎(テッツイ) | *枕詞(まくらことば) 枕木(まくらぎ) | 瞳孔(ドウコウ) 瞳子(ドウシ) | 親睦(シンボク) 和睦(ワボク) | 明瞭(メイリョウ) 瞭然(リョウゼン) |
| なぞろう | 椅 | 楷 | 柿 | 桁 | 梗 | 柵 | 椎 | 枕 | 瞳 | 睦 | 瞭 |
| 書こう | | | | | | | | | | | |

*詞…「ことば」の読みは常用漢字表外。

## 練習 1回目 2回目 3回目

① 肩を並べて**イス**に座る。（腰をかけて座るための家具）
② **カイショ**で丁寧に写す。（点画を崩さず正確にかくかき方）
③ うちわに**カキシブ**を塗る。（しぶがきから取り、防腐・防水剤に用いる液体）
④ **ケタハズ**れの身体能力だ。（並並でないようす）
⑤ **コウガイ**を聞けば十分だ。（小説などのあらすじ）
⑥ 畑を**サク**で囲う。（きなどを立て並べて作った囲い）
⑦ **ツイカンバン**ヘルニアになる。（つい骨とつい骨のあいだにある軟骨）
⑧ 「旅」にかかる**マクラコトバ**。（ある語を導き出すために置く修飾的な語句）
⑨ 医者が**ドウコウ**の動きを確認する。（眼球のこう彩が囲む円形のあな）
⑩ 地域の**シンボク**会を行う。（したしみあい仲良くすること）
⑪ 一語一語を**メイリョウ**に発音する。（はっきりしていてあいまいな点がないこと）

## 訓読み

❾ 瞳　⓭ 袖　⓯ 綻びる　⓳ 蜂

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の**四字熟語**について、問1と問2に答えよ。

問1 次の**四字熟語**の（　）に入る適切な語を後の□の中から選び、**漢字二字**で記せ。

ア 一目（　）
イ 拍手（　）
ウ 甘言（　）
エ 熟読（　）
オ（　）秀麗
カ（　）絶壁
キ（　）不遜
ク（　）変化
ケ（　）玉食





| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 稽 | 袖 | 裾 | 綻 | 緻 | 舷 | 虹 | 蜂 | 蹴 | 踪 |
| 部首・画数 | のぎへん 禾 15 | ころもへん 衤 10 | ころもへん 衤 13 | いとへん 糸 14 | いとへん 糸 16 | ふねへん 舟 11 | むしへん 虫 9 | むしへん 虫 13 | あしへん 足 19 | あしへん 足 15 |
| 読み | ケイ [稽]でも可 | シュウ そで | すそ | タン ほころ(びる) | チ | ゲン | にじ | ホウ はち | シュウ け(る) | ソウ |
| 筆順 | 禾 秒 稽 | 丶 ラ 衤 袖 | ラ 衤 裾 | 糸 綻 | 糸 緻 | ノ 介 舟 舷 | 丨 口 中 虫 虹 | 口 中 虫 蜂 | 足 蹴 | 足 踪 |
| 解説 | 義 考える。敬礼する。止める。止まる。 | 源 衤(衣)＋由(あなが深く通じる)。 | 源 座る(居)ときに地面につく衣(衤)⇩すそ | 義 ぬい目がとける。花のつぼみが開きかかる。 | 源 糸の目がきわめて(致)こまかいが原義。 | 源 弓の弦(玄)が張られたような反りのある船の側面。 | 源 天を貫く(工)へび(虫)⇩虹 | 解 虫の名(ハチ)。尾部に毒針をもつ。 | 源 足＋就(つける)⇩ける・ふむ | 源 道に沿って(宗→従)でもとをたどる⇩あしあと |
| 用例 | 滑稽(コッケイ) 稽古(ケイコ) | 領袖(リョウシュウ) 袖(そで) | 裾(すそ) | 破綻(ハタン) 綻(ほころ)び | 精緻(セイチ) 緻密(チミツ) | 右舷(ウゲン) 舷側(ゲンソク) | 朝虹(あさにじ) 虹(にじ) | 養蜂(ヨウホウ) 蜂起(ホウキ) | 一蹴(イッシュウ) 蹴(け)る | 失踪(シッソウ) 踪跡(ソウセキ) |
| なぞろう | 稽 | 袖 | 裾 | 綻 | 緻 | 舷 | 虹 | 蜂 | 蹴 | 踪 |
| 書こう | | | | | | | | | | |

⑫ **コッケイ**な仕草で笑いを誘う。（ふざけていてばかばかしく、おもしろいこと）
⑬ 各派閥の**リョウシュウ**が会合を開く。（主だった指導者）
⑭ 着物の**スソ**を上げる。（衣服の下端部分）
⑮ 計画の**ハタン**を防ぐ。（ほころびて壊れること）
⑯ 今後の戦略を**チミツ**に考える。（きめが非常に細かいこと）
⑰ **ウゲン**の方向に注意。（船尾から船首を見たときの、船のみぎ側面）
⑱ **アサニジ**は夏の季語だ。（あさに立つにじ）
⑲ **ヨウホウ**が盛んな土地。（はちみつなどを取るためにみつばちを飼うこと）
⑳ サッカーボールを**ケ**る。（足で物を突きやること）
㉑ **シッソウ**事件の記事を読む。（ゆくえがわからなくなること）

◉**仮名と真名　パートⅣ**

平安時代になると、漢字全体の形を崩した文字を平仮名（「安」→「あ」、「以」→「い」）、漢字の一部を略式に用いた文字を片仮名（「宇」→「ウ」、「江」→「エ」）とする方法が整理され始めた。今日の日本語表記は英語のアルファベットなども取り入れ、発展を続けているが、この発展は漢字の伝来なくしてはありえなかったと言えよう。

みつご・ようかい・がんみ
だんがい・びもく・きんい
かっさい・りょうぜん
ごうがん

問2 次の**意味**にあてはまるものを問1の**ア～ケの四字熟語**から**一つ**選び、**記号**で記せ。

1 人の気に入るような口先だけの言葉。（　）
2 ぜいたくな生活をすること。（　）
3 思いあがって相手を見下すさま。（　）
4 ぱっと見てすぐに分かるさま。（　）
5 顔立ちが美しく整っているさま。（　）

**解答**

❾ ひとみ　⓭ そで　⓯ ほころ(びる)
⓳ はち

**1** ア 瞭然　イ 喝采　ウ 蜜語
エ 玩味　オ 眉目　カ 断崖
キ 傲岸　ク 妖怪　ケ 錦衣
1 ウ　2 ケ　3 キ　4 ア
5 オ

## 第56回 2級⑤

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味・成り立ち | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 諧 | ごんべん 言 16 | カイ | 源皆が声をそろえて言う⇩調和する | 俳諧（ハイカイ）・諧調（カイチョウ） |
| 2 | 詣 | ごんべん 言 13 | ケイ・もう（でる） | 義ある場所や段階に行く。到達する。 | 造詣（ゾウケイ）・初詣（はつもうで） |
| 3 | 詮 | ごんべん 言 13 | セン［詮］でも可 | 源説明（言）がそなわっている（全）⇩詳しく説き明かす | 詮索（センサク）・詮議（センギ） |
| 4 | 誰 | ごんべん 言 15 | だれ | 解相手に姓名などをたずねるときの言葉。 | 誰（だれ） |
| 5 | 諦 | ごんべん 言 16 | テイ・あきら（める） | 源言葉でしめくくる（帝）⇩明らか・あきらめる | 諦観（テイカン）・諦念（テイネン） |
| 6 | 謎 | ごんべん 言 17 | なぞ［謎］でも可 | 源人を迷わす言葉。 | 字謎（ジなぞ）・謎（なぞ） |
| 7 | 訃 | ごんべん 言 9 | フ | 源トは赴（急ぐ）に通じ、死亡を急いで伝える（言）意。 | 訃報（フホウ）・訃（フ） |
| 8 | 貌 | むじなへん 豸 14 | ボウ | 義顔の様子。かたち。 | 容貌（ヨウボウ）・変貌（ヘンボウ） |
| 9 | 貼 | かいへん 貝 12 | チョウ・は（る） | 義はりつく。担保に入れる。おぎなう。 | 貼付（チョウフ）*・貼る（はる） |
| 10 | 賭 | かいへん 貝 16 | ト・か（ける）［賭］でも可 | 源金品（貝）を集め（者）つぎ込み、かけをする。 | 賭博（トバク）・賭ける（かける） |
| 11 | 賂 | かいへん 貝 13 | ロ | 源貝（財宝）＋各（いたる）⇩金品をおくる | 賄賂（ワイロ） |
| 12 | 醒 | とりへん 酉 16 | セイ | 源酉（酒）＋星（すみきった）⇩さめる | 覚醒（カクセイ） |
| 13 | 酎 | とりへん 酉 10 | チュウ | 義手間を重ねてつくった、よい酒。 | 焼酎（ショウチュウ） |
| 14 | 釜 | かね 金 10 | かま | 義煮炊きする器。㊟鎌 | 釜飯（かまめし）・茶釜（チャがま） |
| 15 | 鎌 | かねへん 金 18 | かま | 義穀物を収穫したり草を刈ったりする農具。㊟釜 | 鎌首（かまくび）・鎖鎌（くさりがま） |
| 16 | 錦 | かねへん 金 16 | キン・にしき | 解金（美しい金属）＋帛（絹織物）。美しい織物。 | 錦絵（にしきエ）・錦上（キンジョウ） |
| 17 | 鍵 | かねへん 金 17 | ケン・かぎ | 義かぎ。てがかり。楽器の鍵盤。 | 合鍵（あいかぎ）・鍵盤（ケンバン） |
| 18 | 錮 | かねへん 金 16 | コ | 源金属で固くふさぐ⇩閉じ込める・長い病気 | 禁錮（キンコ）・錮疾（コシツ） |
| 19 | 鍋 | かねへん 金 17 | なべ | 義炊事道具のなべ・釜の類。 | 鍋物（なべもの）・鍋底（なべぞこ） |
| 20 | 餌 | しょくへん 飠 15 | ジ・えさ・え［餌］でも可 | 源耳たぶのように柔らかい食品⇩だんご | 餌食（えジキ）・餌（えさ） |
| 21 | 餅 | しょくへん 飠 15 | ヘイ・もち［餅］でも可 | 源小麦粉をこねあわせ（幷）て作る食品⇩もち | 画餅（ガベイ）・鏡餅（かがみもち） |

*貼付…「テンプ」とも読む。

なぞろう　諧 詣 詮 誰 諦 謎 訃 貌 貼 賭 賂 醒 酎 釜 鎌 錦 鍵 錮 鍋 餌 餅

書こう

### 練習

①趣味として**ハイカイ**を楽しむ。（発句・連句の総称）［　］

②彼は免疫学に**ゾウケイ**が深い。（広く深い知識を持っていること）［　］

③人のことをあれこれ**センサク**する。（詳細に調べること）［　］

④「あの人は**ダレ**か」と尋ねられた。（素性のわからない人・不特定の人をさす言葉）［　］

⑤事の本質を**テイカン**する。（はっきりと見極めること）［　］

⑥新聞の**ジナゾ**を解く。（漢じの形などを利用したパズル）［　］

⑦知人の**フホウ**を受け取る。（死亡の知らせ）［　］

⑧端正な**ヨウボウ**の持ち主。（顔かたち）［　］

⑨必要な書類を**チョウフ**する。（はりつけること）［　］

⑩違法**トバク**を厳しく取り締まる。（金品をかけて、勝負を争うこと）［　］

⑪**ワイロ**は受け取らない。（不正な目的で贈る金品、まいない）［　］

⑫眠っていても**カクセイ**状態になることがある。（目ざめること）［　］

⑬**ショウチュウ**を販売している店。（芋などから造った蒸留酒の一種）［　］

⑭このお店の**カマメシ**弁当は有名だ。（味つけをして小さいかまで炊き込んだごはん）［　］

⑮蛇が**カマクビ**をもたげる。（かまの形のように曲げたくび）［　］

⑯江戸時代の鈴木春信（すずきはるのぶ）に始まる**ニシキエ**。（多色刷りのうきよえ）［　］

⑰むやみに**アイカギ**を作るべきではない。（オリジナルではなく、後から型をとったかぎ）［　］

⑱**キンコ**刑に相当する罪だ。（一室に閉じ込めて外出をきんじること）［　］

⑲**ナベモノ**料理がおいしい季節になった。（なべに入った状態で供される料理）［　］

⑳シマウマがライオンの**エジキ**となった。（他の動ぶつのえさとしてくわれる生きもの）［　］

㉑壮大なプランが**ガベイ**に帰す。（えに描いたもち、実際の役に立たないもの）［　］

### 訓読み

❾貼る［　］　㉑餅［　］

❿賭ける［　］　❷もうでる［　］

⑳まき餌［　］　❺あきらめる［　］

### 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の1～7の**対義語**、8～14の**類義語**を後の□の中から一度ずつ選び、**漢字**で記せ。

**対義語**

1 尊敬―（　）

2 散漫―（　）

3 暴露―（　）

4 催眠―（　）

5 豪胆―（　）

6 直喩―（　）

7 清（せい）*楚（そ）―（　）

*「楚」は常用漢字外。

**類義語**

8 清新―（　）

9 憂愁―（　）

10 捕獲―（　）

11 洪水―（　）

12 最愛―（　）

13 美人―（　）

14 冷笑―（　）

ほそく・ちみつ・かくせい
いんゆ・びぼう・けいべつ
ゆううつ・そうかい
ちょうしょう・できあい
おくびょう・ようえん
いんぺい・はんらん

### ◉仮名と真名　パートV

平仮名は平安時代、和歌や手紙を書くのに女性が用いたので「女手（おんなで）」とも呼ばれた。片仮名の「片」は不完全の意で、仏典や漢籍を読むときに返り点などと一緒に用いられていた。

平仮名が次第に美的に洗練されてゆくのに対し、片仮名が書道などの対象にならなかったのは、この記号性によるところが大きい。

### 解答

❾は（る）　❿か（ける）　⑳（まき）え　㉑もち　❷詣でる　❺諦める

**1**
1 軽蔑　2 緻密
3 隠蔽（蔽）　4 覚醒
5 臆病　6 隠喩（喩）
7 妖艶　8 爽快
9 憂鬱　10 捕捉
11 氾濫　12 溺（溺）愛
13 美貌　14 嘲（嘲）笑

5級　4級　3級　準2級　2級①～⑨ 185字　1回目　2回目　3回目　応用編

# 第57回 2級⑥

## なぞろう・書こう

| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 駒 | うまへん 馬 15 | こま | 義(若い元気な)馬。若者。将棋のこま。 | 駒(こま) |
| 2 | 骸 | ほねへん 骨 16 | ガイ | 源骨＋亥(かたい)⇩すねの骨・なきがら | 形骸(ケイガイ) 遺骸(イガイ) |
| 3 | 刹 | りっとう 刂 8 | セツ サツ | 義僧が建てる旗の柱。寺。塔。 | 古刹(コサツ) 刹那(セツナ) |
| 4 | 剝 | りっとう 刂 10 | [剥]でも可 ハク は(がす・ぐ・がれる・げる) | 源刀(刂)で獣の皮をはぐ(彔→暴)が原義。 | 剝奪(ハクダツ) 剝製(ハクセイ) |
| 5 | 勃 | ちから 力 9 | ボツ | 源力が急にさかんになる(孛)が原義。 | 勃発(ボッパツ) 勃興(ボッコウ) |
| 6 | 戚 | ほこづくり 戈 11 | セキ | 義おの。かなしむ。身内。 | 外戚(ガイセキ) 親戚(シンセキ) |
| 7 | 戴 | ほこづくり 戈 17 | タイ | 義頭の上にのせる。ありがたく受ける。ふえる。 | 戴冠(タイカン) 戴天(タイテン) |
| 8 | 那 | おおざと 阝 7 | ナ | 解もとは地名。疑問「なんぞ」の意にも用いられる。 | 那覇(ナハ) |
| 9 | 斬 | おのづくり 斤 11 | ザン き(る) | 解車をおの(斤)できるが原義。刀できる。 | 斬新(ザンシン) 斬る(きる) |
| 10 | 毀 | るまた 殳 13 | キ | 義(土器などが)欠ける。こわれる。こわす。 | 毀損(キソン) 破*毀(ハキ) |
| 11 | 韓 | なめしがわ 韋 18 | カン | 義井戸の垣。井桁。 | 韓国(カンコク) 三韓(サンカン) |

＊破毀…「破棄」とも書く。

## 練習

① 将棋の**コマ**を並べる。(将棋で使う木片)［　　］
② **ケイガイ**化した制度を見直す。(かたちだけが残って実質的な意味を失ったもの)［　　］
③ 京都の**コサツ**を訪ねる。(由緒あるふるい寺)［　　］
④ 権利を**ハクダツ**する。(無理にうばうこと)［　　］
⑤ 政治に関する論争が**ボッパツ**した。(事件などが急に起こること)［　　］
⑥ 彼は**ガイセキ**に当たる。(母親方の親類)［　　］
⑦ **タイカン**式を執り行う。(即位後初めて王かんをつける儀式)［　　］
⑧ **ナハ**空港に降り立つ。(沖縄県の県庁所在地)［　　］
⑨ **ザンシン**なアイディアだ。(きわだってあたらしく珍しいこと)［　　］
⑩ それは名誉**キソン**に当たる。(こわすこと、傷つけること、そこなうこと)［　　］
⑪ **カンコク**の名所を訪ねる。(大かん民こくの略称)［　　］

## 訓読み

❹ 剝がす［　　］
❾ 斬る［　　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナを漢字に直せ。

1 魅力的な**ヨウボウ**の俳優。
2 待遇改善を**ヨウボウ**する。
3 詳しくは**ベッシ**を参照。
4 性差による**ベッシ**をなくす。
5 **セイチ**な技法で描かれた絵。
6 **セイチ**を巡礼する旅。
7 背中に**ハンテン**がある虫。
8 鏡では左右が**ハンテン**する。

1(　　) 2(　　) 3(　　) 4(　　) 5(　　) 6(　　) 7(　　) 8(　　)





| 番号 | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 意味 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 顎 | おおがい 頁 18 | ガク あご | 義あご。顔面の下端のとがった部分。 | 顎(あご) |
| 13 | 頃 | おおがい 頁 11 | ころ | 義ころ。このごろ。しばらく。 | 日頃(ひごろ) 頃合い(ころあい) |
| 14 | 須 | おおがい 頁 12 | ス | 解ひげの生えた顔の形。待つ・もちいるの意も表す。 | 必須(ヒッス) |
| 15 | 頓 | おおがい 頁 13 | トン | 義頭を下げて地につける。つまずく。とみに。 | 頓着(*トンチャク) 頓知(トンチ) |
| 16 | 頰 | おおがい 頁 16 | [頬]でも可 ほお | 源顔(頁)をはさん(夾)だ部分⇩ほお | 頰擦り(ほおずり) 頰張る(ほおばる) |
| 17 | 冥 | わかんむり 冖 10 | メイ ミョウ | 源ある場所(日)を両手(六→廾)でおおう(冖)⇩くらい | 冥福(メイフク) 冥利(ミョウリ) |
| 18 | 宛 | うかんむり 宀 8 | あ(てる) | 源屋内(宀)で体を曲げて休む(夗)⇩あたかも | 宛てる(あてる) |
| 19 | 彙 | けいがしら ⺕ 13 | イ | 源毛が密生している動物が原義⇩あつめる・あつまる | 語彙(ゴイ) |
| 20 | 窟 | あなかんむり 穴 13 | クツ | 源かがん(屈)で入る穴。 | 洞窟(ドウクツ) 巣窟(ソウクツ) |

＊頓着…「トンジャク」とも読む。

⑫ 人を**アゴ**で使う。(口の上下の、かむこと・はっ声を助ける器官)［　　］
⑬ **ヒゴロ**の努力が認められる。(平生、普段)［　　］
⑭ 応募に**ヒッス**の条件を確認する。(なくてはならないこと)［　　］
⑮ 他人の気持ちに無**トンチャク**な人が多い。(気にかけること)［　　］
⑯ 赤ん坊に**ホオズ**りする。(自分のほおを相手のほおにすりつける)［　　］
⑰ **メイフク**を祈る。(死後の幸ふく)［　　］
⑱ 友人**ア**てに手紙を書く。(差し出し先を指定すること)［　　］
⑲ 彼は豊富な**ゴイ**の持ち主だ。(特定の範囲をもつ単ごの集まり)［　　］
⑳ 鍾乳石(しょうにゅうせき)が見事な**ドウクツ**。(がけや岩石などに生じたほらあな)［　　］

**◉万葉仮名に挑戦!**

『万葉集』や『日本書紀』で使われている「万葉仮名」は漢字の音を利用して日本語を書き表したものである。そのいくつかを難易度別に挙げてみたので読んでみよう。

初級編…奈都可視(なつかし)・名草目(なぐさめ)
中級編…河波(川(かは))・苦流思(くるし)・孤悲(恋(こひ))
上級編…蜂音(ぶ)・向南(北)・二八十一(二・9(く)×9(く)=憎(にく)く)

9 衝撃発言に**センリツ**が走る。
10 美しい**センリツ**を奏でる。
11 花の**ミツ**を吸う虫。
12 職員の連絡を**ミツ**にする。
13 **カマ**で草を刈る。
14 **カマ**でご飯を炊く。
15 豆を**イ**る。
16 矢を**イ**る。
17 金品を**カ**けて争うのは禁止。
18 川に橋を**カ**ける。

9(　　) 10(　　) 11(　　) 12(　　) 13(　　) 14(　　) 15(　　) 16(　　) 17(　　) 18(　　)

## 解答

❹は(がす) ❾き(る)

**1** 1 容貌 2 要望 3 別紙 4 蔑視 5 精緻 6 聖地 7 斑点 8 反転 9 戦慄 10 旋律 11 蜜 12 密 13 鎌 14 釜 15 煎(煎) 16 射 17 賭(賭) 18 架

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 箋 | 箸 | 籠 | 萎 | 苛 | 蓋 | 葛 | 芯 | 藤 | 蔽 | 蔑 |
| 部首・画数 | ⺮ たけかんむり 14 | ⺮ たけかんむり 15 | ⺮ たけかんむり 22 | 艹 くさかんむり 11 | 艹 くさかんむり 8 | 艹 くさかんむり 13 | 艹 くさかんむり 12 | 艹 くさかんむり 7 | 艹 くさかんむり 18 | 艹 くさかんむり 15 | 艹 くさかんむり 14 |
| 読み | セン ［箋］でも可 | はし ［箸］でも可 | ロウ かご こ(もる) | イ な(える) | カ | ガイ ふた | カツ くず ［葛］でも可 | シン | トウ ふじ | ヘイ ［蔽］でも可 | ベツ さげす(む) |
| 筆順 | ⺮ 笺 笺 箋 箋 箋 | ⺮ 笋 笋 笋 箸 箸 | ⺮ 箹 箹 箹 籠 籠 | 艹 苯 苯 苯 萎 萎 | 一 艹 芢 芢 苛 苛 | 艹 芏 芏 萶 蕎 蓋 | 艹 苩 苩 葛 葛 葛 | 一 艹 艹 芯 芯 芯 | 艹 芦 芦 藤 藤 藤 | 艹 芇 芇 蔽 蔽 蔽 | 艹 芦 芦 蔑 蔑 蔑 |
| 解説 | 源薄く平らな(戔)竹⇩はりふだ・てがみ | 源食物を集め採る(者)竹のはしが原義。 | 源土などをつめこむ(龍)竹かご⇩こめる・こもる | 源萎はなよやかな様子⇩しおれる・なえる | 解もとは小さな草。可(音)が責める意の呵(カ)に通じる。 | 源草を編んで作ったおおい⇩おおう・かさ・ふた | 義くず。マメ科の多年生のつる草。 | 源身体の中心にある心⇩物事の中心 | 源艹(草)+滕(上によじのぼる)⇩ふじ・かずら | 源草(艹)が生えひろがって(敝)おおい隠すが原義。 | 義目にも留めない。さげすむ。あなどる。 |
| 用例 | 便箋(ビンセン) 付箋(フセン) | 菜箸(サイばし) 箸箱(はしばこ) | 灯籠(トウロウ) 参籠(サンロウ) | 萎縮(イシュク) 萎える(なえる) | 苛酷(カコク)* 苛烈(カレツ) | 蓋然性(ガイゼンセイ) 蓋(ふた) | 葛粉(くずこ) 葛藤(カットウ) | 芯(シン) | 藤棚(ふじだな) 藤(ふじ) | 隠蔽(インペイ) 遮蔽(シャヘイ) | 軽蔑(ケイベツ) 蔑視(ベッシ) |
| なぞろう | 箋 | 箸 | 籠 | 萎 | 苛 | 蓋 | 葛 | 芯 | 藤 | 蔽 | 蔑 |
| 書こう | | | | | | | | | | | |

＊苛酷…「過酷」とも書く。

## 練習

①**ビンセン**に気持ちをつづる。（手紙を書くために使用する紙）［　］［　］

②**サイバシ**で盛り付ける。（料理を作るときや取り分けるときに用いるはし）［　］［　］

③盆の夜の**トウロウ**流し。（中に明かりを入れてともす器具）［　］［　］

④試合を前に緊張して**イシュク**する。（ちぢこまって元気がないこと）［　］［　］

⑤**カコク**な状況に立ち向かう。（大変きびしく、むごい様子）［　］［　］

⑥その推測は**ガイゼンセイ**に乏しい。（ある物事が実際に起こるかどうかの可能せい）［　］［　］

⑦**クズコ**を使った料理をふるまう。（クズの根からとった、でんぷん）［　］［　］

⑧鉛筆の**シン**が折れる。（ものの中心にある固い部分）［　］［　］

⑨庭に**フジダナ**を作る。（ふじの花が垂れ下がっているたな）［　］［　］

⑩**インペイ**された真実を追う。（おおいかくすこと）［　］［　］

⑪それは**ケイベツ**に値する発言だ。（劣ったものと見なしてさげすむこと）［　］［　］

## 訓読み

❸籠［　］　❸籠もる［　］　❻蓋［　］　❼葛 高［　］　⓫蔑む［　］　⓭罵る［　］

⓮虎［　］　⓯弄ぶ［　］　⓰煎る［　］　⓳痕［　］　❹なえる［　］　⓴やせる［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の各文にまちがって使われている**同じ読みの漢字**が**一字**ある。**上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。**

1 その道場では塾生の誰もが師匠への異敬の念を持っていた。（　↓　）

2 祖父の晩酌は必ず日本酒だったが、父は焼鋳がお気に入りである。（　↓　）

3 自動小銃に弾丸を装展する兵士の様子がテレビに映し出された。（　↓　）

4 好奇心が欧盛な子供は、何を見ても興味を示して矢継ぎ早に質問する。（　↓　）

5 析椎の湾曲を矯正する治療が功を奏し、痛みがすっかり消え去った。（　↓　）

6 生涯の伴虜を選ぶに当たって重要視される項目は、社会情勢に伴って大きく変化する。（　↓　）





| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 藍 | 罵 | 虎 | 弄 | 煎 | 怨 | 恣 | 痕 | 痩 |
| 部首・画数 | 艹 くさかんむり 18 | 罒 あみがしら 15 | 虍 とらかんむり 8 | 廾 にじゅうあし 7 | 灬 れんが 13 | 心 こころ 9 | 心 こころ 10 | 疒 やまいだれ 11 | 疒 やまいだれ 12 |
| 読み | ラン あい | バ ののし(る) | コ とら | ロウ もてあそ(ぶ) | セン い(る) ［煎］でも可 | エン オン | シ | コン あと | ソウ や(せる) |
| 筆順 | 艹 芦 芦 蔵 蔵 藍 藍 藍 | 罒 罒 罒 罒 罵 罵 罵 罵 罵 | ' ⺊ 广 卢 虍 虍 虎 虎 | 一 二 千 王 王 王 弄 | 丷 䒑 䒑 前 前 前 前 前 煎 | ノ ク 夕 夗 夗 夗 怨 怨 怨 | 冫 冫 冫 次 次 次 恣 恣 恣 | 亠 广 广 疒 疒 疒 疔 疔 痕 | 亠 广 广 疒 疒 疒 痩 痩 痩 |
| 解説 | 解タデ科の一年草。青色の染料を作るのに使う。 | 源網(罒)をかぶせる(馬↓幕)ように悪口を言う。 | 源虎のすがたの形。 | 源両手(廾)で玉(王)を持って遊ぶ⇩もてあそぶ | 義煮詰める。せんじる。溶かして練る。 | 源心が曲がる(夗)⇩不満に思う・うらむ | 源心+次(ぞんざいに休む)⇩ほしいまま・わがまま | 源疒(病気)+艮(とどまり動かない・残る)⇩あと | 源病気(疒)で細くなる・やせて肉がおちる(叟)。 |
| 用例 | 藍染め(あいぞめ) 出藍(シュツラン) | 罵倒(バトウ) 罵声(バセイ) | 竜虎(リュウコ) 虎の毛(とらのけ) | 翻弄(ホンロウ) 愚弄(グロウ) | 煎茶(センチャ) 煎薬(センヤク) | 私怨(シエン) 怨念(オンネン) | 恣意(シイ) 放恣(ホウシ) | 痕跡(コンセキ) 傷痕(ショウコン)* | 痩身(ソウシン) 痩硬(ソウコウ) |
| なぞろう | 藍 | 罵 | 虎 | 弄 | 煎 | 怨 | 恣 | 痕 | 痩 |
| 書こう | | | | | | | | | |

＊傷痕…「きずあと」とも読む。

⑫母には**アイゾ**めの浴衣(ゆかた)がよく似合う。（あいで糸や布をそめること）［　］［　］

⑬けんかになり、相手を**バトウ**する。（激しくののしること）［　］［　］

⑭**リュウコ**相打つ決戦。（りゅうととら、優劣がつけられない英雄）［　］［　］

⑮荒波に**ホンロウ**される船。（思うままにもてあそぶこと）［　］［　］

⑯母が入れた**センチャ**を飲む。（お湯でせんじ出したおちゃ）［　］［　］

⑰**シエン**にとらわれてはいけない。（個人的なうらみ）［　］［　］

⑱選択が**シイ**的だ。（自分だけの勝手な考え）［　］［　］

⑲**コンセキ**をとどめる。（以前に何かあったことを表すもの）［　］［　］

⑳**ソウシン**美容の広告が多い。（やせている体）［　］［　］

◉**痩せた体は**

「やまいだれ(疒)」がつく漢字には、「癒」「療」など、病気が治る意味合いをもつものもあるが、「症」「痛」「疫」のように病気になることと関係が深いものがやはり多い。そこで気になるのが「痩」。スマートに「痩」せた体は病的と昔の人の目には映ったようだ。

## 解答

❸かご ❸こ(もる) ❻ふた ❼くず ⓫さげす(む) ⓭ののし(る) ⓮とら ⓯もてあそ(ぶ) ⓰い(る) ⓳あと ❹萎える ⓴痩せる

**1** 1 異→畏　2 鋳→酎　3 展→塡(填)　4 欧→旺　5 析→脊　6 虜→侶

# 第59回 2級⑧

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 瘍 | 尻 | 遡 | 遜 | 勾 | 匂 | 闇 | 串 | 乞 | 丼 | 呂 |
| 部首・画数 | やまいだれ 疒 14 | かばね 尸 5 | しんにょう ⻌ 14 | しんにょう ⻌ 14 | つつみがまえ 勹 4 | つつみがまえ 勹 4 | もんがまえ 門 17 | たてぼう 丨 7 | おつ 乙 3 | てん 丶 5 | くち 口 7 |
| 読み | ヨウ | しり | ソ さかのぼ(る) [遡]でも可 | ソン [遜]でも可 | コウ | にお(う) | やみ | くし | こ(う) | どんぶり どん | ロ |
| 解説 | 源瘍はあがる意⇩皮膚がはれあがる・できもの | 源からだ(尸)の曲がった端(九)⇩しり・そこ | 源水・時間の流れにさかのぼう(朔)。 | 源孫(音)がのがれる意の遁(トン)に通じる⇩ゆずる | 義曲がる。曲げる。ひっかける。とらえる。 | 義かおり。つや。おもむき。 | 源門をとじて暗くする(音→暗)。 | 源二つの物を縦に貫いた形。 | 義こう。こいもとめる。 | 源井戸に物を投げた「どぶん」という音から。 | 解背骨が連なる形。「風呂」の表記の由来は諸説ある。 |
| 用例 | 腫瘍(シュヨウ) 潰瘍(カイヨウ) | 尻(しり) | 遡源(ソゲン) 遡行(ソコウ) | 遜色(ソンショク) 謙遜(ケンソン) | 勾配(コウバイ) 勾引(コウイン) | 匂い袋(においぶくろ) 匂桜(においざくら) | 暗闇(くらやみ) 闇夜(やみよ) | 串柿(くしがき) 竹串(たけぐし) | 雨乞い(あまごい) 乞う(こう) | 丼飯(どんぶりめし) 丼勘定(どんぶりカンジョウ) | 風呂(フロ) |

| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 漢字 | 塞 | 嵐 | 崖 | 巾 | 拳 | 摯 | 斑 | 曽 | 旦 |
| 部首・画数 | つち 土 13 | やま 山 12 | やま 山 11 | はば 巾 3 | て 手 10 | て 手 15 | ぶん 文 12 | いわく 曰 11 | ひ 日 5 |
| 読み | サイ・ソク ふさ(ぐ) ふさ(がる) | あらし | ガイ がけ | キン | ケン こぶし | シ | ハン | ソウ ゾ | タン ダン |
| 解説 | 源土ですきまを詰めるが原義⇩とりで | 源山の風⇩山中のもや・つむじ風・暴風雨 | 解厓はがけの意。山または高地の切り立った所。 | 解身におびるきれ。「幅」の略体としても用いられる。 | 源指を巻きこみ、握りこぶしをつくるが原義。 | 解手+執(とる)。しっかり持つ。行き届く。 | 源模様に分かれ目があるが原義⇩まだら | 源重ねたこしきから蒸気が出る形⇩重なる・すなわち | 源太陽(日)+地平線(一)⇩早朝・夜明け・あける |
| 用例 | 塞ぐ(ふさぐ) 城塞(ジョウサイ) 塞(サイ) | 花嵐(はなあらし) 山嵐(やまあらし) | 崖崩れ(がけくずれ) 断崖(ダンガイ) | 頭巾(ズキン) 巾着(キンチャク) | 空拳(クウケン) 拳(こぶし) | 真摯(シンシ) | 斑点(ハンテン) 斑紋(ハンモン) | 曽祖(ソウソ) 曽遊(ソウユウ) | 元旦(ガンタン) 旦明(タンメイ) |

なぞろう 瘍 尻 遡 遜 勾 匂 闇 串 乞 丼 呂 塞 嵐 崖 巾 拳 摯 斑 曽 旦

書こう

## 練習

① シュヨウの摘出手術が成功する。（体の一部の組織や細胞が異常に増殖したもの）［　］［　］［　］
② シリから数えて三番目に名前があった。（うしろのはし）［　］［　］［　］
③ 問題てんをソゲンする。（みなもとを深く調べ、突き詰めること）［　］［　］［　］
④ プロと比べてもソンショクのない出来ばえだ。（他と比較して見劣りする様子）［　］［　］［　］
⑤ 急コウバイの坂が続く。（傾きの度合い、斜面）［　］［　］［　］
⑥ ニオイブクロを持ち歩く。（香料を入れたふくろ）［　］［　］［　］
⑦ クラヤミの中をゆっくり進む。（まったく光がないこと）［　］［　］［　］
⑧ クシガキの濃厚な甘みを味わう。（渋がきをくしに刺して干したもの）［　］［　］［　］
⑨ 古式によるアマゴいの儀式を再現する。（日照り続きのとき、神仏にあめを願うこと）［　］［　］［　］
⑩ ドンブリメシをかきこむ。（どんぶりに盛った、めし）［　］［　］［　］
⑪ フロが沸く。（入浴のための場所）［　］［　］［　］
⑫ 騒音に耳をフサぐ。（穴などに蓋をして通じなくすること）［　］［　］［　］
⑬ 昨夜はハナアラシが吹いた。（桜のはなが咲く頃に吹く強いかぜのこと）［　］［　］［　］
⑭ ガケクズれのため、通行止めが続く。（大あめなどによって、がけがくずれおちること）［　］［　］［　］
⑮ 防災ズキンを用意する。（あたまにかぶる、ふくろの形をした布）［　］［　］［　］
⑯ 徒手クウケンで立ち向かう。（手に何ももたず他人の助けも借りないこと）［　］［　］［　］
⑰ シンシな態度で臨む。（まじめでひたむきな様子）［　］［　］［　］
⑱ 木の葉についた赤いハンテンを調べる。（まだらに散らばった、てん）［　］［　］［　］
⑲ 私には百歳になるソウソがいる。（そうそふ）［　］［　］［　］
⑳ ガンタンに年賀状が届く。（一月一日の朝、一月一日）［　］［　］［　］

## 訓読み

❽ 串［　］　❿ 天井［　］　⓰ 拳［　］　❸ さかのぼる［　］

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナを漢字一字と送りがな（ひらがな）に直せ。

1 ミダラな行為を戒める。（　）
2 ほんのワズカな差がある。（　）
3 伊勢神宮にモウデル。（　）
4 歌手にアコガレル。（　）
5 彼女の才能をウラヤム。（　）
6 ヤセルために努力する。（　）
7 はり紙を壁からハガス。（　）
8 オボレル者はわらをもつかむ。（　）
9 新米がツヤヤカに炊きあがる。（　）
10 新刊をムサボルように読む。（　）
11 人をサゲスム発言に批判が集まる。（　）
12 サワヤカな朝を迎える。（　）
13 ネタミの気持ちが生じる。（　）
14 修行のため、寺にコモル。（　）

◉**長寿の祝い**

長寿を表す言葉には次のようなものがある。

古希(こき)（古稀）…七十歳。杜甫(とほ)が「人生七十古来稀(こらいまれ)なり」と詠んだことから。

喜寿(きじゅ)…七十七歳。「喜」の草書体が七十七に見えることから。

傘寿(さんじゅ)…八十歳。傘の俗字「仐」が八十に見えることから。

米寿(べいじゅ)…八十八歳。「八十八」を組み合わせて「米」になることから。

卒寿(そつじゅ)…九十歳。「卒」の俗字「卆」が九十に見えることから。

白寿(はくじゅ)…九十九歳。「百」から「一」を取ると「白」になることから。

## 解答

❽ くし　❿ てんどん　⓰ こぶし　❸ 遡（遡）る

**1** 1 淫（淫）ら　2 僅（僅）か　3 詣でる　4 憧れる　5 羨む　6 痩せる　7 剥（剝）がす　8 溺（溺）れる　9 艶やか　10 貪る　11 蔑む　12 爽やか　13 妬み　14 籠もる

# 第60回 2級⑨

| | 漢字 | 部首・画数 | 読み | 解説 | 用例 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 采 | のごめ 采 8 | サイ | 解 木の実を手(爫)でとる。音が彩(いろどり)に通じる。 | 喝采(カッサイ)　采配(サイハイ) |
| 2 | 爪 | つめ 爪 4 | つめ　つま | 源 手をかぶせて、下にある物をつまむ形。 | 爪(つめ)印(イン) |
| 3 | 爽 | だい 大 11 | ソウ　さわ(やか) | 義 あきらか。さわやか。ほろびる。 | 爽快(ソウカイ)　爽然(ソウゼン) |
| 4 | 璧 | たま 玉 18 | ヘキ | 解 平らな円形で中央に穴がある玉。立派なこと。注 壁 | 完璧(カンペキ)　双璧(ソウヘキ) |
| 5 | 瓦 | かわら 瓦 5 | ガ　かわら | 解 焼いた土器の形。焼き終えた土器の総称。 | 瓦解(ガカイ)　瓦版(かわらバン) |
| 6 | 畏 | た 田 9 | イ　おそ(れる) | 源 怪しいものがむちを持つ形⇩おそれる | 畏怖(イフ)　畏縮(イシュク) |
| 7 | 畿 | た 田 15 | キ | 源 近く(幾)の領地(田)⇩みやこ・天子に属する地 | 近畿(キンキ)　畿内(キナイ) |
| 8 | 眉 | め 目 9 | ビ　ミ　まゆ | 解 目の上にある毛の形。まゆ毛。 | 白眉(ハクビ)　眉間(ミケン) |
| 9 | 羞 | ひつじ 羊 11 | シュウ | 源 羊の肉のように身が縮む(丑)⇩はじる | 羞恥(シュウチ)　含羞(ガンシュウ) |
| 10 | 羨 | ひつじ 羊 13 | セン　うらや(む)　うらや(ましい) | 源 ごちそう(羊)を見てよだれ(次)を出すが原義。 | 羨望(センボウ)　羨慕(センボ) |
| 11 | 臼 | うす 臼 6 | キュウ　うす | 解 うすの形。物をつく道具の総称。 | 臼(うす)石(いし)　臼歯(キュウシ) |
| 12 | 艶 | いろ 色 19 | エン　つや | 解 色つやが豊かの意。姿が美しくすらりとしている。 | 艶麗(エンレイ)　艶(つや)やか |
| 13 | 蜜 | むし 虫 14 | ミツ | 源 虫が巣に封じこめた(宓)もの⇩はちみつ | 蜜月(ミツゲツ)　水蜜桃(スイミツトウ) |
| 14 | 貪 | かい 貝 11 | ドン　むさぼ(る) | 源 金品(貝)を含む(今→含)が原義。 | 貪欲(ドンヨク)　貪(むさぼ)る |
| 15 | 辣 | からい 辛 14 | ラツ | 源 はり(辛)で刺す(朿→刺)⇩からい | 辛辣(シンラツ)　辣腕(ラツワン) |
| 16 | 麺 | ばくにょう 麦 16 | メン | 義 麦粉。麦粉から製造した食品。 | 麺類(メンルイ)　乾麺(カンメン) |
| 17 | 鬱 | ちょう 鬯 29 | ウツ | 源 たちこめる草の香が原義⇩しげる・蒸す・ふさがる | 憂鬱(ユウウツ)　沈鬱(チンウツ) |
| 18 | 鶴 | とり 鳥 21 | つる | 解 声や飛び方が高く(隺)、天にまで至る鳥。つる。 | 鶴(つる) |
| 19 | 麓 | き 木 19 | ロク　ふもと | 源 山すそに連なる(鹿→絡)林⇩ふもと | 山麓(サンロク)　麓(ふもと) |
| 20 | 亀 | かめ 亀 11 | キ　かめ | 解 かめの形。カメ目のは虫類の総称。 | 亀裂(キレツ)　鶴亀算(つるかめザン) |

なぞろう　采 爪 爽 璧 瓦 畏 畿 眉 羞 羨 臼 艶 蜜 貪 辣 麺 鬱 鶴 麓 亀

書こう

## 練習

① 役者が**カッサイ**を浴びる。（歓声や拍手でほめそやすこと）〔　　〕

② 書面に**ツメイン**を押す。（実いんの代わりに指にいん肉をつけて押すこと）〔　　〕

③ 朝の**ソウカイ**な気分を味わう。（さわやかで気持ちがよいこと）〔　　〕

④ **カンペキ**な仕上がりに満足する。（傷のない宝玉の意から、欠点が全くないこと）〔　　〕

⑤ 汚職により政権が**ガカイ**した。（一部の崩れや乱れから、組織全体が壊れること）〔　　〕

⑥ 親方に**イフ**の念を抱く。（おそれおののく気持ち）〔　　〕

⑦ **キンキ**地方が梅雨明けした。（京都・大阪・滋賀・(三重・)奈良・和歌やま・兵庫の総称）〔　　〕

⑧ 軍記物の**ハクビ**として名高い作品。（最も優れている人や物）〔　　〕

⑨ **シュウチ**心を抱く。（はずかしく感じること）〔　　〕

⑩ 非凡な才能が**センボウ**の的となる。（うらやましく思うこと）〔　　〕

⑪ **イシウス**でひいたそば粉。（穀物などを粉にするための道具）〔　　〕

⑫ **エンレイ**な姿に心を奪われる。（あでやかで美しい女性の様子）〔　　〕

⑬ 両党の**ミツゲツ**時代が続く。（結婚して間もない頃、親密な関係にあること）〔　　〕

⑭ 研究に**ドンヨク**に取り組む。（満足することがなくよくの深いこと）〔　　〕

⑮ **シンラツ**な批評を浴び、奮起する。（きわめて手厳しいさま）〔　　〕

⑯ 弟は**メンルイ**が好きだ。（練った小麦粉やそば粉などを細く切った食品）〔　　〕

⑰ 今日は**ユウウツ**な一日を過ごした。（気持ちがふさいではればれしないこと）〔　　〕

⑱ 子供に『**ツル**の恩返し』を読み聞かせる。（ツル目ツル科の鳥の総称）〔　　〕

⑲ **サンロク**の牧場で働く。（やまのふもと）〔　　〕

⑳ **キレツ**が生じた友情の回復に努める。（ひびが入ること、ひびわれ）〔　　〕

## 訓読み

❷ 爪先〔　　〕　❸ 爽やか〔　　〕　❺ 瓦〔　　〕　❻ 畏れる〔　　〕　❽ 眉〔　　〕

⑫ 艶〔　　〕　⑲ 麓〔　　〕　⑳ 亀〔　　〕　⑩ 羨む〔　　〕　⑭ 貪る〔　　〕

## 漢字検定 練習問題にチャレンジ

**1** 次の――線のカタカナを漢字に直せ。

1 **アイマイ**な態度をとる。（　　）

2 彼女は**ゴイ**が豊富だ。（　　）

3 神社に**サンケイ**する。（　　）

4 **シンチョク**状況を確かめる。（　　）

5 登場人物の心の**カットウ**。（　　）

6 **ケンバン**楽器を得意とする。（　　）

7 一番**ブロ**に入る。（　　）

8 **ノド**元過ぎれば熱さを忘れる。（　　）

9 **クシ**に刺した魚を焼く。（　　）

10 一匹の**トラ**が躍り出た。（　　）

11 **ホオ**を赤く染める。（　　）

### ●漢字廃止論

日本語の表記は何種類かの文字が同居していてわずらわしいと、幕末に漢字廃止論が浮上したことがある。新たに西洋文明を受け入れるためという考えもあったようだが、その議論は明治二十年代までがピーク。また、終戦後、志賀直哉（しがなおや）がフランス語を公用語にと主張したこともあったようだが、いまだ漢字の勢いは衰えていない。

## 解答

❷ つまさき　❸ さわ(やか)　❺ かわら　❻ おそ(れる)　❽ まゆ　⑫ つや　⑲ ふもと　⑳ かめ　⑩ 羨む　⑭ 貪る

**1**
1 曖昧　2 語彙　3 参詣
4 進捗(捗)　5 葛(葛)藤　6 鍵盤
7 風呂　8 喉　9 串
10 虎　11 頬(頬)